

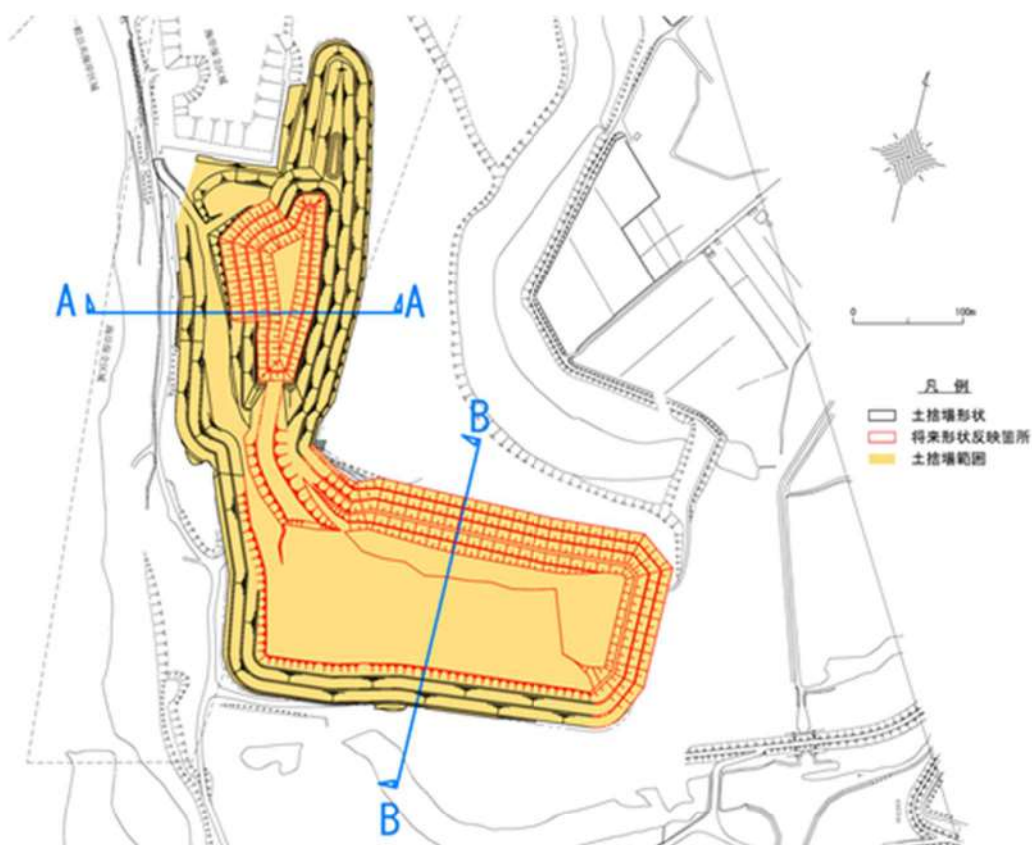


図 2.1. e. b-1 (3) 将来計画による土捨場形状

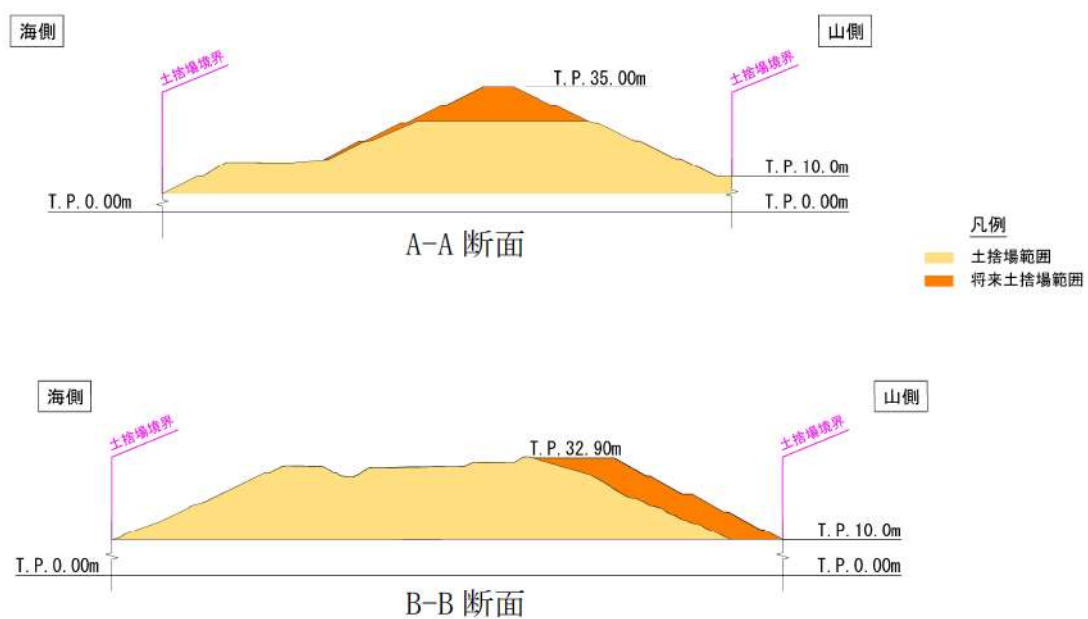


図 2.1. e. b-1 (4) 将来計画による土捨場断面図

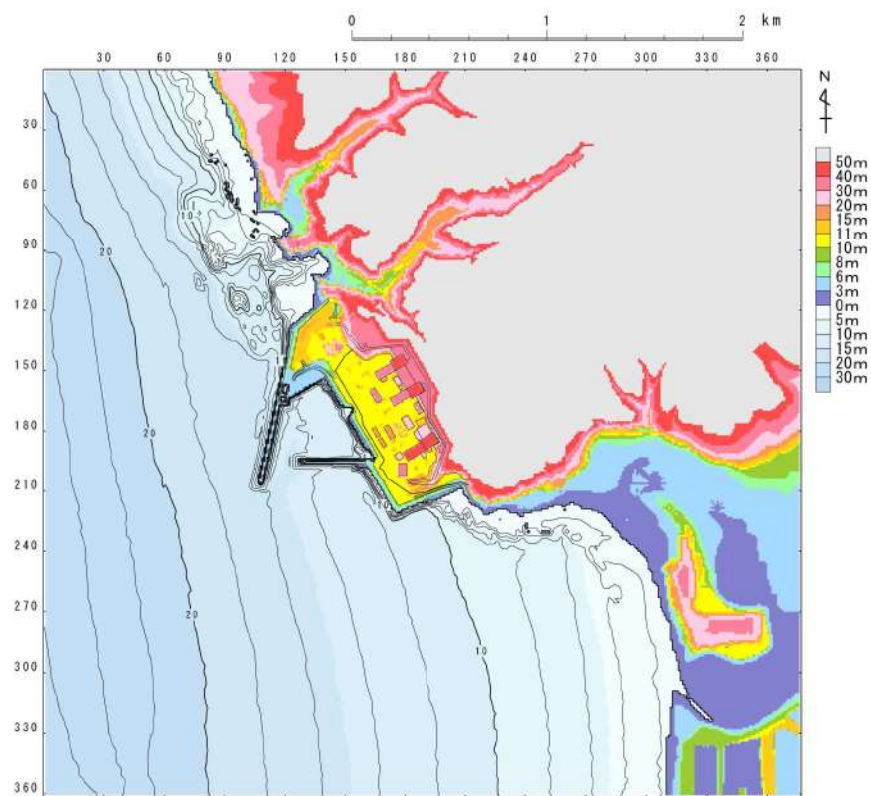


図 2. 1. e. b-1 (5) 将来計画による土捨場形状を反映した地形モデル

(c) 斜面崩壊を考慮した地形の検討

イ. 斜面崩壊を考慮した地形データの作成

将来計画を反映した土捨場の盛土斜面は、基準地震動により斜面が崩壊する可能性を否定できないことから、斜面崩壊を考慮した地形モデルを作成した。斜面崩壊の範囲は、「宅地防災マニュアルの解説」より、斜面高さの2倍とする。崩壊した土砂の堆積形状については、斜面の形状を踏まえると崩壊後の斜面形状の法肩は崩壊前の法肩位置より低くなると想定されるものの、被害の不確実性を考慮して堆積土量が保守的な設定となるように、崩壊前の斜面形状の法肩位置を起点として、土砂到達範囲まで土砂が堆積する形状とする。図 2.1.e.c-1 に斜面崩壊による土砂の到達範囲を示す。

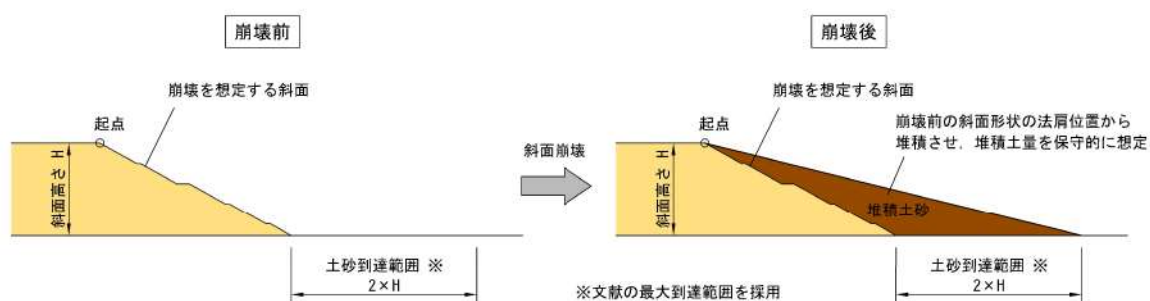


図 2.1.e.c-1 斜面崩壊による土砂の到達範囲

図 2.1.e.c-2 に斜面崩壊を考慮した土捨場形状及びこの形状を反映した遡上解析地形を示す。

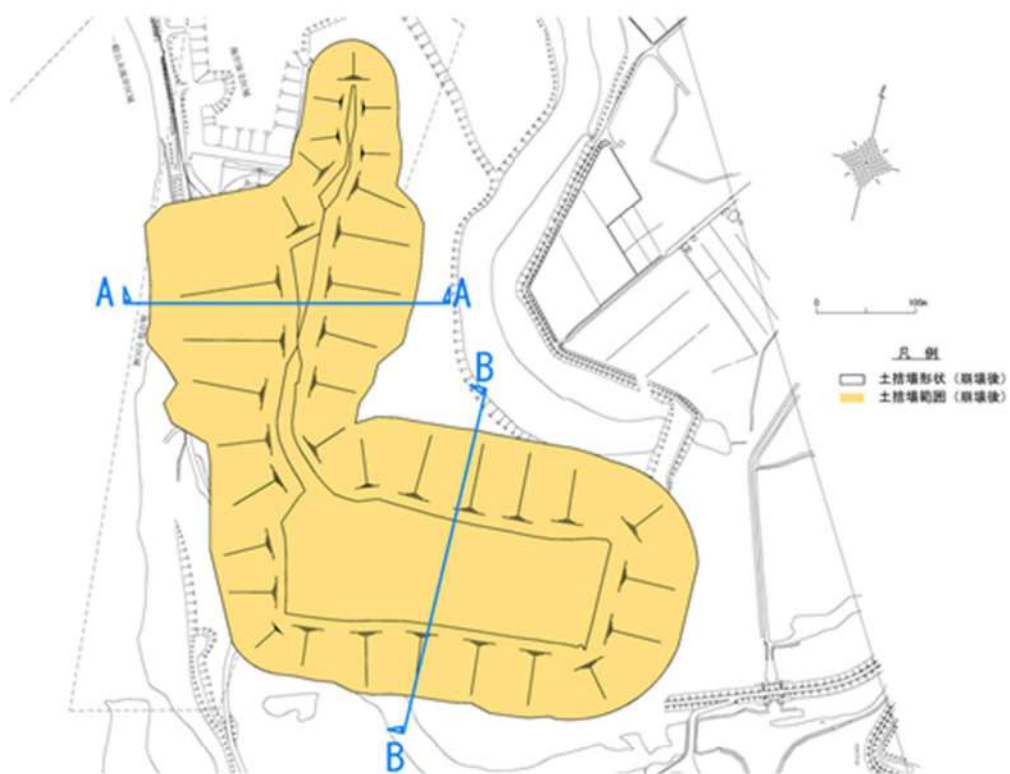


図 2.1. e. c-2 (1) 斜面崩壊を考慮した土捨て場形状

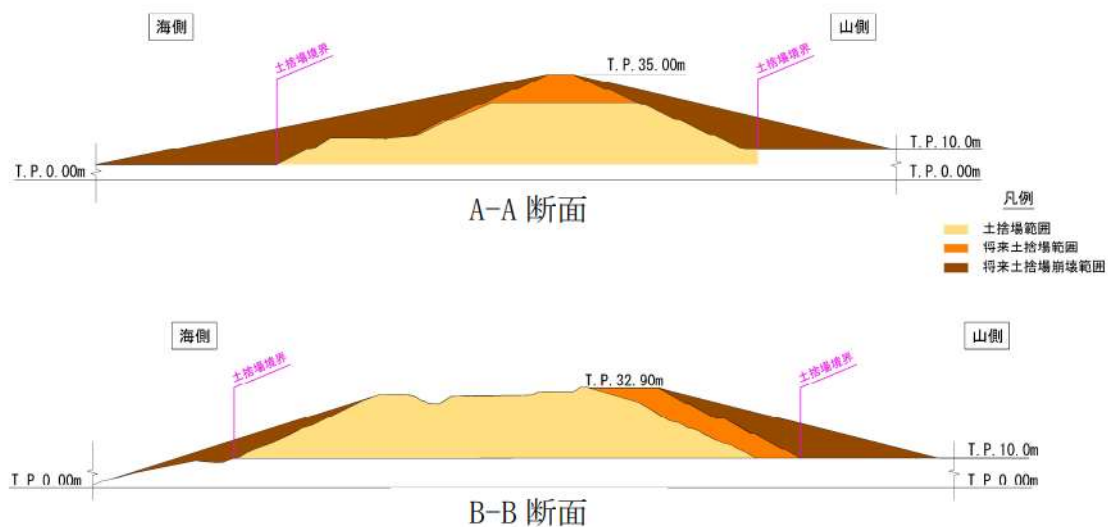


図 2.1. e. c-2 (2) 斜面崩壊を考慮した土捨て場断面図

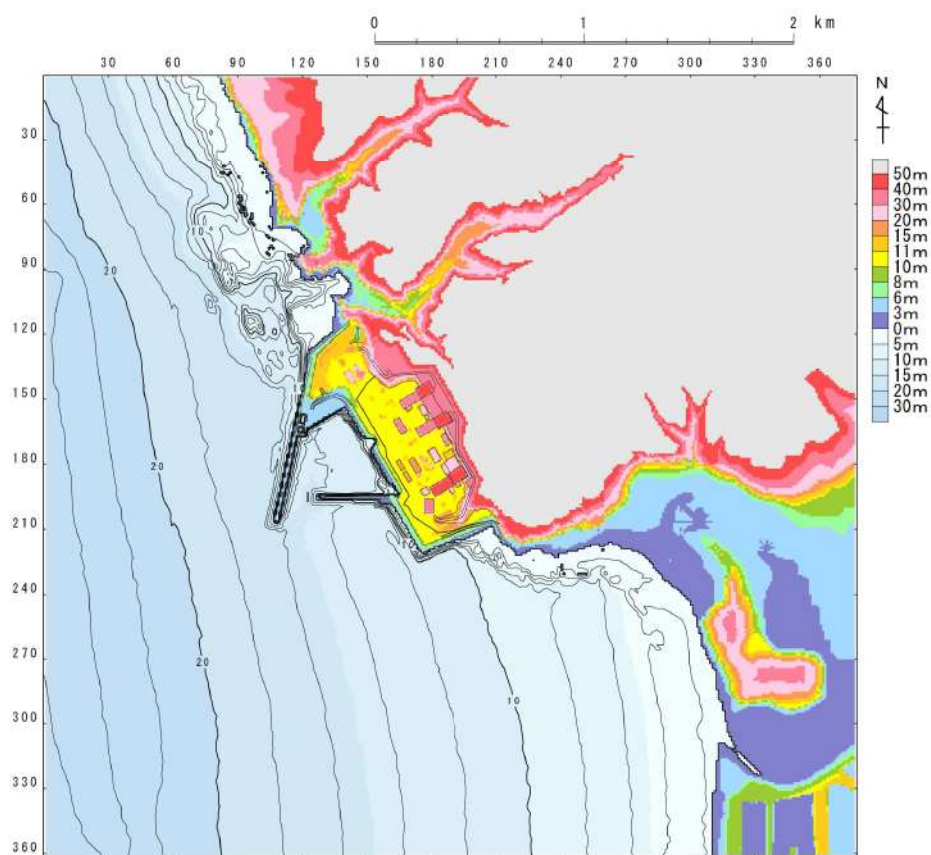


図 2.1. e. c-2 (3) 斜面崩壊を考慮した土捨て場形状を反映した地形モデル

図 2.1. e. c-3 に将来計画の土捨て場と斜面崩壊を考慮した土捨て場による地形モデルの比較図を示す。

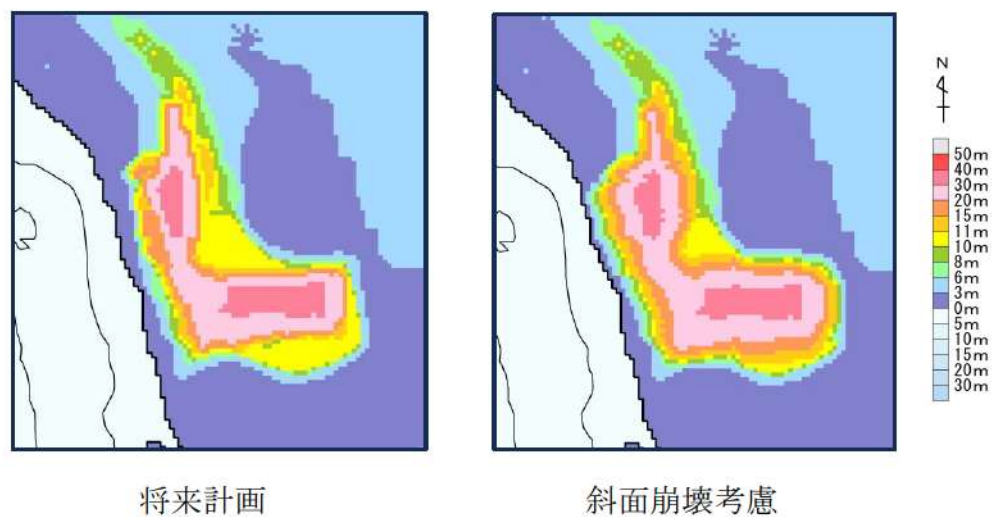


図 2.1. e. c-3 将来計画の土捨て場と斜面崩壊を考慮した土捨て場による地形モデルの比較

(d) 想定される地形変化を初期地形に反映した遡上解析

(b), (c) を踏まえ、将来計画を反映した地形及び斜面崩壊を考慮した地形に対して、遡上解析を実施した。津波高さの観点では全ての基準津波の12波源に対して防波堤の損傷状態を考慮した18ケースを対象に、津波高さ以外（最大流速及び流況（流向・流速））の観点では18ケース以外で「防波堤の損傷状態ごとに流速が最大となる2ケース（流速最大ケース1, 2）」を追加した計20ケースを対象に、基本ケースと将来計画を反映した地形及び斜面崩壊を考慮した地形を比較し、その差異を表2.1.e.d-1及び表2.1.e.d-2に示す。また、最大水位上昇量分布、最大水位下降量分布、水位時刻歴波形及び最大流速分布を図2.1.e.d-1及び図2.1.e.d-2に示す。

イ. 津波解析の結果（津波高さ）

（将来計画を反映した地形）

津波解析の結果、3号炉取水口の水位上昇量については、土捨場の将来計画を反映したケースが基本ケースを上回る場合があった。防潮堤前面、1号及び2号炉取水口、放水口、1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットの水位上昇量については、基本ケースを上回る場合はなかった。また、「貯留堰を下回る時間」は、基本ケースを上回る場合があった。

（斜面崩壊を考慮した地形）

津波解析の結果、防潮堤前面、3号炉取水口、放水口、及び3号炉放水ピットの水位上昇量については、土捨場の斜面崩壊を考慮したケースが基本ケースを上回る場合があった。1号及び2号炉取水口並びに1号及び2号炉取水ピットスクリーン室の水位上昇量については、基本ケースを上回る場合はなかった。また、「貯留堰を下回る時間」は、基本ケースを上回る場合があった。

ロ. 津波解析の結果（津波高さ以外）

（将来計画を反映した地形）

津波解析の結果、最大流速については土捨場の将来計画を反映したケースが基本ケースを上回る場合があり、流況（流向・流速）については、基本ケースと同程度であった。

（斜面崩壊を考慮した地形）

津波解析の結果、最大流速については土捨場の斜面崩壊を考慮したケースが基本ケースを上回る場合があり、流況（流向・流速）については、基本ケースと同程度であった。

ハ．発電所周辺の地形改変を考慮する際の代表ケース

土捨場の地形変化として、将来計画を反映した地形及び斜面崩壊を考慮した地形の評価を実施した。これらの地形変化は同時に発生することはないことから、入力津波を設定する際の地形変化の影響要因として考慮する場合には、いずれか一方のみを選定する必要がある。そのため、各評価項目における影響を評価する際には、将来計画を反映した地形及び斜面崩壊を考慮した地形の影響度合いを比較して、より保守的となる方を選定することとする。

表 2.1.e.d-1 (1) 基本ケースと土捨場の将来計画を反映したケースにおける
水位変動量の比較（水位上昇側）

評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	防潮堤 前面	基準津波 A	防波堤損傷なし	13.44m	13.44m	0.00m
		基準津波 E	北及び南防波堤損傷	15.65m	15.65m	0.00m
		基準津波 E	南防波堤損傷	14.98m	14.98m	0.00m
		基準津波 F	北防波堤損傷	15.68m	15.68m	0.00m
評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	3号炉 取水口	基準津波 B	防波堤損傷なし	10.45m	10.45m	0.00m
		基準津波 F	北及び南防波堤損傷	13.14m	13.15m	0.01m
		基準津波 E	南防波堤損傷	11.86m	11.86m	0.00m
		基準津波 B	北防波堤損傷	12.89m	12.89m	0.00m
評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	1号及び 2号炉 取水口	基準津波 C	防波堤損傷なし	9.34m	9.34m	0.00m
		基準津波 E	北及び南防波堤損傷	12.74m	12.74m	0.00m
		基準津波 G	南防波堤損傷	12.01m	12.01m	0.00m
		基準津波 H	北防波堤損傷	11.50m	11.50m	0.00m
評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	放水口	基準津波 D	防波堤損傷なし	10.91m	10.91m	0.00m
		基準津波 D	北及び南防波堤損傷	10.84m	10.84m	0.00m
		基準津波 D	南防波堤損傷	10.85m	10.85m	0.00m
		基準津波 D	北防波堤損傷	10.66m	10.66m	0.00m
評価項目※1,2		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	1号及び2 号炉取水 ピットスク リーン室	基準津波 A	防波堤損傷なし	4.98m	4.98m	0.00m
		基準津波 C	防波堤損傷なし	4.95m	4.95m	0.00m
		基準津波 D	南防波堤損傷	4.86m	4.86m	0.00m
		基準津波 L	北防波堤損傷	4.92m	4.92m	0.00m
評価項目※1,2		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	3号炉 放水 ピット	基準津波 C	防波堤損傷なし	6.80m	6.80m	0.00m
		基準津波 D	防波堤損傷なし	6.48m	6.48m	0.00m
		基準津波 G	南防波堤損傷	6.62m	6.62m	0.00m
		基準津波 K	南防波堤損傷	6.64m	6.64m	0.00m

※1 地形変化を考慮した遡上解析結果を用いて、管路解析を実施した結果を記載する。

※2 朔望平均潮位を考慮した水位とする（潮位のばらつき、潮位差及び地殻変動は未考慮）。

表 2.1.e.d-1 (2) 基本ケースと土捨場の将来計画を反映したケースにおける
貯留堰を下回る時間の比較（水位下降側）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場 (将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
貯留堰を 下回る 時間	基準津波 I	防波堤損傷なし	721s	721s	0s
	基準津波 J	北及び南防波堤損傷	698s	698s	0s
	基準津波 K	南防波堤損傷	743s	744s	1s
	基準津波 L	北防波堤損傷	863s	862s	-1s

表 2.1.e.d-1 (3) 基本ケースと土捨場の将来計画を反映したケースにおける
最大流速の比較

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場 (将来計画の反映) (b)	差分 (b-a)
最大流速	基準津波 A	防波堤損傷なし	13.81m/s	13.81m/s	0.00m/s
	基準津波 B	防波堤損傷なし	17.26m/s	17.26m/s	0.00m/s
	基準津波 B	北防波堤損傷	13.60m/s	13.60m/s	0.00m/s
	基準津波 C	防波堤損傷なし	13.95m/s	13.95m/s	0.00m/s
	基準津波 D	防波堤損傷なし	17.57m/s	17.61m/s	0.04m/s
	基準津波 D	北及び南防波堤損傷	13.19m/s	13.19m/s	0.00m/s
	基準津波 D	南防波堤損傷	16.77m/s	16.77m/s	0.00m/s
	基準津波 D	北防波堤損傷	14.60m/s	14.60m/s	0.00m/s
	基準津波 E	北及び南防波堤損傷	12.56m/s	12.56m/s	0.00m/s
	基準津波 E	南防波堤損傷	16.56m/s	16.56m/s	0.00m/s
	基準津波 F	北及び南防波堤損傷	12.31m/s	12.31m/s	0.00m/s
	基準津波 F	北防波堤損傷	13.72m/s	13.72m/s	0.00m/s
	基準津波 G	南防波堤損傷	15.27m/s	15.28m/s	0.01m/s
	基準津波 H	北防波堤損傷	14.13m/s	14.13m/s	0.00m/s
	基準津波 I	防波堤損傷なし	13.70m/s	13.70m/s	0.00m/s
	基準津波 J	北及び南防波堤損傷	12.94m/s	12.94m/s	0.00m/s
	基準津波 K	南防波堤損傷	16.96m/s	16.96m/s	0.00m/s
	基準津波 L	北防波堤損傷	12.14m/s	12.14m/s	0.00m/s
	流速最大ケース 1 ※1		17.63m/s	17.61m/s	-0.02m/s
	流速最大ケース 2 ※2		13.54m/s	13.54m/s	0.00m/s

※1 波源：基準津波 K，防波堤の損傷状態：防波堤損傷なし

※2 波源：基準津波 K，防波堤の損傷状態：北及び南防波堤損傷

表 2.1. e. d-2 (1) 基本ケースと土捨場の斜面崩壊を考慮したケースにおける
水位変動量の比較（水位上昇側）

評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	防潮堤 前面	基準津波 A	防波堤損傷なし	13.44m	13.30m	-0.14m
		基準津波 E	北及び南防波堤損傷	15.65m	15.69m	0.04m
		基準津波 E	南防波堤損傷	14.98m	14.97m	-0.01m
		基準津波 F	北防波堤損傷	15.68m	15.72m	0.04m
評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	3号炉 取水口	基準津波 B	防波堤損傷なし	10.45m	10.45m	0.00m
		基準津波 F	北及び南防波堤損傷	13.14m	13.18m	0.04m
		基準津波 E	南防波堤損傷	11.86m	11.86m	0.00m
		基準津波 B	北防波堤損傷	12.89m	12.91m	0.02m
評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	1号及び 2号炉 取水口	基準津波 C	防波堤損傷なし	9.34m	9.29m	-0.05m
		基準津波 E	北及び南防波堤損傷	12.74m	12.66m	-0.08m
		基準津波 G	南防波堤損傷	12.01m	11.94m	-0.07m
		基準津波 H	北防波堤損傷	11.50m	11.48m	-0.02m
評価項目		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	放水口	基準津波 D	防波堤損傷なし	10.91m	10.93m	0.02m
		基準津波 D	北及び南防波堤損傷	10.84m	10.84m	0.00m
		基準津波 D	南防波堤損傷	10.85m	10.86m	0.01m
		基準津波 D	北防波堤損傷	10.66m	10.66m	0.00m
評価項目 ※1,2		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	1号及び2 号炉取水 ピットスク リーン室	基準津波 A	防波堤損傷なし	4.98m	4.98m	0.00m
		基準津波 C	防波堤損傷なし	4.95m	4.95m	0.00m
		基準津波 D	南防波堤損傷	4.86m	4.86m	0.00m
		基準津波 L	北防波堤損傷	4.92m	4.92m	0.00m
評価項目 ※1,2		波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
水位 上昇 量	3号炉 放水 ピット	基準津波 C	防波堤損傷なし	6.80m	6.81m	0.01m
		基準津波 D	防波堤損傷なし	6.48m	6.48m	0.00m
		基準津波 G	南防波堤損傷	6.62m	6.62m	0.00m
		基準津波 K	南防波堤損傷	6.64m	6.64m	0.00m

※1 地形変化を考慮した遡上解析結果を用いて、管路解析を実施した結果を記載する。

※2 朔望平均潮位を考慮した水位とする（潮位のばらつき、潮位差及び地殻変動は未考慮）。

表 2.1. e. d-2 (2) 基本ケースと土捨場の斜面崩壊を考慮したケースにおける
貯留堰を下回る時間の比較（水位下降側）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
貯留堰を 下回る 時間	基準津波 I	防波堤損傷なし	721s	722s	1s
	基準津波 J	北及び南防波堤損傷	698s	699s	1s
	基準津波 K	南防波堤損傷	743s	744s	1s
	基準津波 L	北防波堤損傷	863s	862s	-1s

表 2.1. e. d-2 (3) 基本ケースと土捨場の斜面崩壊を考慮したケースにおける
最大流速の比較

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) (b)	差分 (b-a)
最大流速	基準津波 A	防波堤損傷なし	13.81m/s	13.81m/s	0.00m/s
	基準津波 B	防波堤損傷なし	17.26m/s	17.26m/s	0.00m/s
	基準津波 B	北防波堤損傷	13.60m/s	13.60m/s	0.00m/s
	基準津波 C	防波堤損傷なし	13.95m/s	13.95m/s	0.00m/s
	基準津波 D	防波堤損傷なし	17.57m/s	17.60m/s	0.03m/s
	基準津波 D	北及び南防波堤損傷	13.19m/s	13.18m/s	-0.01m/s
	基準津波 D	南防波堤損傷	16.77m/s	16.77m/s	0.00m/s
	基準津波 D	北防波堤損傷	14.60m/s	14.60m/s	0.00m/s
	基準津波 E	北及び南防波堤損傷	12.56m/s	12.55m/s	-0.01m/s
	基準津波 E	南防波堤損傷	16.56m/s	16.55m/s	-0.01m/s
	基準津波 F	北及び南防波堤損傷	12.31m/s	12.31m/s	0.00m/s
	基準津波 F	北防波堤損傷	13.72m/s	13.72m/s	0.00m/s
	基準津波 G	南防波堤損傷	15.27m/s	15.27m/s	0.00m/s
	基準津波 H	北防波堤損傷	14.13m/s	14.13m/s	0.00m/s
	基準津波 I	防波堤損傷なし	13.70m/s	13.69m/s	-0.01m/s
	基準津波 J	北及び南防波堤損傷	12.94m/s	12.94m/s	0.00m/s
	基準津波 K	南防波堤損傷	16.96m/s	16.94m/s	-0.02m/s
	基準津波 L	北防波堤損傷	12.14m/s	12.13m/s	-0.01m/s
	流速最大ケース 1 ※1		17.63m/s	17.59m/s	-0.04m/s
	流速最大ケース 2 ※2		13.54m/s	13.53m/s	-0.01m/s

※1 波源：基準津波 K，防波堤の損傷状態：防波堤損傷なし

※2 波源：基準津波 K，防波堤の損傷状態：北及び南防波堤損傷

f. 津波評価条件

a. ～ e. にて確認した地震及び津波による地形変化の影響を踏まえ、入力津波設定の際の影響要因として考慮する地形変化の条件を以下の(a)～(f)のとおり設定する。

また、入力津波設定の際の影響要因として考慮する地形変化は、基本的には2(1)の検討方針に従い選定するが、津波評価に影響を与える可能性のある地形変化の選定結果を踏まえ、更に以下の条件を考慮する。

- 「敷地地盤(陸域)3.5m 沈下」は「敷地地盤(陸域)5.0m 沈下」よりも津波水位等への影響が小さいことから、「敷地地盤(陸域)3.5m 沈下」は地形変化①／②の検討対象外とする。
- 「土捨場(将来計画の反映)」と「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」の重ね合わせは考えられないため、基本ケースから津波水位等の増加分が小さい方は地形変化①／②の検討対象外とする。
- 「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘」と「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」を重ね合わせた場合は地形変化の影響が無くなるため、重ね合わせは考慮せず、基本ケースから津波水位等の増加分が小さい方は地形変化①／②の検討対象外とする。
- 「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下」と「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」を重ね合わせた場合は地形変化の影響が小さくなるため、重ね合わせは考慮せず、基本ケースから津波水位等の増加分が小さい方は地形変化①／②の検討対象外とする。

(a) 防潮堤前面における水位上昇量

防潮堤前面における水位上昇量について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果を表 2.1.f.a-1 に示す。防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「敷地地盤(陸域)5.0m 沈下」の地形変化を考慮した場合に水位上昇量の最大値が認められた。その他の地形変化については「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「敷地地盤(陸域)5.0m 沈下」に「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」を組み合わせる遡上解析を行った結果を表 2.1.f.a-2 に、最大水位上昇量分布図及び水位時刻歴波形を図 2.1.f.a-1 示す。

結果として、「敷地地盤(陸域)5.0m 沈下+敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」の場合に水位上昇量の最大値の更新は認められなかった。

以上より、防潮堤前面の津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「敷地地盤(陸域)5.0m 沈下」を考慮する。

表 2.1.f.a-1 地震及び津波による地形変化・標高変化の定量的評価結果（防潮堤前面における水位上昇量）

評価項目	波源	防潮堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波 A	防波堤損傷なし	13.44m	13.29m (-0.15m)	13.44m (0.00m)	13.19m (-0.25m)	13.45m (0.01m)	13.44m (0.00m)	13.30m (-0.14m)	13.55m (0.11m)	13.27m (-0.17m)
	基準津波 E	北及び南防波堤損傷	15.65m	15.62m (-0.03m)	15.65m (0.00m)	15.61m (-0.04m)	15.55m (-0.10m)	15.65m (0.00m)	15.69m (0.04m)	15.62m (-0.03m)	15.61m (-0.04m)
	基準津波 E	南防波堤損傷	14.98m	14.92m (-0.06m)	14.98m (0.00m)	15.96m (0.98m)	14.77m (-0.21m)	14.98m (0.00m)	14.97m (-0.01m)	15.02m (0.04m)	14.85m (-0.13m)
	基準津波 F	北防波堤損傷	15.68m	15.67m (-0.01m)	15.68m (0.00m)	15.54m (-0.14m)	15.65m (-0.03m)	15.68m (0.00m)	15.72m (0.04m)	15.72m (0.04m)	15.65m (-0.03m)

括弧内の数値は基本ケースとの差分 (b) - (a) を示す。赤枠は最大値が認められる地形を示す。青枠は最大値を更新する可能性がある地形を示す。

表 2.1.f.a-2 地形変化の組合せを考慮した水位変動量の比較（防潮堤前面における水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	地形変化の組合せ	
				敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下 +	敷地前面海底地盤 (海域) 0.5m 堆積
水位 上昇 量	基準津波 A	防波堤損傷なし	13.19m	13.33m	
	基準津波 E	北及び南防波堤損傷	15.61m	15.75m	
	基準津波 E	南防波堤損傷	15.96m	15.94m	
	基準津波 F	北防波堤損傷	15.54m	15.62m	

(b) 3号炉取水口における水位上昇量

3号炉取水口における水位上昇量について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果を表 2.1.f.b-1 に示す。防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「敷地地盤（陸域）5.0m 沈下」の地形変化を考慮した場合に水位上昇量の最大値が認められた。その他の地形変化については「敷地前面海底地盤（海域）2.0m 沈下」及び「土捨場（将来計画反映後の斜面崩壊）」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「敷地地盤（陸域）5.0m 沈下」に「敷地前面海底地盤（海域）2.0m 沈下」及び「土捨場（将来計画反映後の斜面崩壊）」を組み合わせ、遡上解析を行った結果を表 2.1.f.b-2 に、最大水位上昇量分布図及び時刻歴波形を図 2.1.f.b-1 に示す。結果として、「敷地地盤（陸域）5.0m 沈下＋敷地前面海底地盤（海域）2.0m 沈下＋土捨場（将来計画反映後の斜面崩壊）」の場合に水位上昇量の最大値が認められた。

以上より、3号炉取水口の津波高さ（水位上昇側）に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「敷地地盤（陸域）5.0m 沈下＋敷地前面海底地盤（海域）2.0m 沈下＋土捨場（将来計画反映後の斜面崩壊）」を考慮する。

表 2.1.f.b-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果（3号炉取水口における水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波 B	防波堤損傷なし	10.45m	10.45m (0.00m)	10.45m (0.00m)	13.20m (2.75m)	10.63m (0.18m)	10.45m (0.00m)	10.45m (0.00m)	10.48m (0.03m)	10.42m (-0.03m)
	基準津波 F	北及び南防波堤損傷	13.14m	13.10m (-0.04m)	13.14m (0.00m)	13.62m (0.48m)	13.195m (0.05m)	13.15m ^{※1} (0.01m)	13.18m (0.04m)	13.191m ^{※2} (0.05m)	13.09m (-0.05m)
	基準津波 E	南防波堤損傷	11.86m	11.77m (-0.09m)	11.86m (0.00m)	12.96m (1.10m)	11.97m (0.11m)	11.86m (0.00m)	11.86m (0.00m)	11.86m (0.00m)	11.85m (-0.01m)
	基準津波 B	北防波堤損傷	12.89m	12.88m (-0.01m)	12.89m (0.00m)	13.50m (0.61m)	12.99m (0.10m)	12.89m (0.00m)	12.91m (0.02m)	12.95m (0.06m)	12.82m (-0.07m)

括弧内の数値は基本ケースとの差分(b)-(a)を示す。赤枠は最大値が認められる地形、青枠は最大値を更新する可能性がある地形を示す。

※1「土捨場（将来地形）」と「土捨場の崩壊」は同地形の崩壊の検討対象外とする。

※2「敷地前面海底地盤（海域）0.5m 堆積」と「敷地前面海底地盤（海域）5.0m 堆積」を検討対象外とする（小数点第3位以下より比較）。

表 2.1.f.b-2 地形変化の組合せを考慮した水位変動量の比較（3号炉取水口における水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	地形変化の組合せ		
			敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積
3号炉 取水口 水位 上昇 量	基準津波 B	防波堤損傷なし	13.20m	13.43m	13.44m
	基準津波 F	北及び南防波堤損傷	13.62m	13.78m	13.79m
	基準津波 E	南防波堤損傷	12.96m	13.21m	13.22m
	基準津波 B	北防波堤損傷	13.50m	13.70m	13.72m

(c) 1号及び2号炉取水口における水位上昇量

1号及び2号炉取水口における水位上昇量について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果を表2.1.f.c-1に示す。防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「敷地前面海底地盤（海域）0.5m堆積」の地形変化を考慮した場合に水位上昇量の最大値が認められた。その他の地形変化については「地滑り地形①の崩壊」及び「敷地地盤（陸域）5.0m沈下」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「敷地前面海底地盤（海域）0.5m堆積」に「地滑り地形①の崩壊」及び「敷地地盤（陸域）5.0m沈下」を組み合わせて遡上解析を行った結果を表2.1.f.c-2に、最大水位上昇量分布図及び時刻歴波形を図2.1.f.c-1示す。結果として、「敷地前面海底地盤（海域）0.5m堆積＋地滑り地形①の崩壊」の場合に水位上昇量の最大値が認められた。

以上より、1号及び2号炉取水口の津波高さ（水位上昇側）に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「敷地前面海底地盤（海域）0.5m堆積＋地滑り地形①の崩壊」を考慮する。

表 2.1.f.c-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果 (1号及び2号炉取水口における水位上昇量)

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波 C	防波堤損傷なし	9.34m	9.39m (0.05m)	9.34m (0.00m)	9.05m (-0.29m)	9.35m (0.01m)	9.34m (0.00m)	9.29m (-0.05m)	9.35m (0.01m)	9.32m (-0.02m)
	基準津波 E	北及び南防波堤損傷	12.74m	12.78m (0.04m)	12.74m (0.00m)	12.76m (0.02m)	12.42m (-0.32m)	12.74m (0.00m)	12.66m (-0.08m)	13.07m (0.33m)	12.52m (-0.22m)
	基準津波 G	南防波堤損傷	12.01m	12.02m (0.01m)	12.01m (0.00m)	11.67m (-0.34m)	11.80m (-0.21m)	12.01m (0.00m)	11.94m (-0.07m)	12.16m (0.15m)	11.85m (-0.16m)
	基準津波 H	北防波堤損傷	11.50m	11.52m (0.02m)	11.50m (0.00m)	11.97m (0.47m)	11.36m (-0.14m)	11.50m (0.00m)	11.48m (-0.02m)	11.58m (0.08m)	11.42m (-0.08m)

括弧内の数値は基本ケースとの差分(b)-(a)を示す。赤枠は最大値が認められる地形、青枠は最大値を更新する可能性がある地形を示す。

表 2.1.f.c-2 地形変化の組合せを考慮した水位変動量の比較 (1号及び2号炉取水口における水位上昇量)

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	地形変化の組合せ		
			敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積 + 地滑り地形① の崩壊 + 敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積 + 地滑り地形① の崩壊	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積
水位 上昇 量	基準津波 C	防波堤損傷なし	9.40m	9.40m	9.03m
	基準津波 E	北及び南防波堤損傷	13.11m	13.07m	12.91m
	基準津波 G	南防波堤損傷	12.16m	12.16m	11.67m
	基準津波 H	北防波堤損傷	11.59m	11.58m	11.84m

(d) 放水口における水位上昇量

放水口における水位上昇量について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果を表 2.1.f.d-1 に示す。防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」の地形変化を考慮した場合に水位上昇量の最大値が認められた。その他の地形変化については「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」に「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」を組み合わせて遡上解析を行った結果を表 2.1.f.d-2 に、最大水位上昇量分布図及び時刻歴波形を図 2.1.f.d-1 示す。結果として、「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)＋敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」の場合に水位上昇量の最大値が認められた。

以上より、放水口の津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)＋敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」を考慮する。

表 2.1.f.d-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果 (放水口における水位上昇量)

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波 D	防波堤損傷なし	10.91m	10.89m (-0.02m)	10.91m (0.00m)	9.45m (-1.46m)	10.91m (0.00m)	10.91m (0.00m)	10.93m (0.02m)	10.93m (0.02m)	10.91m (0.00m)
	基準津波 D	北及び南防波堤損傷	10.84m	10.84m (0.00m)	10.84m (0.00m)	9.54m (-1.30m)	10.86m (0.02m)	10.84m (0.00m)	10.84m (0.00m)	10.88m (0.04m)	10.80m (-0.04m)
	基準津波 D	南防波堤損傷	10.85m	10.83m (-0.02m)	10.85m (0.00m)	9.56m (-1.29m)	10.84m (-0.01m)	10.85m (0.00m)	10.86m (0.01m)	10.86m (0.01m)	10.83m (-0.02m)
	基準津波 D	北防波堤損傷	10.66m	10.67m (0.01m)	10.66m (0.00m)	9.47m (-1.19m)	10.66m (0.00m)	10.66m (0.00m)	10.66m (0.00m)	10.71m (0.05m)	10.62m (-0.04m)

括弧内の数値は基本ケースとの差分(b)-(a)を示す。赤枠は最大値が認められる地形、青枠は最大値を更新する可能性がある地形を示す。

表 2.1.f.d-2 地形変化の組合せを考慮した水位変動量の比較 (放水口における水位上昇量)

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	地形変化の組合せ	
				土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積
放水口 水位 上昇 量	基準津波 D	防波堤損傷なし	10.93m	10.96m	
	基準津波 D	北及び南防波堤損傷	10.84m	10.88m	
	基準津波 D	南防波堤損傷	10.86m	10.89m	
	基準津波 D	北防波堤損傷	10.66m	10.71m	

(e) 1号及び2号炉取水ピットスクリーン室における水位上昇量

1号及び2号炉取水ピットスクリーン室における水位上昇量について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析結果を用いて管路解析を実施した結果を表2.1.f.e-1に示す。

防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「地滑り地形①の崩壊」の地形変化を考慮した場合に水位上昇量の最大値が認められた。その他の地形変化については「敷地前面海底地盤(海域)0.5m洗掘」及び「敷地前面海底地盤(海域)2.0m沈下」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「地滑り地形①の崩壊」に「敷地前面海底地盤(海域)0.5m洗掘」及び「敷地前面海底地盤(海域)2.0m沈下」を組み合わせて管路解析を行った結果を表2.1.f.e-2に、時刻歴波形を図2.1.f.e-1に示す。結果として、「地滑り地形①の崩壊+敷地前面海底地盤(海域)0.5m洗掘+敷地前面海底地盤(海域)2.0m沈下」の場合に水位上昇量の最大値が認められた。

以上より、1号及び2号炉取水ピットスクリーン室の津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「地滑り地形①の崩壊+敷地前面海底地盤(海域)0.5m洗掘+敷地前面海底地盤(海域)2.0m沈下」を考慮する。

表 2.1.f.e-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果（1号及び2号炉取水ピットスクリーン室における水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)						
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積
水位 上昇 量	1号及び 2号炉 取水ピッ トスク リーン室	基準津波 A	防波堤損傷なし	5.01m (0.03m)	4.98m (0.00m)	4.64m (-0.34m)	4.99m (0.01m)	4.98m (0.00m)	4.97m (-0.01m)	4.99m (0.01m)
		基準津波 C	防波堤損傷なし	4.97m (0.02m)	4.95m (0.00m)	4.85m (-0.10m)	4.96m (0.01m)	4.95m (0.00m)	4.94m (-0.01m)	4.96m (0.01m)
		基準津波 D	南防波堤損傷	4.86m (0.00m)	4.86m (0.00m)	4.43m (-0.43m)	4.85m (-0.01m)	4.86m (0.00m)	4.85m (-0.01m)	4.85m (-0.01m)
		基準津波 L	北防波堤損傷	4.90m (-0.02m)	4.92m (0.00m)	4.70m (-0.22m)	4.91m (-0.01m)	4.92m (0.00m)	4.93m (0.01m)	4.91m (-0.01m)

括弧内の数値は基本ケースとの差分 (b) - (a) を示す。赤枠は最大値が認められる地形、青枠は最大値を更新する可能性のある地形を示す。

表 2.1.f.e-2 地形変化の組合せを考慮した水位変動量の比較（1号及び2号炉取水ピットスクリーン室における水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	地滑り地形①の 崩壊	地形変化の組合せ	
				地滑り地形①の崩壊 + 敷地前面 海底地盤(海域) 0.5m 洗掘 + 敷地前面 海底地盤(海域) 2.0m 沈下	地滑り地形①の崩壊 + 敷地前面 海底地盤(海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波 A	防波堤損傷なし	5.01m (5.005m) ※	5.01m (5.014m) ※	5.02m
	基準津波 C	防波堤損傷なし	4.97m	4.98m	4.99m
	基準津波 D	南防波堤損傷	4.86m	4.85m	4.85m
	基準津波 L	北防波堤損傷	4.90m	4.89m	4.88m

※地形組合せ考慮要否の判断のため、小数点以下3位にて評価した。

(f) 3号炉放水ピットにおける水位上昇量

3号炉放水ピットにおける水位上昇量について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析結果を用いて管路解析を実施した結果を表2.1.f.f-1に示す。

防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下」の地形変化を考慮した場合に水位上昇量の最大値が認められた。その他の地形変化については「地滑り地形①の崩壊」、「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」及び「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下」に「地滑り地形①の崩壊」、「土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」及び「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘」を組合せて管路解析を行った結果を表2.1.f.f-2に、時刻歴波形を図2.1.f.f-1に示す。結果として、「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下+地滑り地形①の崩壊+土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」の場合に水位上昇量の最大値が認められた。

以上より、3号放水ピットの津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下+地滑り地形①の崩壊+土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)」を考慮する。

表 2.1.f.f-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果（3号炉放水ピットにおける水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波 C	防波堤損傷なし	6.80m	6.81m (0.01m)	6.80m (0.00m)	6.70m (-0.10m)	6.82m (0.02m)	6.80m (0.00m)	6.81m (0.01m)	6.80m (0.00m)	6.81m (0.01m)
	基準津波 D	防波堤損傷なし	6.48m	6.47m (-0.01m)	6.48m (0.00m)	6.24m (-0.24m)	6.48m (0.00m)	6.48m (0.00m)	6.48m (0.00m)	6.49m (0.01m)	6.47m (-0.01m)
	基準津波 G	南防波堤損傷	6.62m	6.62m (0.00m)	6.62m (0.00m)	6.27m (-0.35m)	6.60m (-0.02m)	6.62m (0.00m)	6.62m (0.00m)	6.65m (0.03m)	6.59m (-0.03m)
	基準津波 K	南防波堤損傷	6.64m	6.64m (0.00m)	6.64m (0.00m)	6.54m (-0.10m)	6.64m (0.00m)	6.64m (0.00m)	6.64m (0.00m)	6.65m (0.01m)	6.64m (0.00m)

括弧内の数値は基本ケースとの差分(b)-(a)を示す。赤枠は最大値が認められる地形を示す。

表 2.1.f.f-2 地形変化の組合せを考慮した水位変動量の比較（3号炉放水ピットにおける水位上昇量）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	地形変化の組合せ			
			敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来計画反映後の 斜面崩壊)	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来計画反映後の 斜面崩壊) + 敷地前面海底地盤(海域) 0.5m 洗掘
水位 上昇 量	基準津波C	防波堤損傷なし	6.82m (6.817m)※	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来計画反映後の 斜面崩壊)	6.83m (6.825m)※
	基準津波D	防波堤損傷なし	6.48m	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来計画反映後の 斜面崩壊)	6.47m
	基準津波G	南防波堤損傷	6.60m	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来計画反映後の 斜面崩壊)	6.56m
	基準津波K	南防波堤損傷	6.64m	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊	敷地前面海底地盤 (海域)2.0m 沈下 + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来計画反映後の 斜面崩壊)	6.63m

※地形組合せ考慮要否の判断のため、小数点以下3位にて評価した。

(g) 貯留堰を下回る時間

貯留堰を下回る時間について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果を表 2.1.f.g-1 に示す。防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」の地形変化を考慮した場合に貯留堰を下回る時間の最大値が認められた。その他の地形変化については最大値を更新する可能性が認められなかった。

以上より、貯留堰を下回る時間に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積」を考慮する。

表 2.1.f.g-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果（貯留堰を下回る時間）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本 ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り 地形① の崩壊	地滑り 地形③ の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 の反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆掘
貯留堰を 下回る時間	基準津波 I	防波堤損傷なし	721s	731s (10s)	721s (0s)	479s (-242s)	520s (-201s)	721s (0s)	722s (1s)	725s (4s)	513s (-208s)
	基準津波 J	北及び南防波堤損傷	698s	699s (1s)	698s (0s)	712s (14s)	681s (-17s)	698s (0s)	699s (1s)	700s (2s)	697s (-1s)
	基準津波 K	南防波堤損傷	743s	744s (1s)	744s (1s)	734s (-9s)	737s (-6s)	744s (1s)	744s (1s)	745s (2s)	741s (-2s)
	基準津波 L	北防波堤損傷	863s	862s (-1s)	863s (0s)	834s (-29s)	811s (-52s)	862s (-1s)	862s (-1s)	866s (3s)	859s (-4s)

括弧内の数値は基本ケースとの差分 (b) - (a) を示す。赤枠は最大値が認められる地形を示す。

(h) 最大流速

最大流速について、地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果を表 2.1.f.h-1 に示す。防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」に対し、「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘」の地形変化を考慮した場合に最大流速の最大値が認められた。その他の地形変化については「地滑り地形①の崩壊」及び「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下」により最大値を更新する可能性が認められたことから、これら地形変化の組合せを考慮する。

「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘」に「地滑り地形①の崩壊」及び「敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下」を組み合わせて遡上解析を行った結果を表 2.1.f.h-2 に、最大流速分布図を図 2.1.f.h-1 示す。結果として、「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘+敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下」及び「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘+地滑り地形①の崩壊」の場合に最大流速の最大値の更新は認められなかった。

以上より、最大流速に係る入力津波を設定する際の地形変化の影響要因としては、「敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘」を考慮する。

表 2.1.f.h-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果（最大流速）（1/2）

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り地形 ①の崩壊	地滑り地形 ③の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面海 底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
最大 流速	基準津波 A	防波堤損傷 なし	13.81m/s	13.87m/s (0.06m/s)	13.81m/s (0.00m/s)	11.74m/s (-2.07m/s)	13.85m/s (0.04m/s)	13.81m/s (0.00m/s)	13.81m/s (0.00m/s)	13.41m/s (-0.40m/s)	14.16m/s (0.35m/s)
	基準津波 B	防波堤損傷 なし	17.26m/s	17.24m/s (-0.02m/s)	17.26m/s (0.00m/s)	13.91m/s (-3.35m/s)	17.16m/s (-0.10m/s)	17.26m/s (0.00m/s)	17.26m/s (0.00m/s)	17.13m/s (-0.13m/s)	17.22m/s (-0.04m/s)
	基準津波 B	北防波堤 損傷	13.60m/s	13.61m/s (0.01m/s)	13.60m/s (0.00m/s)	13.05m/s (-0.55m/s)	13.79m/s (0.19m/s)	13.60m/s (0.00m/s)	13.60m/s (0.00m/s)	13.84m/s (0.24m/s)	13.52m/s (-0.08m/s)
	基準津波 C	防波堤損傷 なし	13.95m/s	13.92m/s (-0.03m/s)	13.95m/s (0.00m/s)	12.16m/s (-1.79m/s)	13.86m/s (-0.09m/s)	13.95m/s (0.00m/s)	13.95m/s (0.00m/s)	14.18m/s (0.23m/s)	13.59m/s (-0.36m/s)
	基準津波 D	防波堤損傷 なし	17.57m/s	17.66m/s (0.09m/s)	17.64m/s (0.07m/s)	14.18m/s (-3.39m/s)	17.69m/s (0.12m/s)	17.61m/s (0.04m/s)	17.60m/s (0.03m/s)	17.24m/s (-0.33m/s)	17.36m/s (-0.21m/s)
	基準津波 D	北及び南 防波堤損傷	13.19m/s	13.19m/s (0.00m/s)	13.19m/s (0.00m/s)	13.24m/s (0.05m/s)	13.82m/s (0.63m/s)	13.19m/s (0.00m/s)	13.18m/s (-0.01m/s)	13.27m/s (0.08m/s)	13.05m/s (-0.14m/s)
	基準津波 D	南防波堤 損傷	16.77m/s	16.76m/s (-0.01m/s)	16.77m/s (0.00m/s)	13.40m/s (-3.37m/s)	16.87m/s (0.10m/s)	16.77m/s (0.00m/s)	16.77m/s (0.00m/s)	16.94m/s (0.17m/s)	16.73m/s (-0.04m/s)
	基準津波 D	北防波堤 損傷	14.60m/s	14.60m/s (0.00m/s)	14.61m/s (0.01m/s)	12.58m/s (-2.02m/s)	14.67m/s (0.07m/s)	14.60m/s (0.00m/s)	14.60m/s (0.00m/s)	14.38m/s (-0.22m/s)	14.39m/s (-0.21m/s)
	基準津波 E	北及び南 防波堤損傷	12.56m/s	12.56m/s (0.00m/s)	12.56m/s (0.00m/s)	13.25m/s (0.69m/s)	13.40m/s (0.84m/s)	12.56m/s (0.00m/s)	12.55m/s (-0.01m/s)	12.56m/s (0.00m/s)	12.54m/s (-0.02m/s)
	基準津波 E	南防波堤 損傷	16.56m/s	16.53m/s (-0.03m/s)	16.56m/s (0.00m/s)	13.50m/s (-3.06m/s)	16.67m/s (0.11m/s)	16.56m/s (0.00m/s)	16.55m/s (-0.01m/s)	16.64m/s (0.08m/s)	16.41m/s (-0.15m/s)
	基準津波 F	北及び南 防波堤損傷	12.31m/s	12.31m/s (0.00m/s)	12.31m/s (0.00m/s)	13.15m/s (0.84m/s)	13.11m/s (0.80m/s)	12.31m/s (0.00m/s)	12.31m/s (0.00m/s)	12.32m/s (0.01m/s)	12.30m/s (-0.01m/s)
	基準津波 F	北防波堤 損傷	13.72m/s	13.72m/s (0.00m/s)	13.72m/s (0.00m/s)	12.89m/s (-0.83m/s)	13.70m/s (-0.02m/s)	13.72m/s (0.00m/s)	13.72m/s (0.00m/s)	13.72m/s (0.00m/s)	13.62m/s (-0.10m/s)
	基準津波 G	南防波堤 損傷	15.27m/s	15.25m/s (-0.02m/s)	15.27m/s (0.00m/s)	12.84m/s (-2.43m/s)	15.51m/s (0.24m/s)	15.28m/s (0.01m/s)	15.27m/s (0.00m/s)	15.72m/s (0.45m/s)	15.08m/s (-0.19m/s)
基準津波 H	北防波堤 損傷	14.13m/s	14.13m/s (0.00m/s)	14.13m/s (0.00m/s)	12.96m/s (-1.17m/s)	14.12m/s (-0.01m/s)	14.13m/s (0.00m/s)	14.13m/s (0.00m/s)	14.14m/s (0.01m/s)	13.96m/s (-0.17m/s)	
基準津波 I	防波堤損傷 なし	13.70m/s	13.70m/s (0.00m/s)	13.70m/s (0.00m/s)	11.49m/s (-2.21m/s)	13.10m/s (-0.60m/s)	13.70m/s (0.00m/s)	13.69m/s (-0.01m/s)	13.73m/s (0.03m/s)	13.40m/s (-0.30m/s)	
基準津波 J	北及び南 防波堤損傷	12.94m/s	12.95m/s (0.01m/s)	12.94m/s (0.00m/s)	11.60m/s (-1.34m/s)	13.12m/s (0.18m/s)	12.94m/s (0.00m/s)	12.94m/s (0.00m/s)	13.11m/s (0.17m/s)	12.65m/s (-0.29m/s)	
基準津波 K	南防波堤 損傷	16.96m/s	16.93m/s (-0.03m/s)	16.96m/s (0.00m/s)	13.78m/s (-3.18m/s)	17.19m/s (0.23m/s)	16.96m/s (0.00m/s)	16.94m/s (-0.02m/s)	17.11m/s (0.15m/s)	16.92m/s (-0.04m/s)	

表 2. 1. f. h-1 想定される地形変化を踏まえた定量的評価結果 (最大流速) (2/2)

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	基本ケース (a)	地形変化 (b)							
				地滑り地形 ①の崩壊	地滑り地形 ③の崩壊	敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	敷地前面 海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	土捨場 (将来計画 反映)	土捨場 (将来計画 反映後の 斜面崩壊)	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 堆積	敷地前面 海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘
最大 流速	基準津波 L	北防波堤 損傷	12.14m/s	12.09m/s (-0.05m/s)	12.14m/s (0.00m/s)	12.27m/s (0.13m/s)	13.02m/s (0.88m/s)	12.14m/s (0.00m/s)	12.13m/s (-0.01m/s)	12.22m/s (0.08m/s)	12.23m/s (0.09m/s)
	流速最大ケース 1 ※1		17.63m/s	17.64m/s (0.01m/s)	17.62m/s (-0.01m/s)	14.65m/s (-2.98m/s)	17.78m/s (0.15m/s)	17.61m/s (-0.02m/s)	17.59m/s (-0.04m/s)	17.60m/s (-0.03m/s)	18.00m/s (0.37m/s)
	流速最大ケース 2 ※2		13.54m/s	13.54m/s (0.00m/s)	13.53m/s (-0.01m/s)	13.58m/s (0.04m/s)	14.68m/s (1.14m/s)	13.54m/s (0.00m/s)	13.53m/s (-0.01m/s)	13.55m/s (0.01m/s)	13.55m/s (0.01m/s)

括弧内の数値は基本ケースとの差分 (b) - (a) を示す。赤枠は最大値が認められる地形、青枠は最大値を更新する可能性がある地形を示す。

※ 1 波源：基準津波 K, 防波堤の損傷状態：防波堤損傷なし

※ 2 波源：基準津波 K, 防波堤の損傷状態：北及び南防波堤損傷

表 2. 1. f. h-2 地形変化の組合せを考慮した最大流速の比較

評価項目	波源	防波堤の損傷状態	地形変化の組合せ	
			敷地前面 海底地盤 (海 域) 0.5m 洗掘	敷地前面海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘 + 地滑り地形①の崩壊
最大流速	流速最大ケース 1 ※		18.00m/s	17.94m/s

※ 波源：基準津波 K, 防波堤の損傷状態：防波堤損傷なし

(i) 流況（流向・流速）

流況（流向，流速）について，地震及び津波による地形変化を考慮した津波遡上解析の結果，防波堤の損傷有無のみを考慮した「基本ケース」と同程度であった。以上より，流況（流向，流速）に係る入力津波を設定する際，地形変化は影響要因として考慮しない。

(j) 地震及び津波による地形変化の影響評価まとめ

以上を踏まえ，各評価項目に係る入力津波を設定する際の影響要因として設定する地形変化を表 2.1.f.j-1 に示す。また，地震及び津波による地形変化の影響評価の結果は表 2.1.f.j-2 に整理した。

- ・敷地周辺斜面の崩壊形状については，防潮堤両端部の地山を対象に基準地震動により津波が敷地に遡上するような崩壊は起こらないことを確認した。また，地滑り地形が判読されている地山の斜面崩壊についても検討し，地滑り地形①の斜面崩壊は，1号及び2号炉取水口，1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットにおける水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認されたことから，1号及び2号炉取水口，1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットの津波高さ（水位上昇側）に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。
- ・防潮堤は，堅固な岩盤に支持されていることから，地震時の液状化に伴う沈下は発生しない。一方，防潮堤前面の敷地地盤に存在する埋戻土及び砂層は，地震時の液状化により沈下する可能性があるため，基準地震動による敷地地盤の沈下について，3.5m沈下及び5.0m沈下を考慮した津波解析を実施した。敷地地盤（陸域）の沈下は，防潮堤前面及び3号炉取水口における水位上昇量に与える影響が大きく，その影響は3.5m沈下よりも5.0m沈下の方が大きいことが定量的に確認されたことから，防潮堤前面及び3号炉取水口の津波高さ（水位上昇側）に係る入力津波を設定する際の影響要因として敷地地盤（陸域）の沈下5.0mを設定する。
- ・敷地前面海底地盤に存在する堆積層（沖積層及び洪積層）は，地震時の液状化により沈下する可能性があるため，基準地震動による敷地前面海底地盤の沈下を考慮した津波解析を実施した結果，3号炉取水口，1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットにおける水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認されたことから，3号炉取水口，1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットの津波高さ（水位上昇側）に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。
- ・発電所周辺の土捨場について地形改変を伴う将来計画及び基準地震動によ

る斜面崩壊を考慮した津波解析を実施した結果、土捨場の斜面崩壊は、3号炉取水口、放水口及び3号炉放水ピットにおける水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認されたことから、3号炉取水口、放水口及び3号炉放水ピットの津波高さ（水位上昇側）に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。

- ・敷地前面海底地盤については、繰り返し来襲する津波に伴う洗掘・堆積が想定される。平面二次元砂移動解析結果より算定した敷地前面海底地盤の洗掘を考慮した津波解析を実施した結果、1号及び2号炉取水ピットスクリーン室における水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認された。また、最大流速に対しても影響を与えることが定量的に確認された。1号及び2号炉取水ピットスクリーン室の津波高さ（水位上昇側）に加え、津波高さ以外（最大流速）に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。また、平面二次元砂移動解析結果より算定した敷地前面海底地盤の堆積を考慮した津波解析を実施した結果、1号及び2号炉取水口並びに放水口における水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認された。また、貯留堰を下回る時間に対しても影響を与えることが定量的に確認された。1号及び2号炉取水口並びに放水口の津波高さ（水位上昇側）に加え3号炉取水口の津波高さ（水位下降側）に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。
- ・防波堤損傷に関する検討の結果、津波高さについては、防波堤の有無による差異が認められることから、影響要因として設定する。また、津波高さ以外のうち、発電所沖合の流況（流向・流速）については防波堤の有無による最大流速分布に差異が認められないことから影響要因として設定しない。一方、港湾内の流況（流向・流速）及び敷地前面の最大流速については差異が認められることから、影響要因として考慮する。

表 2.1.f.j-1 各評価項目に係る入力津波の影響要因として考慮する地形変化一覧

評価項目			入力津波の影響要因とする地形変化
津波高さ	水位上昇量	防潮堤前面	敷地地盤(陸域) 沈下(5.0m)
		3号炉取水口	敷地地盤(陸域) 沈下(5.0m) + 敷地前面海底地盤(海域) 沈下(2.0m) + 土捨場 (将来地形を反映した地形の崩壊)
		1号及び2号炉取水口	敷地前面海底地盤 (海域) 0.5m 堆積 + 地滑り地形①の崩壊
		放水口	土捨場 (将来地形を反映した地形の崩壊) + 敷地前面海底地盤 (海域) 0.5m 堆積
		1号及び2号炉取水ピットスクリーン室	地滑り地形①の崩壊 + 敷地前面海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘 + 敷地前面海底地盤(海域) 沈下(2.0m)
		3号炉放水ピット	敷地前面海底地盤(海域) 沈下(2.0m) + 地滑り地形①の崩壊 + 土捨場 (将来地形を反映した地形の崩壊)
	貯留堰を下回る時間		敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積
津波高さ以外	最大流速		敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘
	流況		—

※防波堤の損傷については、基準津波の策定段階で考慮済みである。

表 2.1.f.j-2 地震・津波による地形等の変化に係る評価まとめ(1/5)

敷地及び敷地周辺の地形・人工構造物		定性的評価			定量的評価
		遡上波到達の障壁	想定される地形変化	津波評価に与える影響	
敷地及び敷地周辺の特徴的な地形と標高	防潮堤端部の自然地山	○	—	—	防潮堤両端部の地山斜面の健全性を確認することで、入力津波設定の影響要因として考慮しない。
	敷地北側の斜面	×	地震による斜面崩壊	兜岬近傍海岸線付近に地滑り地形が存在するが、敷地から遠く防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与えないため、入力津波設定の影響要因として設定しない。	—
				斜面の標高の高い範囲に地滑り地形が見られるものの、海岸線から遠く、崩壊による地形変化が津波浸水範囲に影響を与えないため、入力津波設定の影響要因として設定しない。	
				発電所背後の地滑り地形が崩壊した場合、発電所近傍の基準津波による敷地近傍の浸水範囲内に地形変化が生じるため、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	
				発電所背後の地滑り地形が崩壊した場合、発電所近傍の基準津波による敷地近傍の浸水範囲内に地形変化が生じるため、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	
	発電所背後の斜面	×		【津波高さ】 1号及び2号炉取水口、1号及び2号炉排水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットにおける水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認されたことから、1号及び2号炉取水ピットの津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。 【津波高さ以外】 最大流速及び流況(流向・流速)に影響を与えないことが定量的に確認されたことから、津波高さ以外に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。	

表 2.1.f.j-2 地震・津波による地形等の変化に係る評価まとめ(2/5)

敷地及び敷地周辺の地形・人工構造物				定性的評価		定量的評価
			遡上波到達の障壁	想定される地形変化	津波評価に与える影響	
敷地及び敷地周辺の特微的な地形と標高	斜面	発電所背後の斜面	地滑り地形②	×	発電所背後の地滑り地形が崩壊した場合、発電所近傍の基準津波による敷地近傍の浸水範囲内に地形変化が生じるため、防潮堤前面・アクセスルート・シネル前面・茶津入構・トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	すべり安定性評価を実施し、斜面崩壊しないことを確認したため、入力津波設定の影響要因として考慮しない。
			地滑り地形③	×	発電所背後の地滑り地形が崩壊した場合、発電所近傍の基準津波による敷地近傍の浸水範囲内に地形変化が生じるため、防潮堤前面・アクセスルート・シネル前面・茶津入構・トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	【津波高さ】 水位上昇量及び滞留時間を下回る時間に影響を与えないことが定量的に確認されたことから、津波高さに係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。 【津波高さ以外】 最大流速及び流向・流速（流向・流速）に影響を与えないことが確認されたことから、津波高さ以外に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。

表 2.1.f.j-2 地震・津波による地形等の変化に係る評価まとめ(3/5)

敷地及び敷地周辺の地形・人工構造物	定性的評価			定量的評価
	遡上波到達の障壁	想定される地形変化	津波評価に与える影響	
沢地形、河川・水路、岩内平野(湖沼含む)	×	河川流路の変化	敷地周辺の茶津川は敷地と標高約50m以上の尾根、堀株川(支川の太工川及び発足川含む。)は敷地と標高約100mの山(丘陵)で隔てられているため、それらを経由した津波の敷地への回り込みはないため、入力津波設定の影響要因として設定しない。	—
土捨場	×	地形改変及び地震による崩壊	土捨場は、地形改変を伴う将来計画があり、さらに、基準地震動により斜面崩壊する可能性があることから、将来計画を反映した地形及び基準地震動による斜面崩壊を考慮した地形による入力津波への影響を評価する。	【津波高さ】 土捨場の斜面崩壊を考慮した場合、3号炉取水口、放水口及び3号炉放水ピットにおける水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認されたことから、 <u>3号炉取水口、放水口及び3号炉放水ピットの津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。</u> 【津波高さ以外】 最大流速及び流況(流向・流速)に影響を与えないことが確認されたことから、津波高さ以外に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。
敷地地盤(陸域) [※] ※茶津入構トンネル前面エリア含む	×	地震による地盤変状	敷地地盤の地盤変状により、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	【津波高さ】 敷地地盤(陸域)の沈下は、防潮堤前面及び3号炉取水口における水位上昇量に与える影響が大きく、その影響は3.5m沈下よりも5.0m沈下の方が大きいことが定量的に確認されたことから、 <u>防潮堤前面及び3号炉取水口の津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。</u> 【津波高さ以外】 最大流速及び流況(流向・流速)に影響を与えないことが確認されたことから、津波高さ以外に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。
敷地及び敷地周辺の特徴的な地形と標高	×	洗掘・堆積	敷地については、津波による洗掘が生じないよう、文献 [※] に基づき、流速8m/s以下の範囲には厚さ10cmのアスファルト、流速8m/sより大きい範囲には厚さ50cmのコングリートで地表面を舗装することから、洗掘・堆積は入力津波設定の影響要因として設定しない。 ※添付3-参考資料6参照	—

表 2.1.f.j-2 地震・津波による地形等の変化に係る評価まとめ(4/5)

敷地及び敷地周辺の地形・人工構造物	定性的評価			定量的評価
	遡上波到達の障壁	想定される地形変化	津波評価に与える影響	
敷地沿岸域の海底地形 敷地前面海底地盤(海域)	×	地震による地盤変状	敷地前面海底地盤の地盤変状により、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。水深が深くなると津波水位は低下する可能性があるが、津波水位への影響は海底面の沈下を考慮しない方が保守的と考えられるものの、取水性に関して入力津波への影響が否定できない。	【津波高さ】 3号炉取水口、1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットにおける水位上昇量に影響を与え、定量的に確認されたことから、3号炉取水口、1号及び2号炉取水ピットスクリーン室並びに3号炉放水ピットの津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。 【津波高さ以外】 最大流速及び流況(流向・流速)に影響を与えないことが確認されたことから、津波高さ以外に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。
	×	洗掘・堆積	繰り返し来襲する津波による洗掘・堆積に伴う海域の地形変化により、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	○洗掘 【津波高さ】 1号及び2号炉取水ピットスクリーン室における水位上昇量に影響を与えることが定量的に確認されたことから、1号及び2号炉取水ピットスクリーン室の津波高さ(水位上昇側)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。 【津波高さ以外】 最大流速に影響を与えることが定量的に確認されたことから、津波高さ以外(最大流速)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。 ○堆積 【津波高さ】 1号及び2号炉取水口並びに放水口における水位上昇量に加え、3号炉取水口における貯留水を下回る時間に影響を与えることが定量的に確認されたことから、1号及び2号炉取水口並びに放水口の津波高さ(水位上昇側)に加え、3号炉取水口の津波高さ(水位下降側)に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮する。 【津波高さ以外】 最大流速及び流況(流向・流速)に影響を与えないことが確認されたことから、津波高さ以外に係る入力津波を設定する際の影響要因として考慮しない。

表 2.1.f.j-2 地震・津波による地形等の変化に係る評価まとめ (5/5)

敷地及び敷地周辺の地形・人工構造物		定性的評価			定量的評価
		遡上波到達の障壁	想定される地形変化	津波評価に与える影響	
伝播経路上の人工構造物	専用港	×		防波堤の損傷により、敷地へ進行する津波の流れを遮り、方向を変えることから、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波の最高水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	基準津波策定の際に影響を与えることが判明しているため、入力津波設定の影響要因として考慮する。
		×	地震による損傷	護岸の損傷により、敷地へ進行する津波の流れを遮り、方向を変えることから、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波の最高水位及び流向・流速に影響を与える可能性がある。	
敷地周辺	敷地周辺の防波堤・護岸	×		敷地へ進行する津波の流れを遮り、方向を変える可能性は小さいことから、防潮堤前面・アクセスルートトンネル前面・茶津入構トンネル前面の津波の最高水位及び流向・流速に影響を与えないため、入力津波設定の影響要因として設定しない。	—
	離岸堤・突堤(透過性) 定置網・養殖施設等(透過性)	×		透過性を有しており、津波の挙動を変化させる効果は小さいため、入力津波設定の影響要因として設定しない。	—

(2) 敷地周辺の遡上経路上の河川、水路の堤防等崩壊による流路の変化

敷地周辺の河川として、敷地北側の茶津川は敷地と標高約 50m 以上の尾根で隔てられており、また、敷地東側の堀株川は敷地から 1 km 以上離れており、さらに、敷地と標高約 100m の山（丘陵）で隔てられているため、それらを経由した津波の敷地への回り込みはない。

なお、河川、水路と敷地との障壁となっている防潮堤両端部（茶津側及び堀株側）の地山については 2. (1) a. (a) ～ (f) で基準地震動・基準津波に対する安定性を確認している。

(3) 基準地震動等による被害想定に基づく地形変化・標高変化

「2. (1) a. 敷地周辺斜面の崩壊に関する検討」, 「2. (1) b. 地滑り地形の崩壊に関する検討」, 「2. (1) c. 敷地の地盤変状に関する検討」で基準地震動等による被害想定に基づく地形変化・標高変化を想定し、その想定される地形変化・標高変化を考慮した初期地形により遡上解析を実施している。

(4) 地震等による地盤変状、斜面崩落等の評価手法及び条件並びに評価結果

「2. (1) a. 敷地周辺斜面の崩壊に関する検討」, 「2. (1) b. 地滑り地形の崩壊に関する検討」, 「2. (1) c. 敷地の地盤変状に関する検討」で基準地震動等による被害想定に基づく地盤変状、斜面崩落等の評価を実施しており、その手法、データ及び条件並びに評価結果を示している。

表 2.2.1 (1) データ集目次 地形変化 (単独) を考慮した津波解析 (1/2)

地形変化	平面二次元解析結果 上段：最大水位上昇量分布・水位時刻歴波形 中段：最大水位下降量分布・水位時刻歴波形・ 貯留堰を下回る時間 下段：最大流速分布	管路解析結果	備考
地滑り地形①の崩壊	図 2.1. b. c-1 (1) ～ (28) 図 2.1. b. c-1 (29) ～ (40) 図 2.1. b. c-1 (41) ～ (60)	図 2.1. b. c-1 (61) ～ (68)	—
地滑り地形③の崩壊	図 2.1. b. c-2 (1) ～ (28) 図 2.1. b. c-2 (29) ～ (40) 図 2.1. b. c-2 (41) ～ (60)	図 2.1. b. c-2 (61) ～ (68)	—
敷地地盤 (陸域) 5.0m 沈下	図 2.1. c. b-24 (1) ～ (28) 図 2.1. c. b-24 (29) ～ (40) 図 2.1. c. b-24 (41) ～ (60)	図 2.1. c. b-24 (61) ～ (68)	—
敷地前面海底地盤 (海域) 2.0m 沈下	図 2.1. c. c-6 (1) ～ (28) 図 2.1. c. c-6 (29) ～ (40) 図 2.1. c. c-6 (41) ～ (60)	図 2.1. c. c-6 (61) ～ (68)	—
敷地前面海底地盤 (海域) 0.5m 洗掘	図 2.1. c. d-4 (1) ～ (28) 図 2.1. c. d-4 (29) ～ (40) 図 2.1. c. d-4 (41) ～ (60)	図 2.1. c. d-4 (61) ～ (68)	敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積 厚分布は図 2.1. c. d-3 (1) ～ 図 2.1. c. d-3 (5)

表 2.2.1 (2) データ集目次 地形変化 (単独) を考慮した津波解析 (2/2)

地形変化	平面二次元解析結果 上段：最大水位上昇量分布・水位時刻歴波形 中段：最大水位下降量分布・水位時刻歴波形・ 貯留堰を下回る時間 下段：最大流速分布	管路解析結果	備考
敷地前面海底地盤(海域)0.5m 堆積	図 2.1.c.d-5 (1) ～ (28) 図 2.1.c.d-5 (29) ～ (40) 図 2.1.c.d-5 (41) ～ (60)	図 2.1.c.d-5 (61) ～ (68)	敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積 厚分布は図 2.1.c.d-3 (1) ～ 図 2.1.c.d-3 (5)
防波堤	(最大水位上昇量分布) 図 2.1.d.a-1 (1) ～ (8) (最大水位下降量分布) 図 2.1.d.a-1 (9) ～ (12) (発電所沖合の流況) 図 2.1.d.a-2 (1) ～ (12) (港湾内及び港湾外の流況) 図 2.1.d.a-3 (1) ～ (12)	—	最大水位上昇量分布及び流況を示す
土捨場(将来計画反映)	図 2.1.e.d-1 (1) ～ (28) 図 2.1.e.d-1 (29) ～ (40) 図 2.1.e.d-1 (41) ～ (60)	図 2.1.e.d-1 (61) ～ (68)	—
土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)	図 2.1.e.d-2 (1) ～ (28) 図 2.1.e.d-2 (29) ～ (40) 図 2.1.e.d-2 (41) ～ (60)	図 2.1.e.d-2 (61) ～ (68)	—

表 2.2.2 (1) データ集目次 地形変化 (組合せ) を考慮した津波解析 (1 / 2)

評価項目	平面二次元解析結果 上段：最大水位上昇量分布・水位時刻歴波形 下段：最大流速分布	管路解析結果	組合せケース
防潮堤前面における水位上昇量	図 2.1.f.a-1 (1) ～ (8) 図 2.1.f.a-1 (9) ～ (12)	—	- 敷地地盤(陸域) 5.0m 沈下 - 敷地前面海底地盤(海域) 0.5m 堆積
3号炉取水口における水位上昇量	図 2.1.f.b-1 (1) ～ (8) 図 2.1.f.b-1 (9) ～ (12) 図 2.1.f.b-1 (13) ～ (20) 図 2.1.f.b-1 (21) ～ (24)	—	- 敷地地盤(陸域) 5.0m 沈下 - 敷地前面海底地盤(海域) 2.0m 沈下 - 敷地地盤(陸域) 5.0m 沈下 - 敷地前面海底地盤(海域) 2.0m 沈下 - 土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)
1号及び2号炉取水口における水位上昇量	図 2.1.f.c-1 (1) ～ (8) 図 2.1.f.c-1 (9) ～ (12) 図 2.1.f.c-1 (13) ～ (20) 図 2.1.f.c-1 (21) ～ (24)	—	- 敷地前面海底地盤(海域) 0.5m 堆積 - 地滑り地形①の崩壊 - 敷地前面海底地盤(海域) 0.5m 堆積 - 地滑り地形①の崩壊 - 敷地地盤(陸域) 5.0m 沈下
放水口における水位上昇量	図 2.1.f.d-1 (1) ～ (8) 図 2.1.f.d-1 (9) ～ (12)	—	- 土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) - 敷地前面海底地盤(海域) 0.5m 堆積

表 2.2.2 (2) データ集目次 地形変化 (組合せ) を考慮した津波解析 (2 / 2)

評価項目	平面二次元解析結果 上段：最大水位上昇量分布・水位時刻歴波形 下段：最大流速分布	管路解析結果	組合せケース
1号及び2号炉取水ピットスクリー ン室における水位上昇量	—	図 2.1.f.e-1 (1) ～ (4)	・地滑り地形①の崩壊 ・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘
	—	図 2.1.f.e-1 (5) ～ (8)	・地滑り地形①の崩壊 ・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下
	—	図 2.1.f.e-1 (9) ～ (12)	・地滑り地形①の崩壊 ・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘 ・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下
	—	図 2.1.f.f-1 (1) ～ (4)	・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下 ・地滑り地形①の崩壊
3号炉放水ピットにおける水位上昇 量	—	図 2.1.f.f-1 (5) ～ (8)	・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下 ・地滑り地形①の崩壊 ・土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊)
	—	図 2.1.f.f-1 (9) ～ (12)	・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下 ・地滑り地形①の崩壊 ・土捨場(将来計画反映後の斜面崩壊) ・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘
	—	—	・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘 ・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下
	図 2.1.f.h-1 (1)	—	・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘 ・敷地前面海底地盤(海域)2.0m 沈下
最大流速	—	—	・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘 ・地滑り地形①の崩壊
	図 2.1.f.h-1 (2)	—	・敷地前面海底地盤(海域)0.5m 洗掘 ・地滑り地形①の崩壊

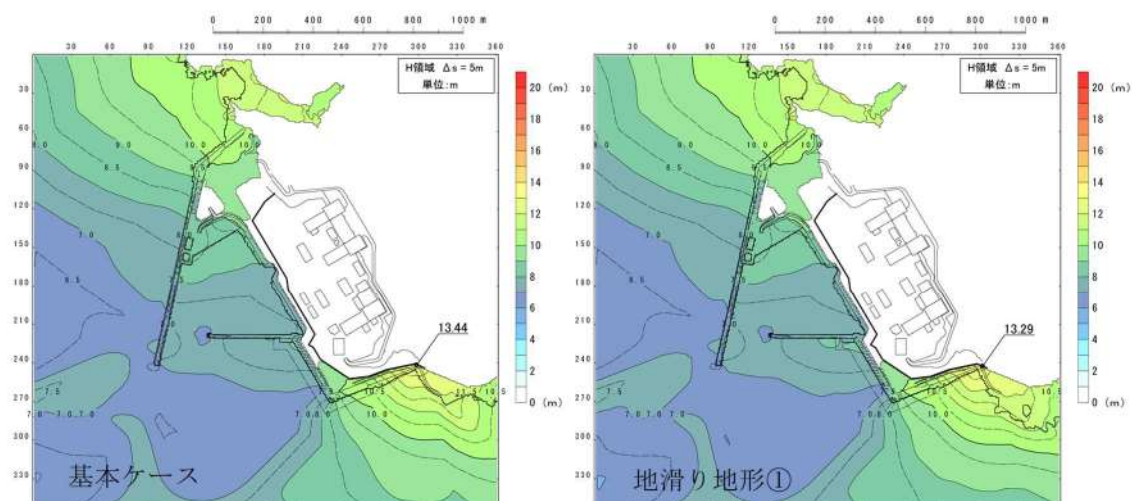


図 2.1.b.c-1 (1) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波A（防波堤損傷なし））

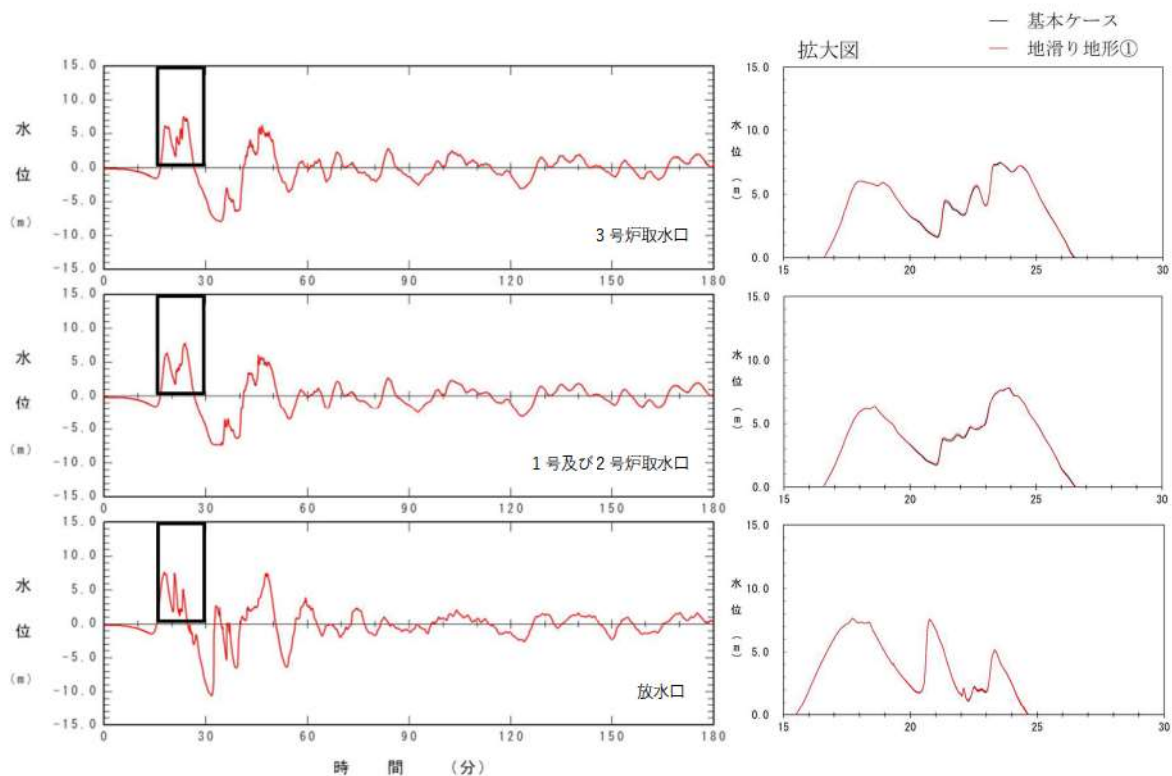


図 2.1.b.c-1 (2) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波A（防波堤損傷なし））

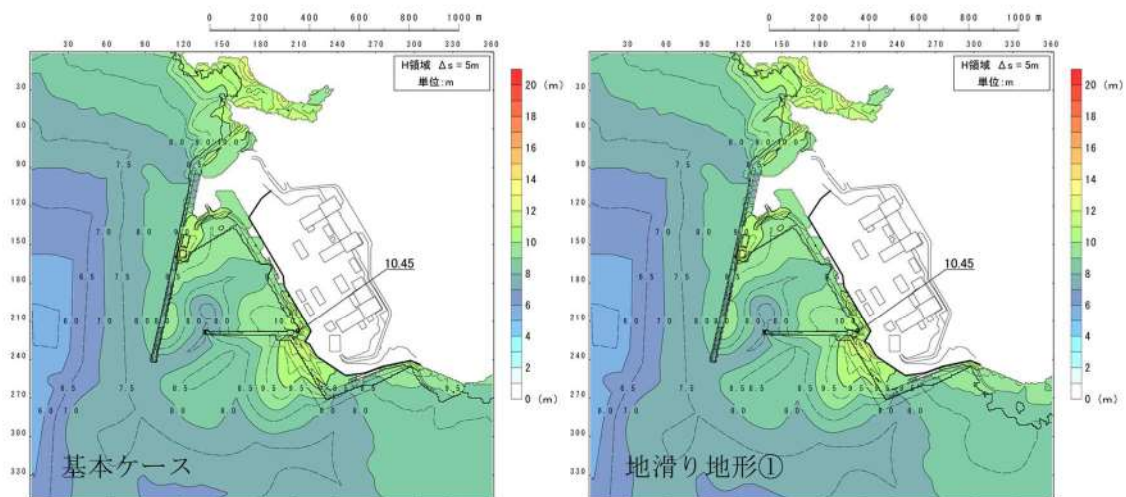


図 2. 1. b. c-1 (3) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

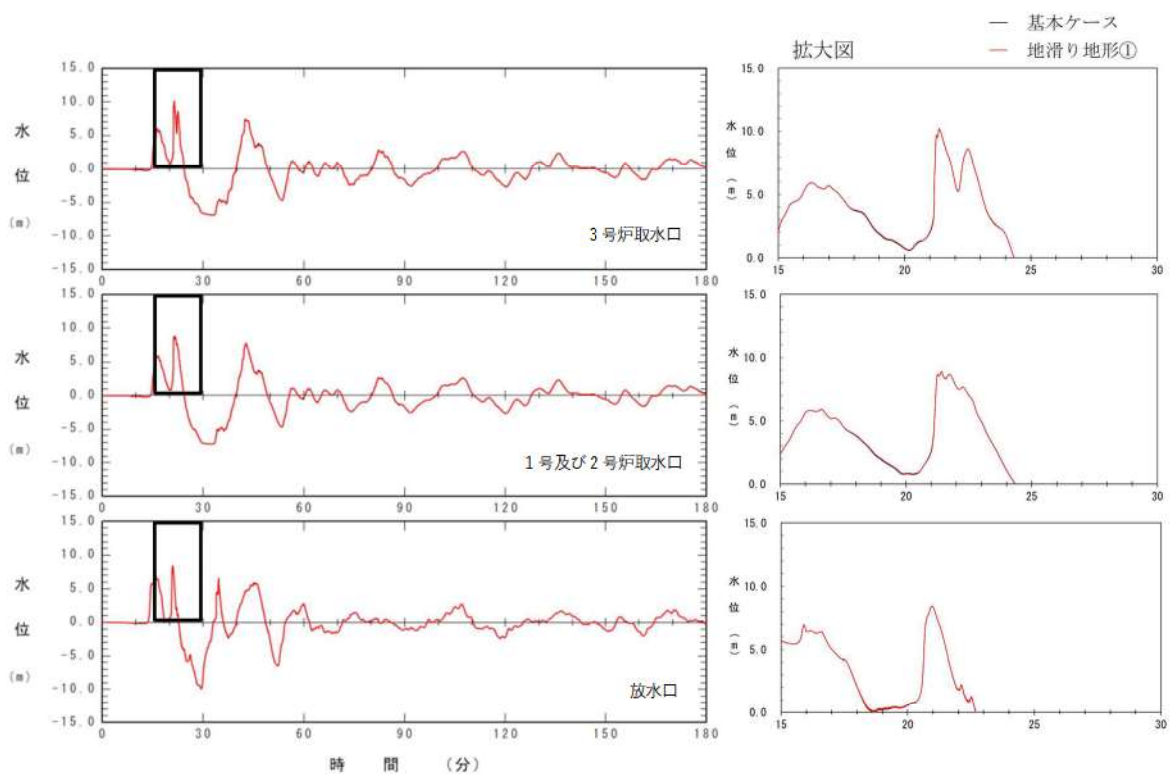


図 2. 1. b. c-1 (4) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

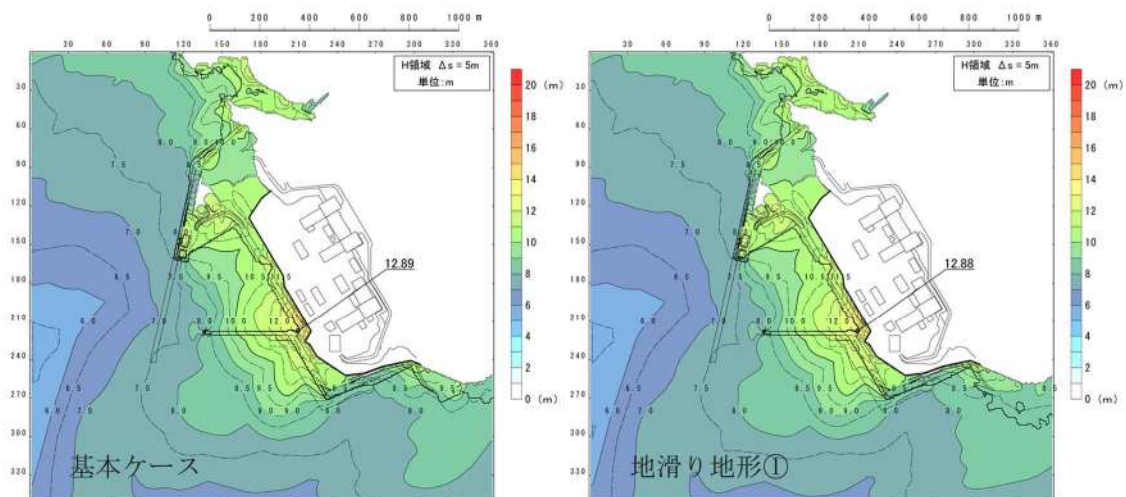


図 2.1.b.c-1 (5) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

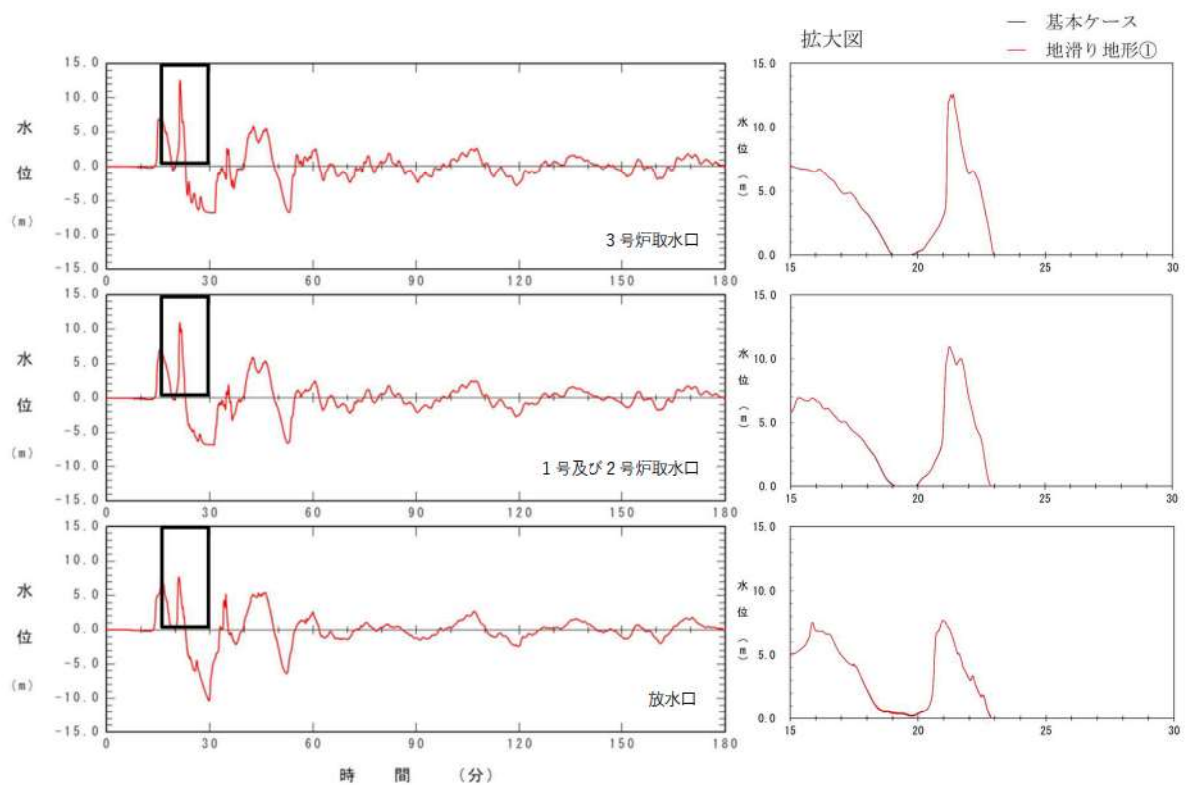


図 2.1.b.c-1 (6) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

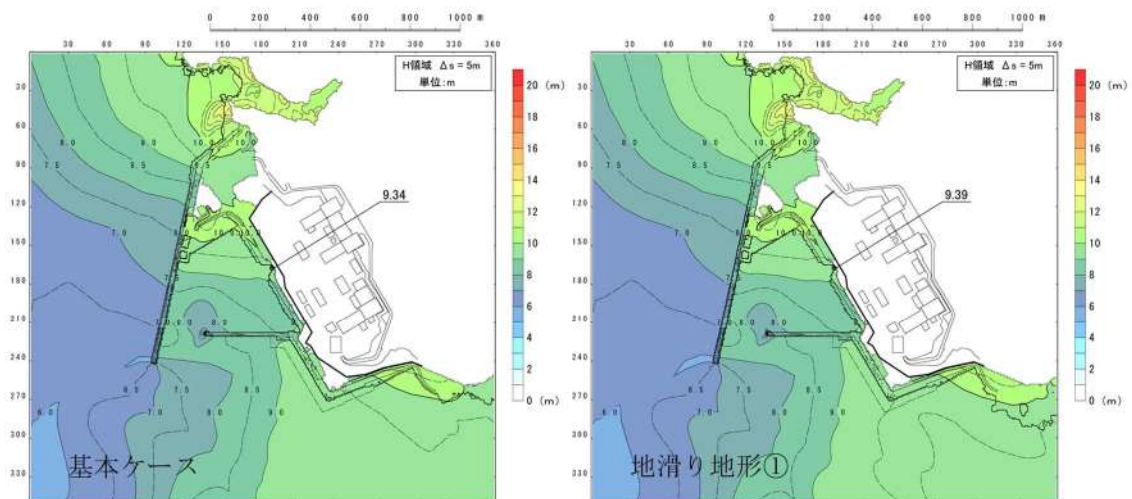


図 2. 1. b. c-1 (7) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

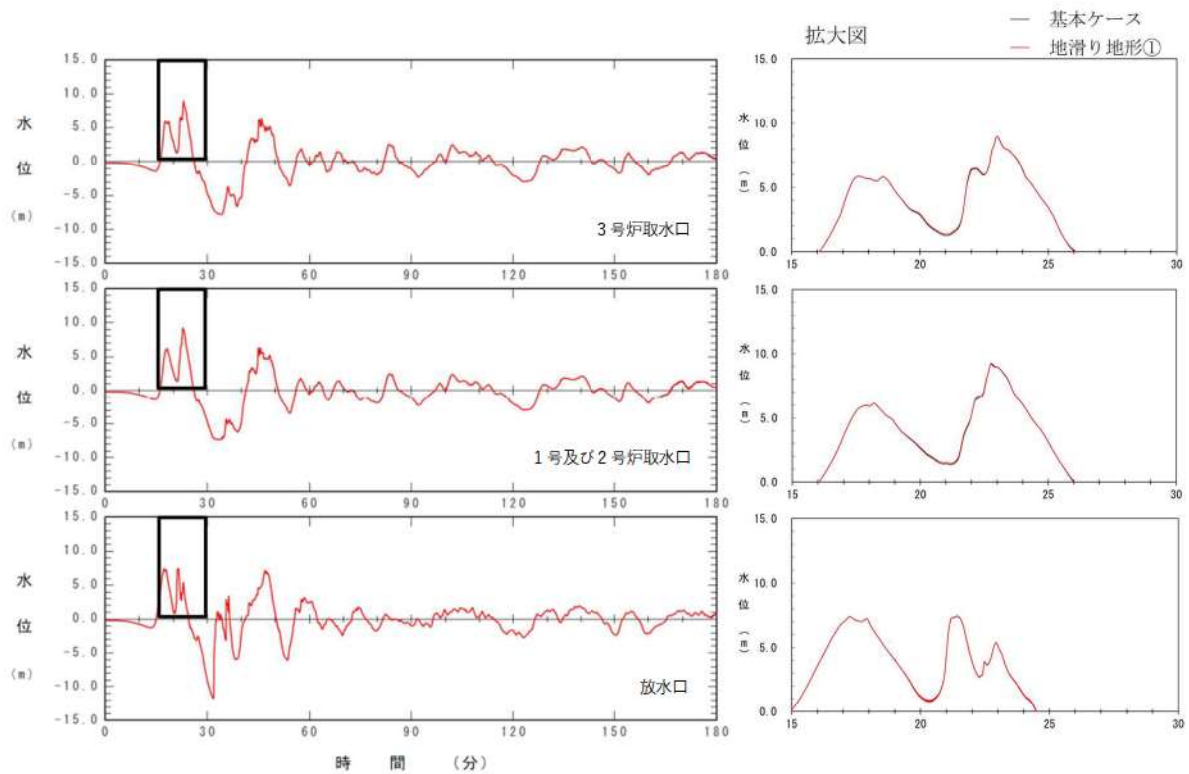


図 2. 1. b. c-1 (8) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

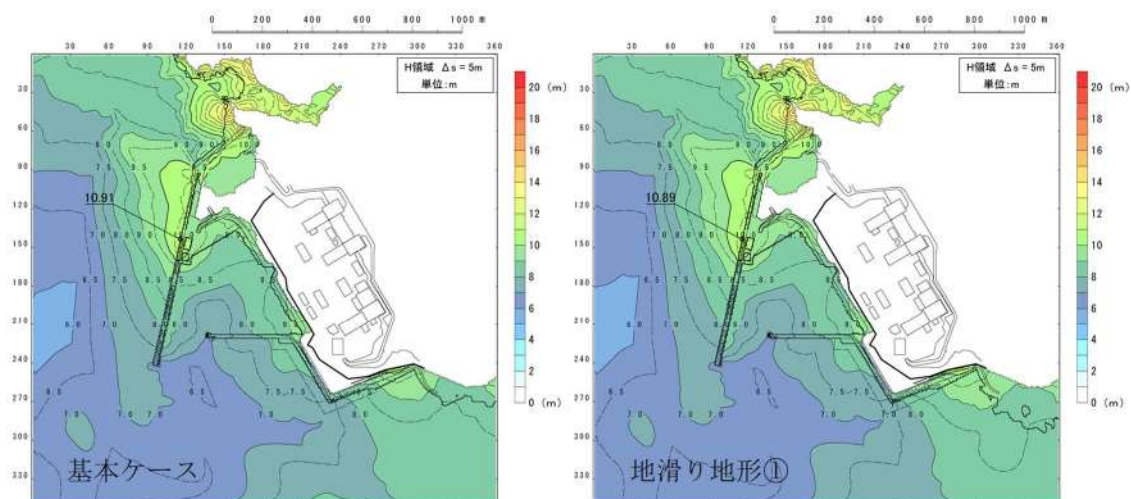


図 2.1.b.c-1 (9) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

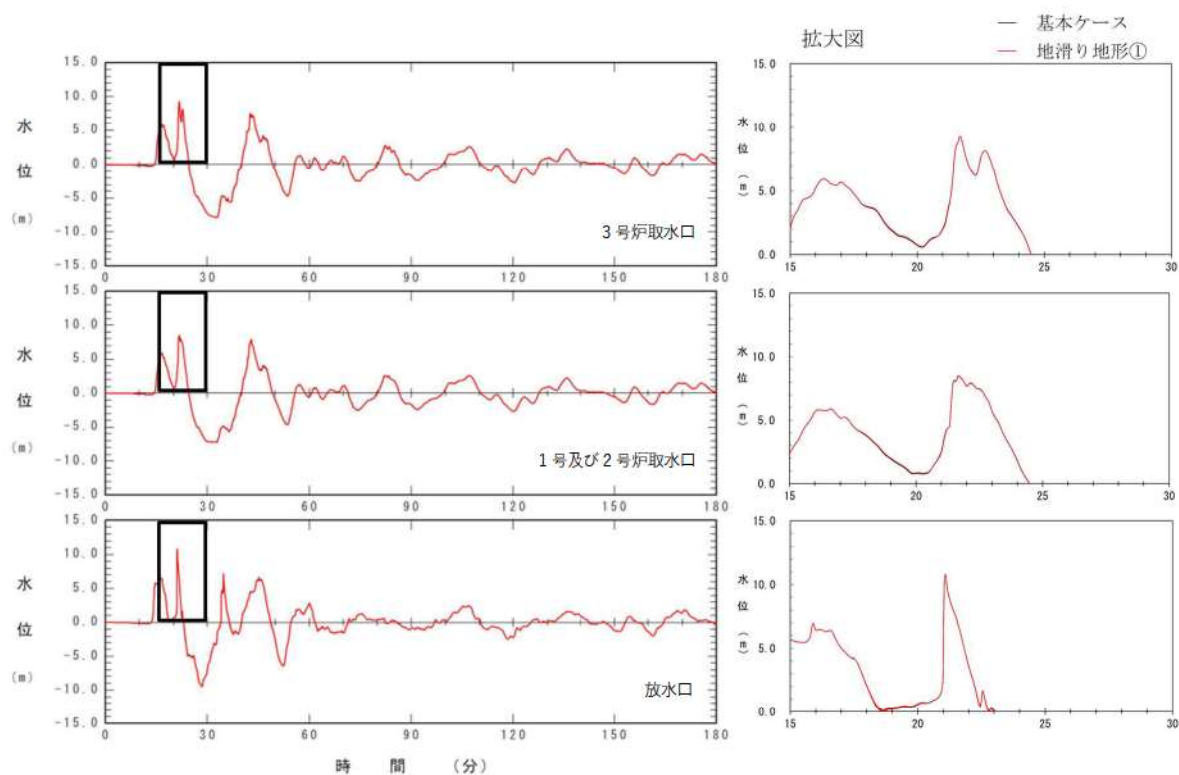


図 2.1.b.c-1 (10) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

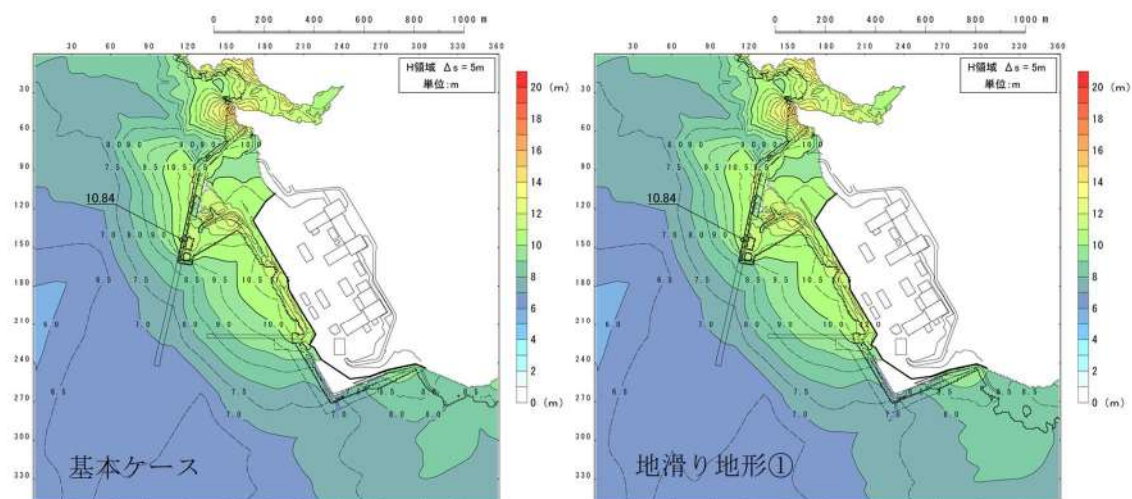


図 2.1.b.c-1 (11) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

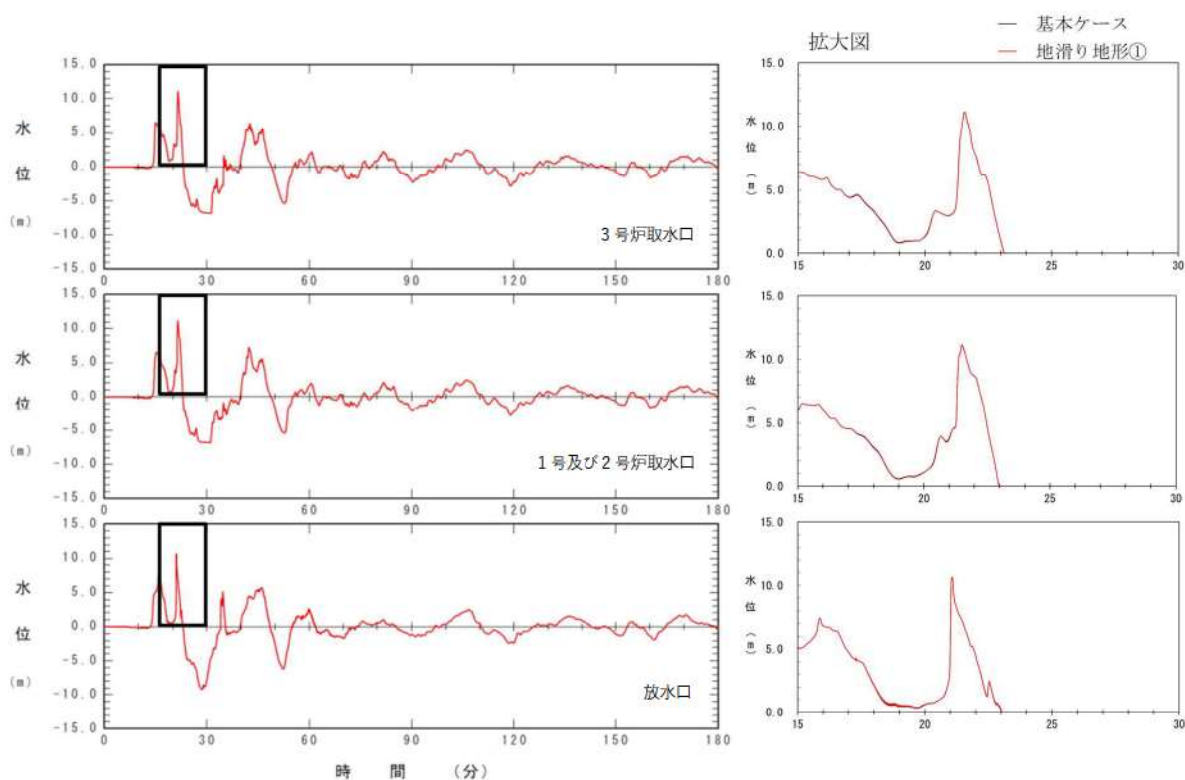


図 2.1.b.c-1 (12) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

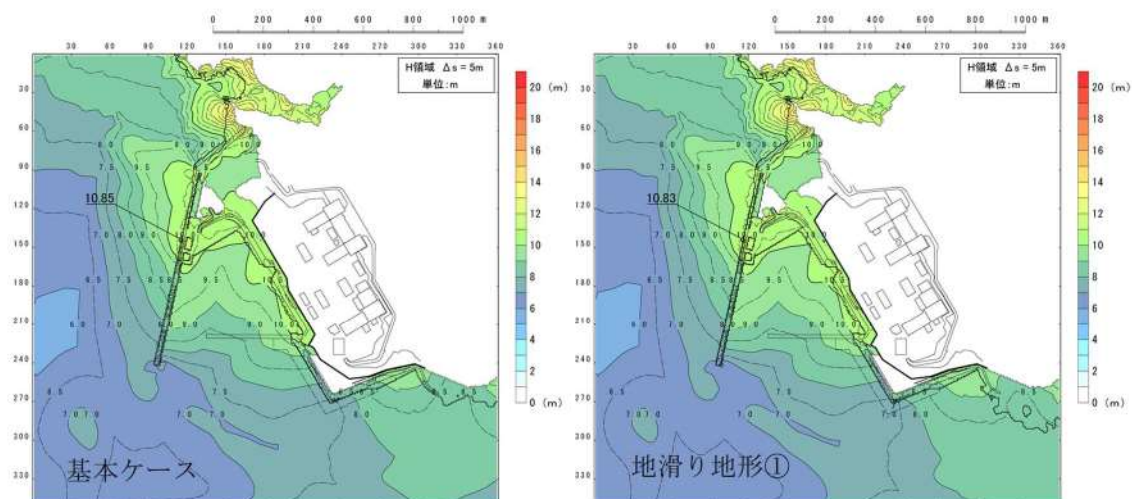


図 2.1.b.c-1 (13) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

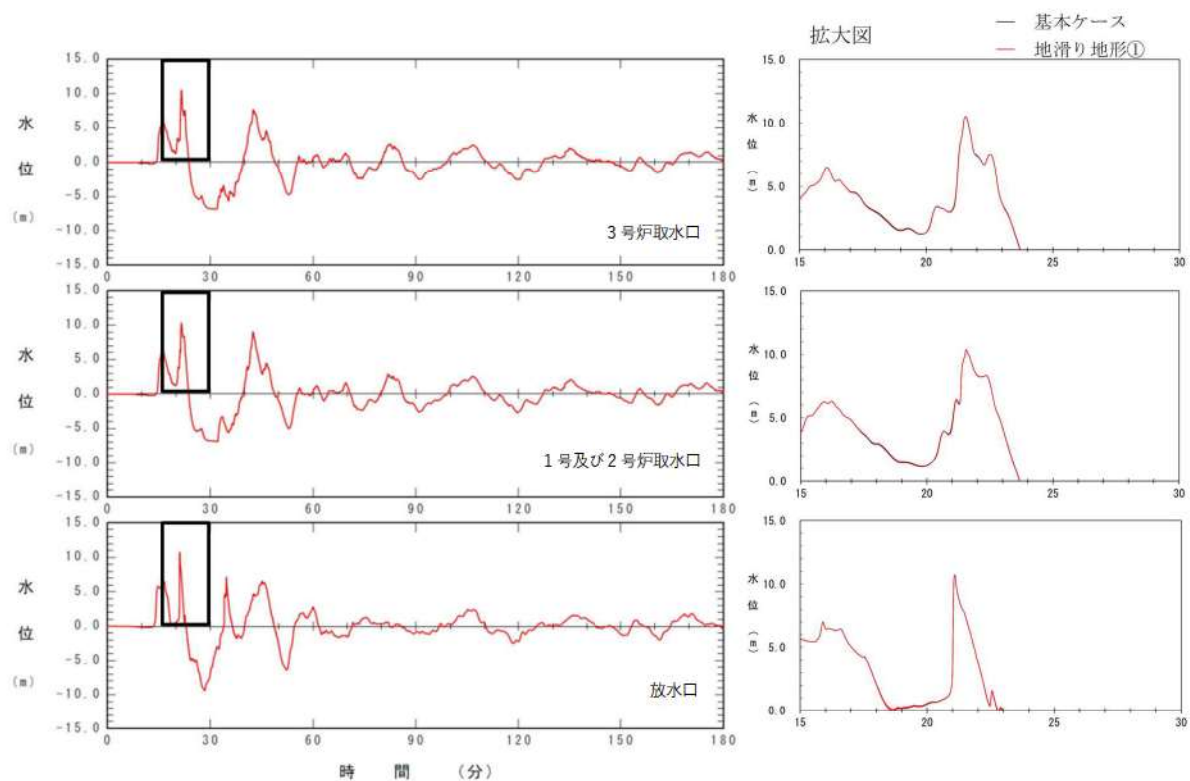


図 2.1.b.c-1 (14) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

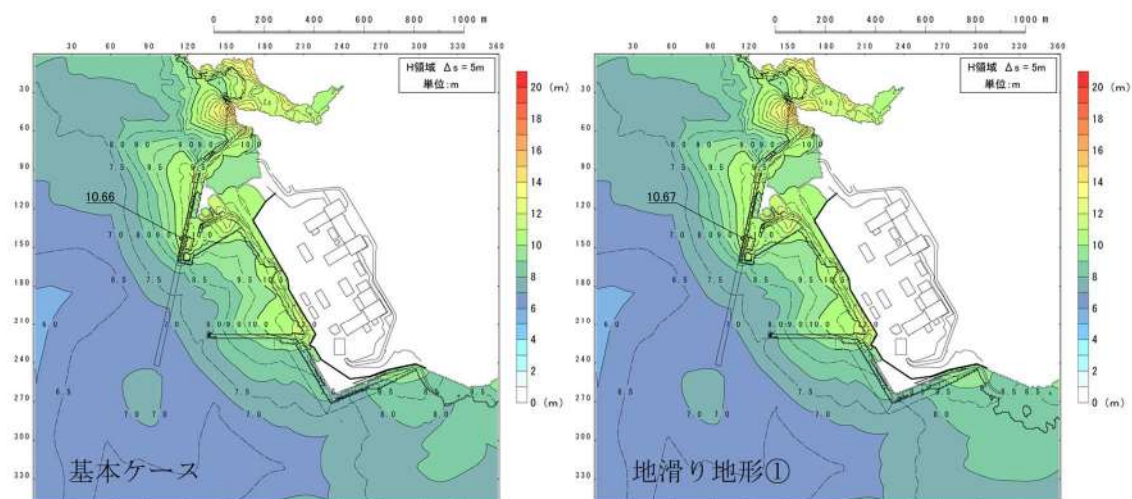


図 2.1.b.c-1 (15) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

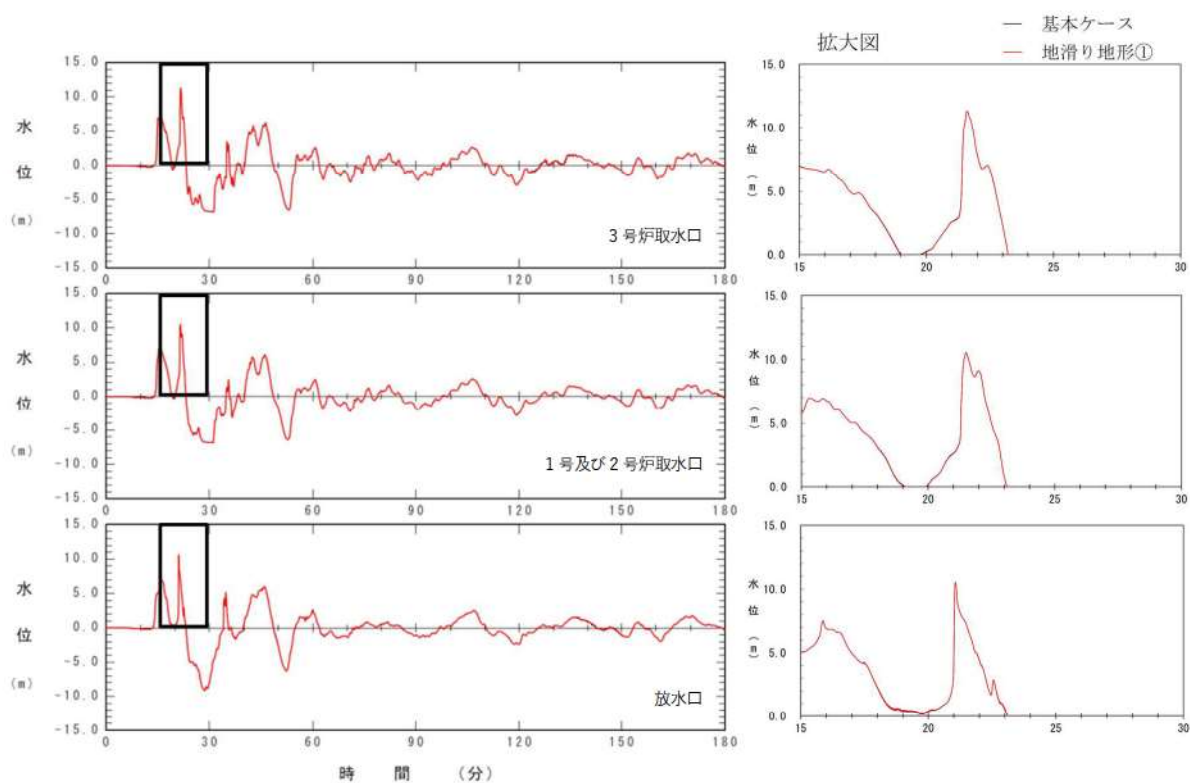


図 2.1.b.c-1 (16) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

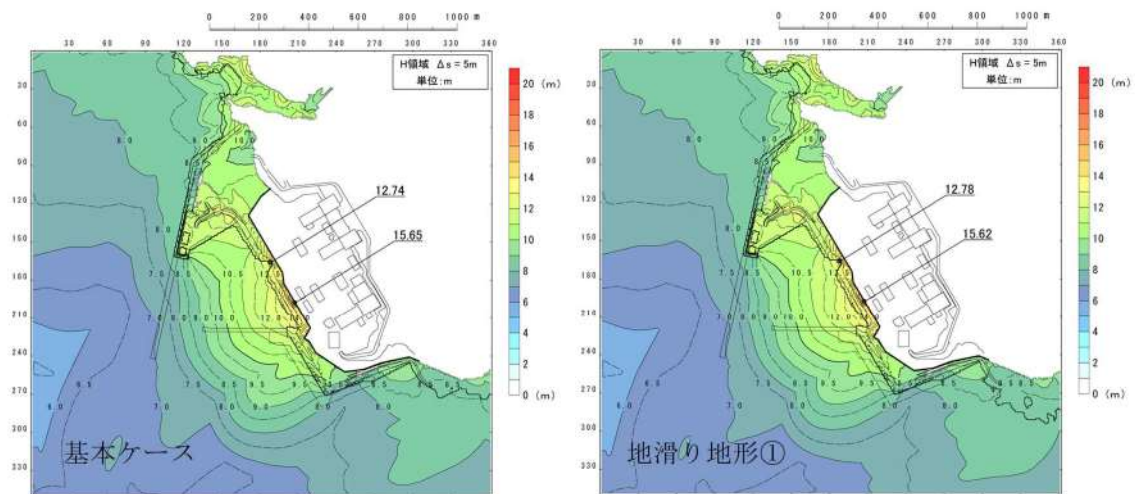


図 2.1.b.c-1 (17) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

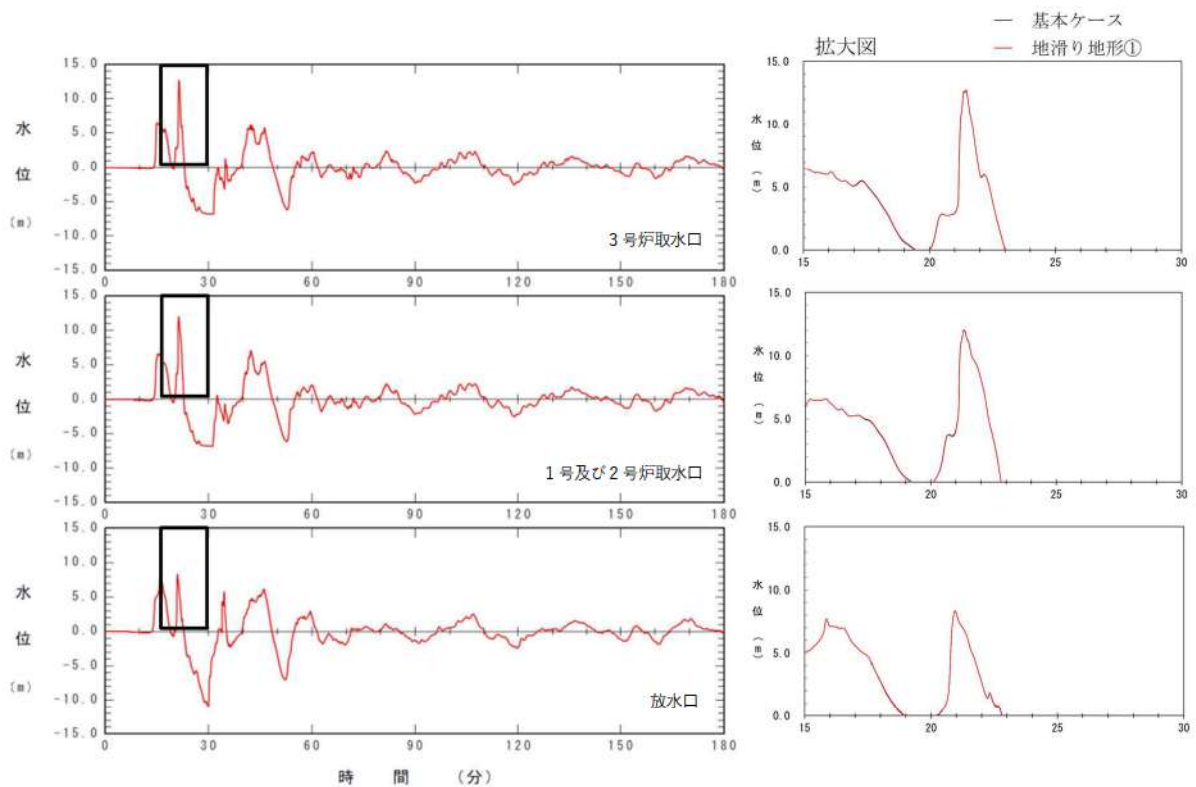


図 2.1.b.c-1 (18) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

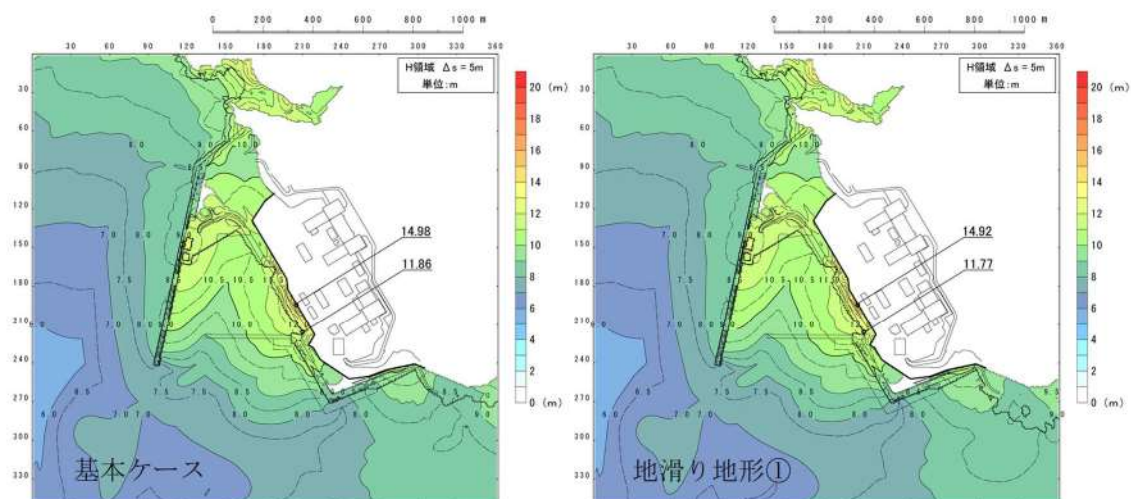


図 2.1.b.c-1 (19) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

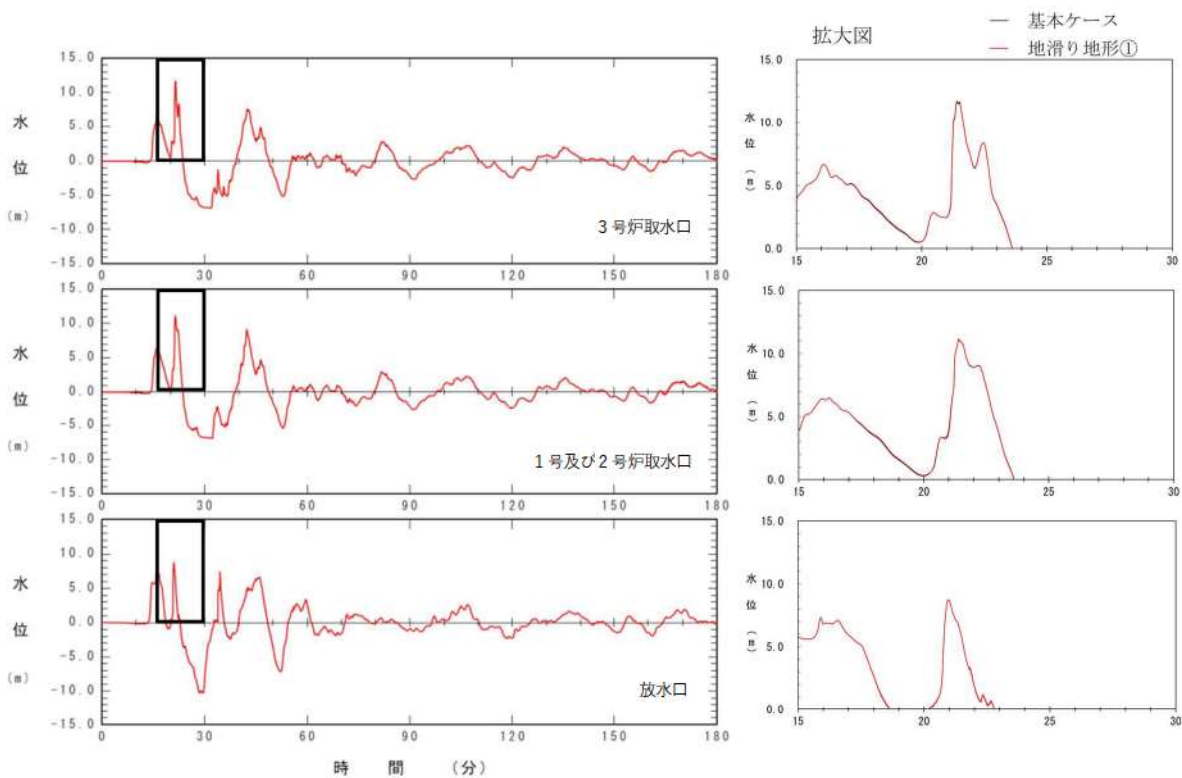


図 2.1.b.c-1 (20) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

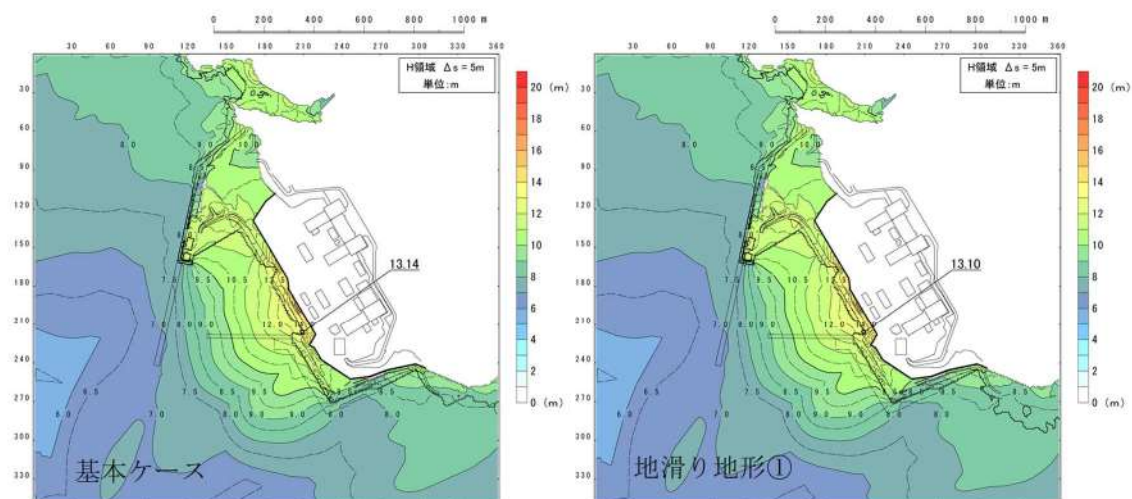


図 2.1.b.c-1 (21) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

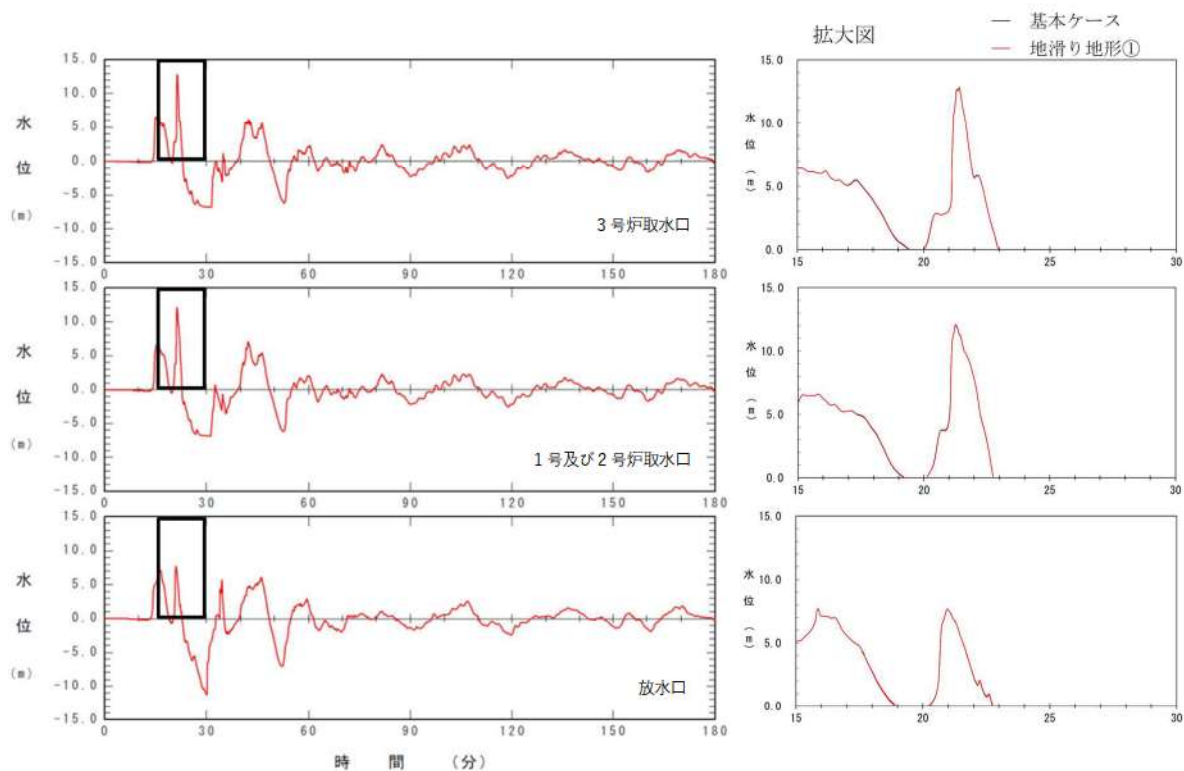


図 2.1.b.c-1 (22) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

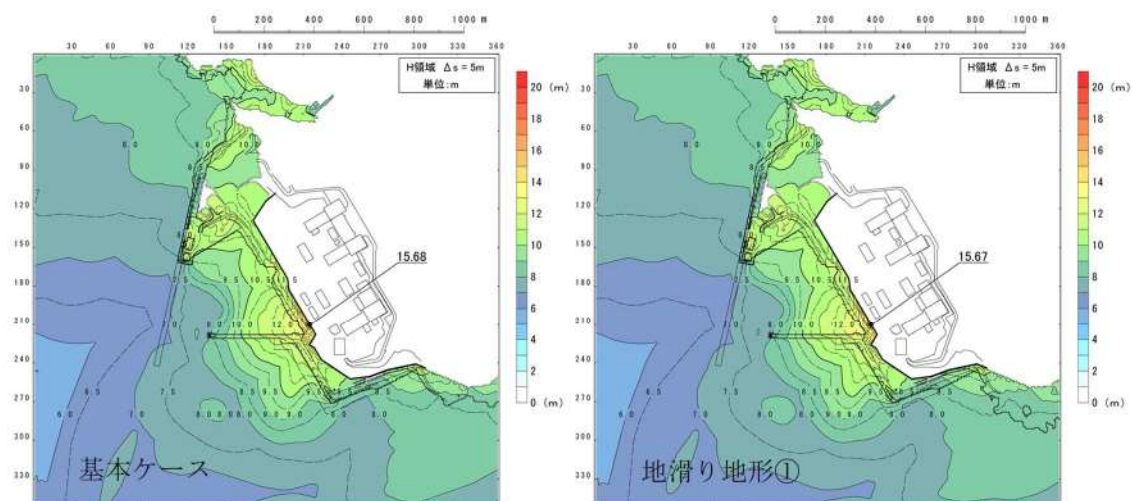


図 2.1.b.c-1 (23) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

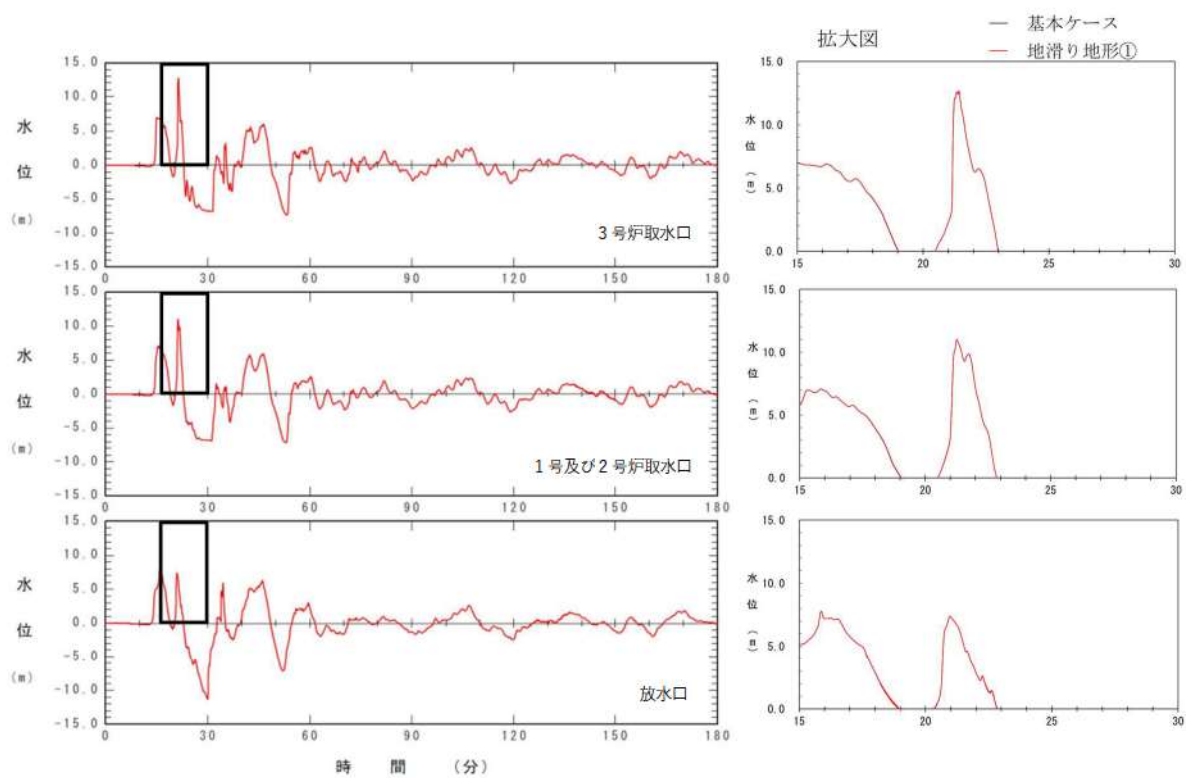


図 2.1.b.c-1 (24) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

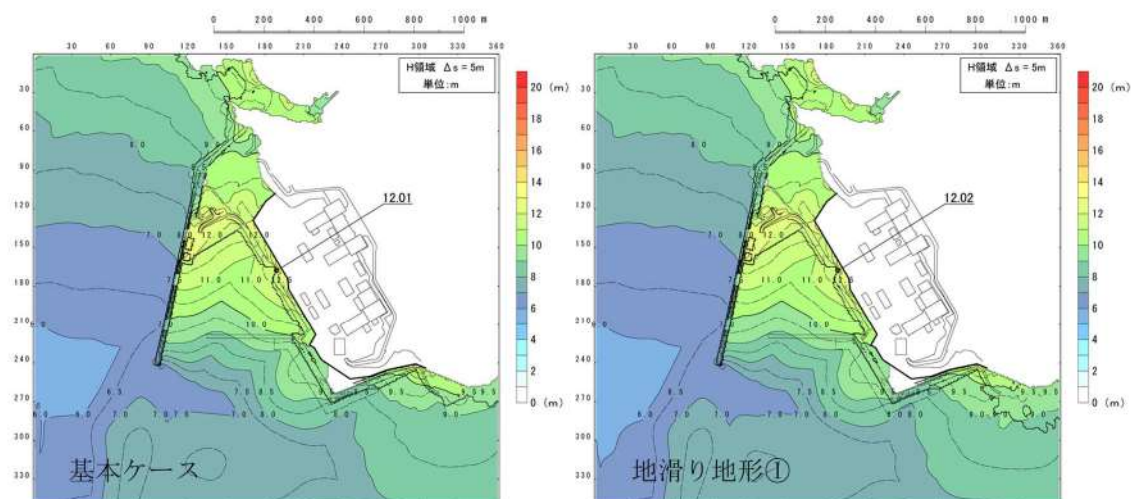


図 2.1.b.c-1 (25) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

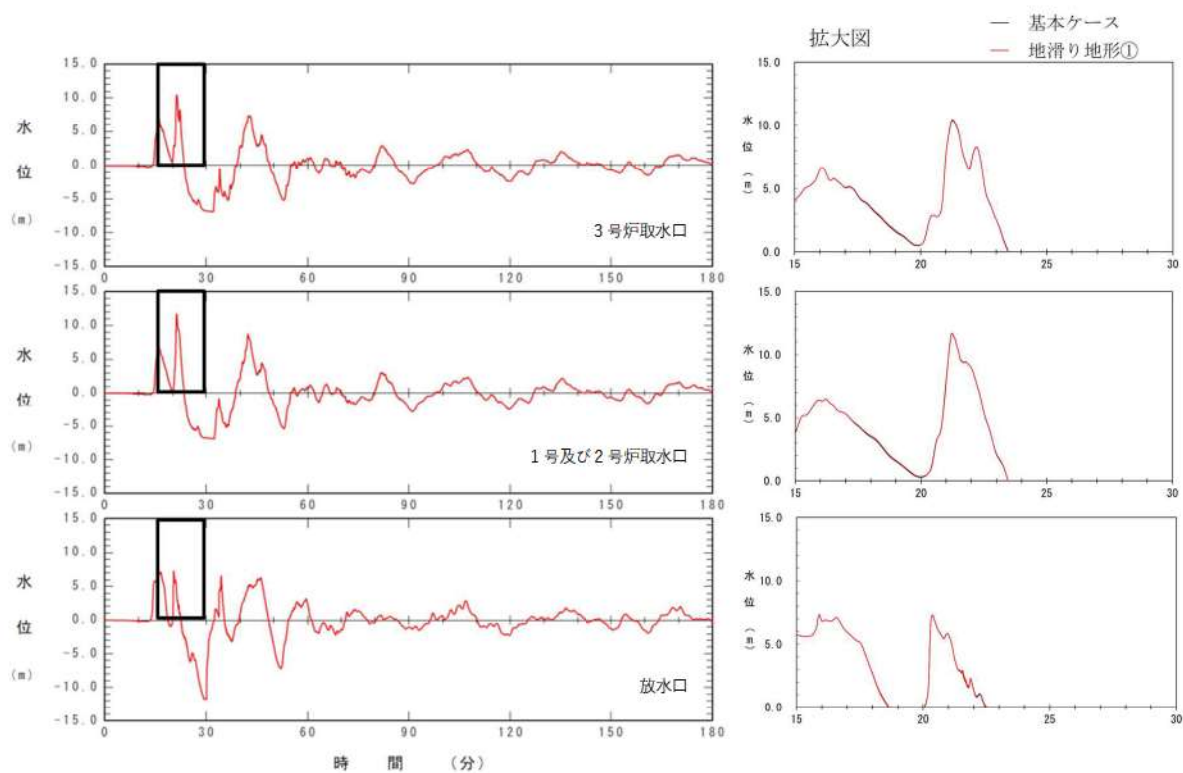


図 2.1.b.c-1 (26) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

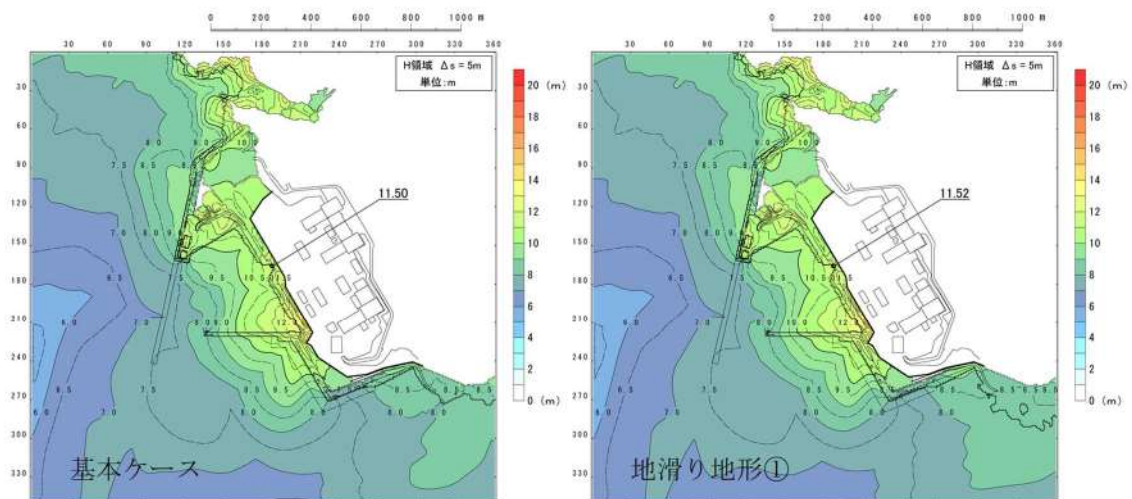


図 2.1.b.c-1 (27) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

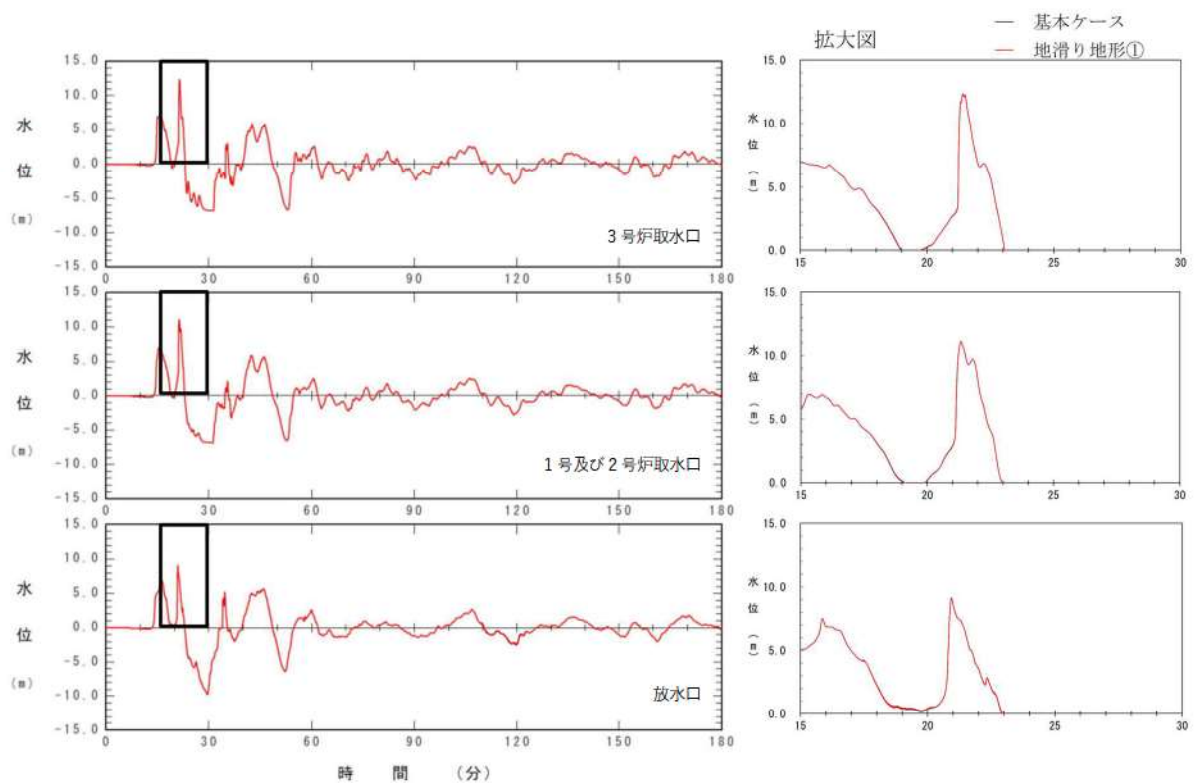


図 2.1.b.c-1 (28) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

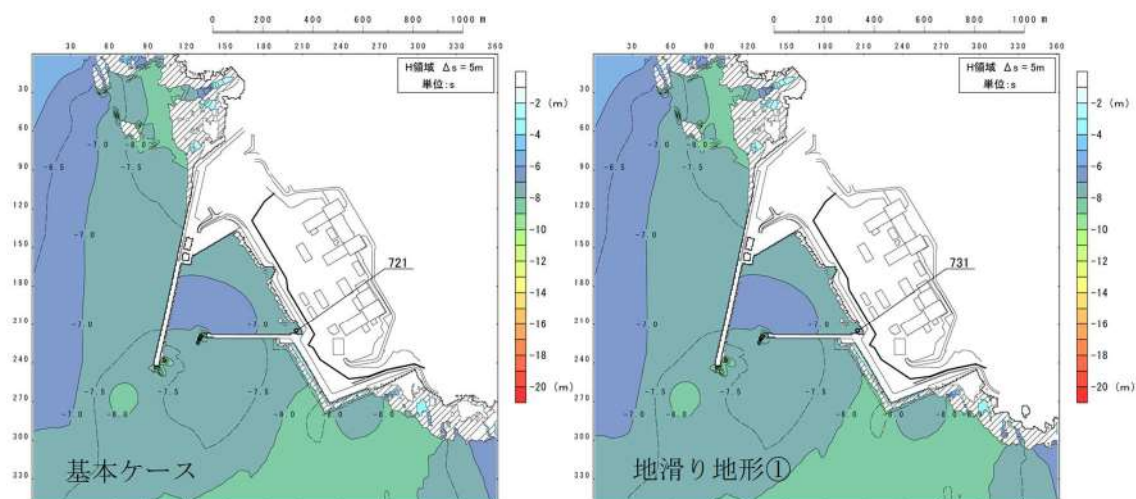


図 2.1.b.c-1 (29) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

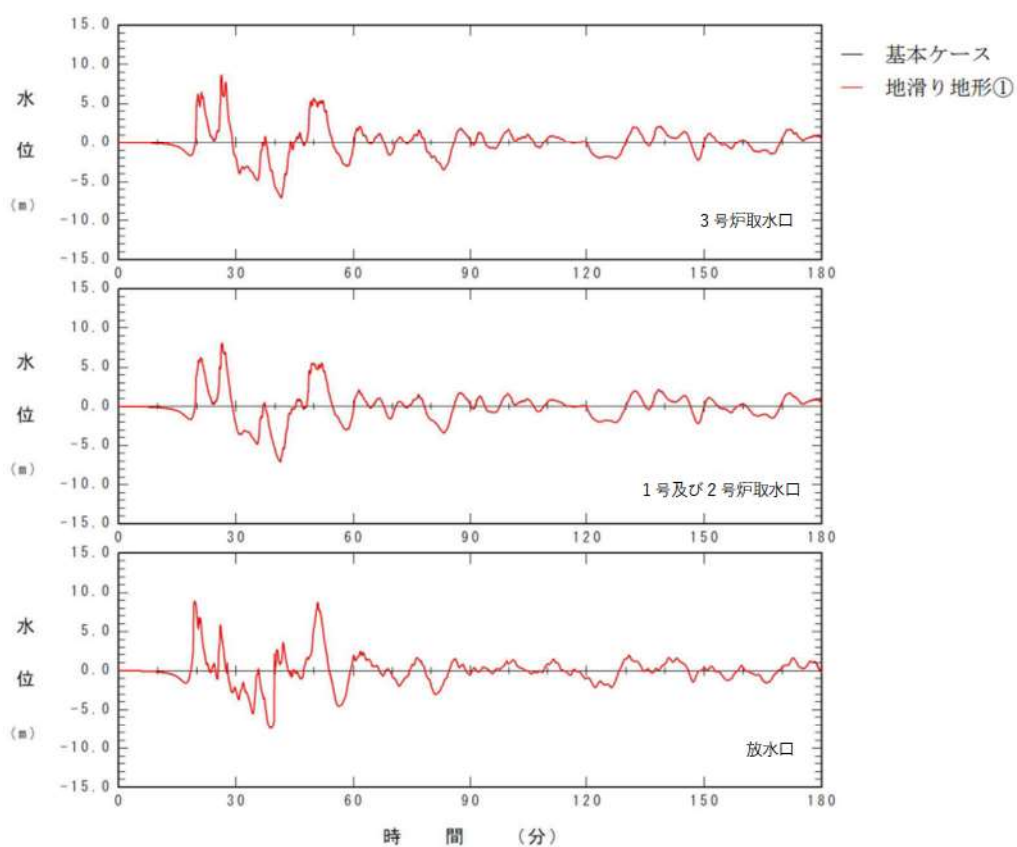


図 2.1.b.c-1 (30) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

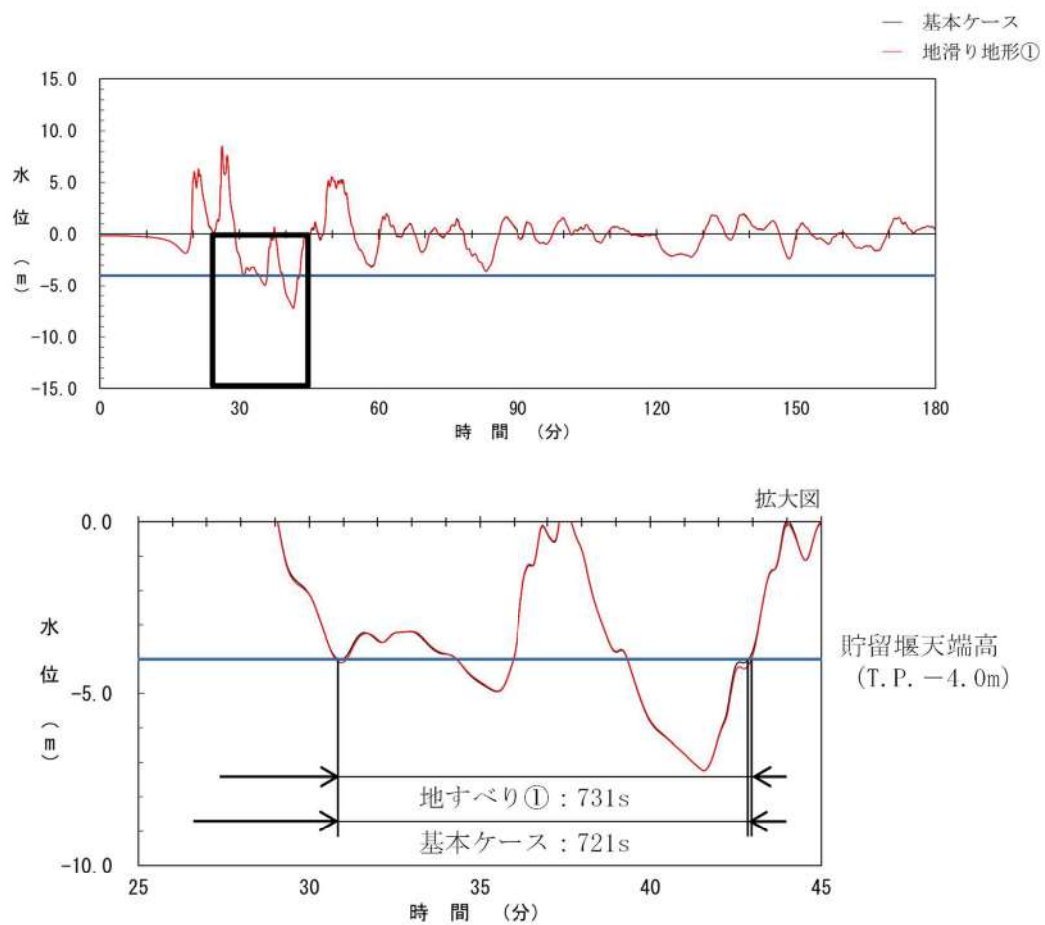


図 2. 1. b. c-1 (31) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

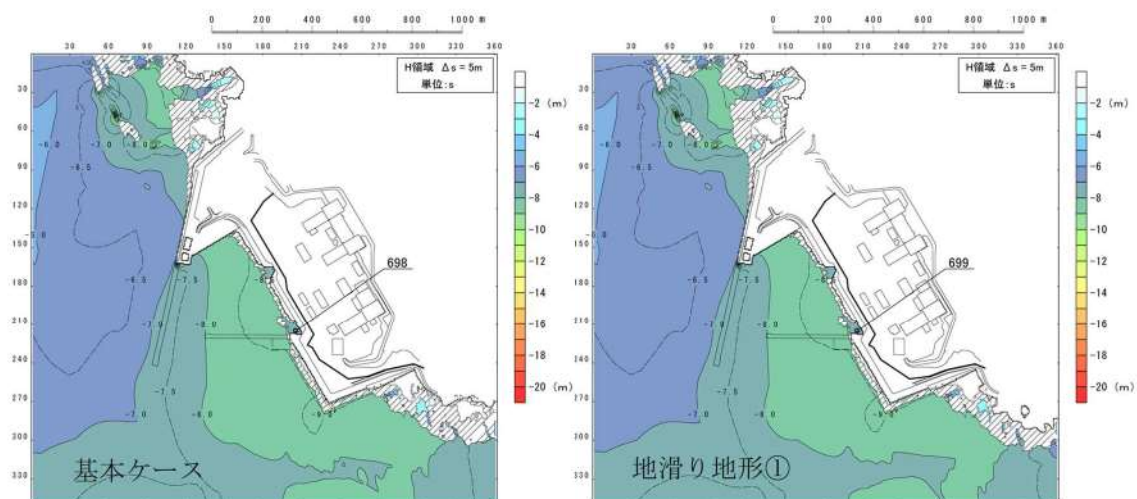


図 2.1. b. c-1 (32) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

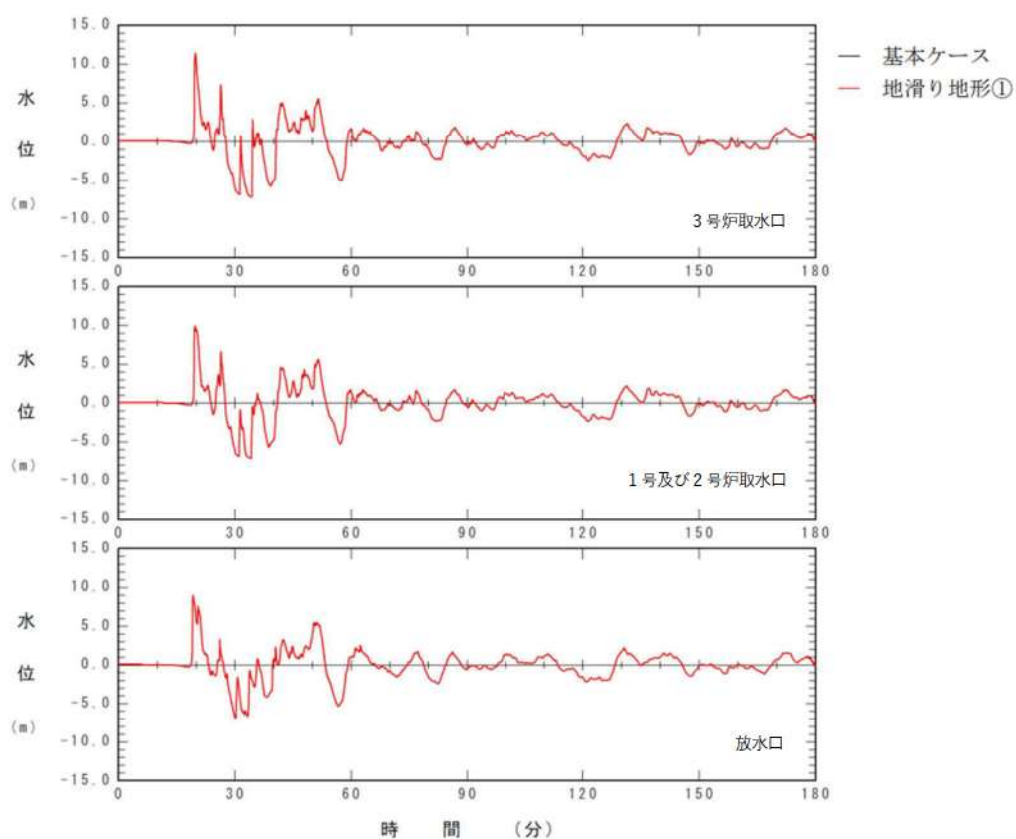


図 2.1. b. c-1 (33) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

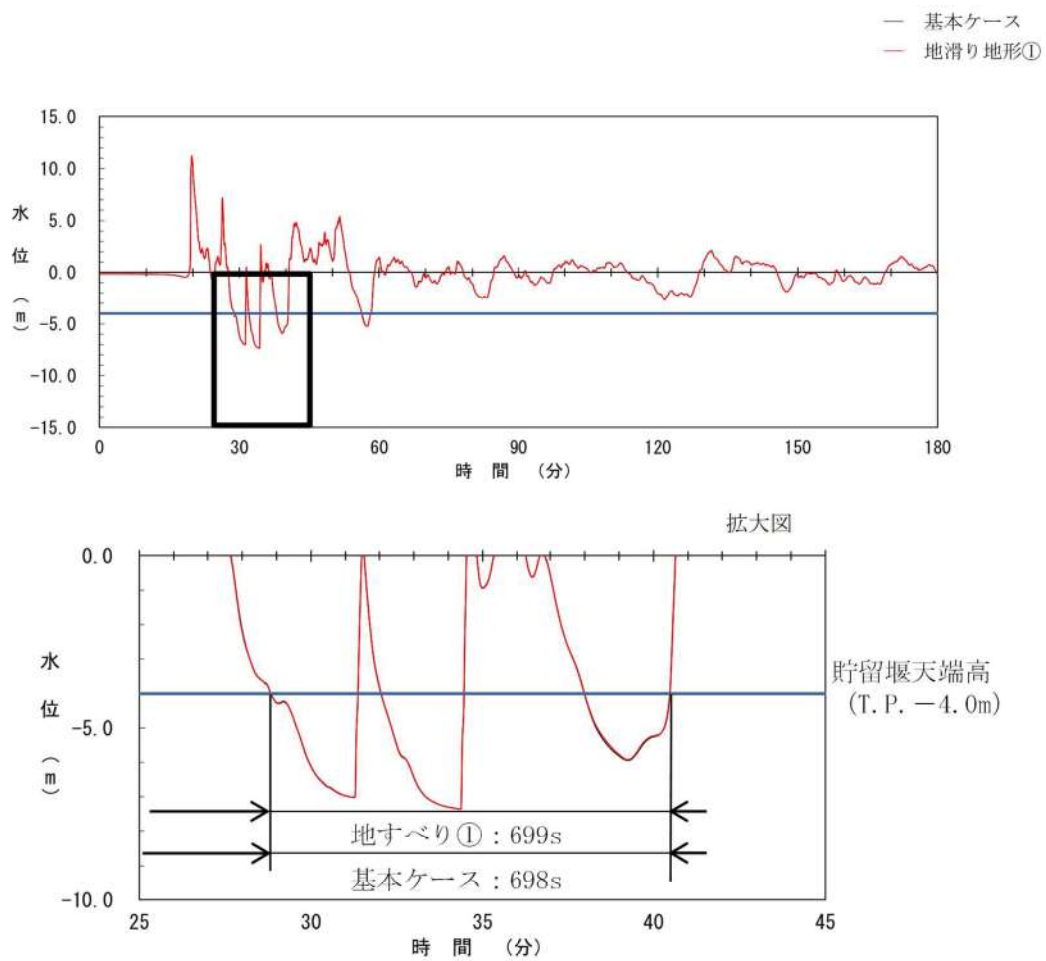


図 2. 1. b. c-1 (34) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 J (北及び南防波堤損傷))

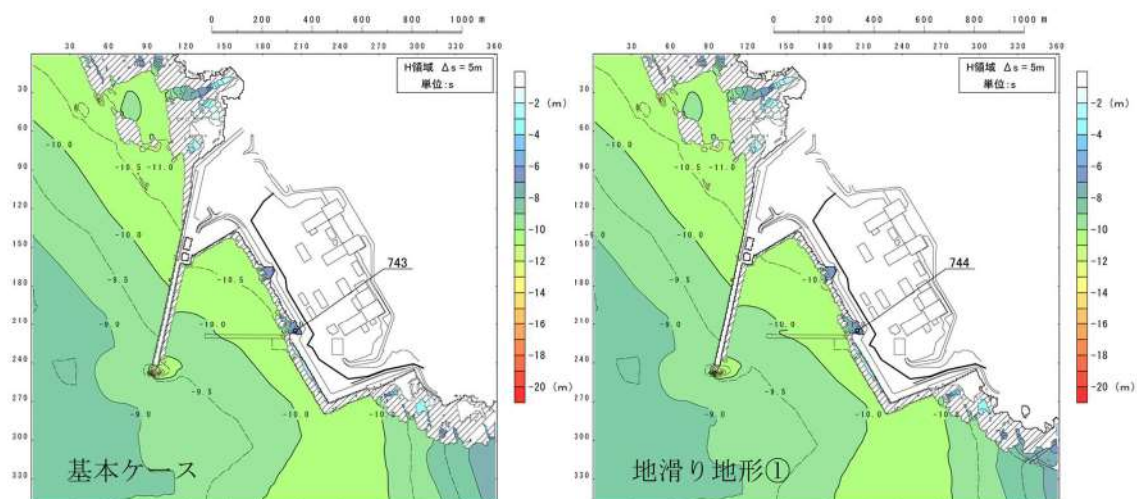


図 2.1.b.c-1 (35) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

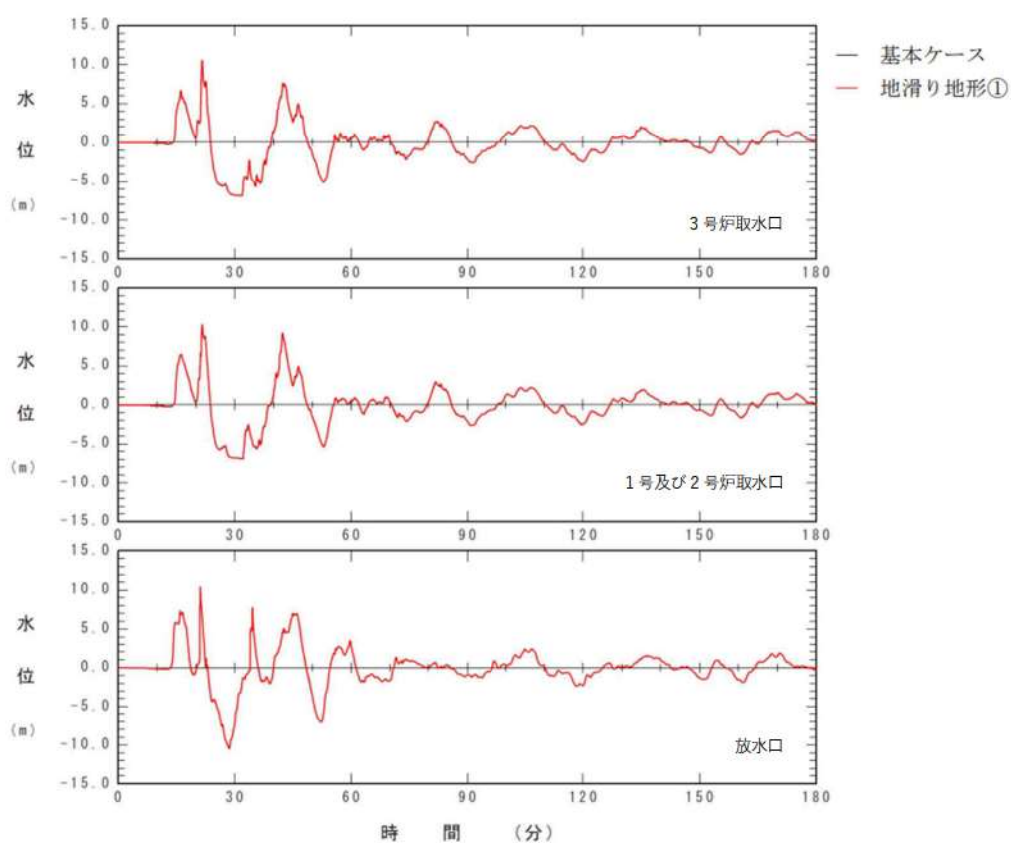


図 2.1.b.c-1 (36) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

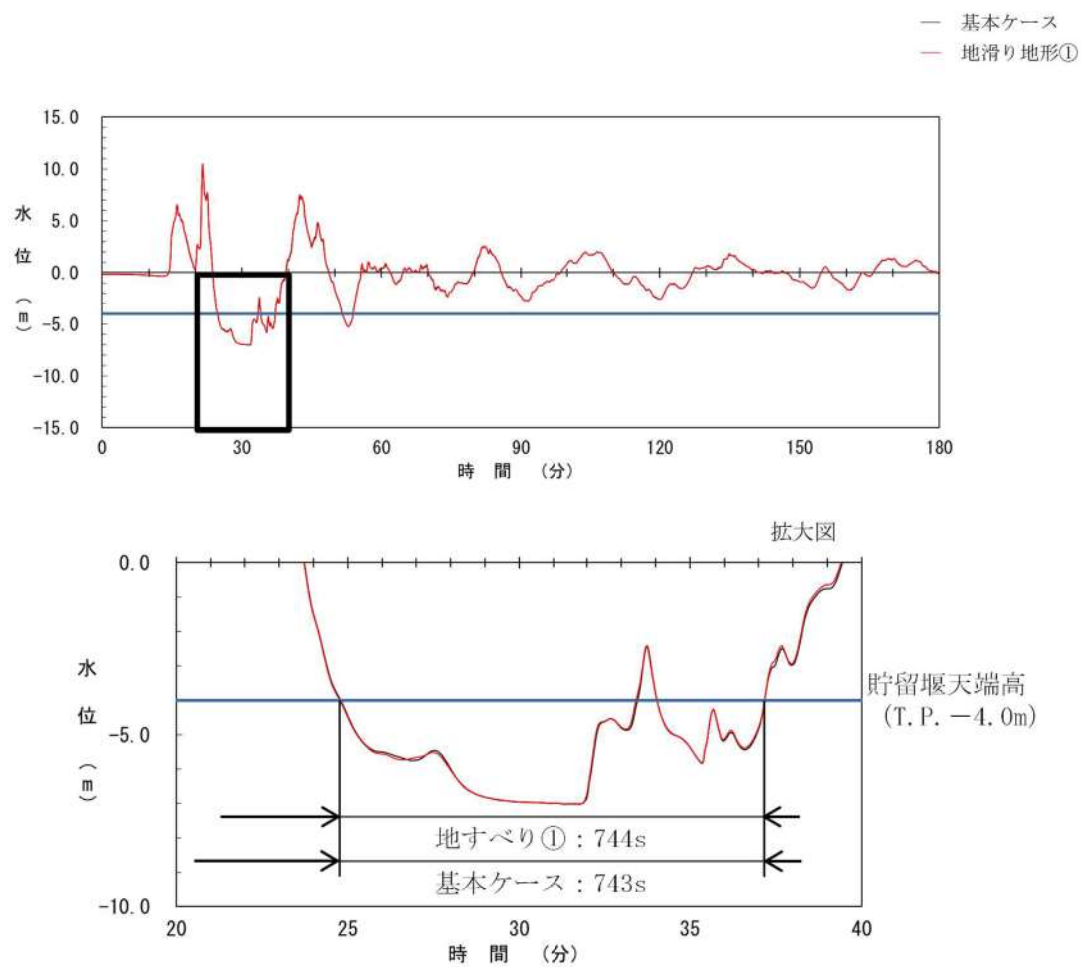


図 2. 1. b. c-1 (37) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

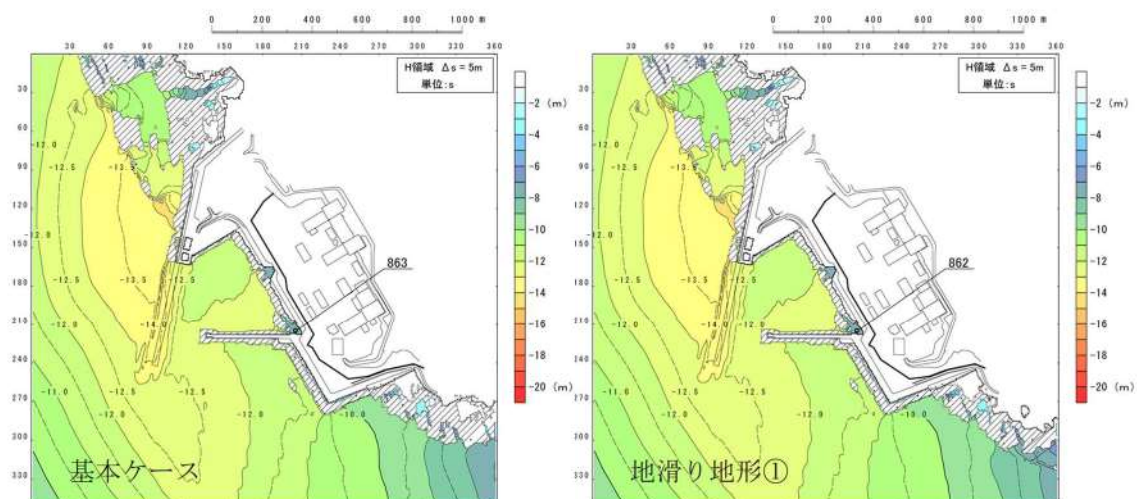


図 2.1. b. c-1 (38) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

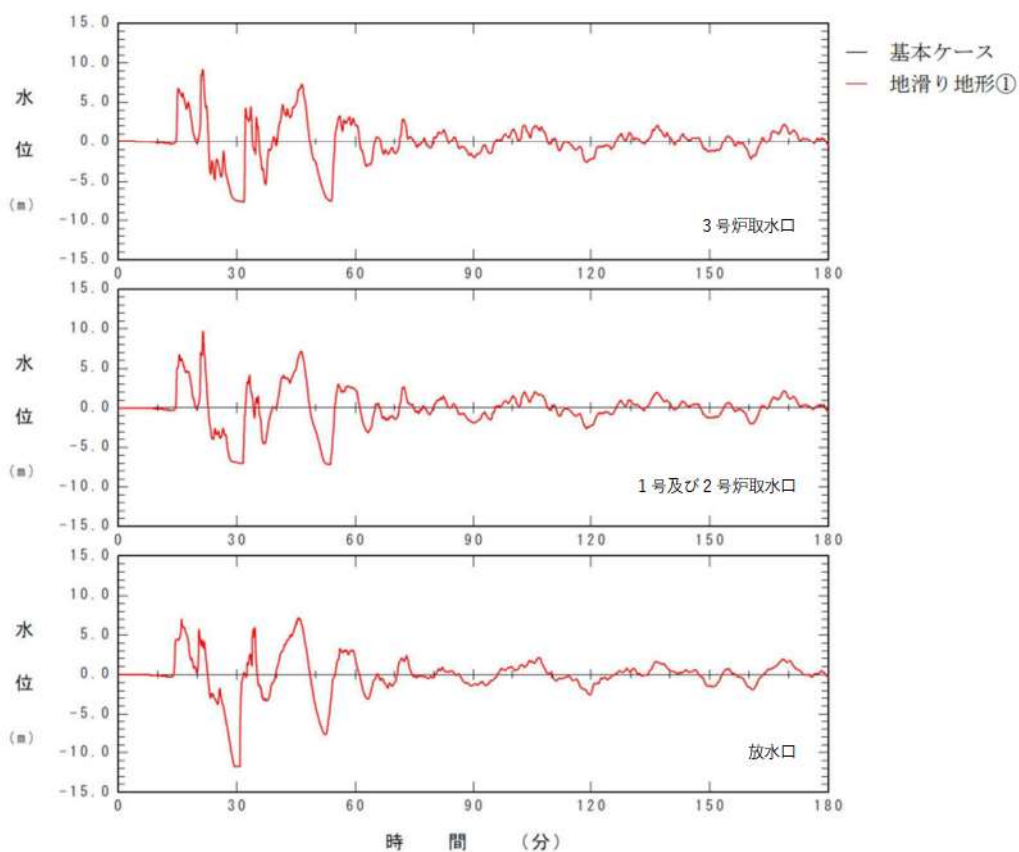


図 2.1. b. c-1 (39) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

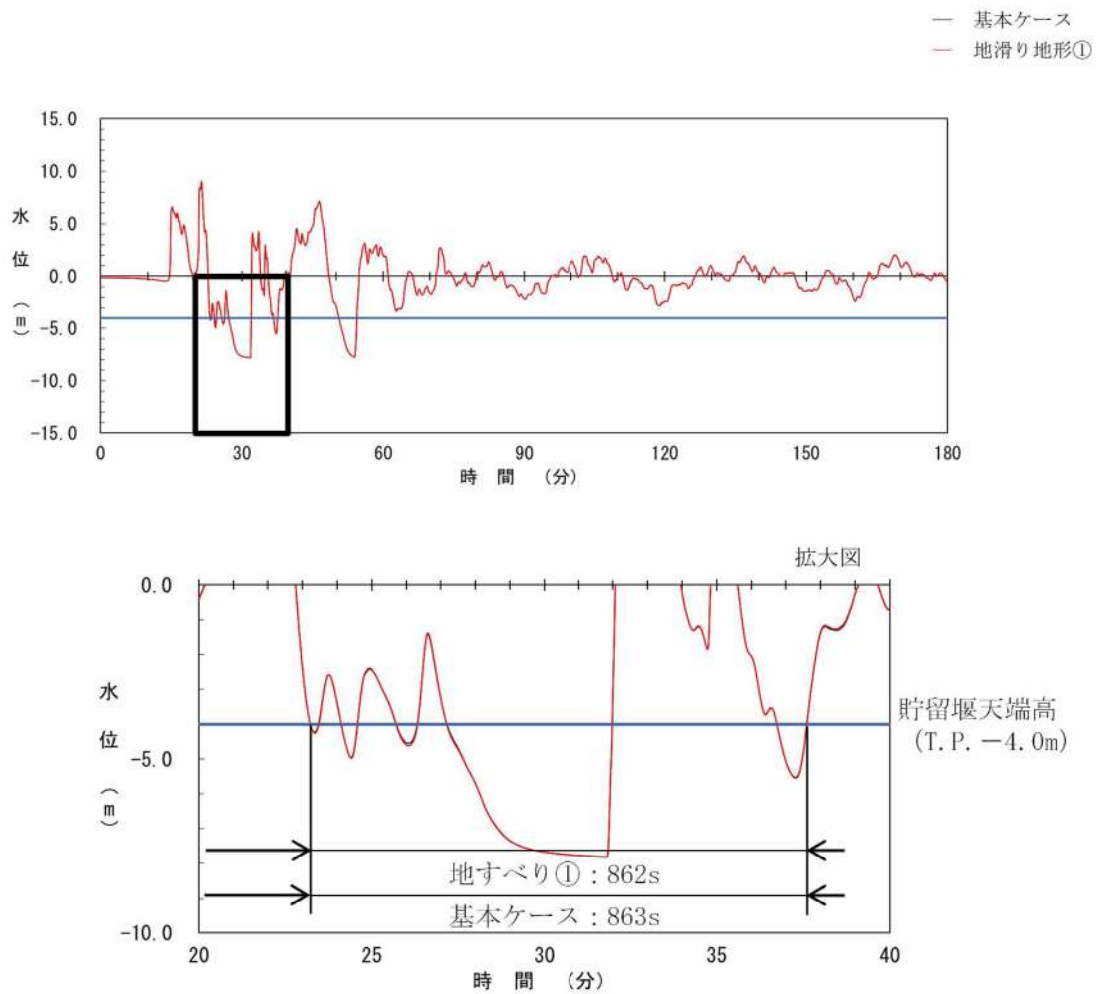


図 2. 1. b. c-1 (40) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 L (北防波堤損傷))

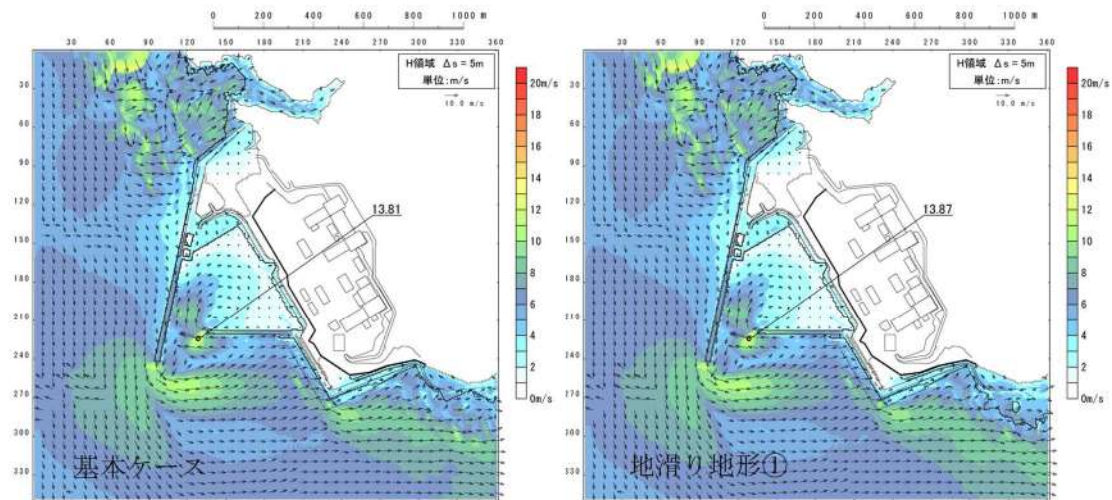


図 2.1.b.c-1 (41) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 A (防波堤損傷なし))

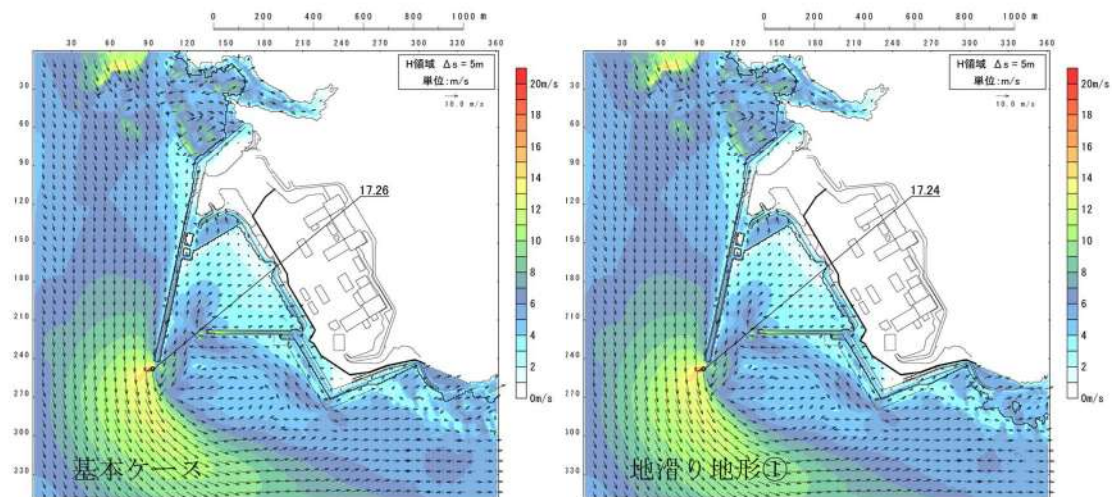


図 2.1.b.c-1 (42) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 B (防波堤損傷なし))

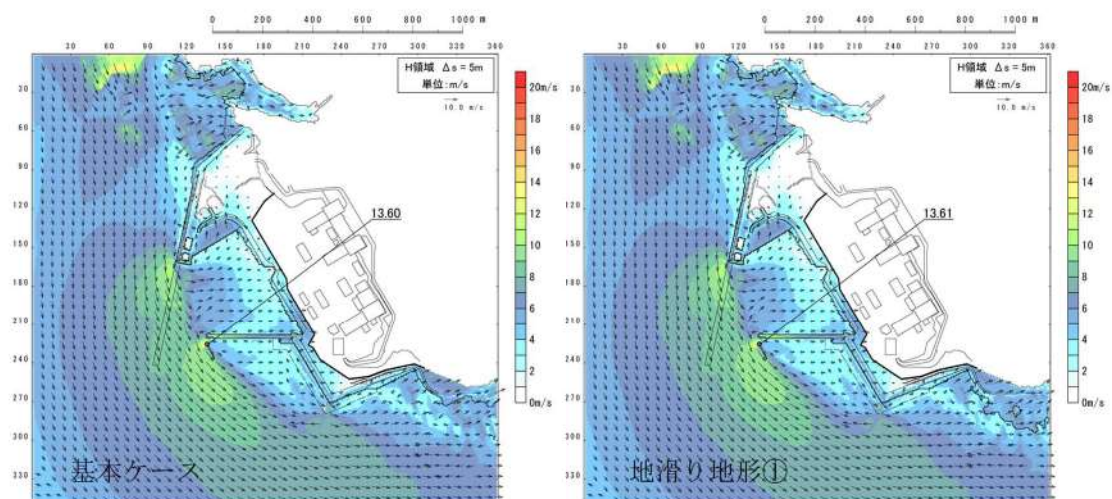


図 2.1.b.c-1 (43) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 B (北防波堤損傷))

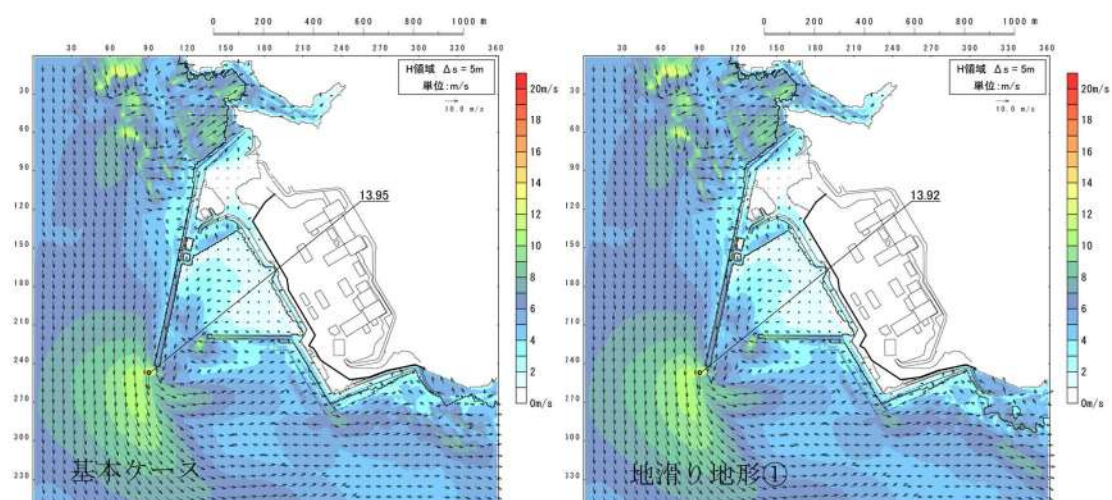


図 2.1.b.c-1 (44) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 C (防波堤損傷なし))

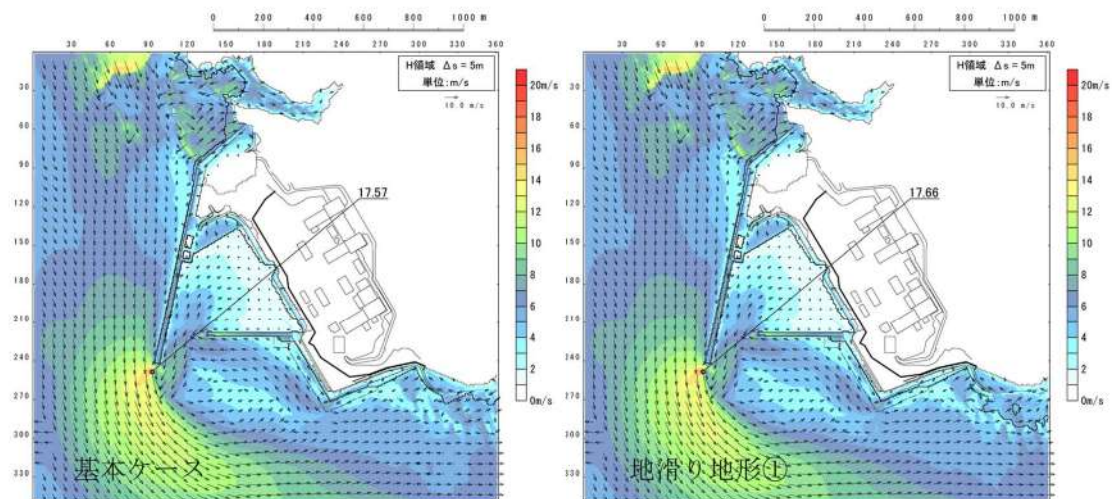


図 2.1.b.c-1 (45) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (防波堤損傷なし))

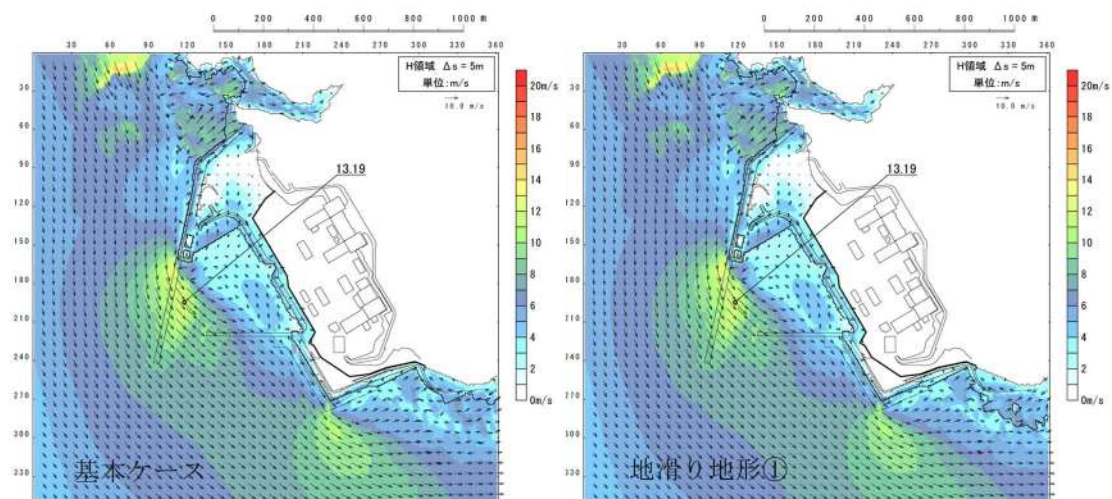


図 2.1.b.c-1 (46) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (北及び南防波堤損傷))

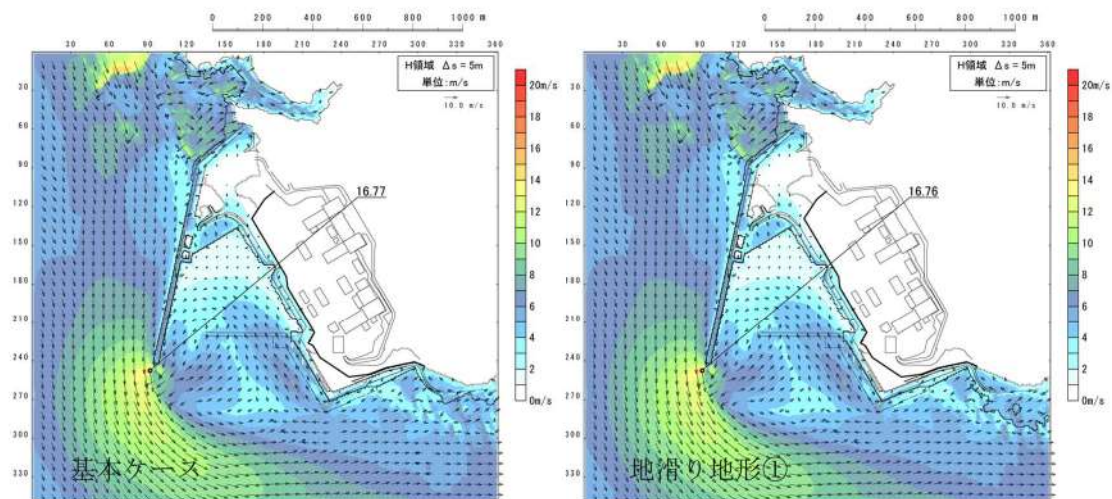


図 2.1.b.c-1 (47) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (南防波堤損傷))

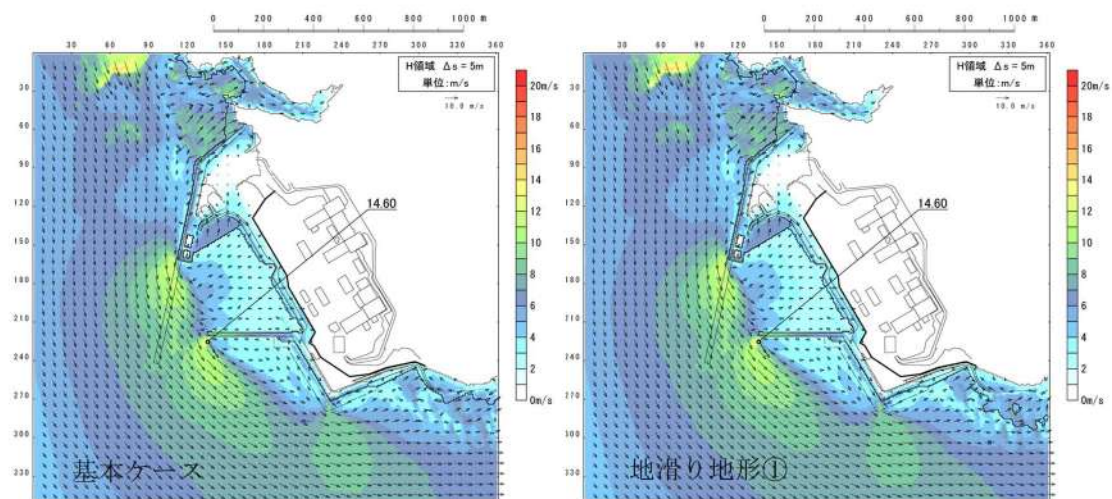


図 2.1.b.c-1 (48) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (北防波堤損傷))

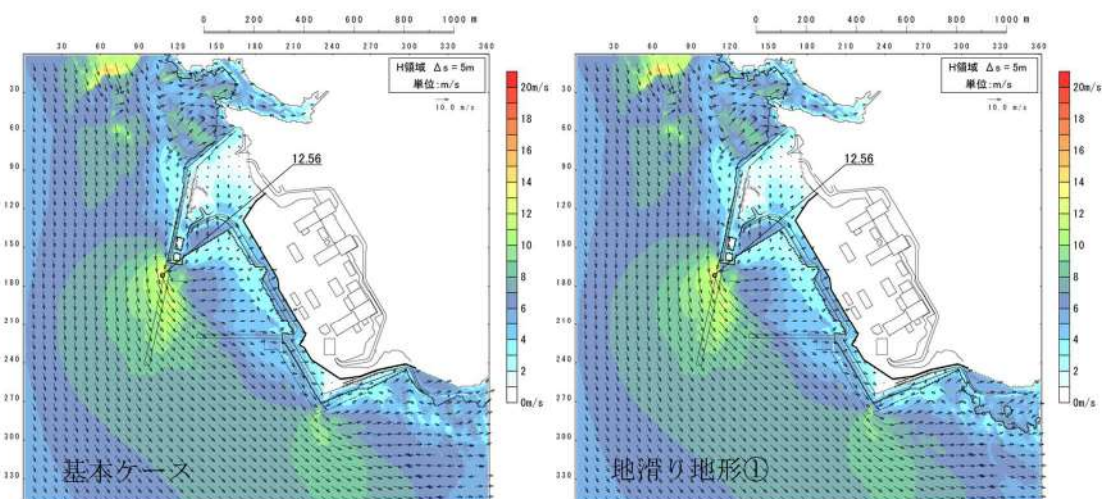


図 2.1.b.c-1 (49) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 E (北及び南防波堤損傷))

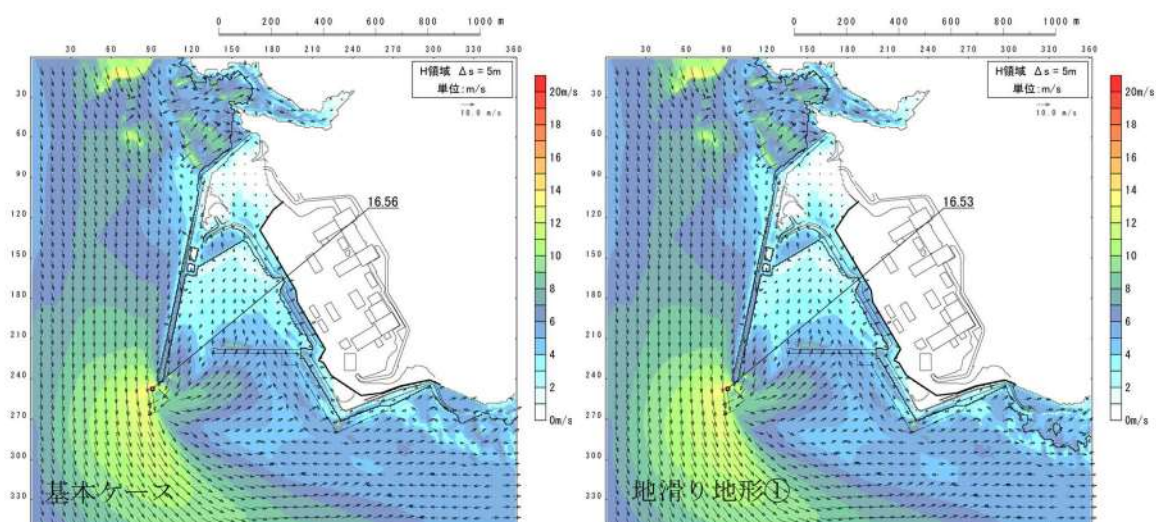


図 2.1.b.c-1 (50) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 E (南防波堤損傷))

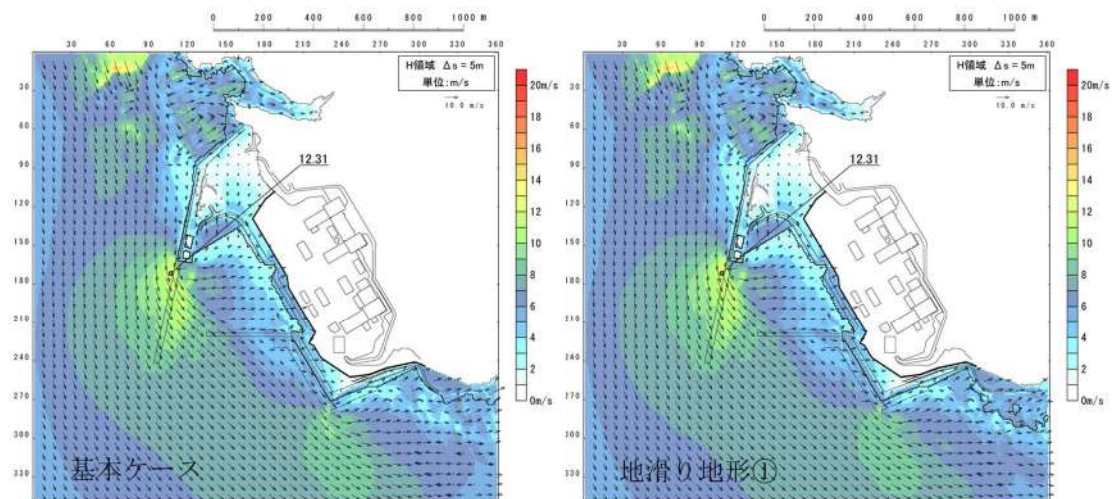


図 2.1.b.c-1 (51) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 F (北及び南防波堤損傷))

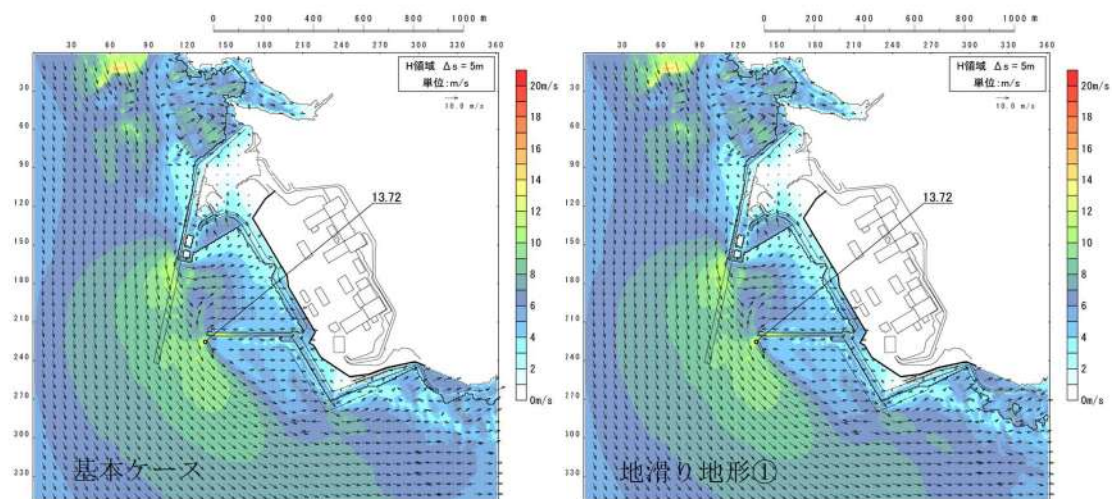


図 2.1.b.c-1 (52) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 F (北防波堤損傷))

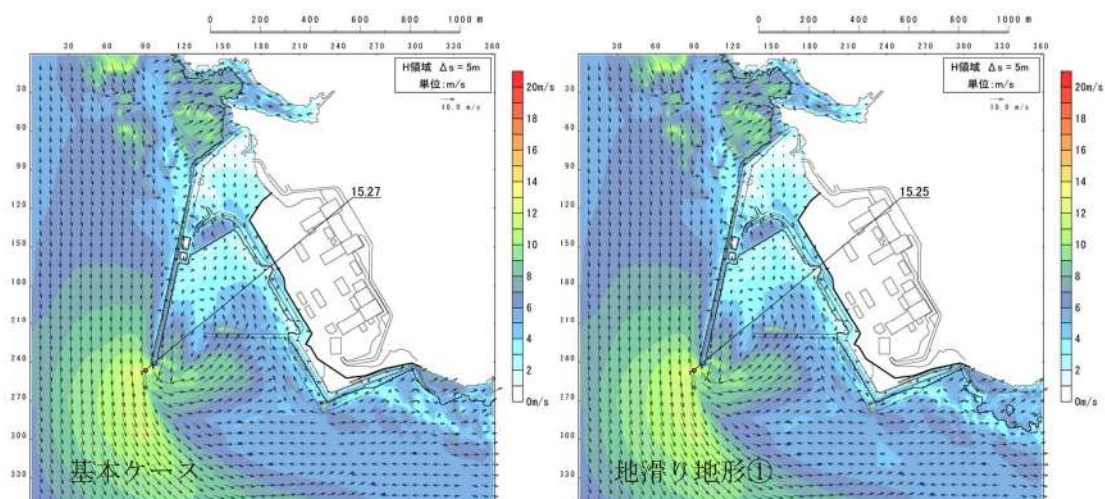


図 2.1.b.c-1 (53) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波G (南防波堤損傷))

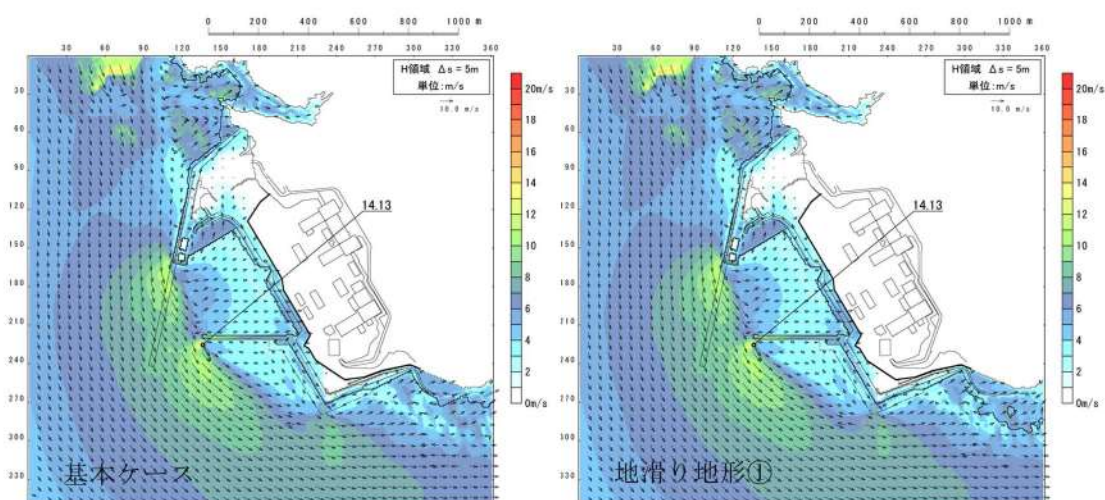


図 2.1.b.c-1 (54) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波H (北防波堤損傷))

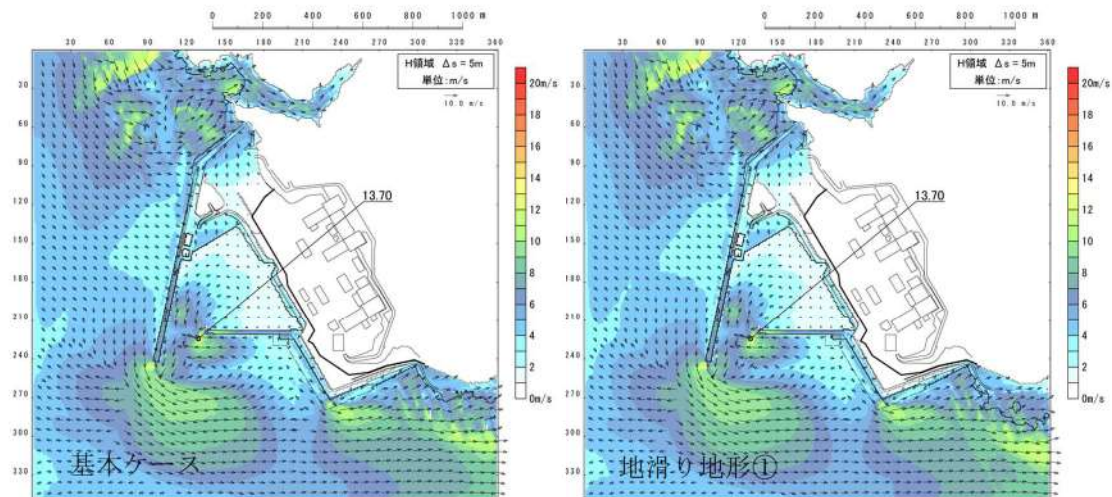


図 2.1.b.c-1 (55) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 I (防波堤損傷なし))

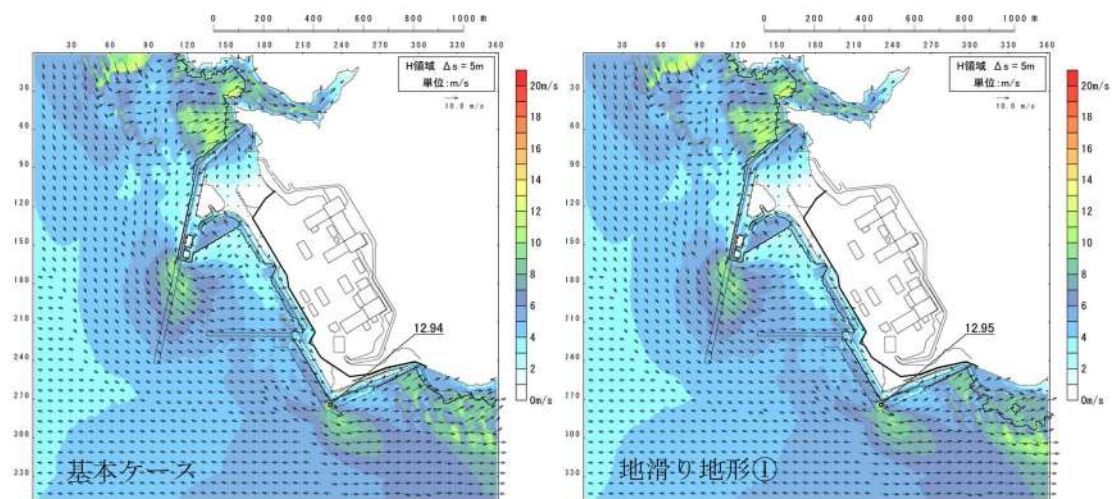


図 2.1.b.c-1 (56) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 J (北及び南防波堤損傷))

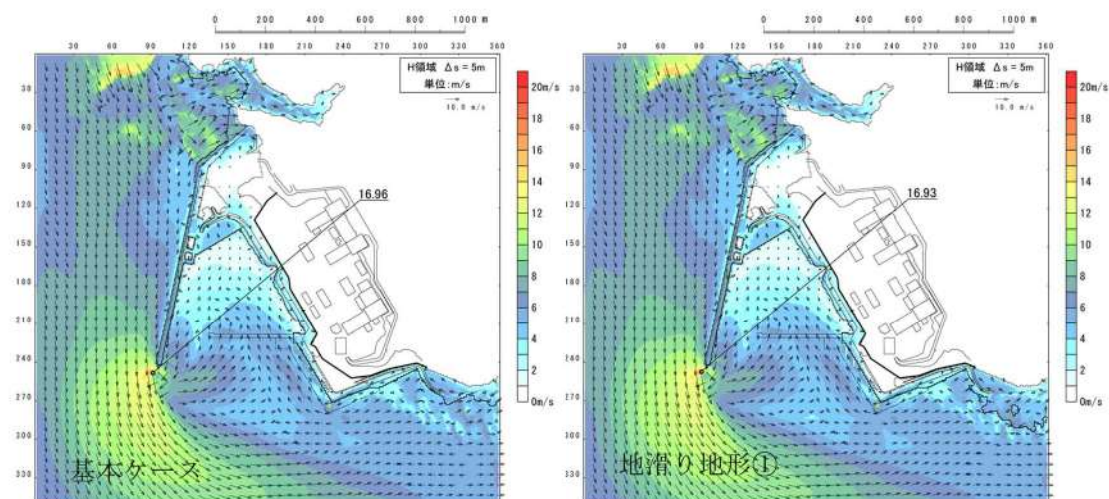


図 2.1.b.c-1 (57) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波K (南防波堤損傷))

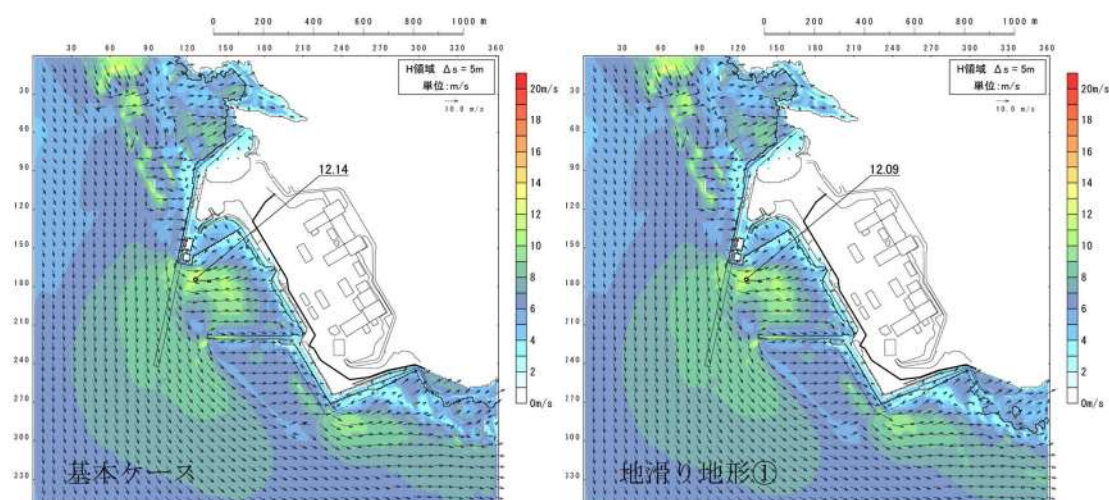


図 2.1.b.c-1 (58) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波L (北防波堤損傷))

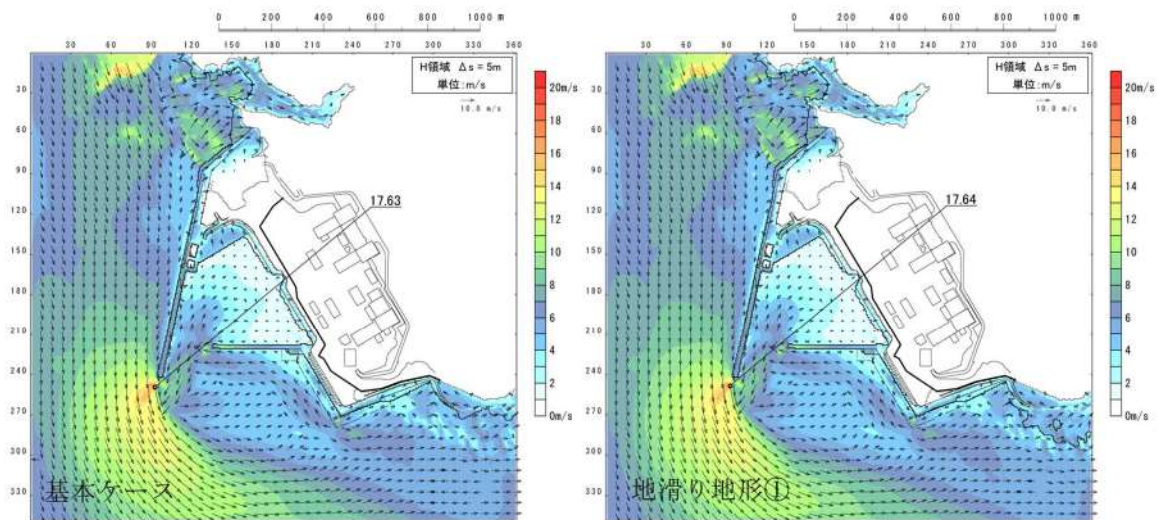


図 2.1.b.c-1 (59) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(流速最大ケース 1)

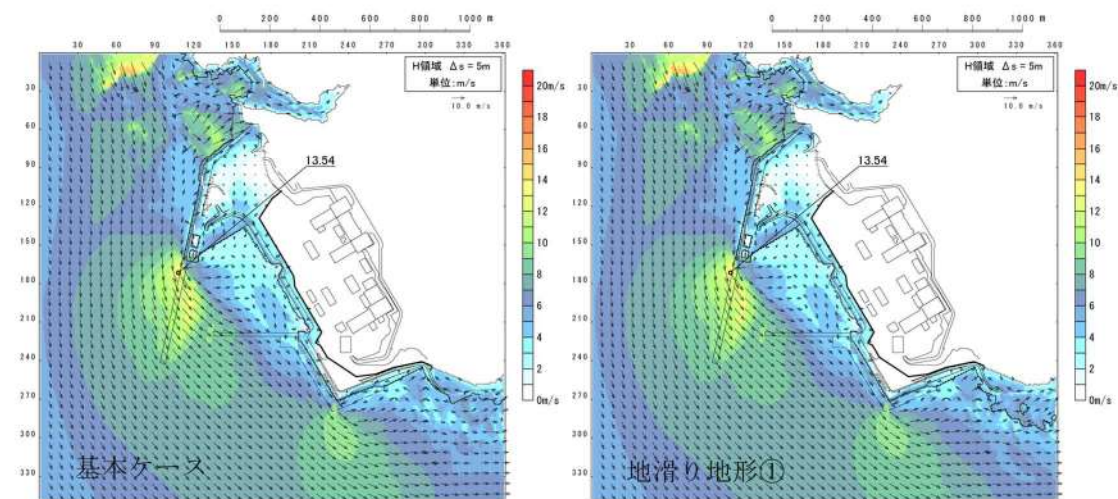


図 2.1.b.c-1 (60) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(流速最大ケース 2)

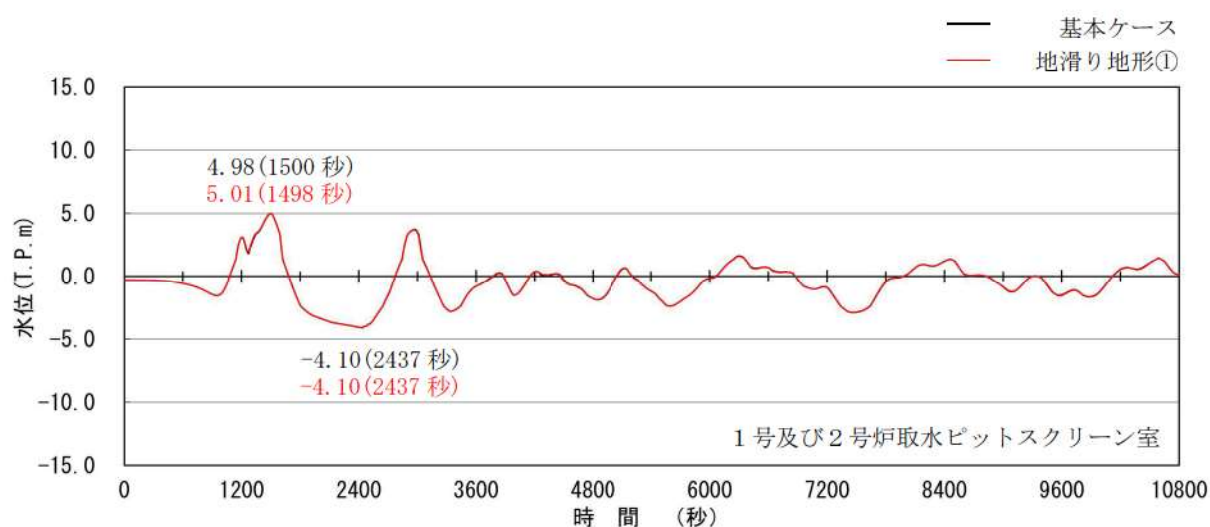


図 2.1.b.c-1 (61) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 A (防波堤損傷なし, 貝付着無し, スクリーン健全))

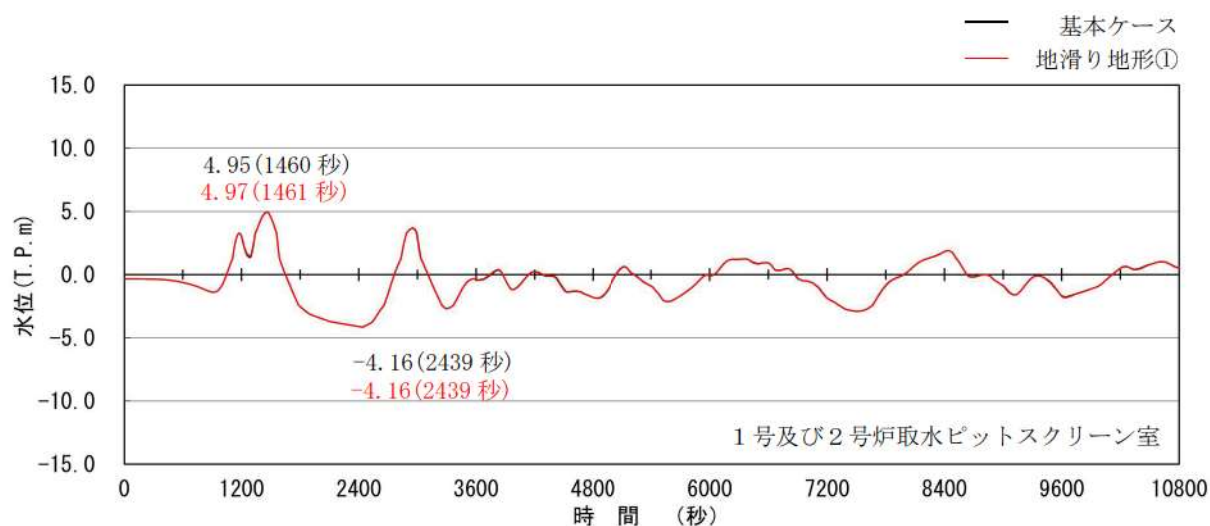


図 2.1.b.c-1 (62) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 C (防波堤損傷なし, 貝付着無し, スクリーン健全))

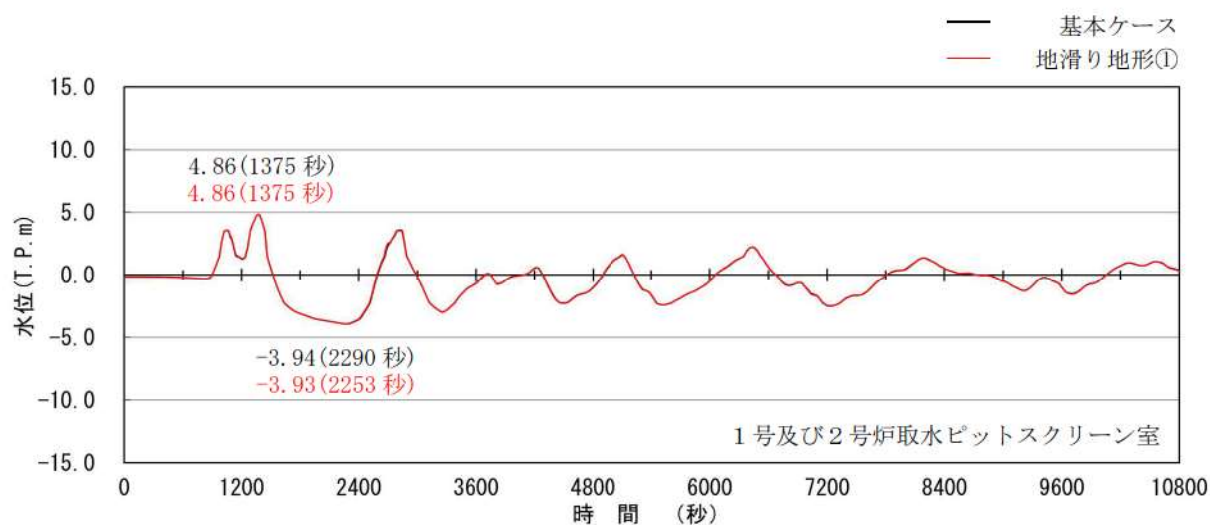


図 2.1.b.c-1 (63) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 D (南防波堤損傷, 貝付着無し, スクリーン健全))

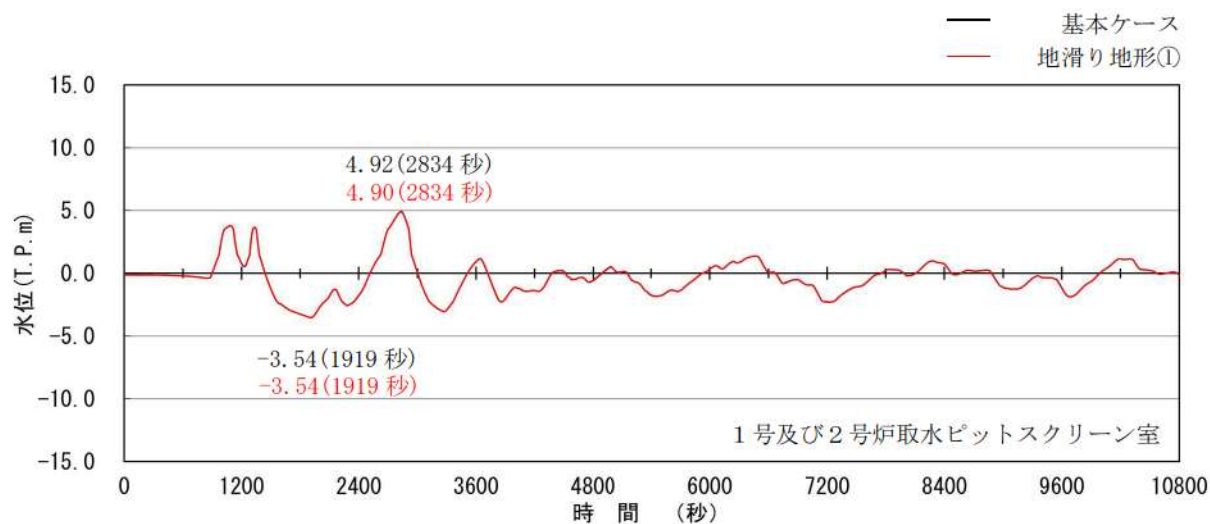


図 2.1.b.c-1 (64) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 L (北防波堤損傷, 貝付着無し, スクリーン健全))

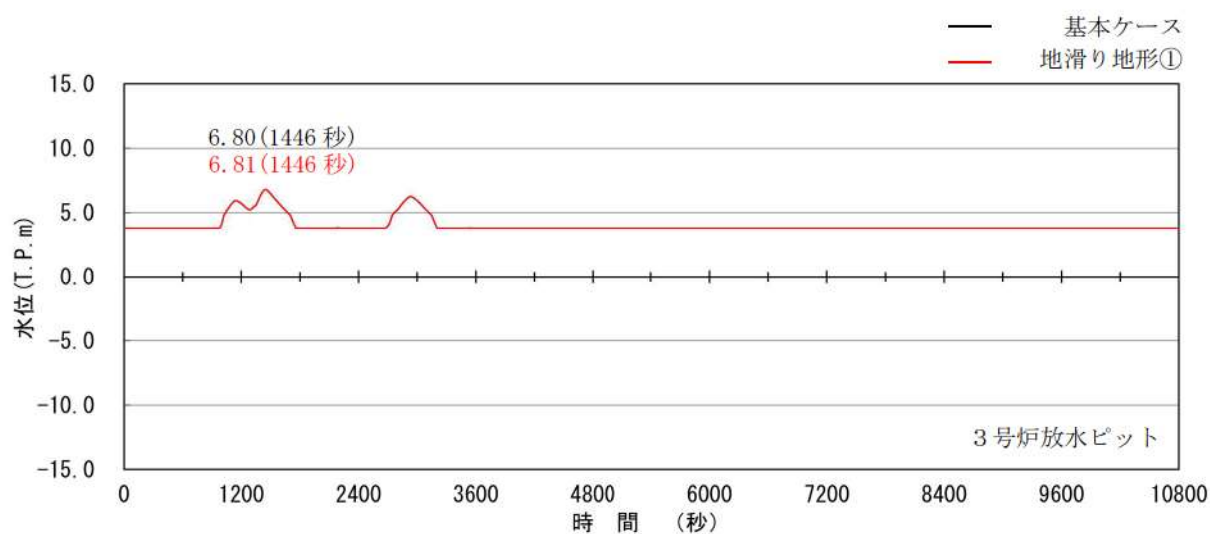


図 2.1.b.c-1 (65) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 C (防波堤損傷なし, 貝付着無し, 管路損傷なし))

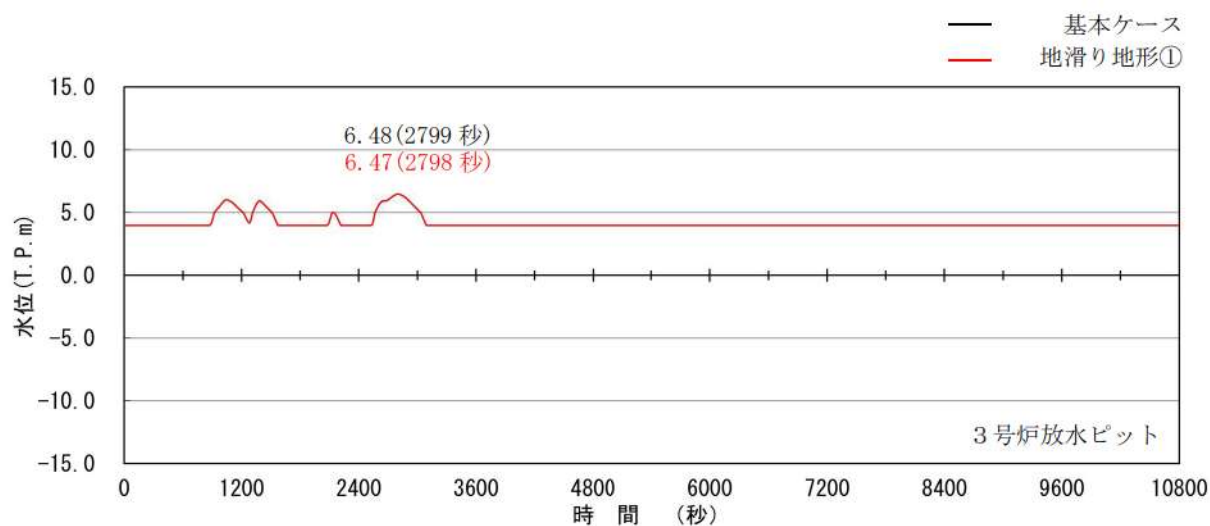


図 2.1.b.c-1 (66) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 D (防波堤損傷なし, 貝付着無し, 管路損傷なし))

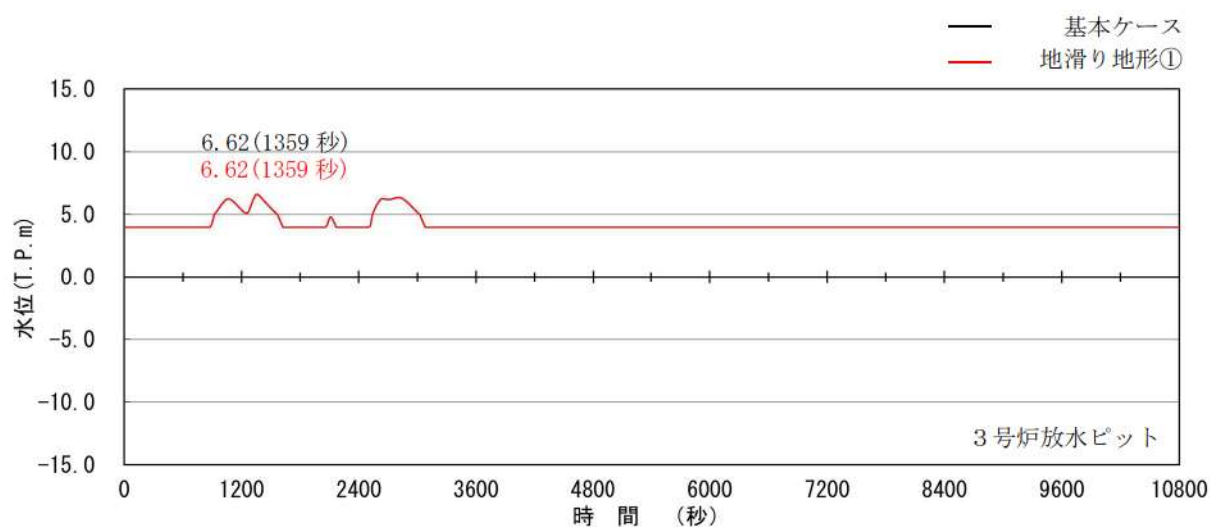


図 2.1. b. c-1 (67) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 G (南防波堤損傷, 貝付着無し, 管路損傷なし))

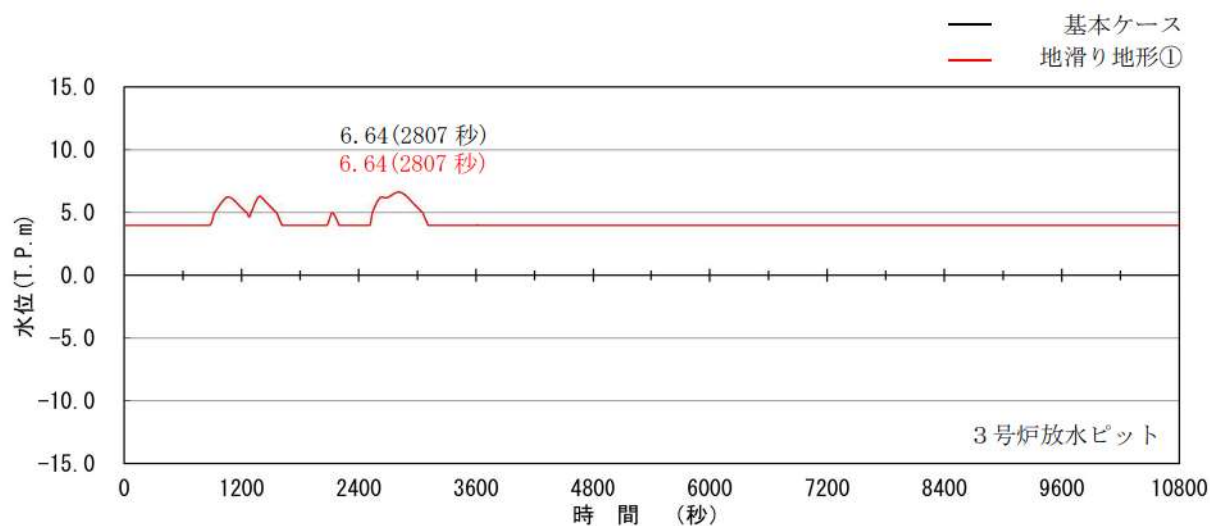


図 2.1. b. c-1 (68) 地滑り地形①の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 K (南防波堤損傷, 貝付着無し, 管路損傷なし))

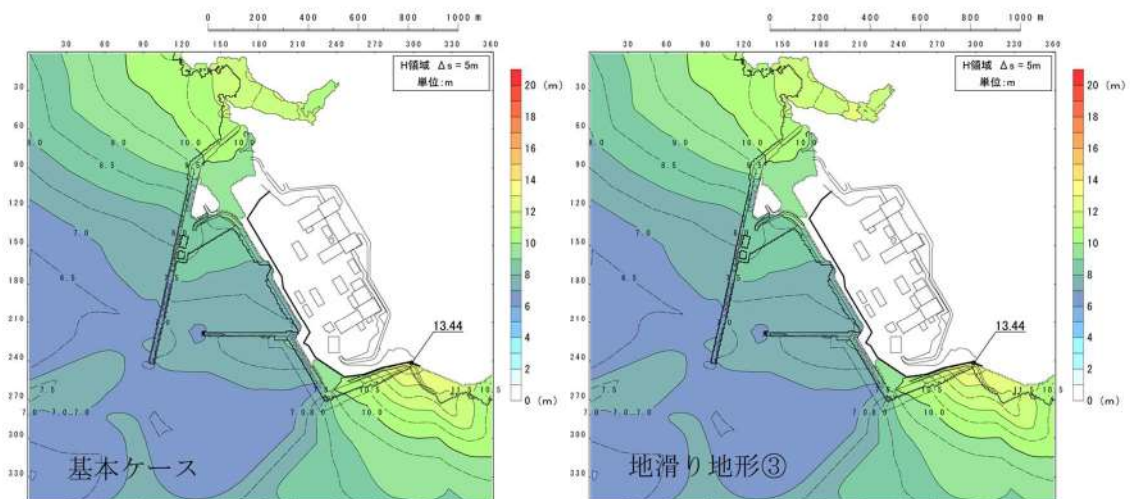


図 2. 1. b. c-2 (1) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

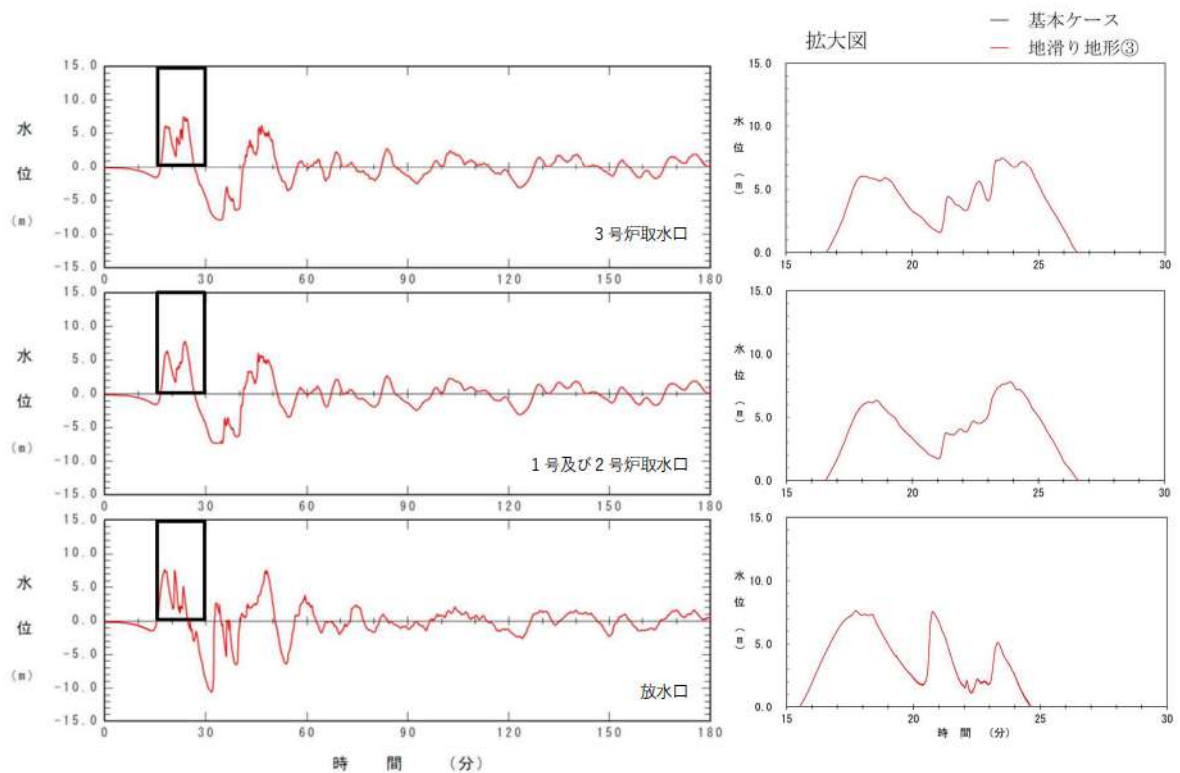


図 2. 1. b. c-2 (2) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

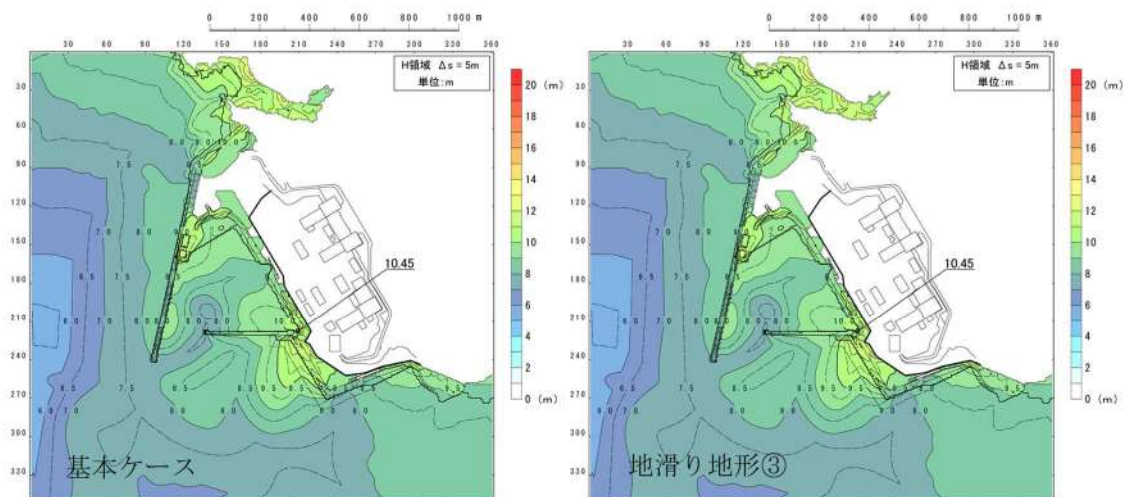


図 2.1.b.c-2 (3) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

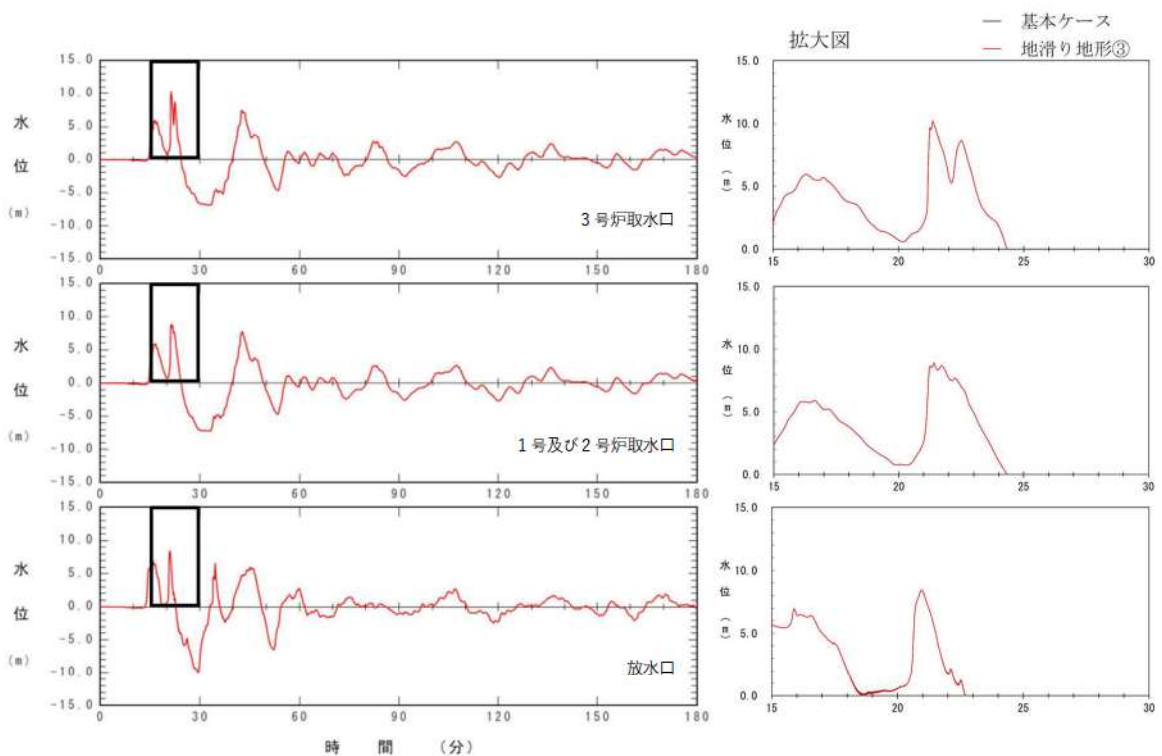


図 2.1.b.c-2 (4) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

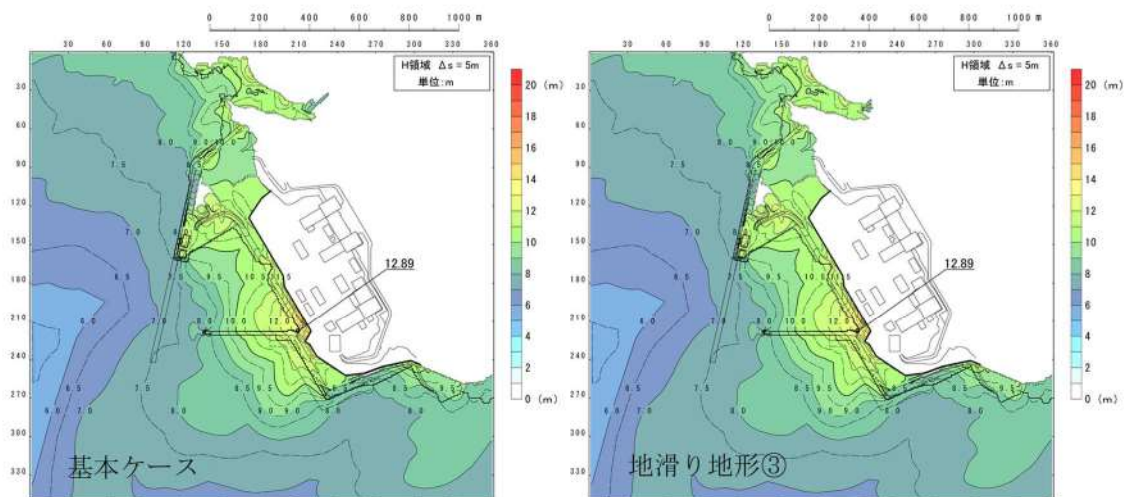


図 2. 1. b. c-2 (5) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

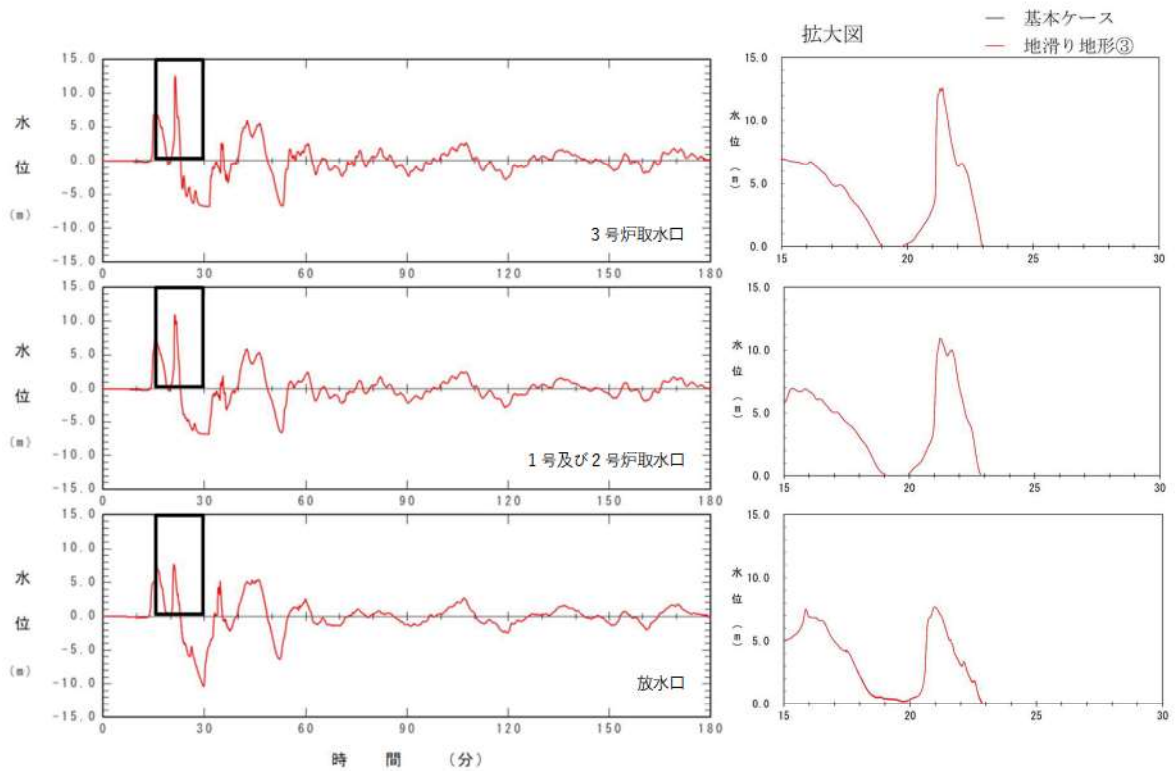


図 2. 1. b. c-2 (6) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

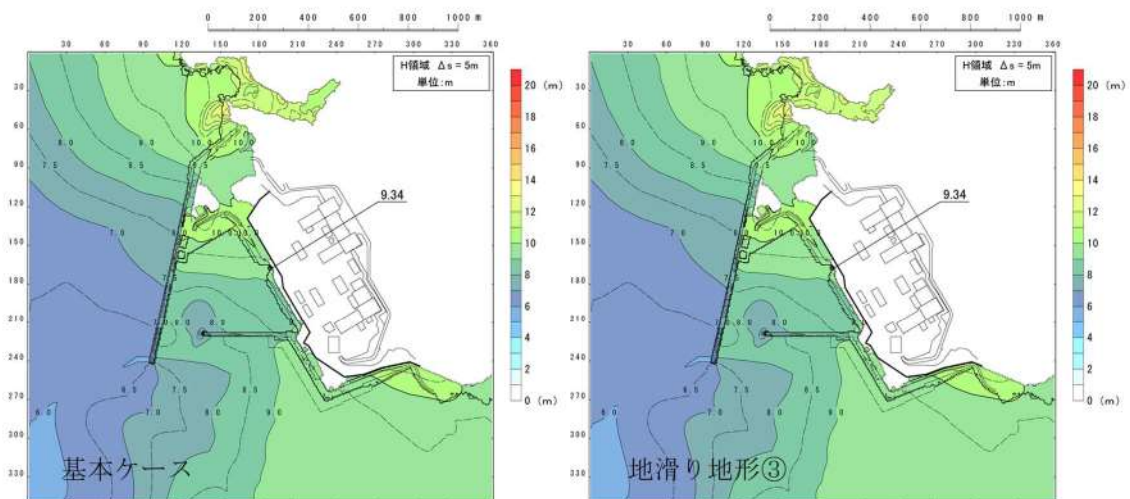


図 2.1.b.c-2 (7) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

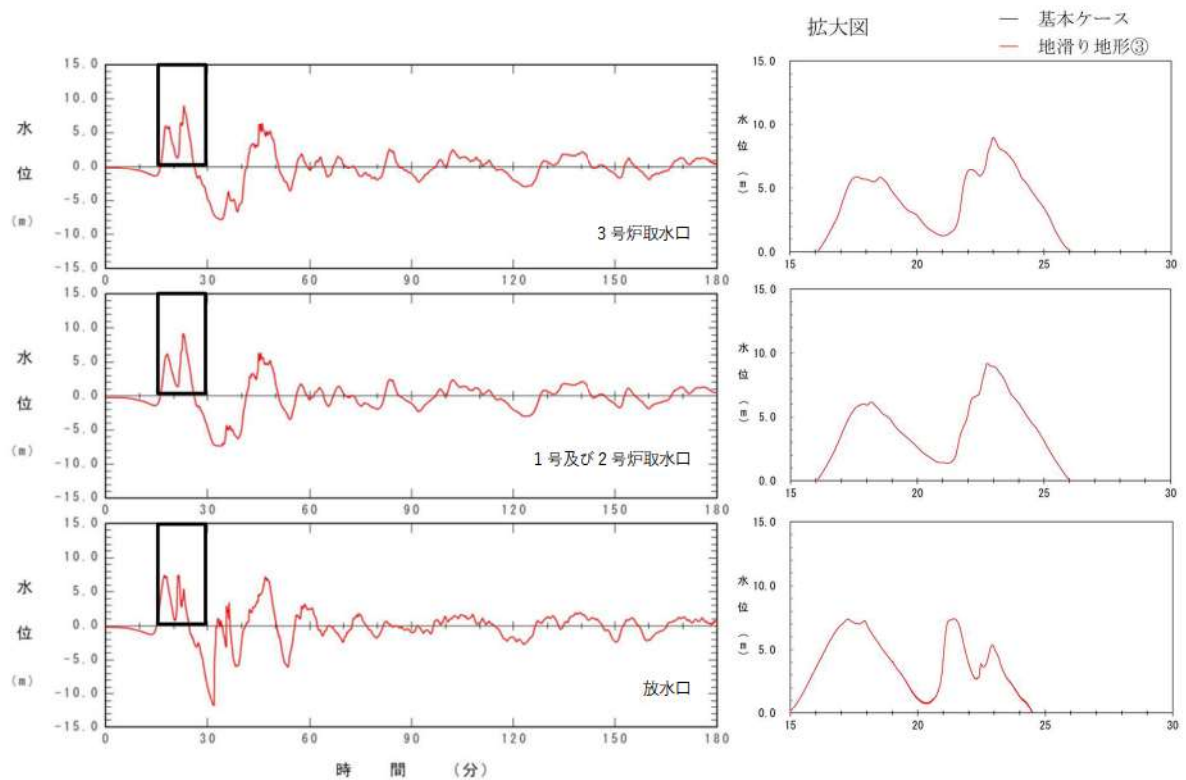


図 2.1.b.c-2 (8) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

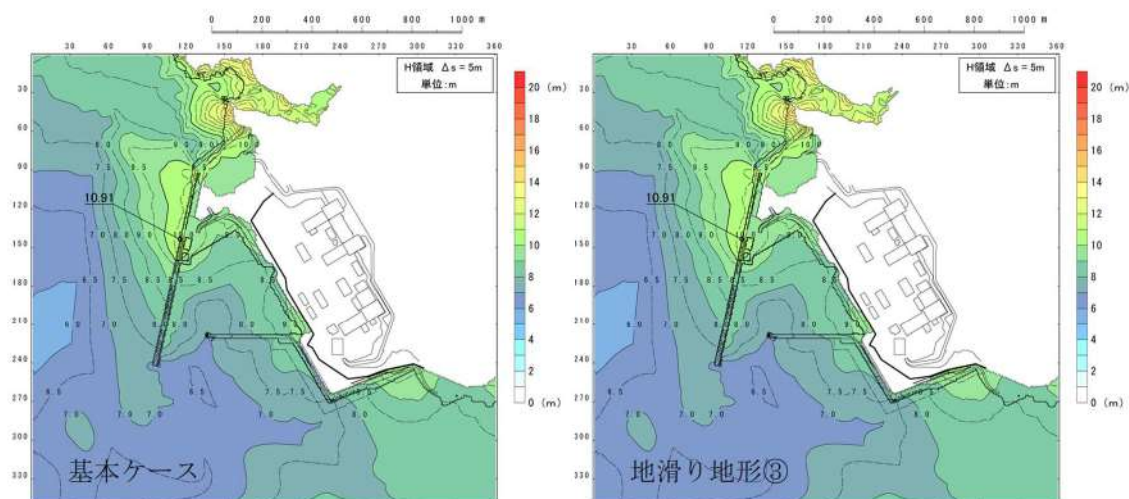


図 2.1.b.c-2 (9) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

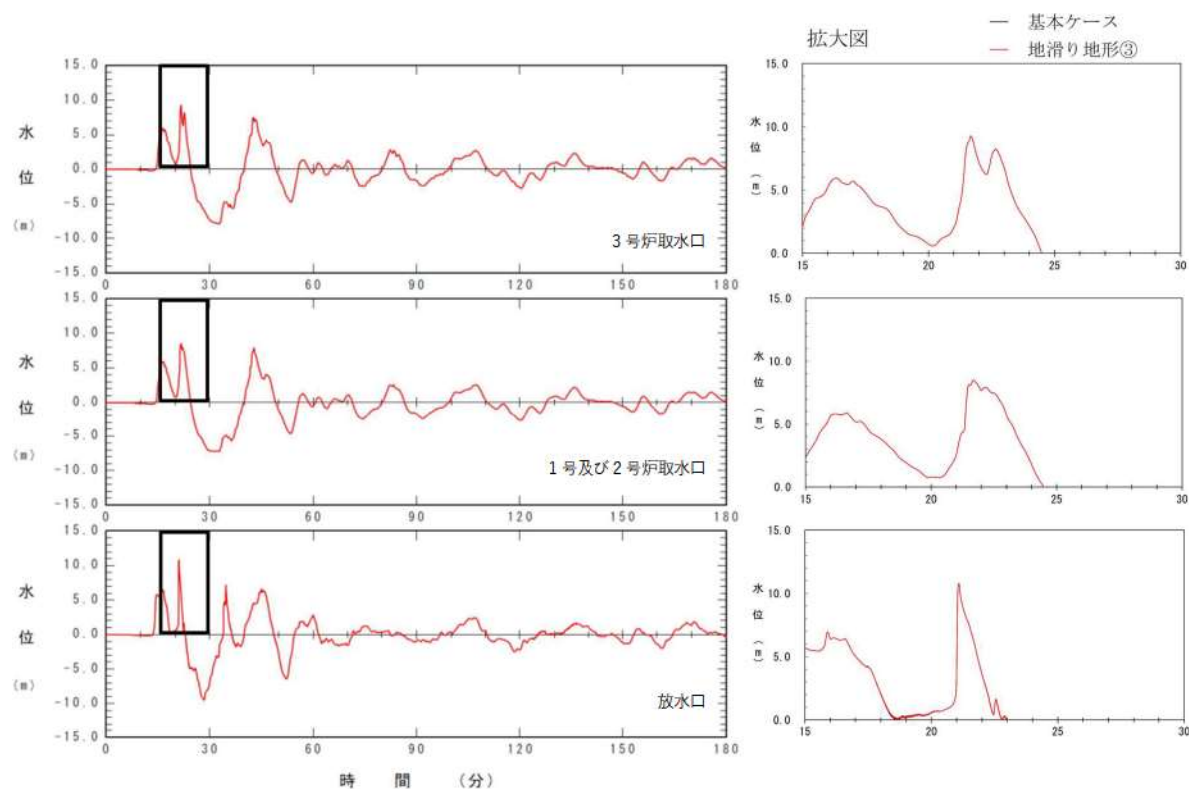


図 2.1.b.c-2 (10) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

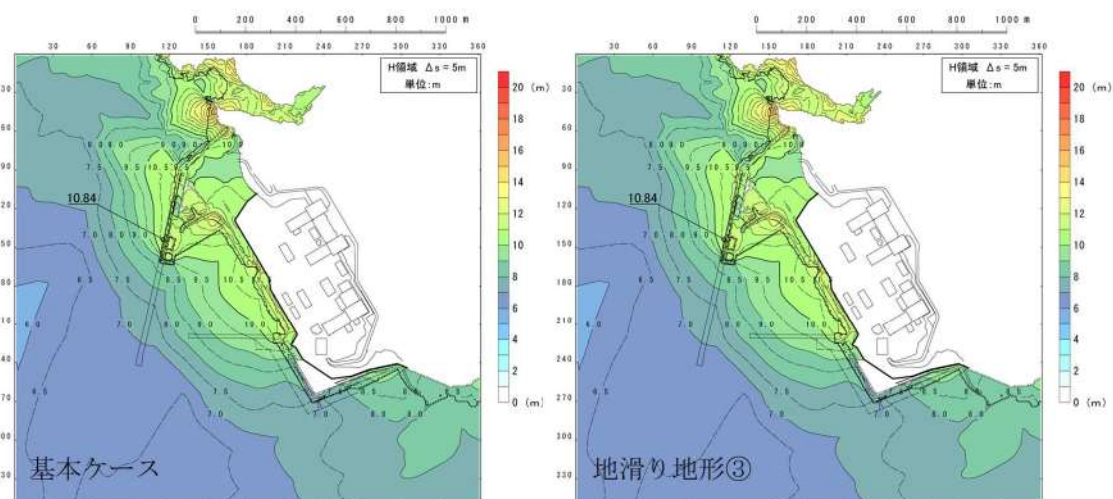


図 2.1.b.c-2 (11) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

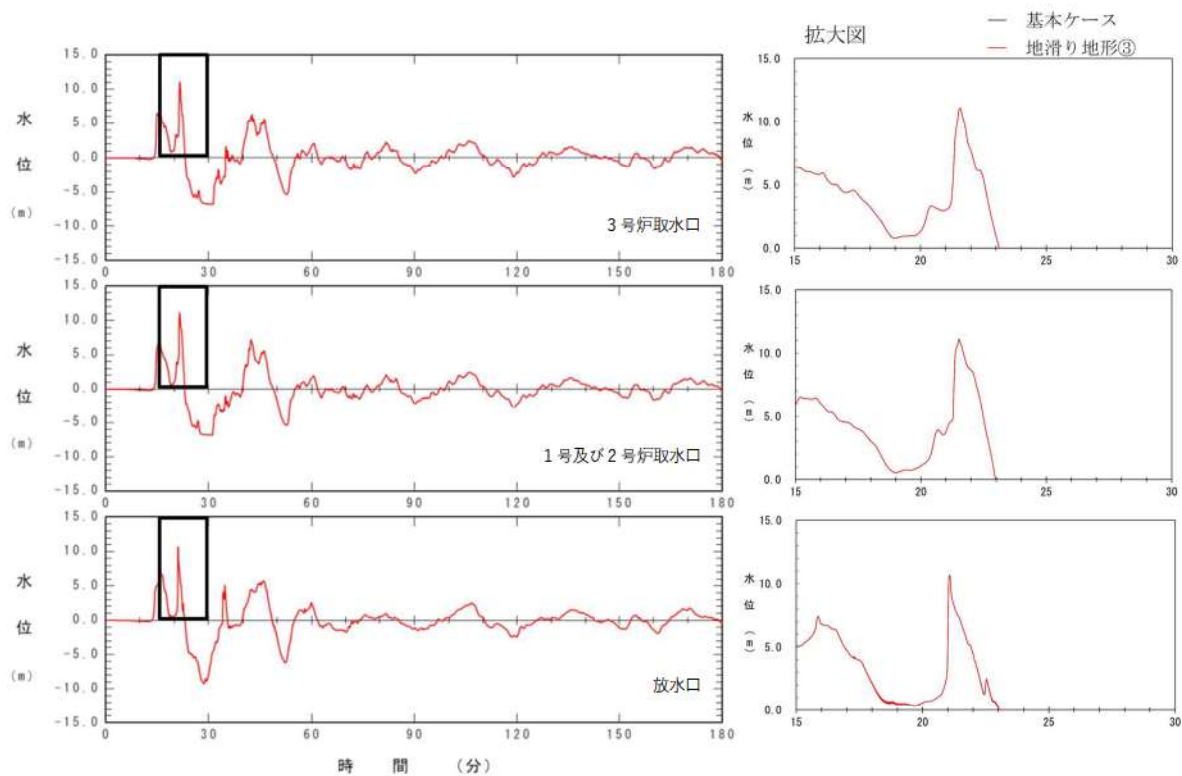


図 2.1.b.c-2 (12) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

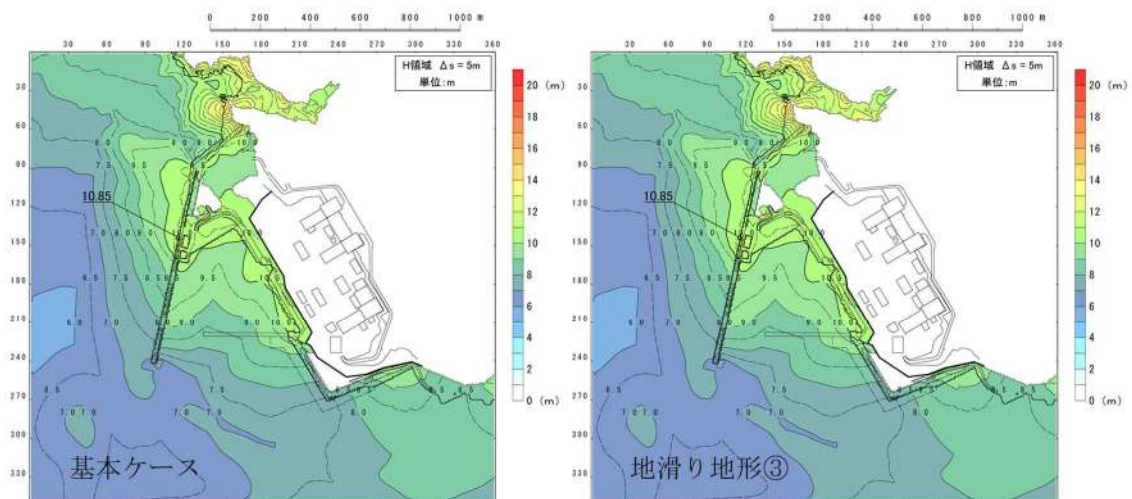


図 2.1.b.c-2 (13) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

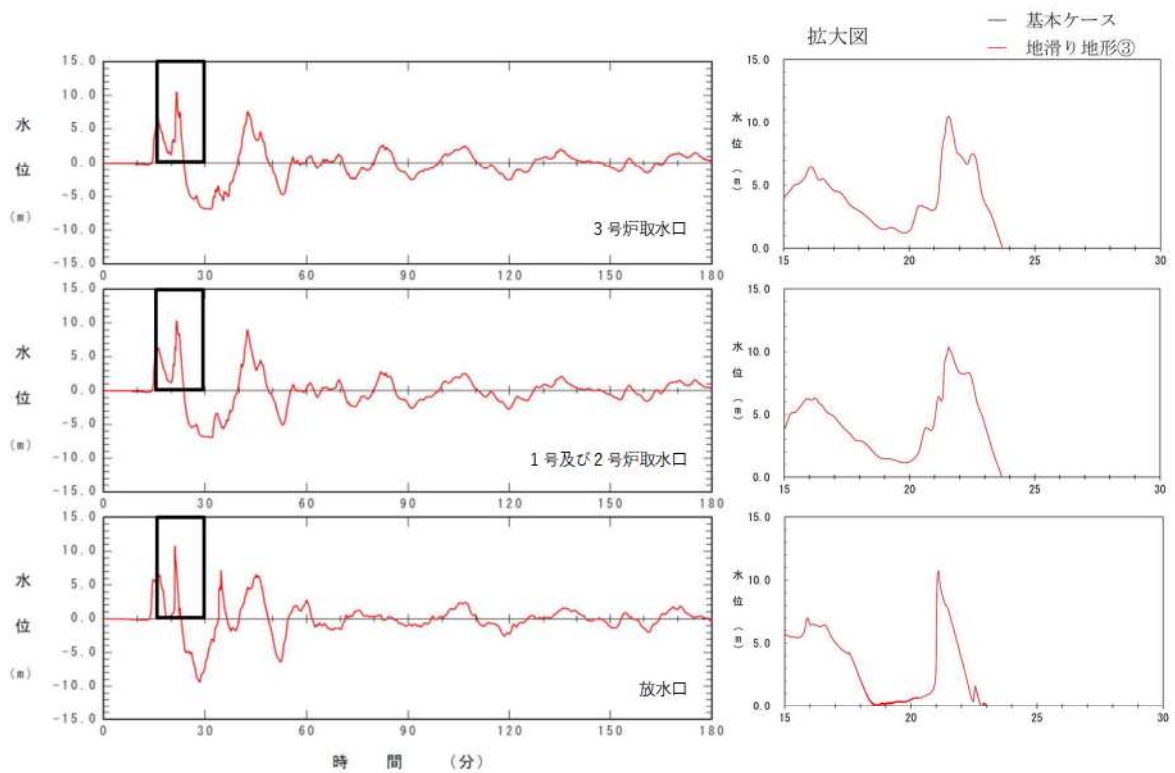


図 2.1.b.c-2 (14) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

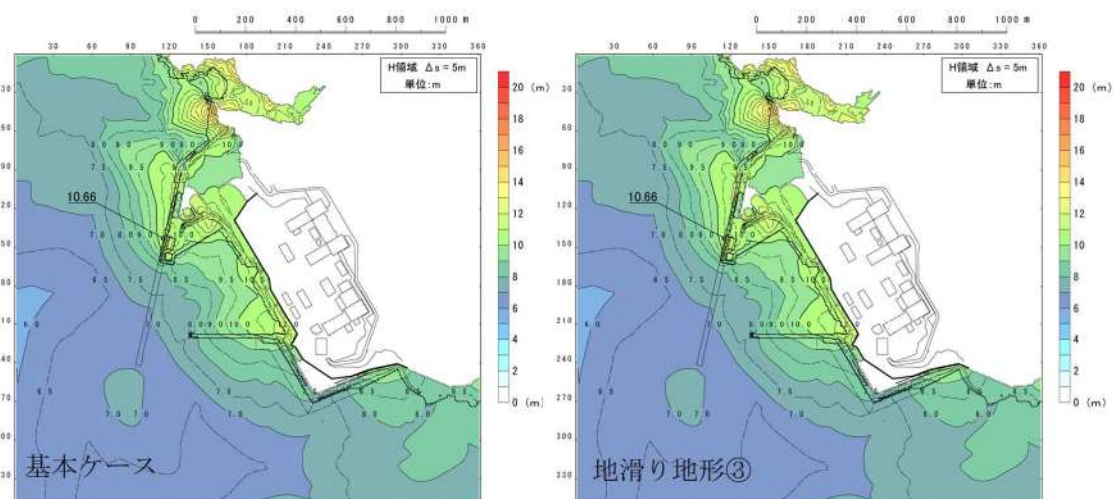


図 2.1.b.c-2 (15) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

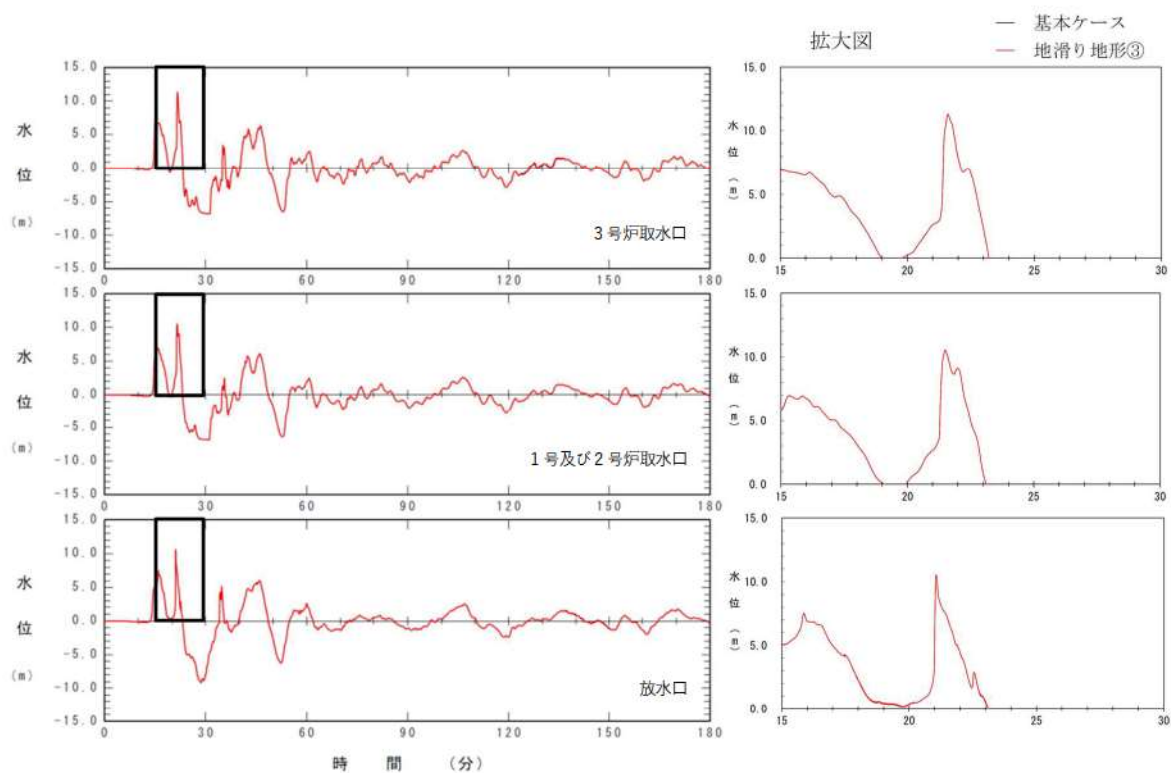


図 2.1.b.c-2 (16) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

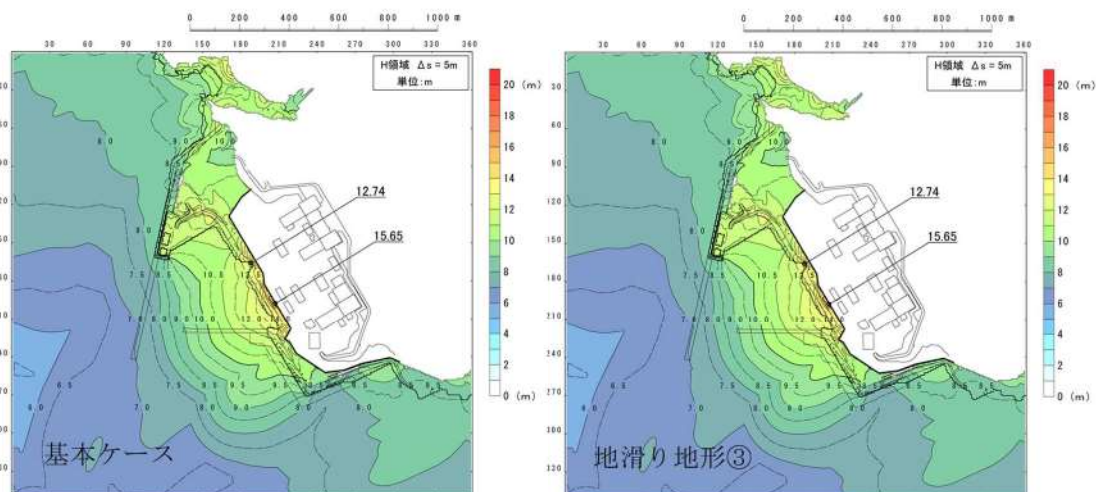


図 2.1.b.c-2 (17) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

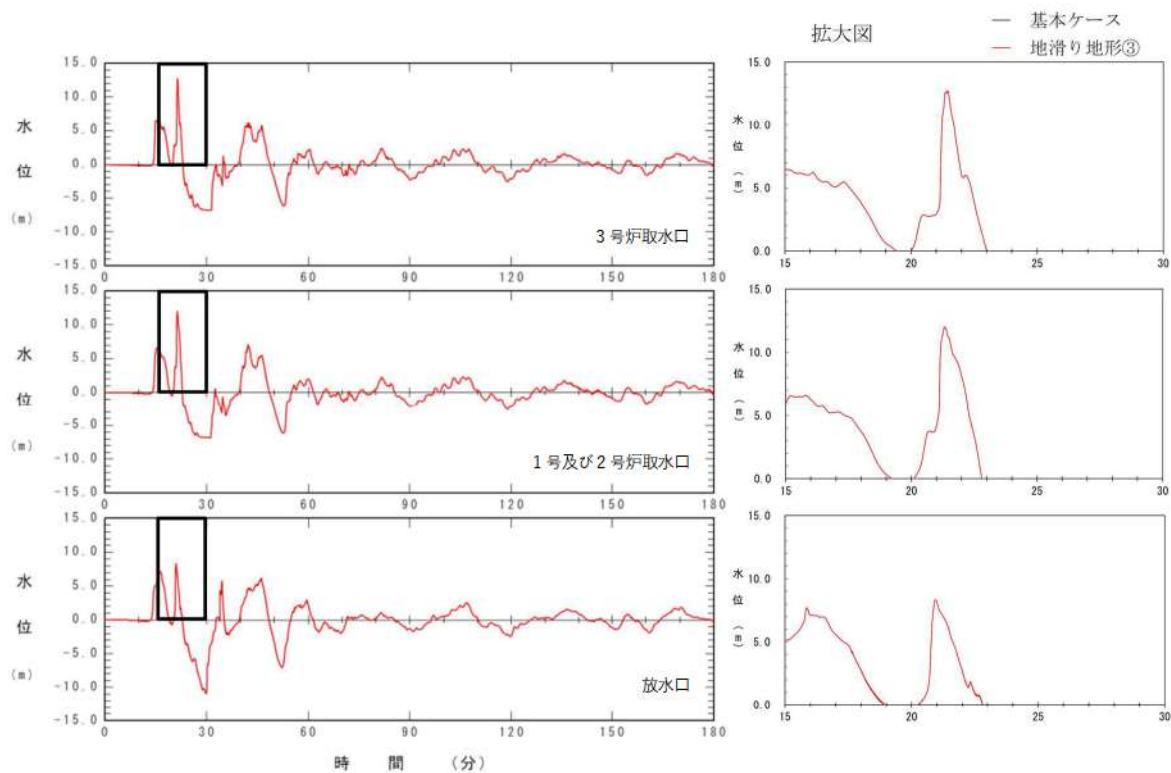


図 2.1.b.c-2 (18) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

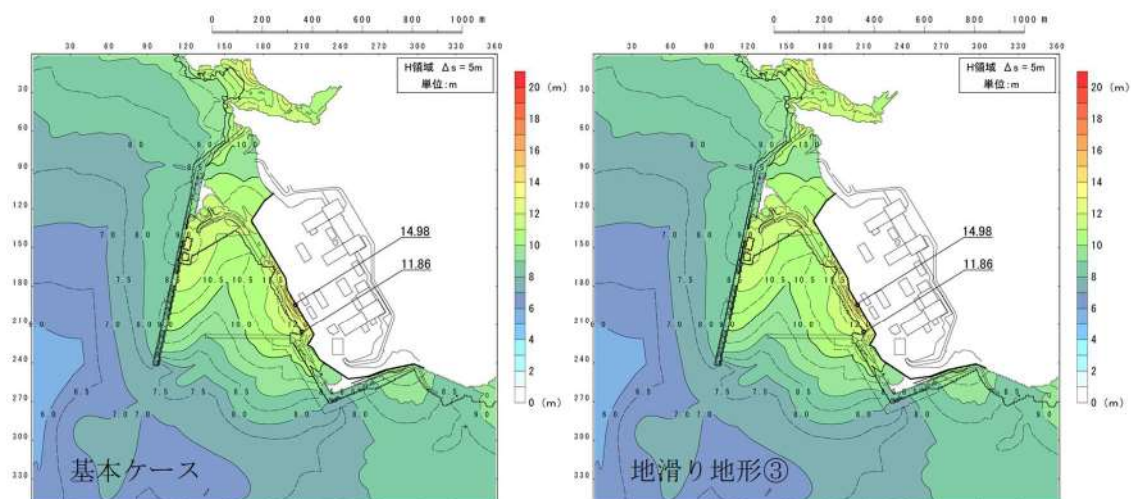


図 2.1.b.c-2 (19) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

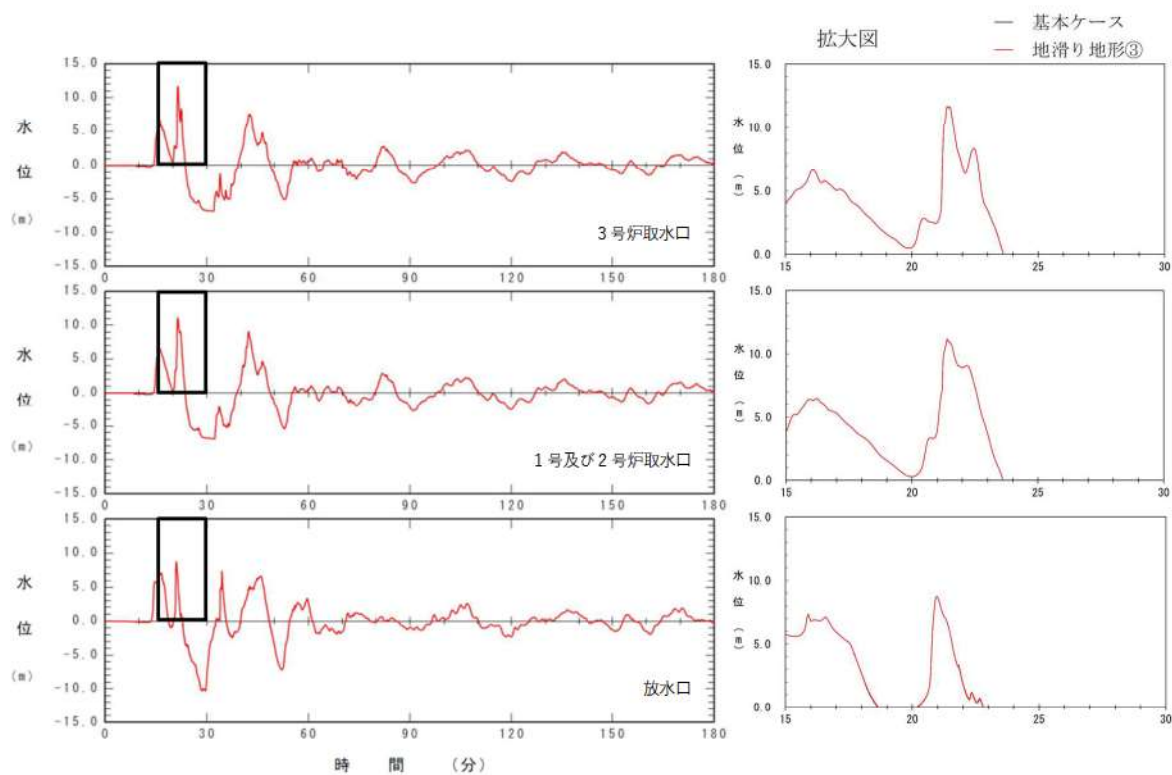


図 2.1.b.c-2 (20) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

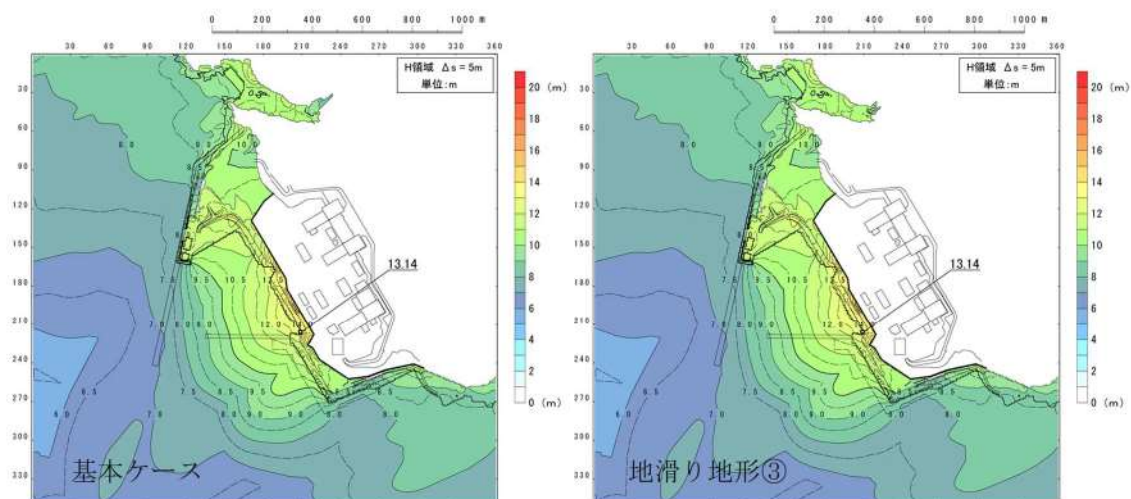


図 2.1.b.c-2 (21) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

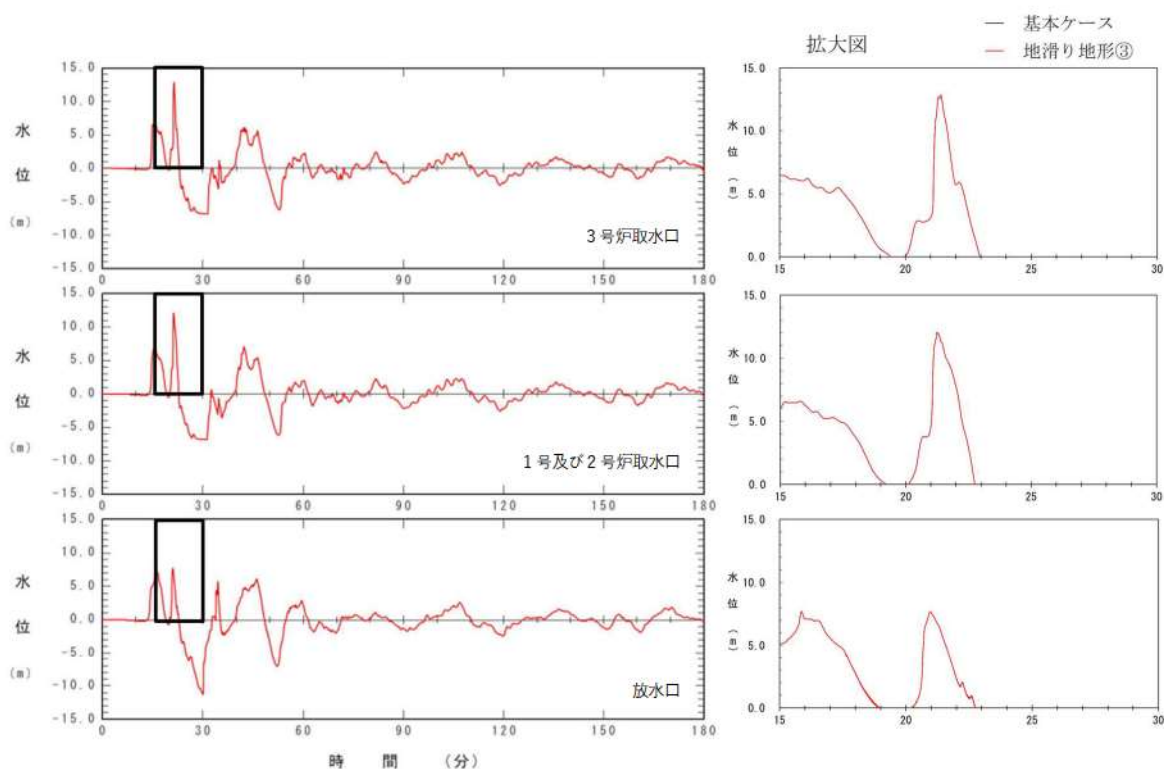


図 2.1.b.c-2 (22) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

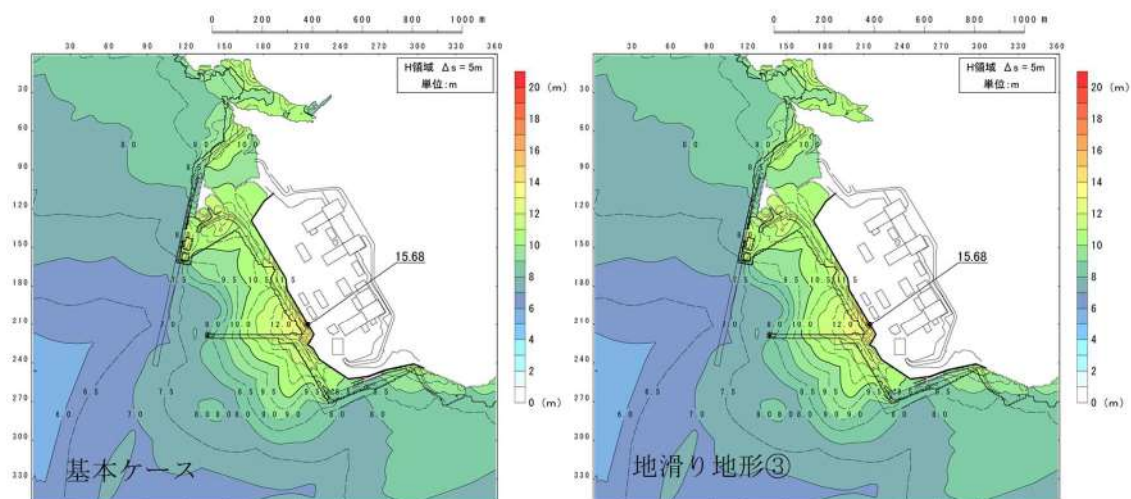


図 2.1.b.c-2 (23) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

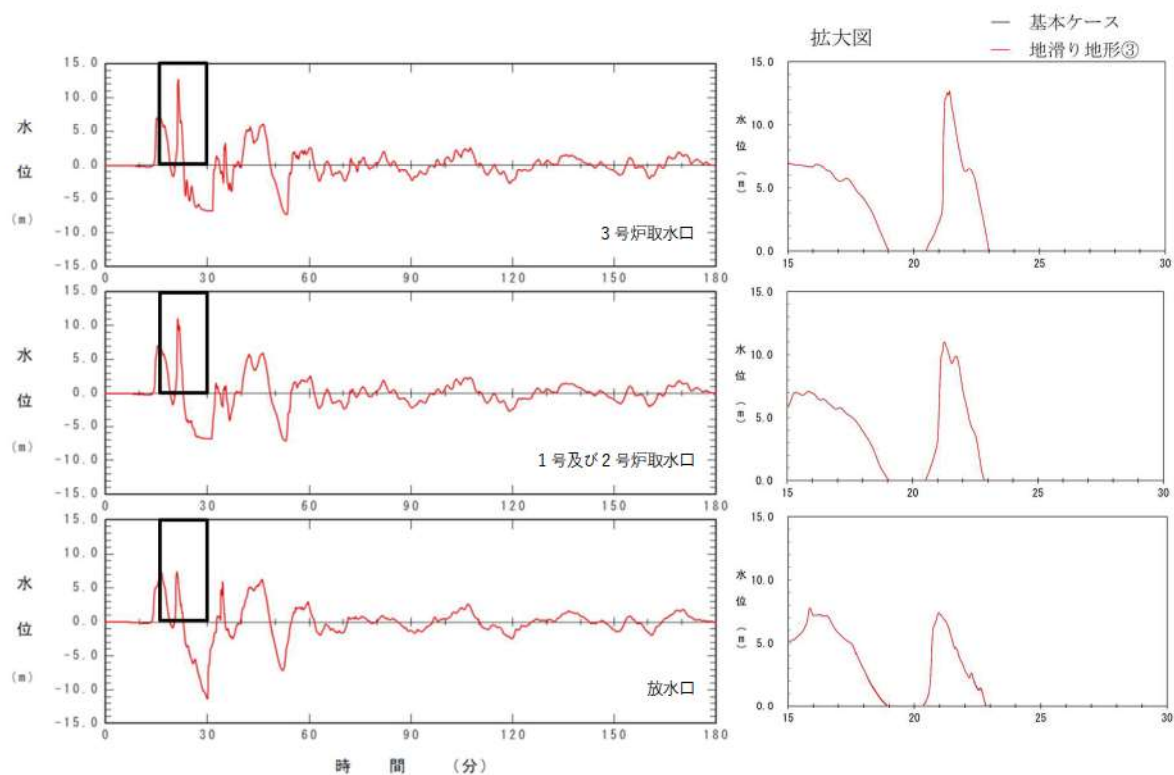


図 2.1.b.c-2 (24) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

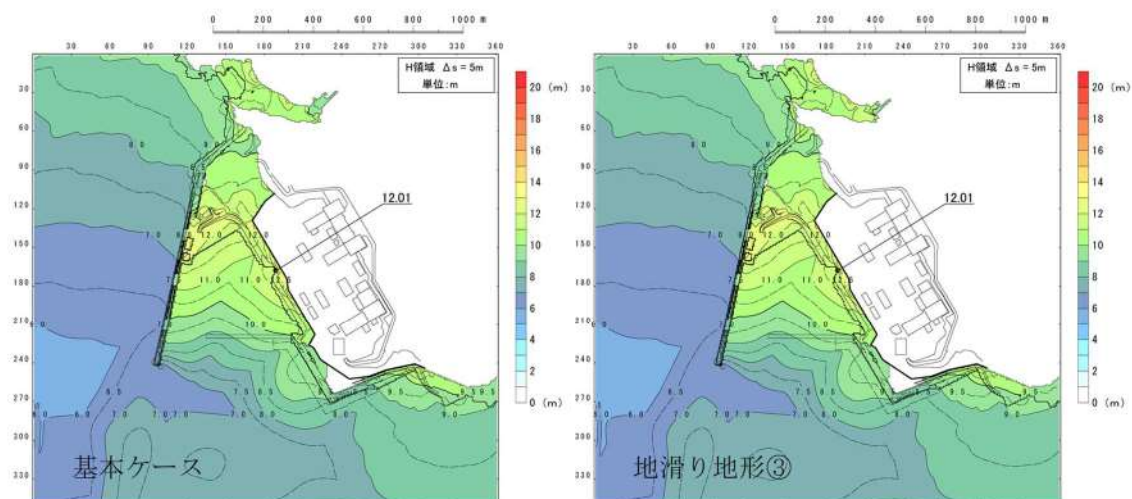


図 2.1.b.c-2 (25) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

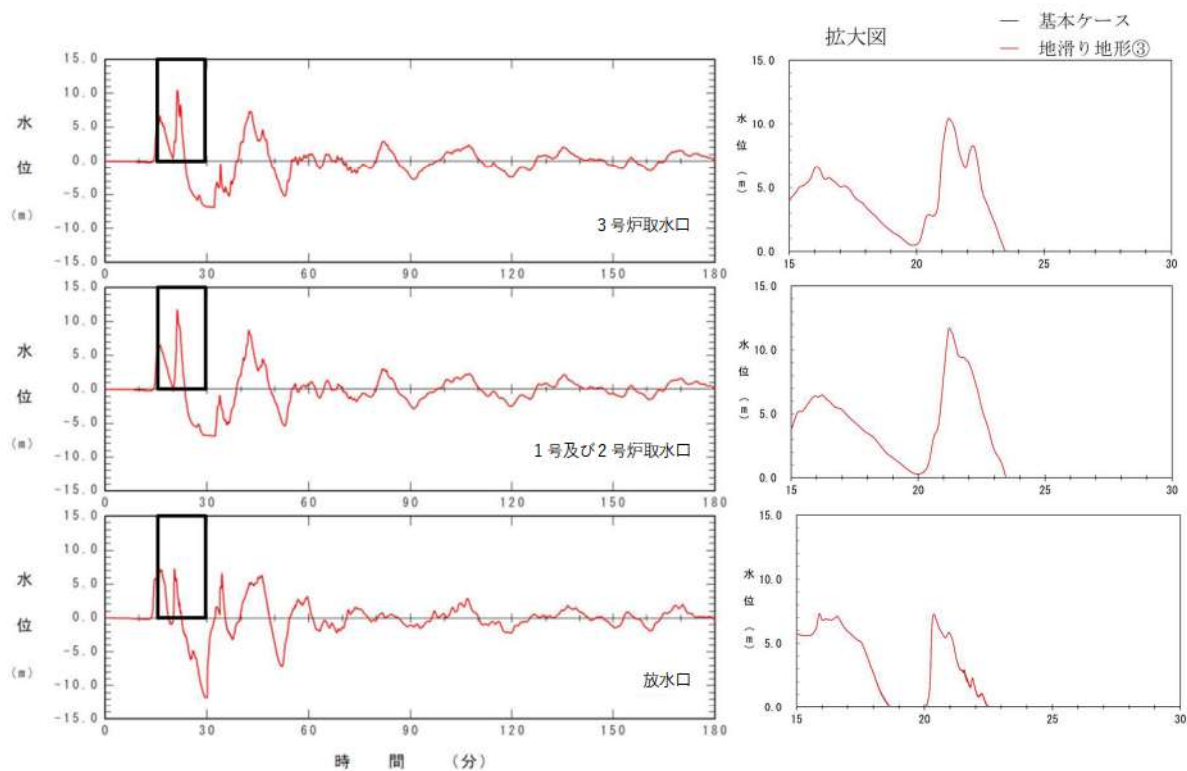


図 2.1.b.c-2 (26) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

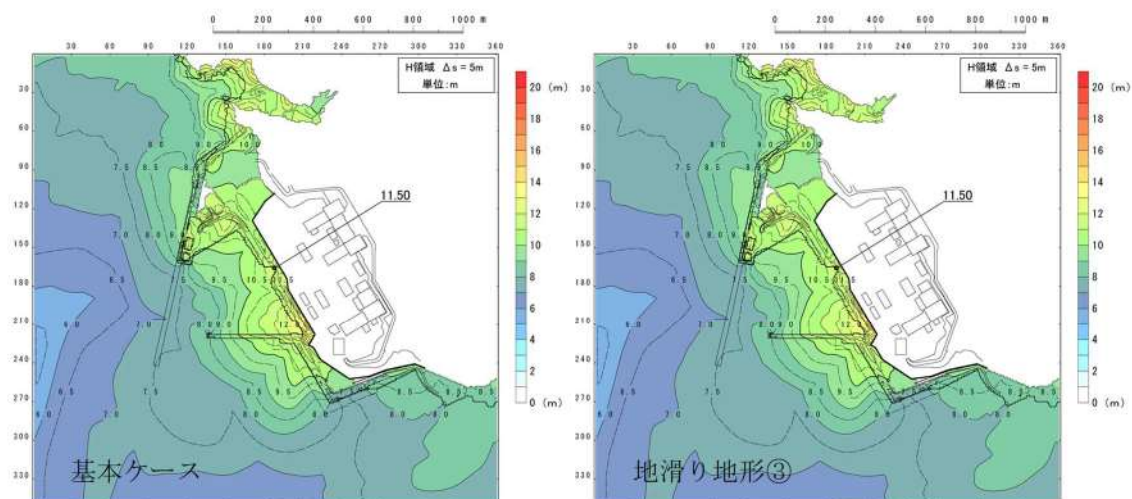


図 2.1.b.c-2 (27) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

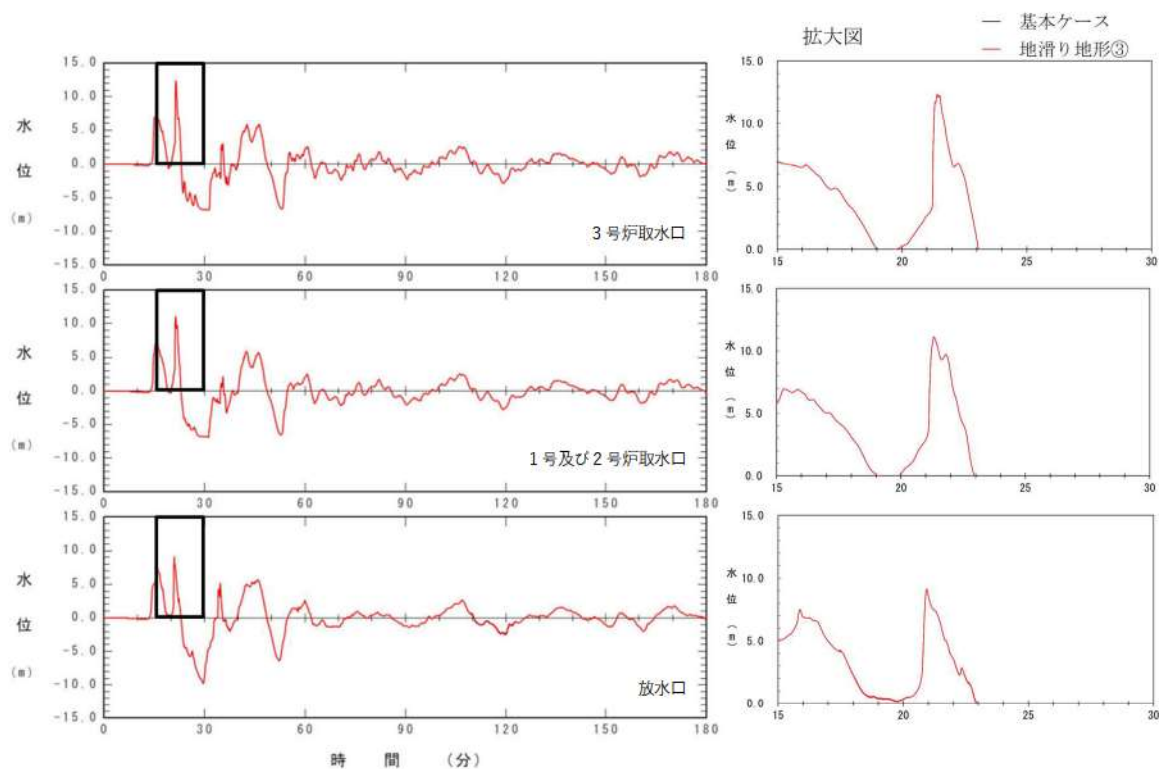


図 2.1.b.c-2 (28) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

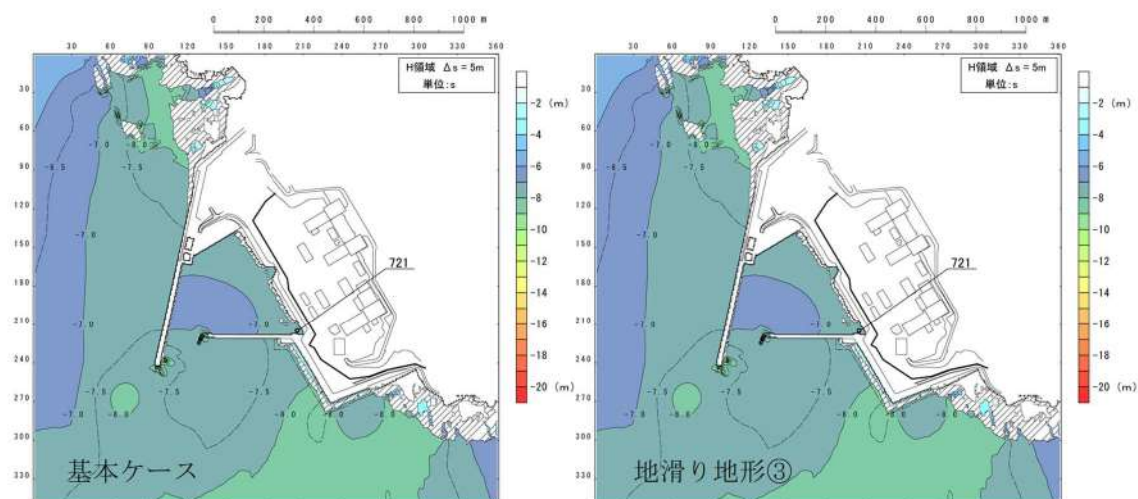


図 2.1. b. c-2 (29) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

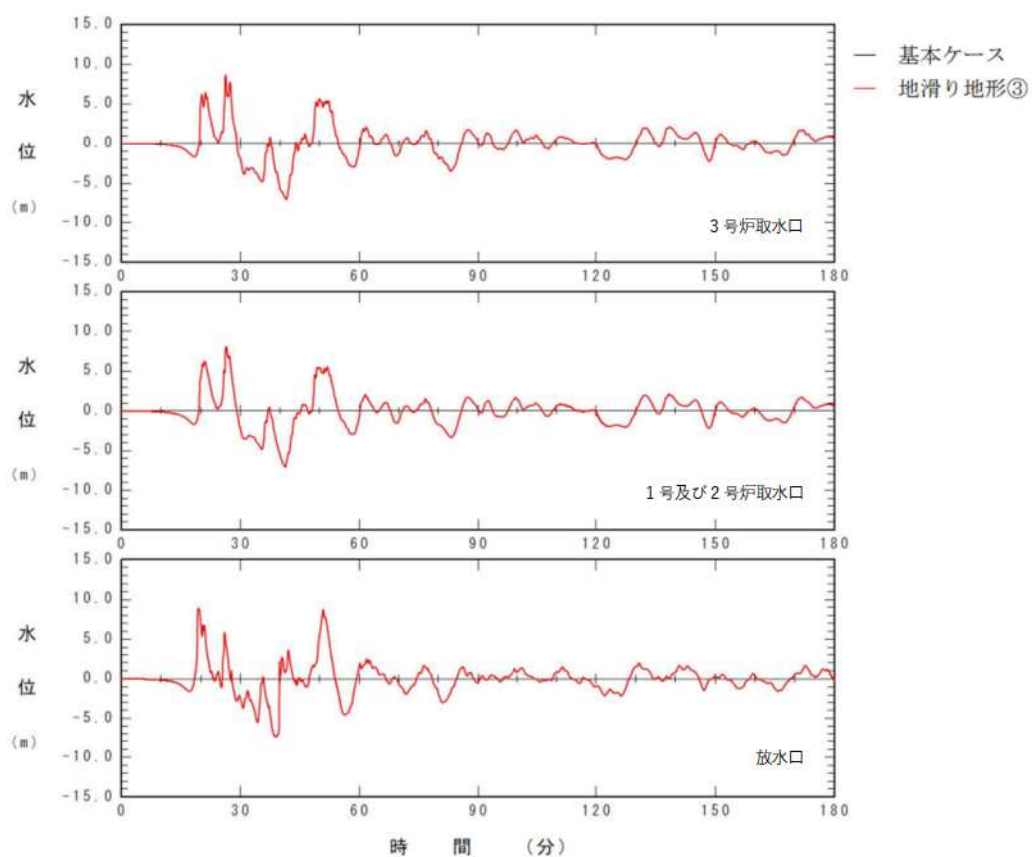


図 2.1. b. c-2 (30) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

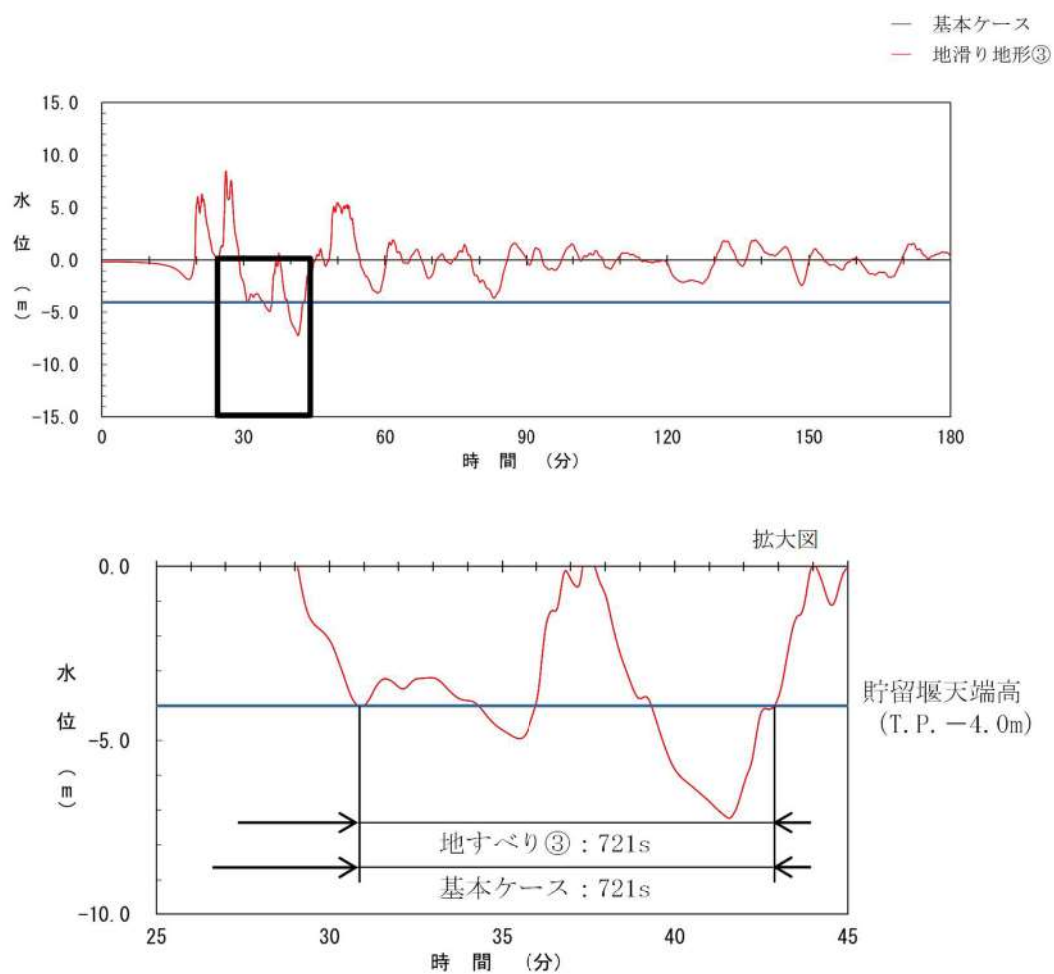


図 2. 1. b. c-2 (31) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 I (防波堤損傷なし))

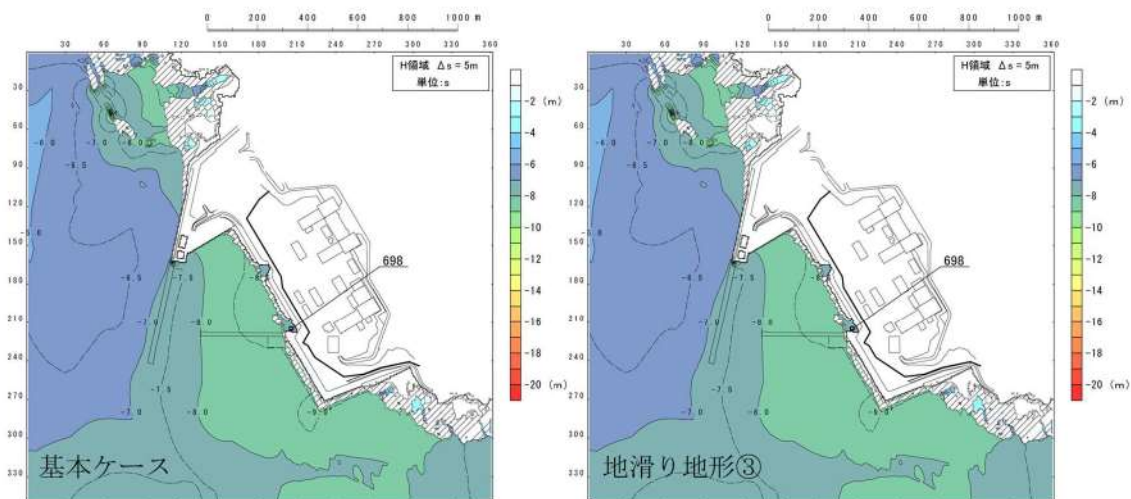


図 2.1. b. c-2 (32) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

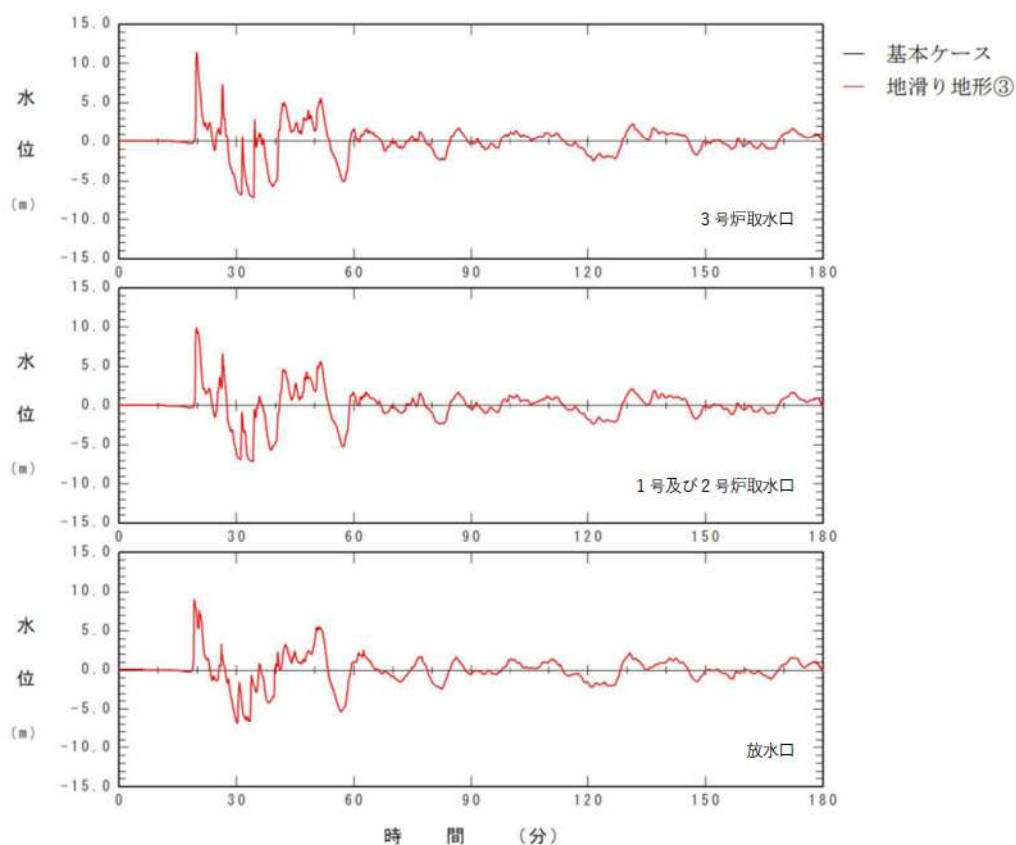


図 2.1. b. c-2 (33) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

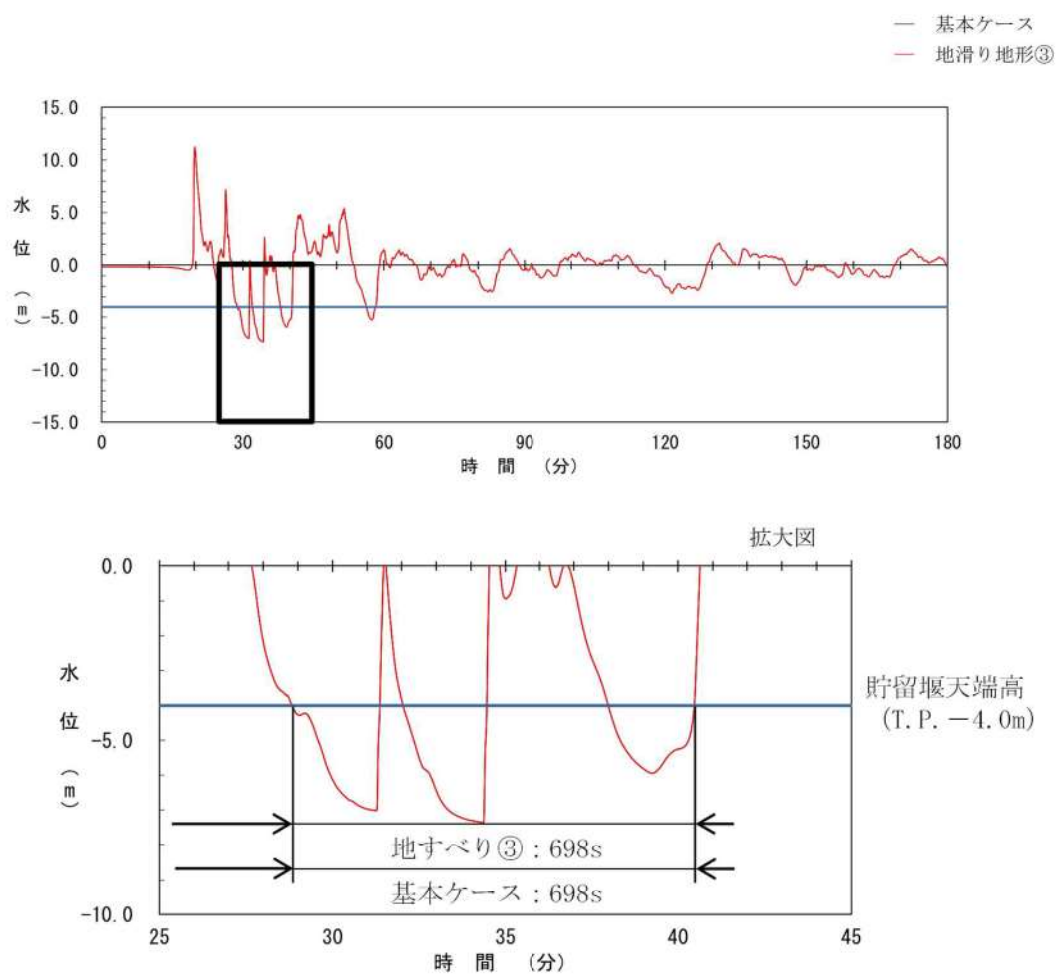


図 2. 1. b. c-2 (34) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

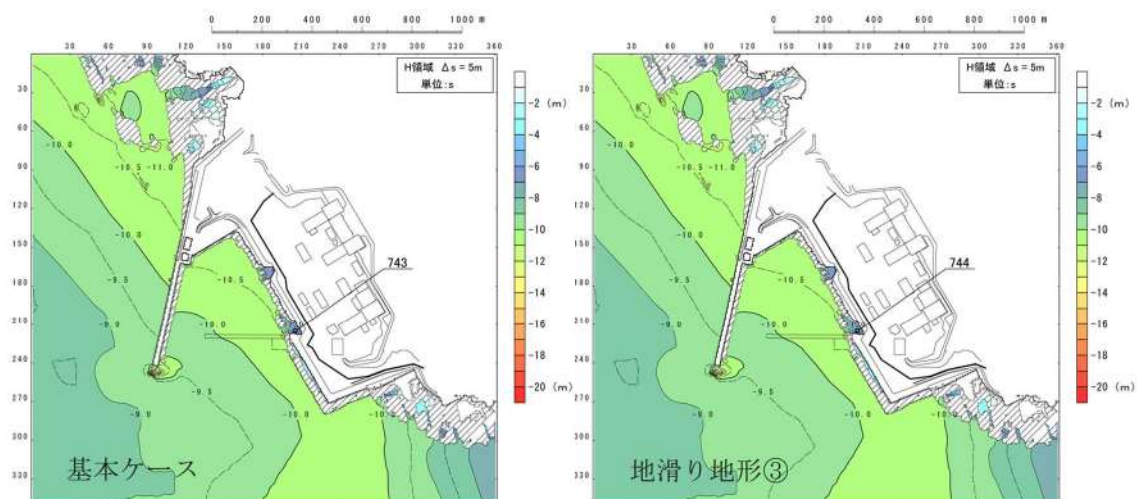


図 2. 1. b. c-2 (35) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

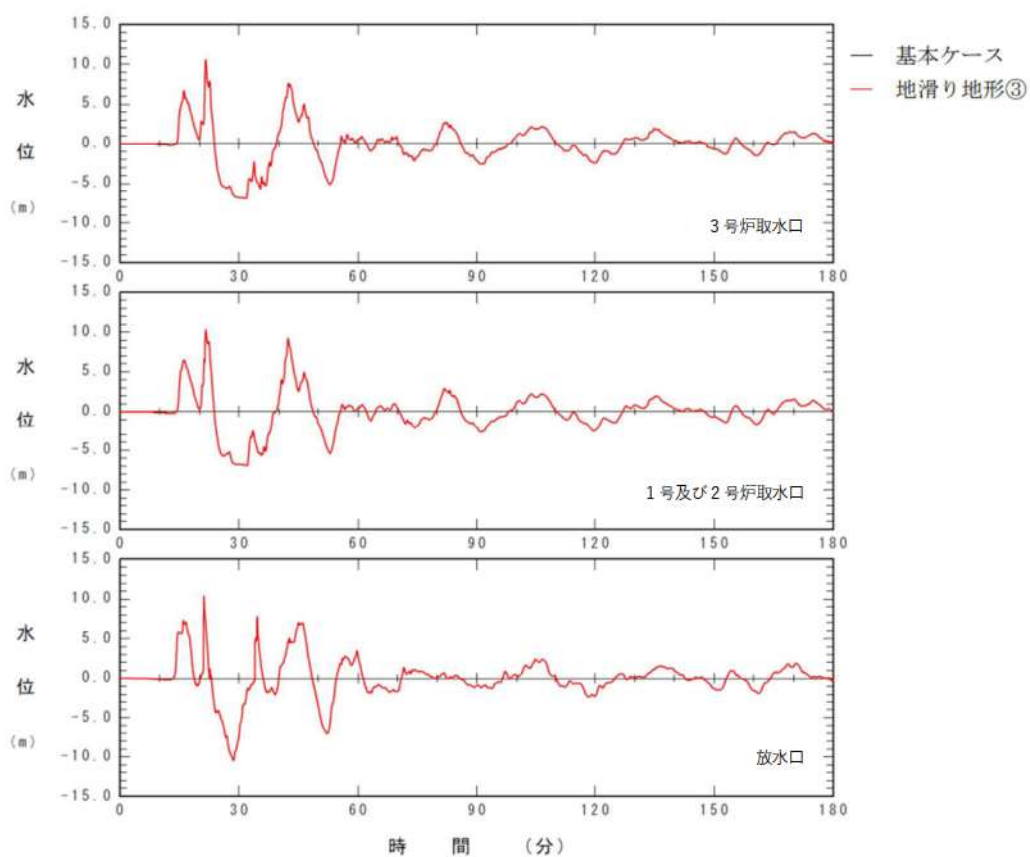


図 2. 1. b. c-2 (36) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

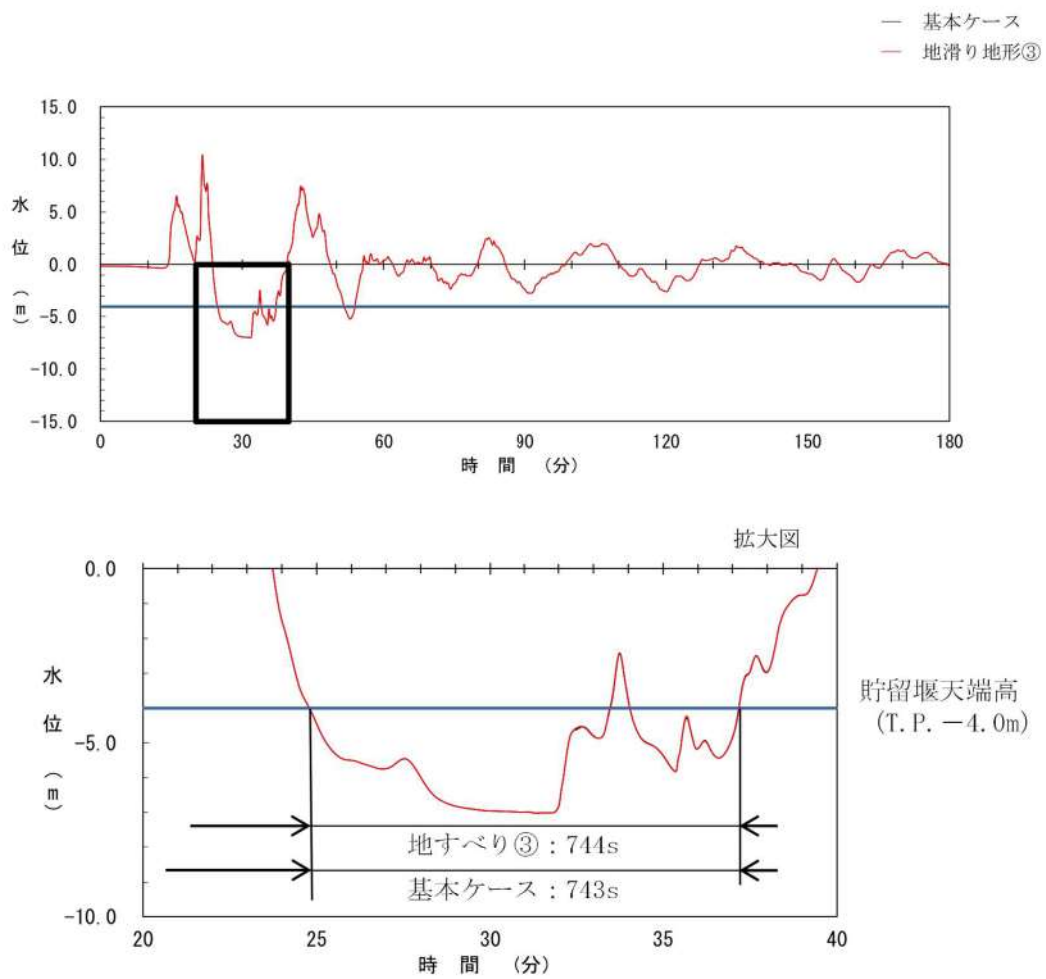


図 2. 1. b. c-2 (37) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波K (南防波堤損傷))

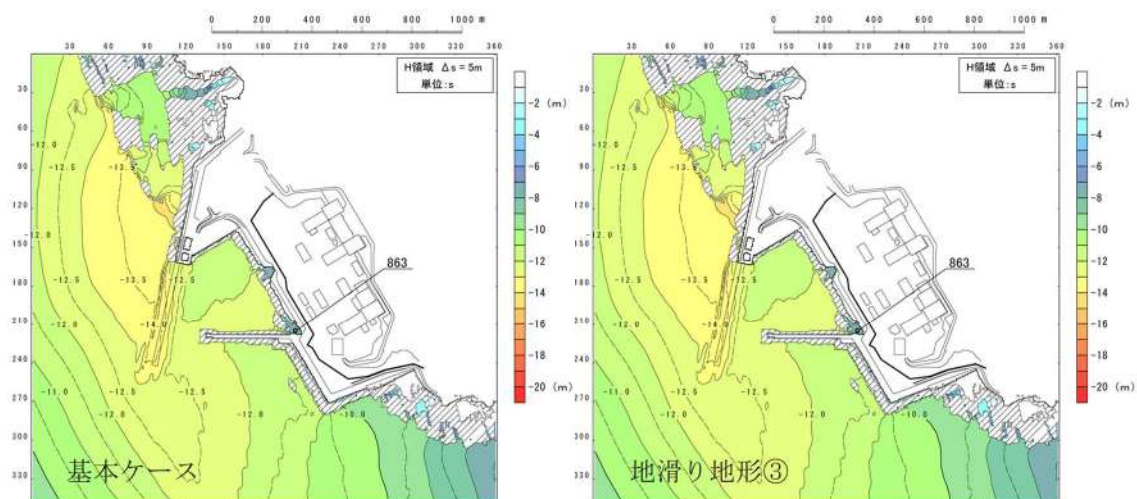


図 2.1. b. c-2 (38) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

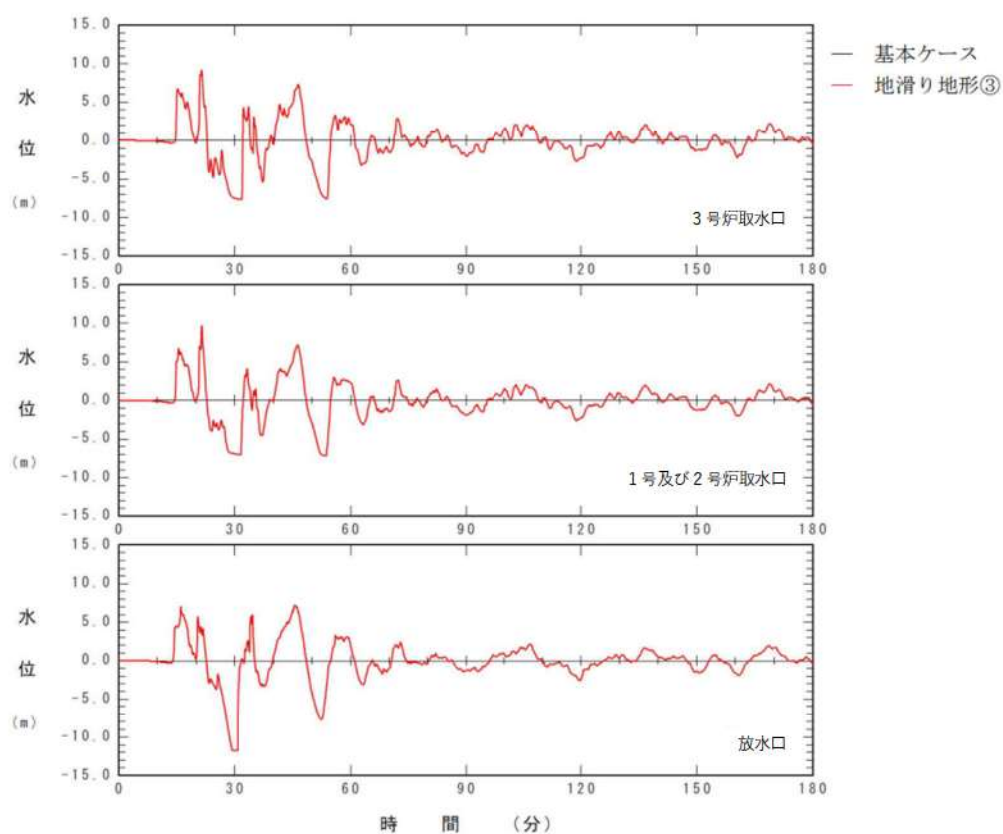


図 2.1. b. c-2 (39) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

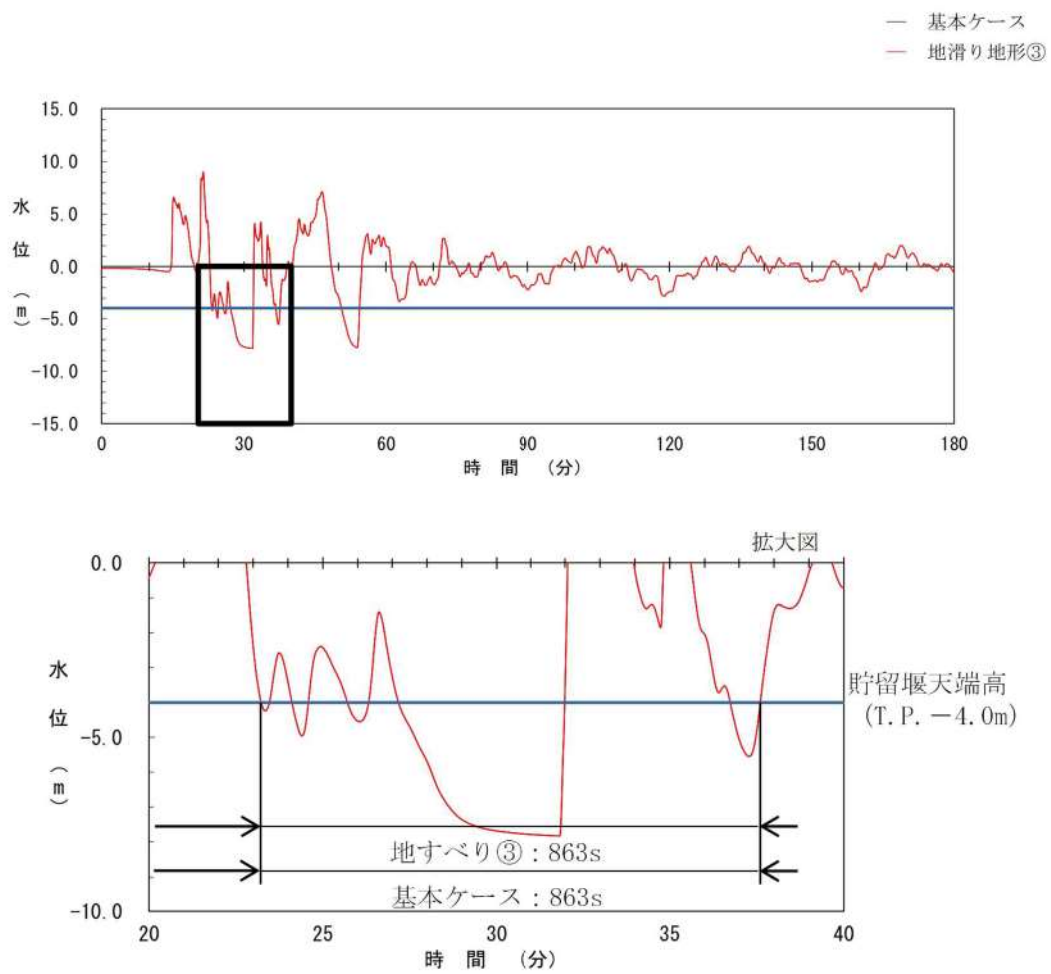


図 2. 1. b. c-2 (40) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 L (北防波堤損傷))

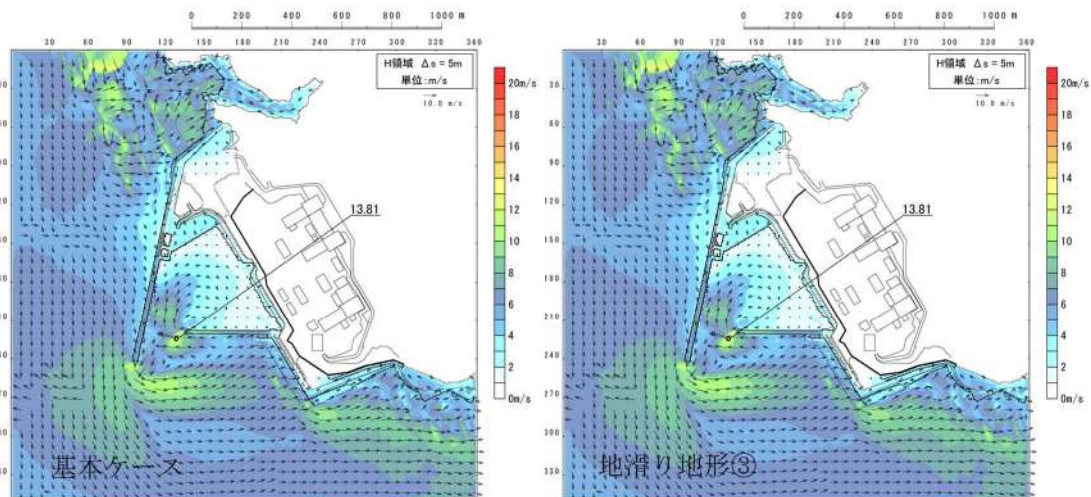


図 2.1.b.c-2 (41) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 A (防波堤損傷なし))

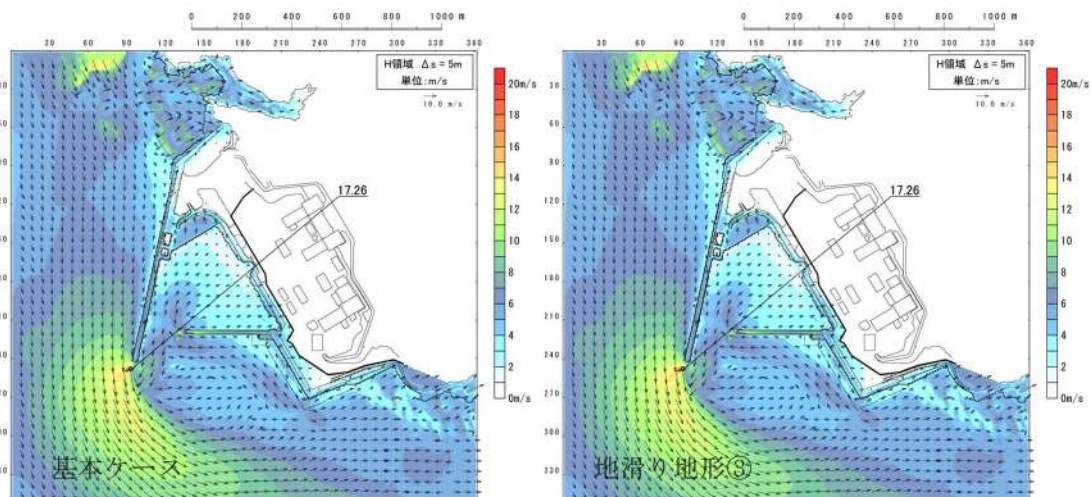


図 2.1.b.c-2 (42) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 B (防波堤損傷なし))

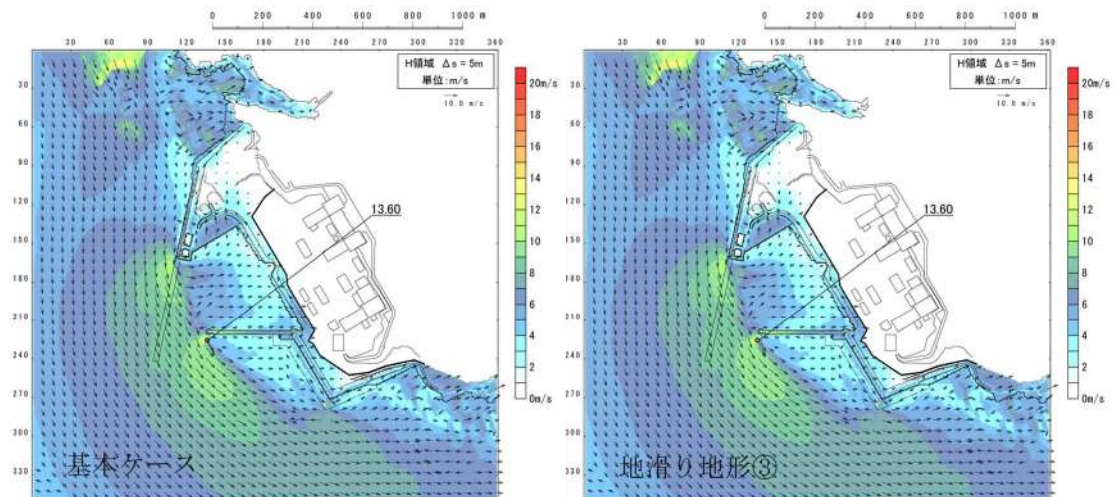


図 2. 1. b. c-2 (43) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 B (北防波堤損傷))

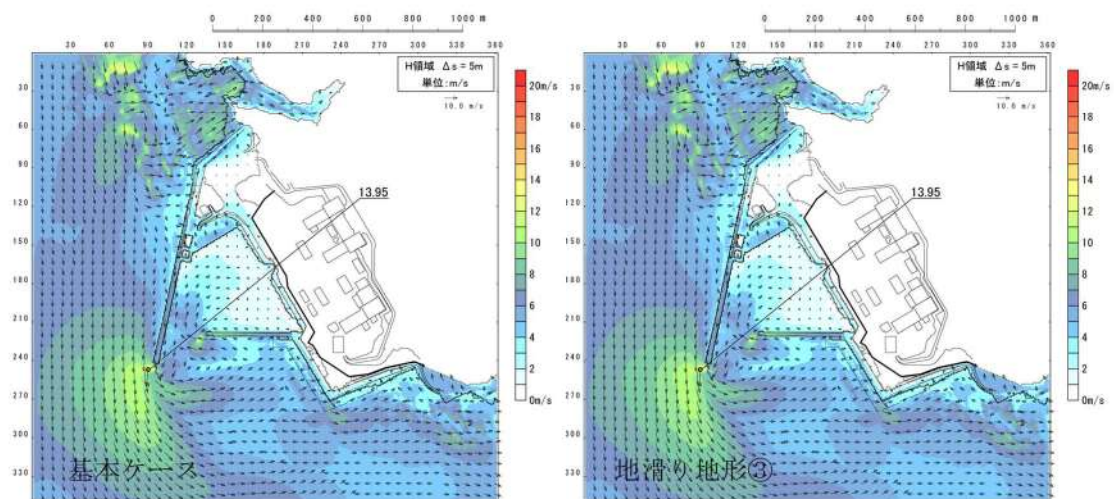


図 2. 1. b. c-2 (44) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 C (防波堤損傷なし))

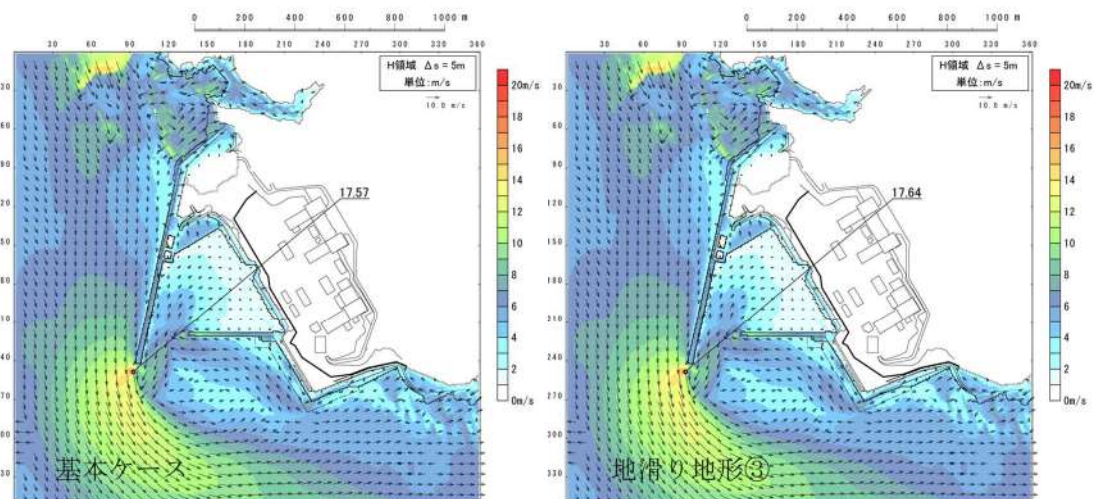


図 2. 1. b. c-2 (45) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (防波堤損傷なし))

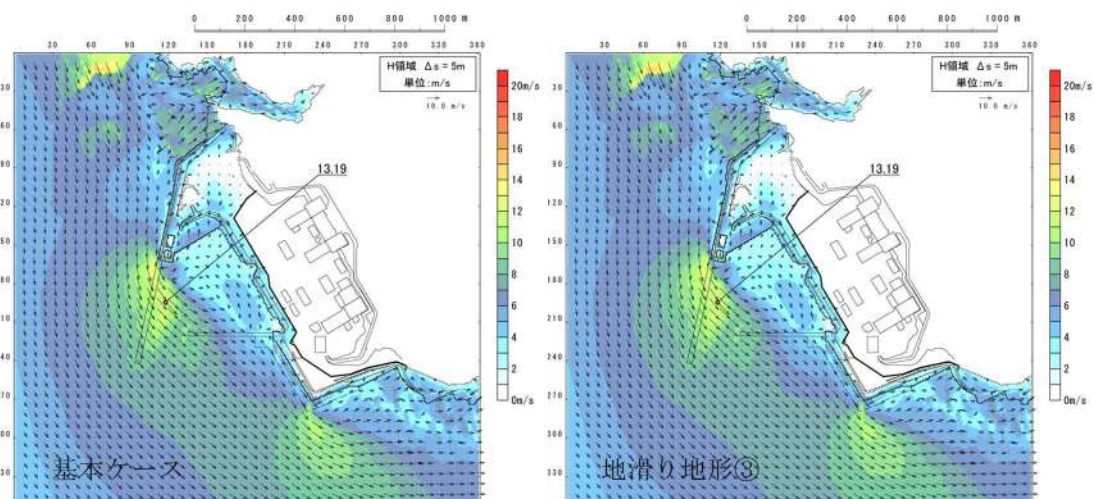


図 2. 1. b. c-2 (46) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (北及び南防波堤損傷))

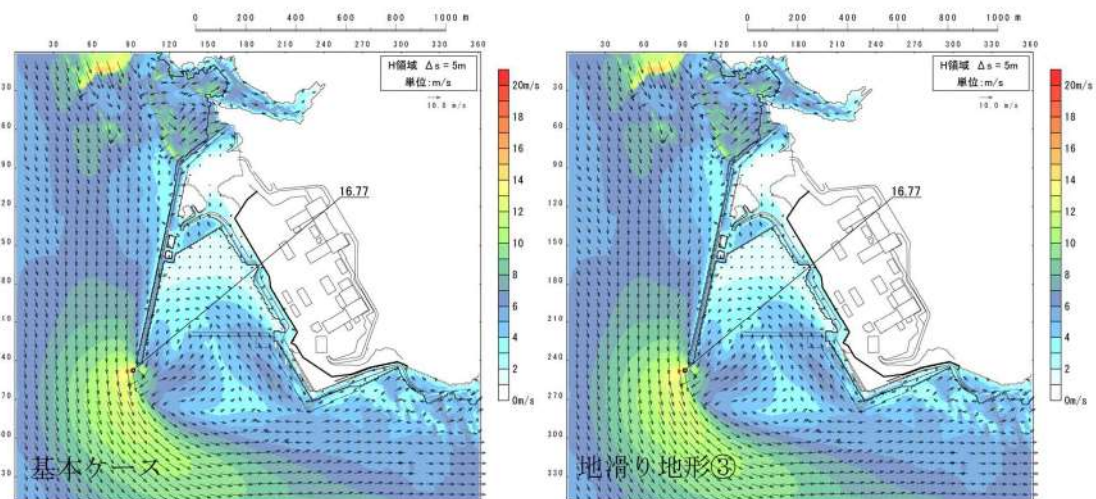


図 2. 1. b. c-2 (47) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (南防波堤損傷))

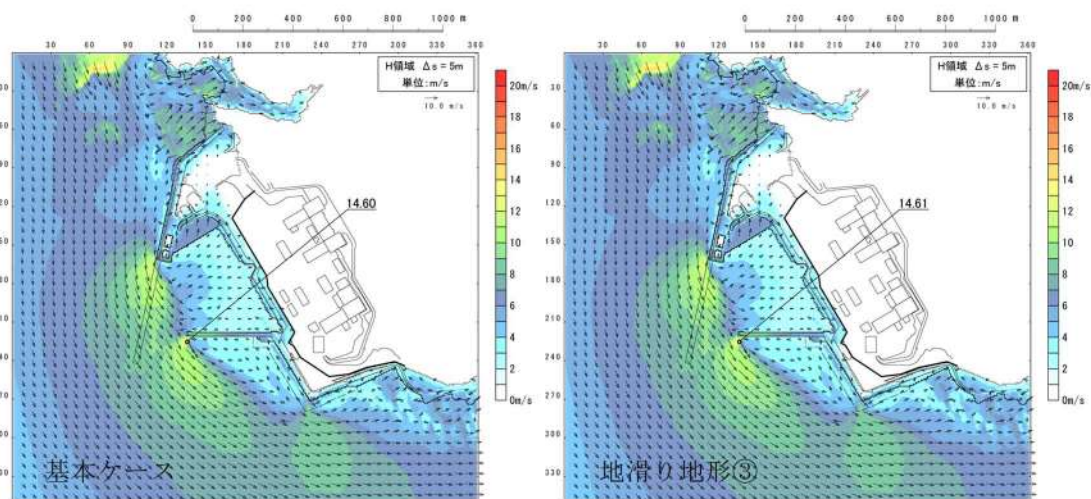


図 2. 1. b. c-2 (48) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D (北防波堤損傷))

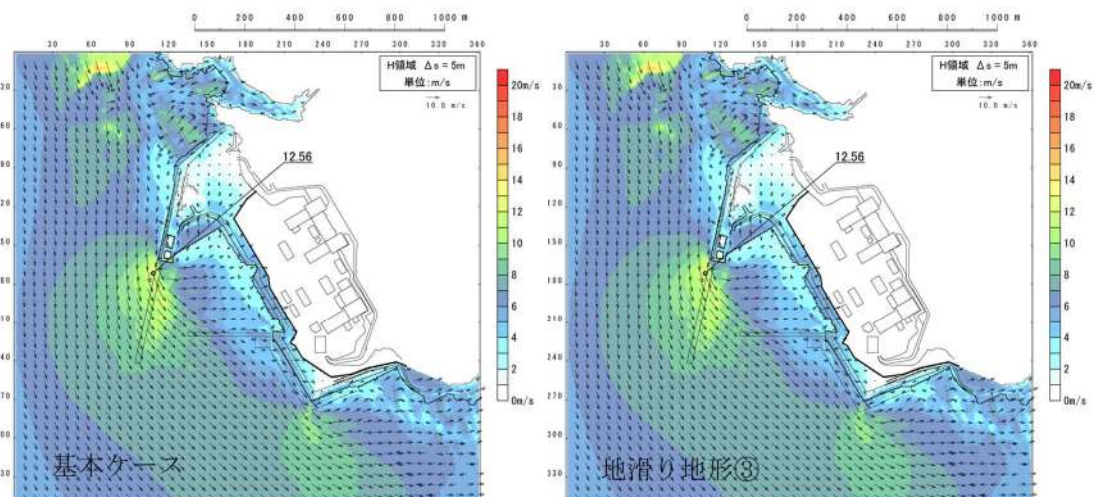


図 2. 1. b. c-2 (49) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 E (北及び南防波堤損傷))

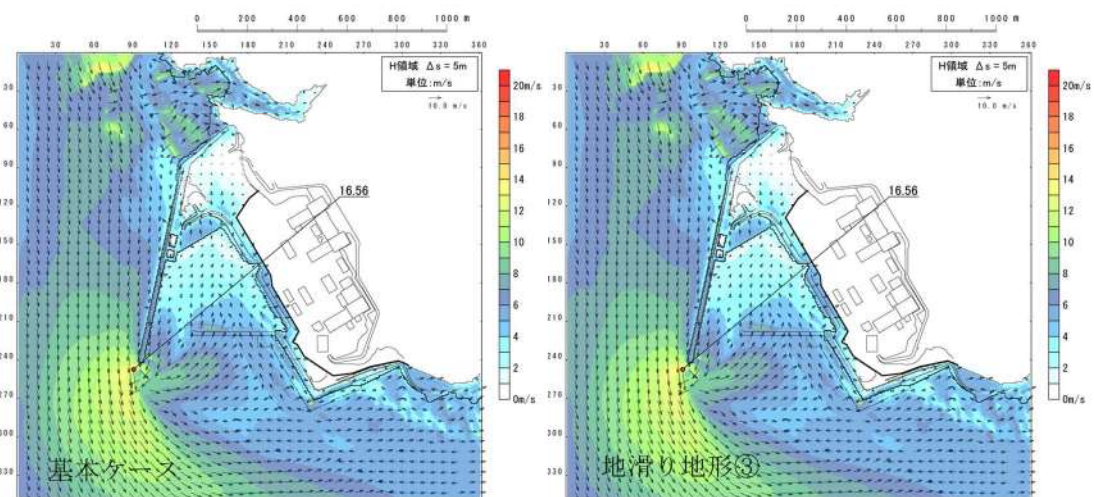


図 2. 1. b. c-2 (50) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 E (南防波堤損傷))

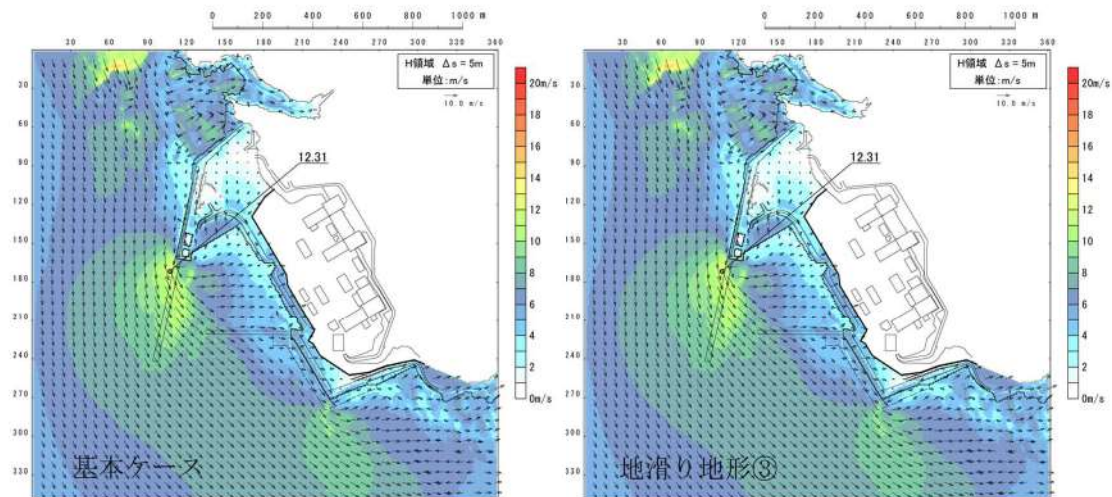


図 2. 1. b. c-2 (51) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 F (北及び南防波堤損傷))

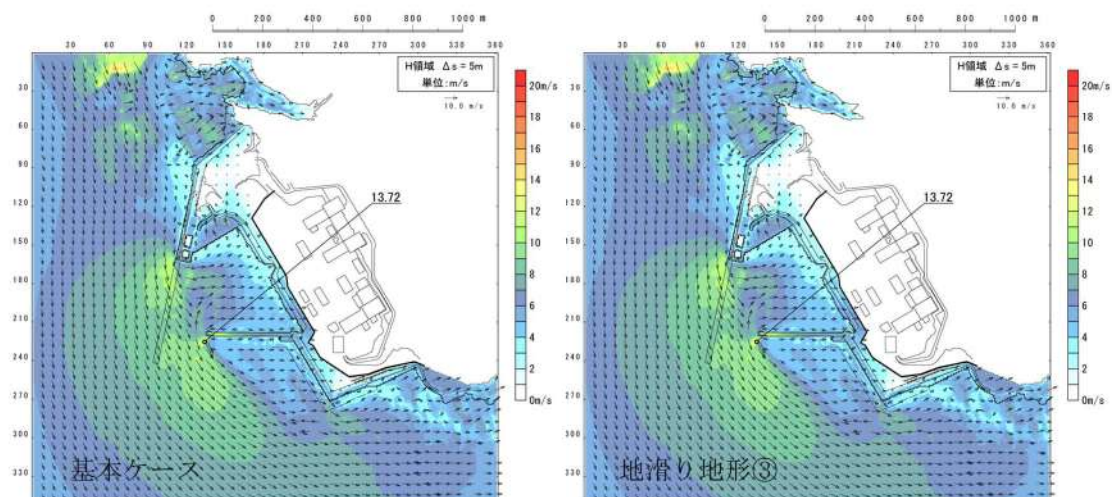


図 2. 1. b. c-2 (52) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 F (北防波堤損傷))

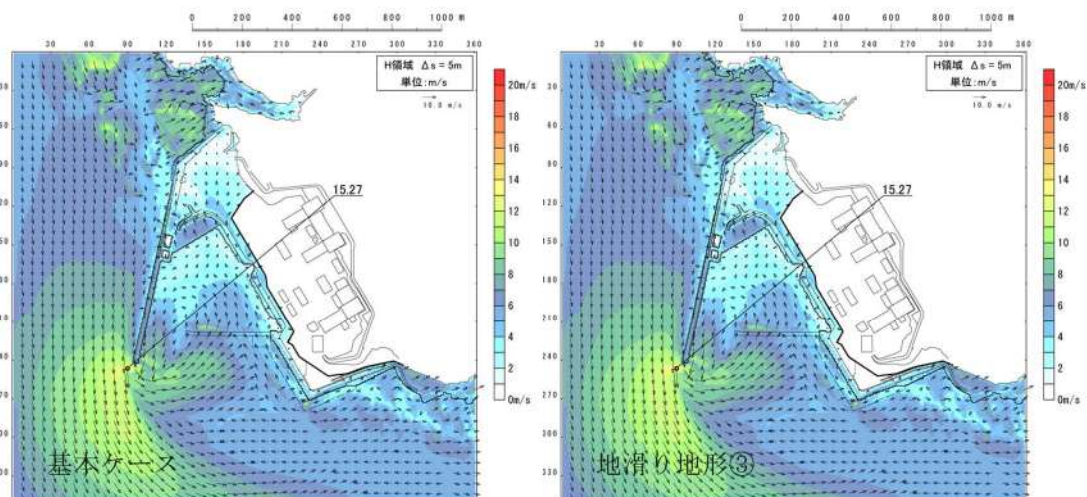


図 2. 1. b. c-2 (53) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波G (南防波堤損傷))

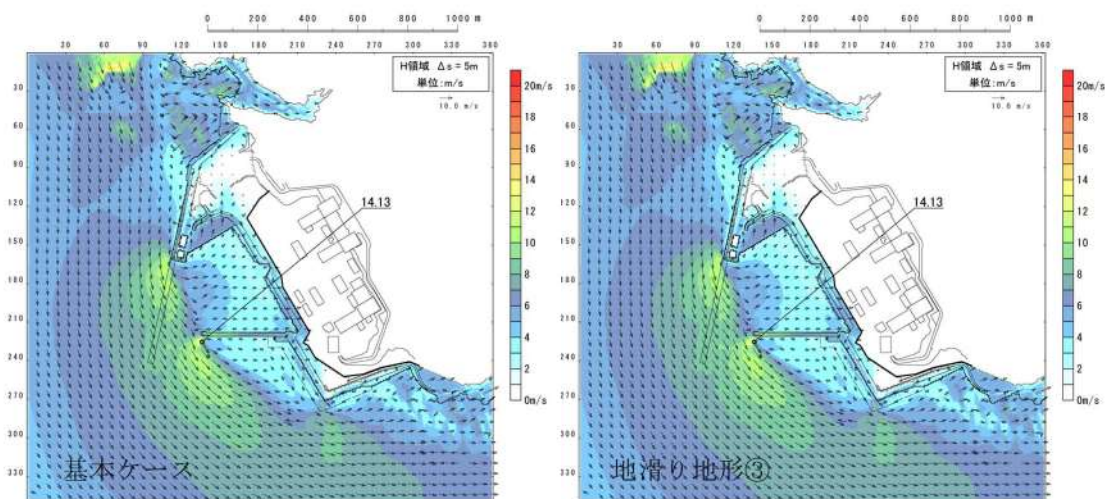


図 2. 1. b. c-2 (54) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波H (北防波堤損傷))

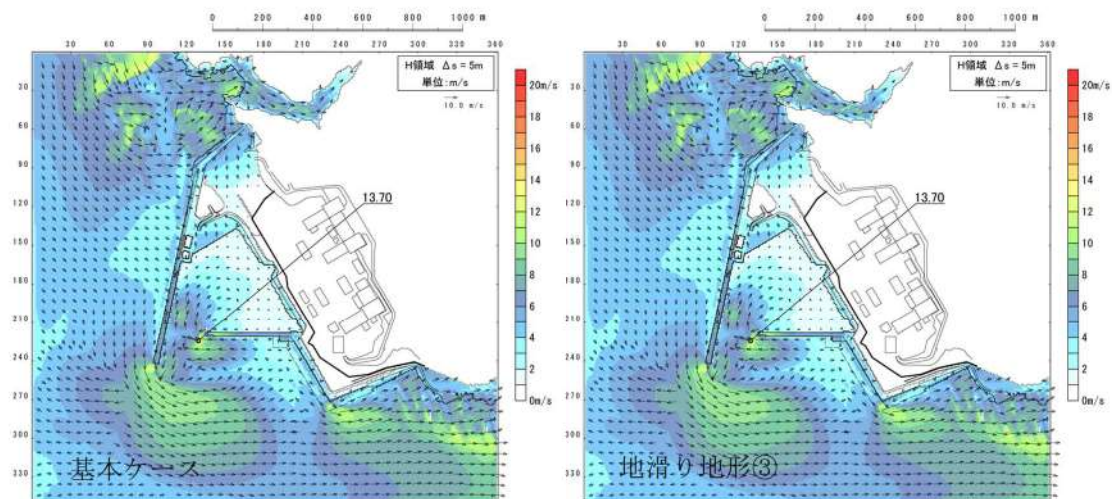


図 2. 1. b. c-2 (55) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 I (防波堤損傷なし))

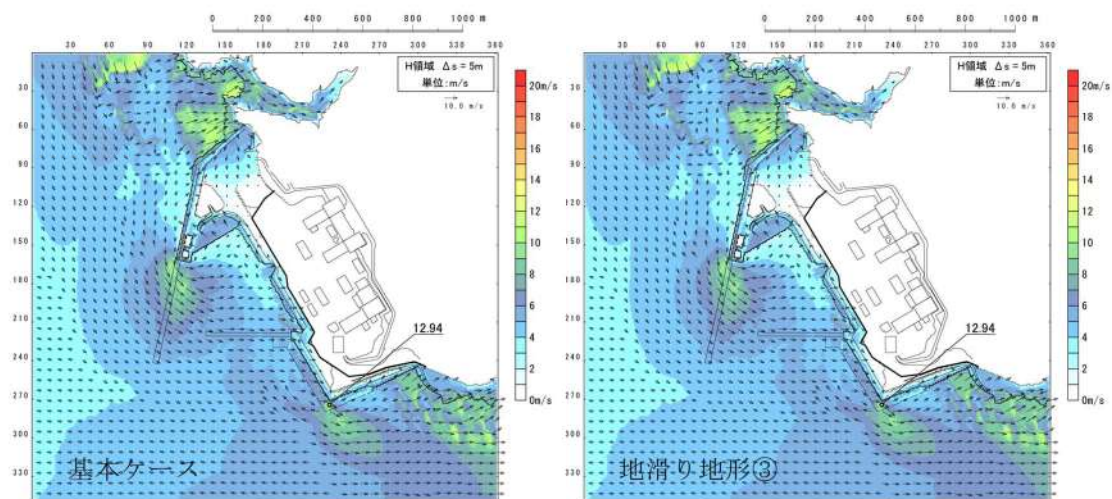


図 2. 1. b. c-2 (56) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波 J (北及び南防波堤損傷))

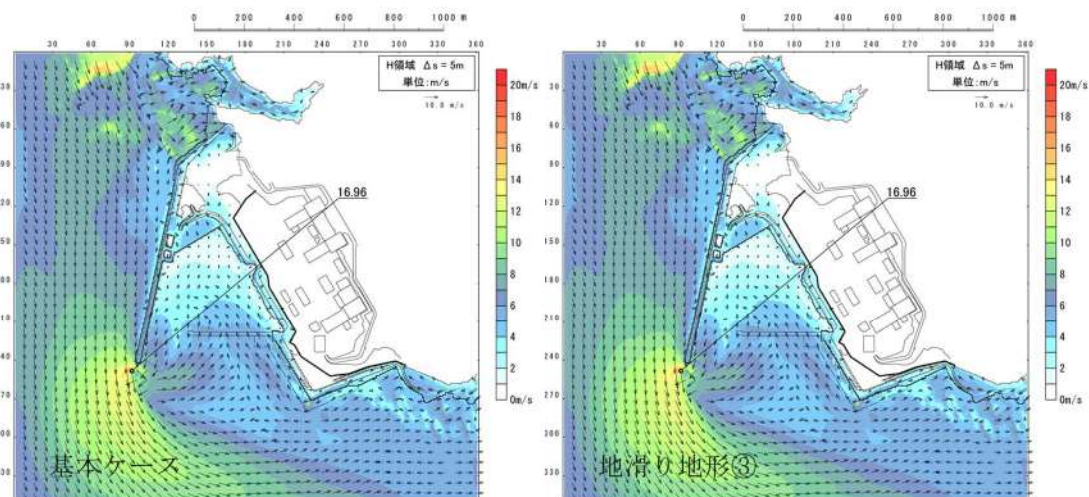


図 2. 1. b. c-2 (57) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波K (南防波堤損傷))

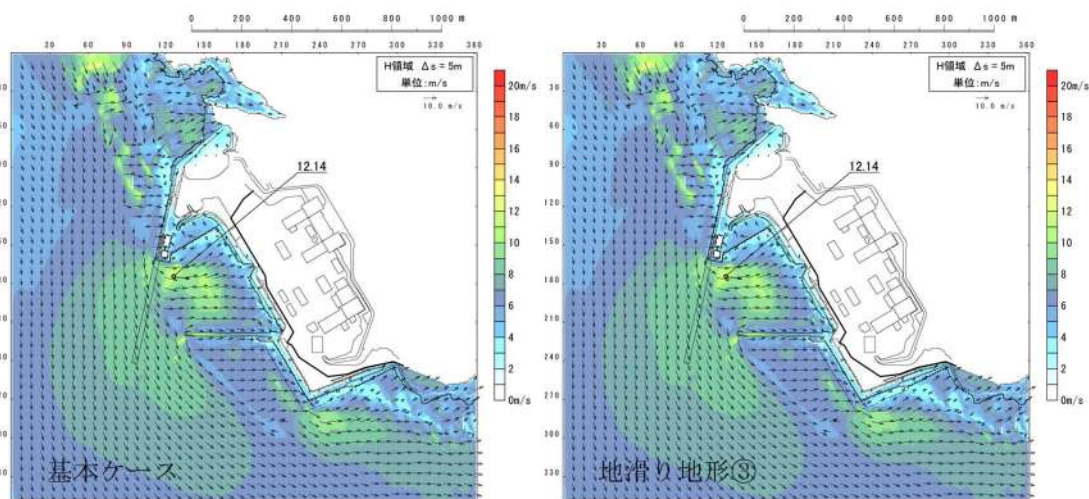


図 2. 1. b. c-2 (58) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(基準津波L (北防波堤損傷))

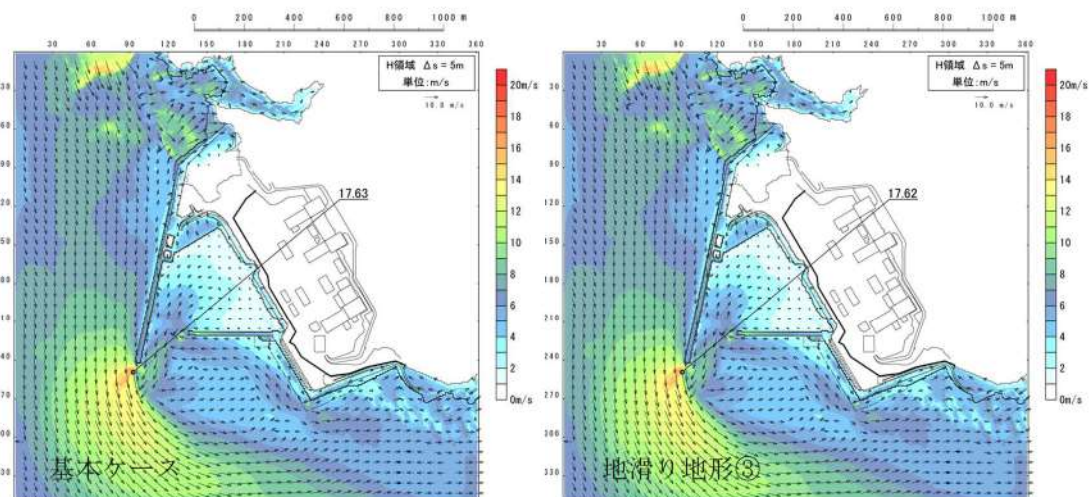


図 2. 1. b. c-2 (59) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(流速最大ケース 1)

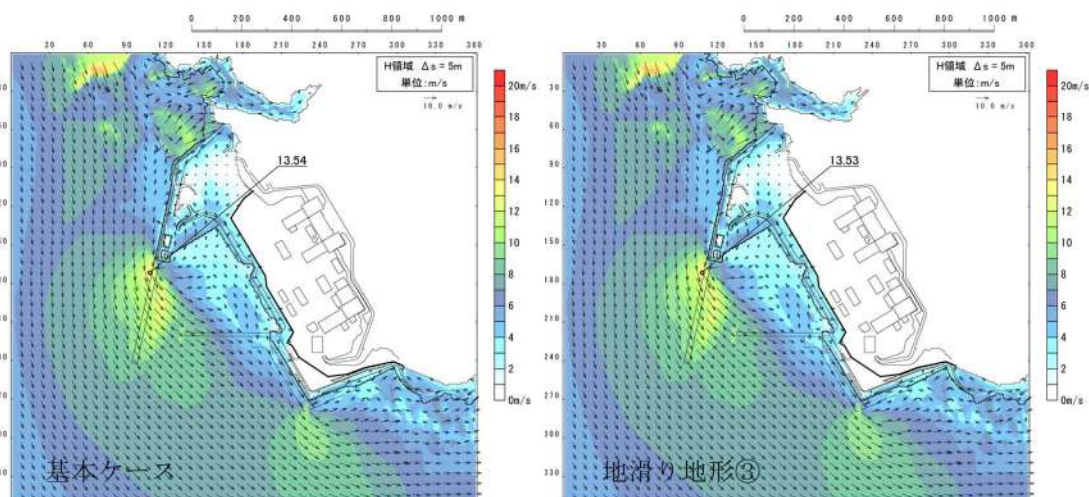


図 2. 1. b. c-2 (60) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による最大流速分布の比較
(流速最大ケース 2)

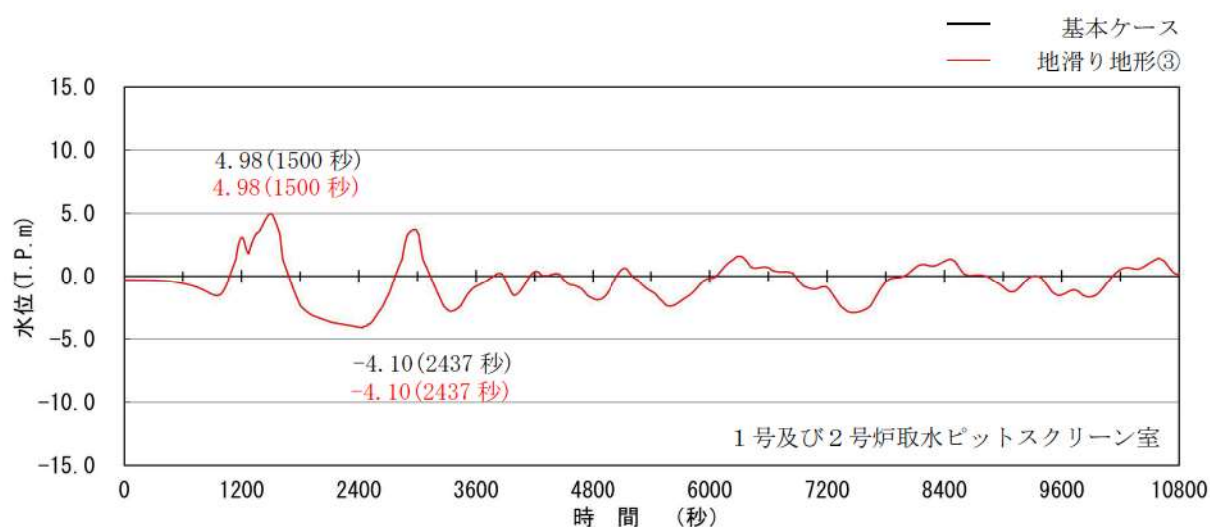


図 2.1.b.c-2 (61) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 A (防波堤損傷なし, 貝付着無し, スクリーン健全))

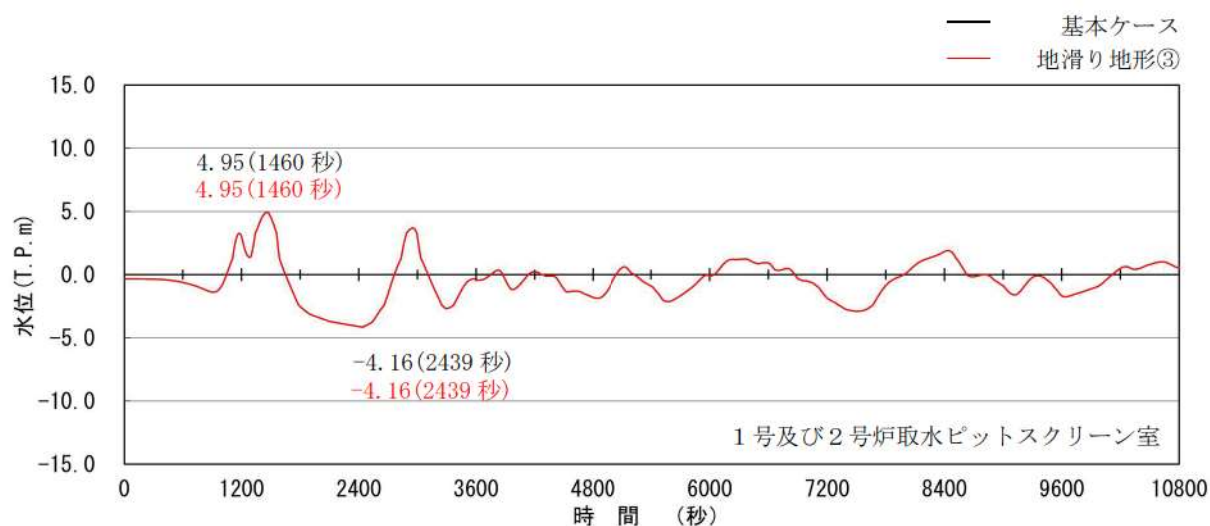


図 2.1.b.c-2 (62) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 C (防波堤損傷なし, 貝付着無し, スクリーン健全))

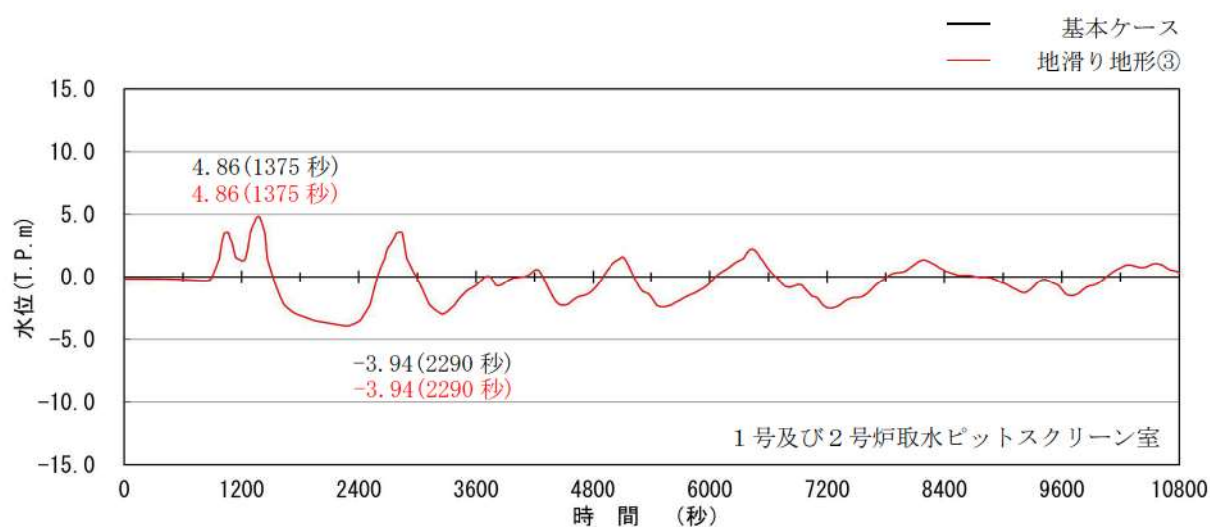


図 2.1. b. c-2 (63) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 D (南防波堤損傷, 貝付着無し, スクリーン健全))

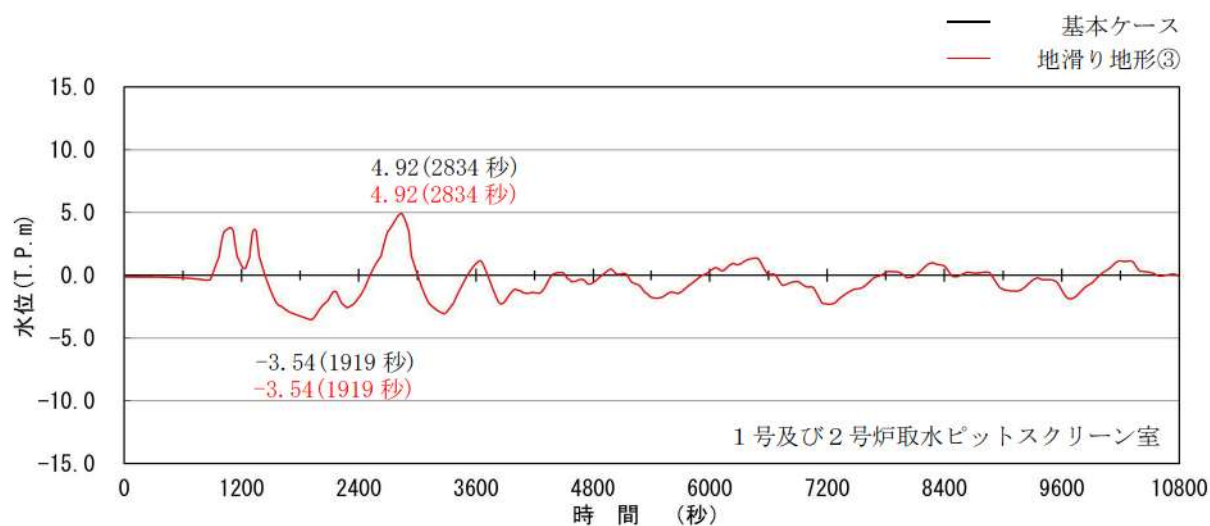


図 2.1. b. c-2 (64) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 L (北防波堤損傷, 貝付着無し, スクリーン健全))

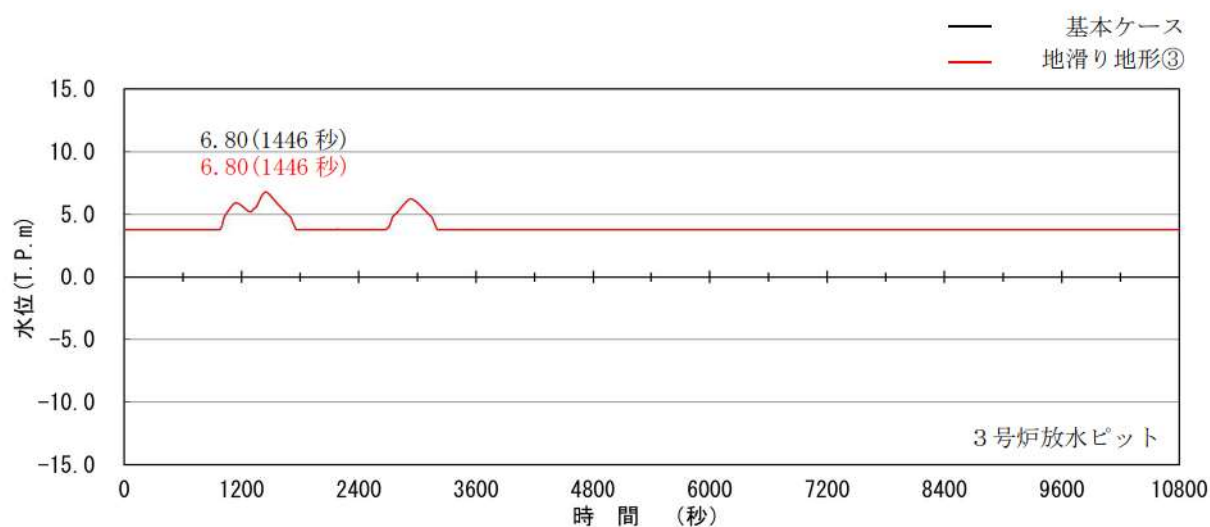


図 2.1. b. c-2 (65) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 C (防波堤損傷なし, 貝付着無し, 管路損傷なし))

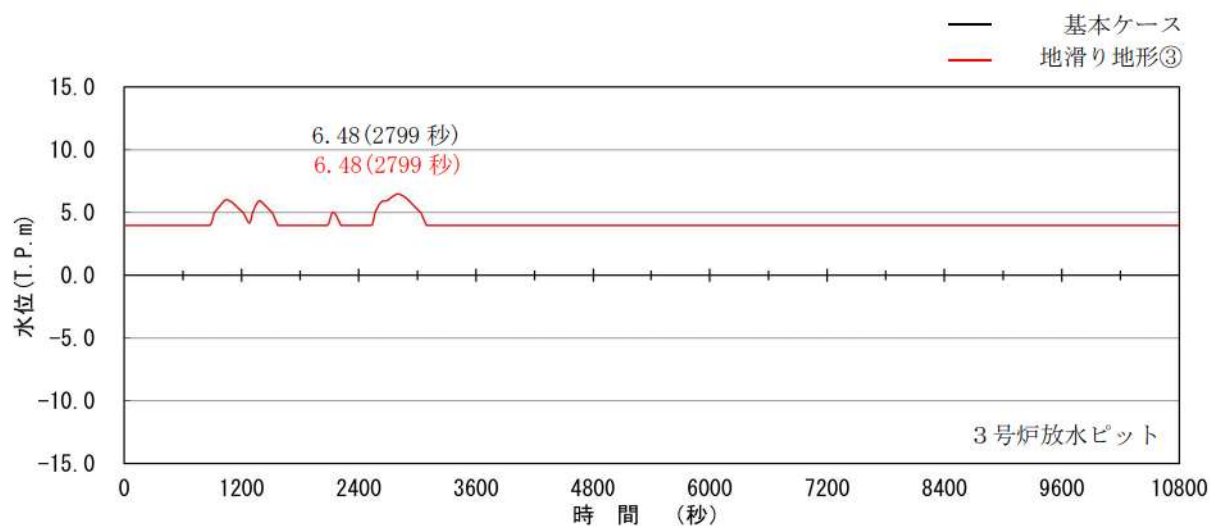


図 2.1. b. c-2 (66) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 D (防波堤損傷なし, 貝付着無し, 管路損傷なし))

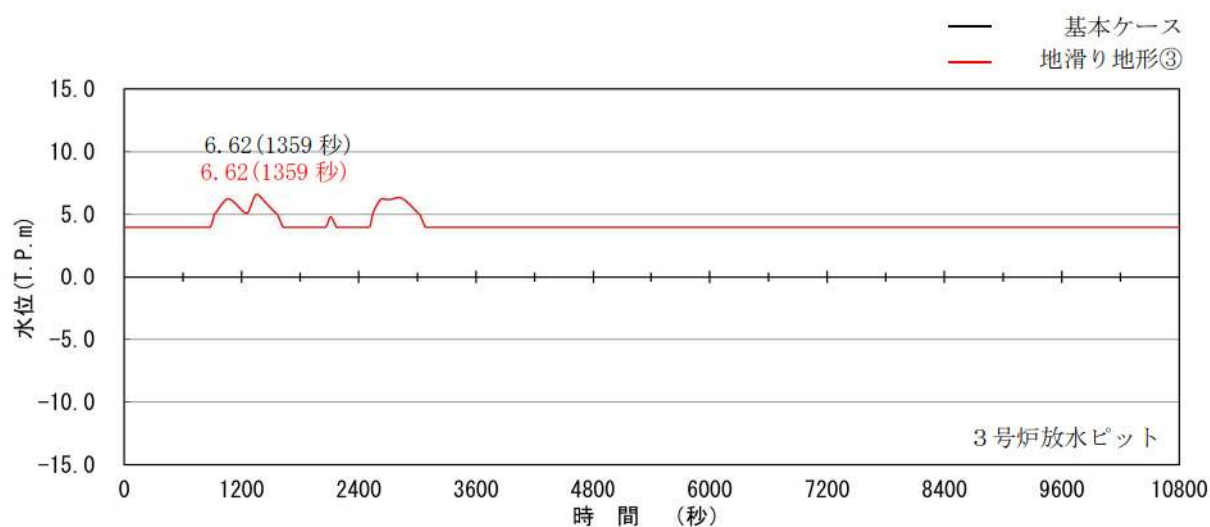


図 2.1. b. c-2 (67) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 G (南防波堤損傷, 貝付着無し, 管路損傷なし))

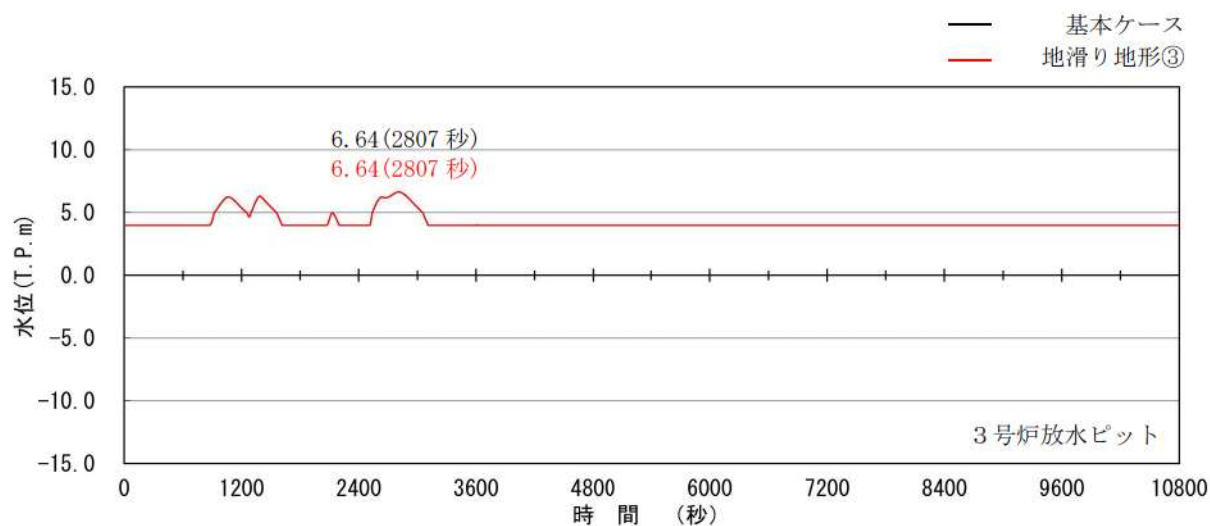


図 2.1. b. c-2 (68) 地滑り地形③の斜面崩壊の有無による水位時刻歴波形の比較
(基準津波 K (南防波堤損傷, 貝付着無し, 管路損傷なし))

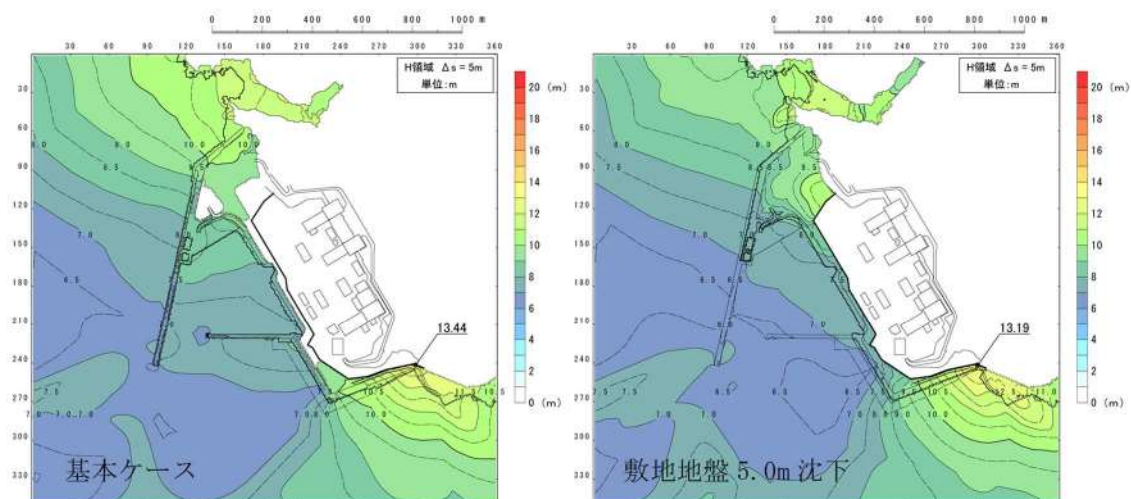


図 2.1.c.b-24 (1) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

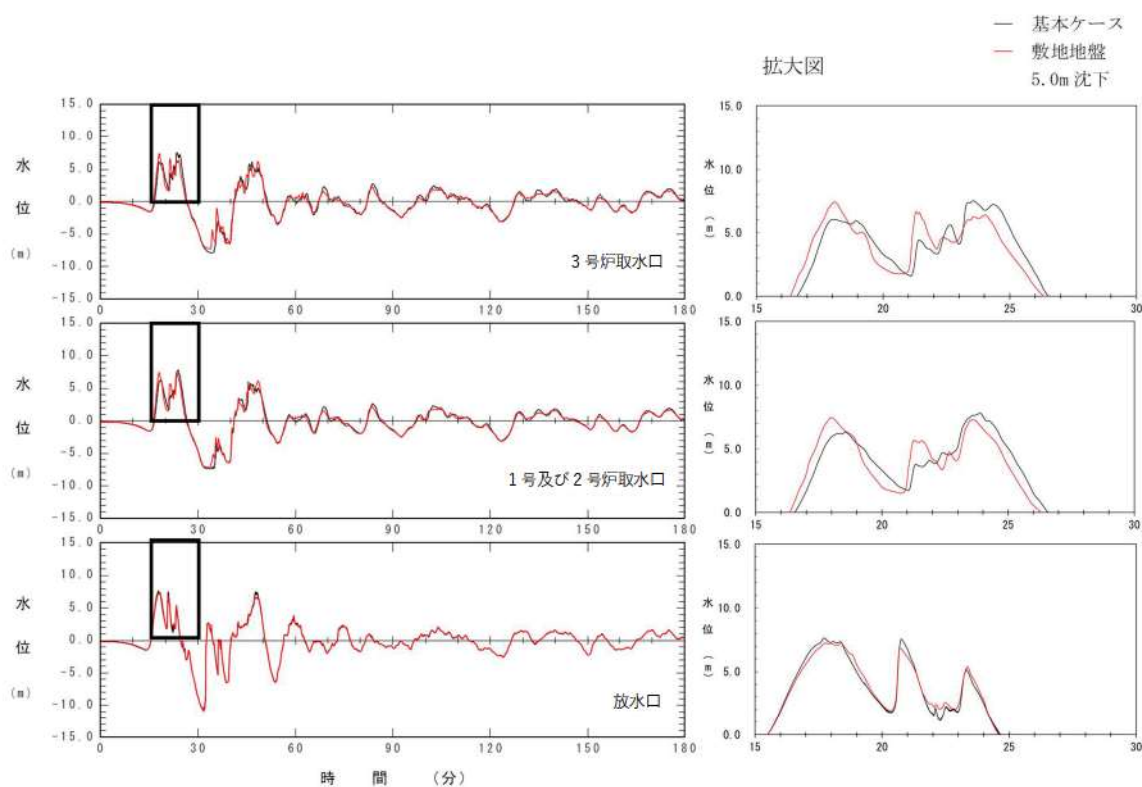


図 2.1.c.b-24 (2) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

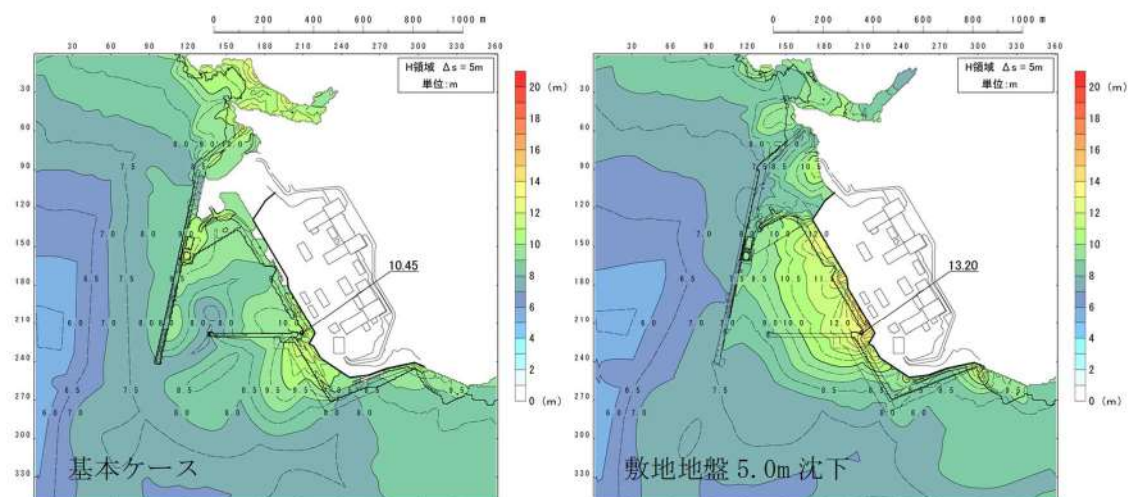


図 2.1. c. b-24 (3) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

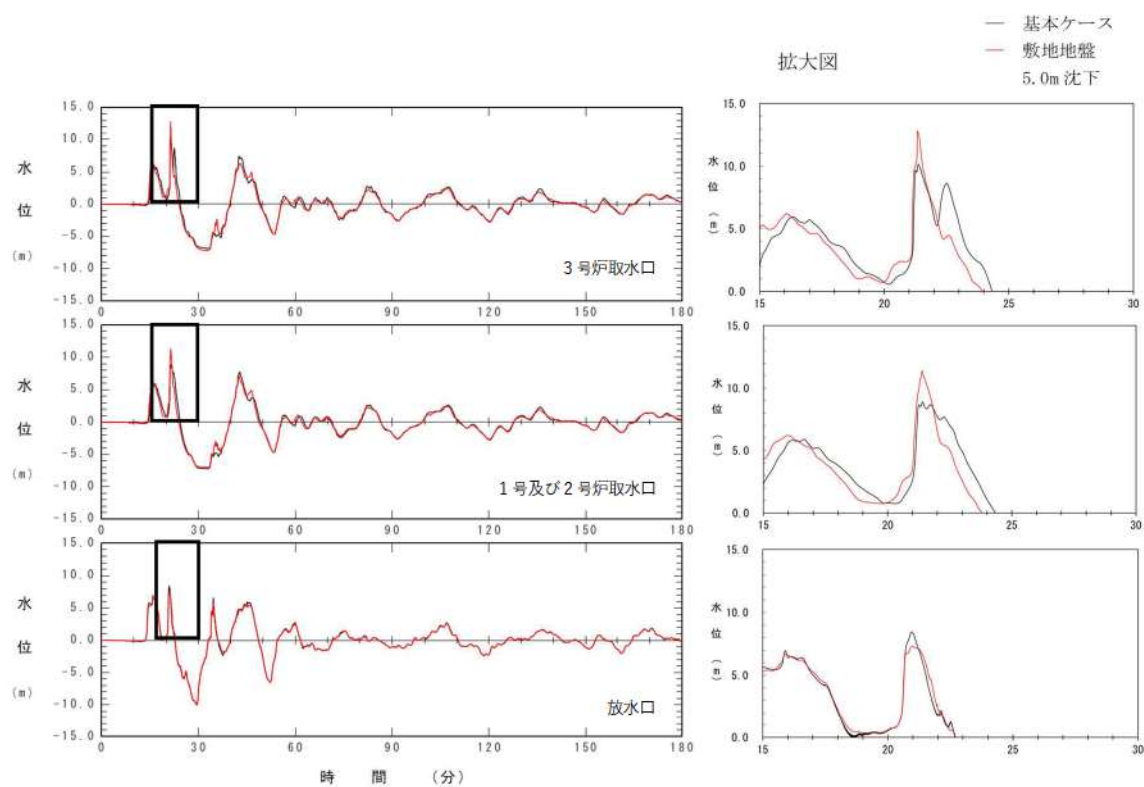


図 2.1. c. b-24 (4) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

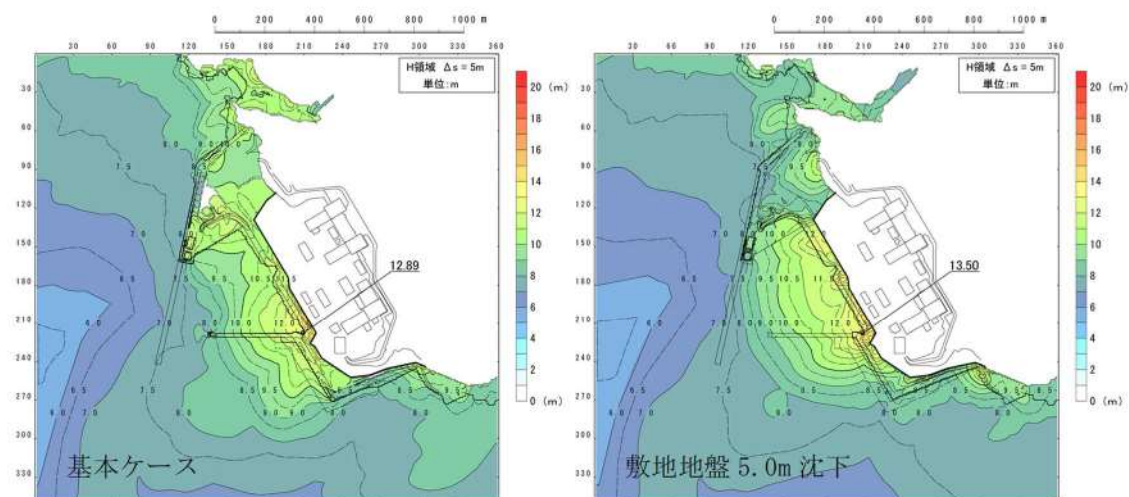


図 2.1.c.b-24 (5) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

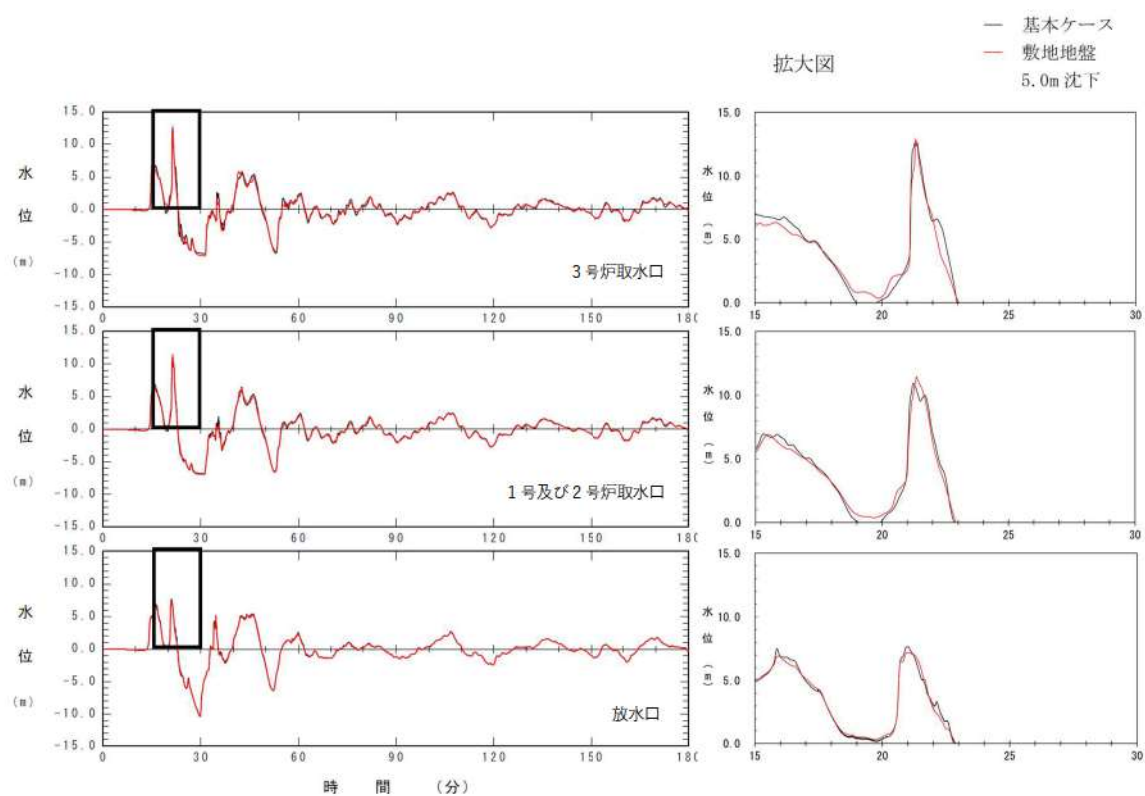


図 2.1.c.b-24 (6) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

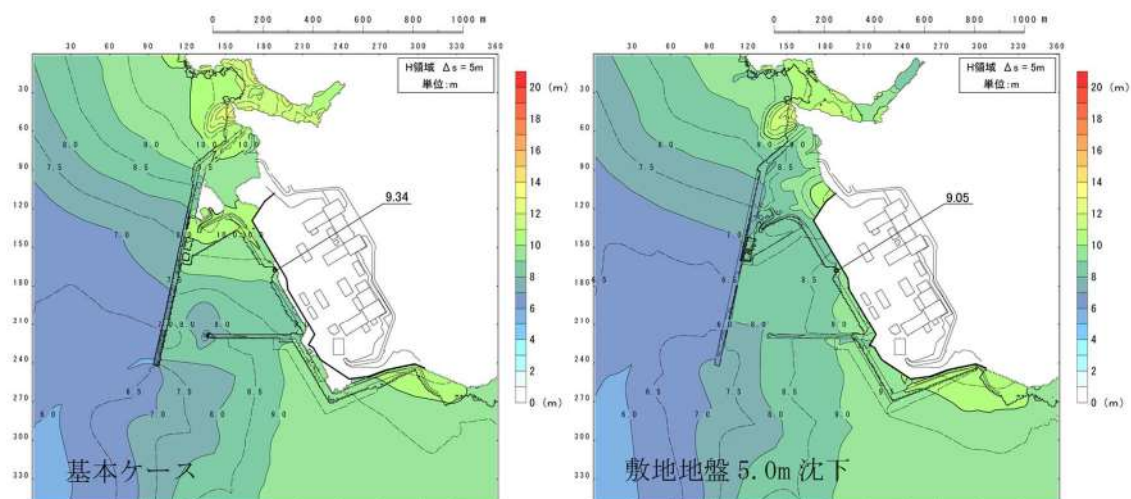


図 2.1.c.b-24 (7) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

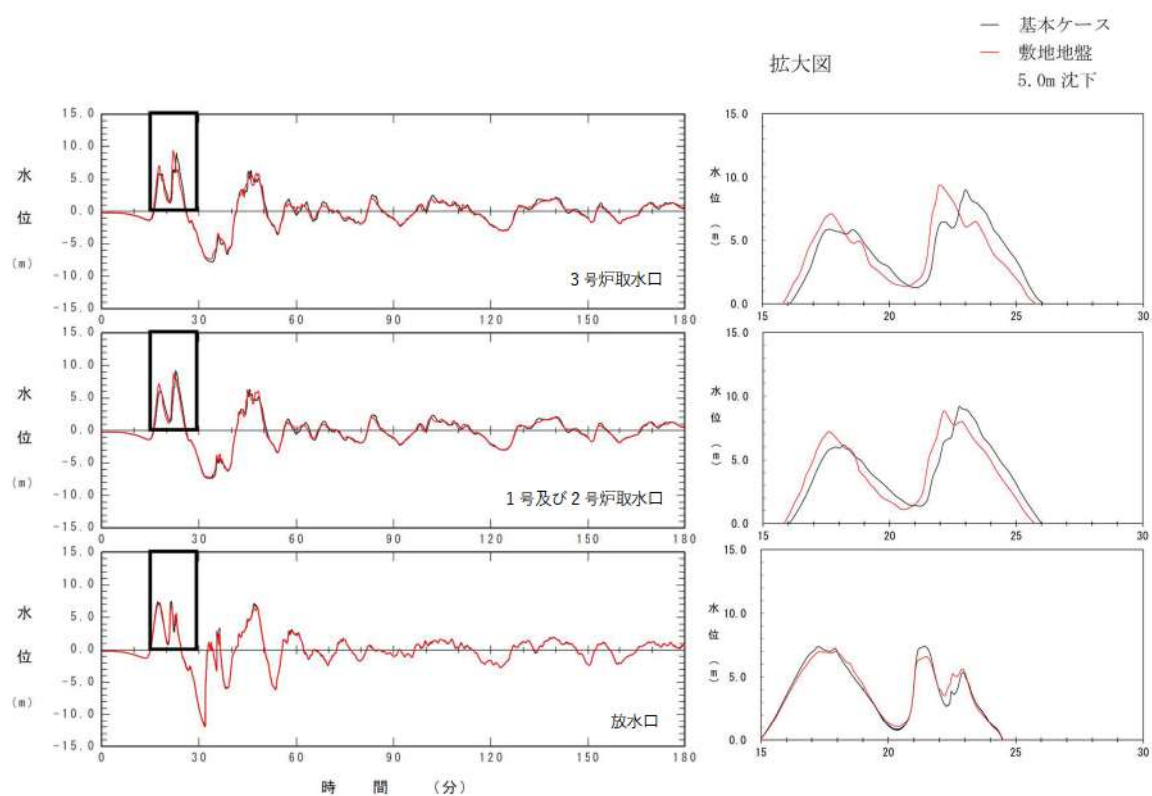


図 2.1.c.b-24 (8) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

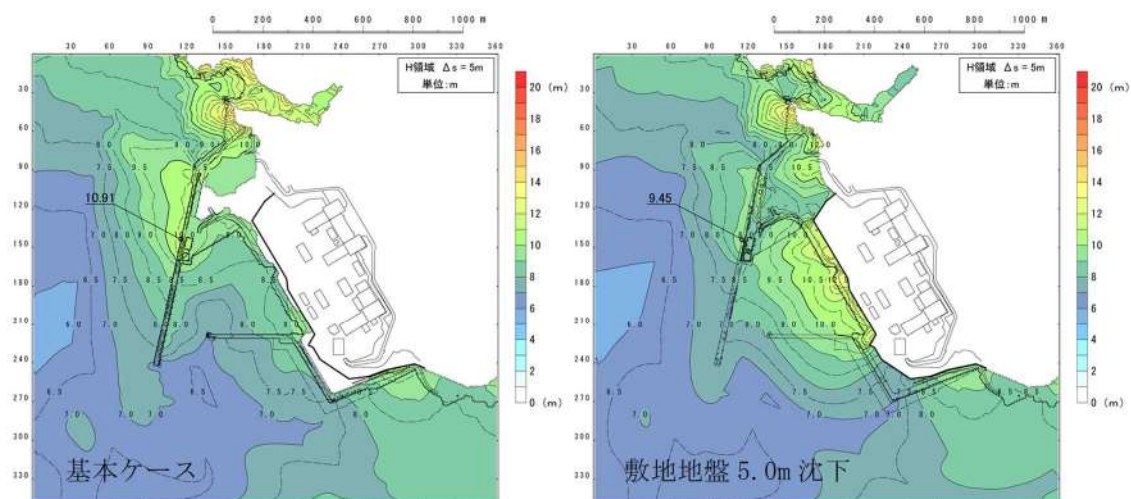


図 2.1.c.b-24 (9) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

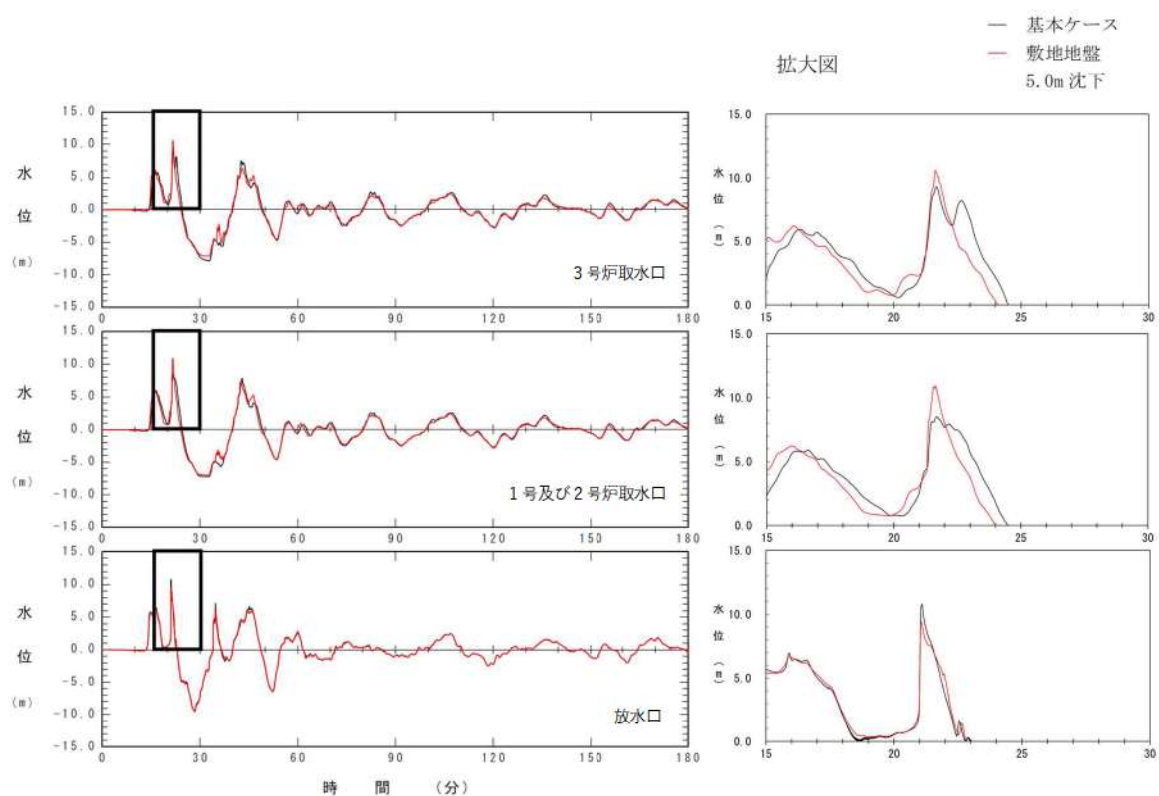


図 2.1.c.b-24 (10) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

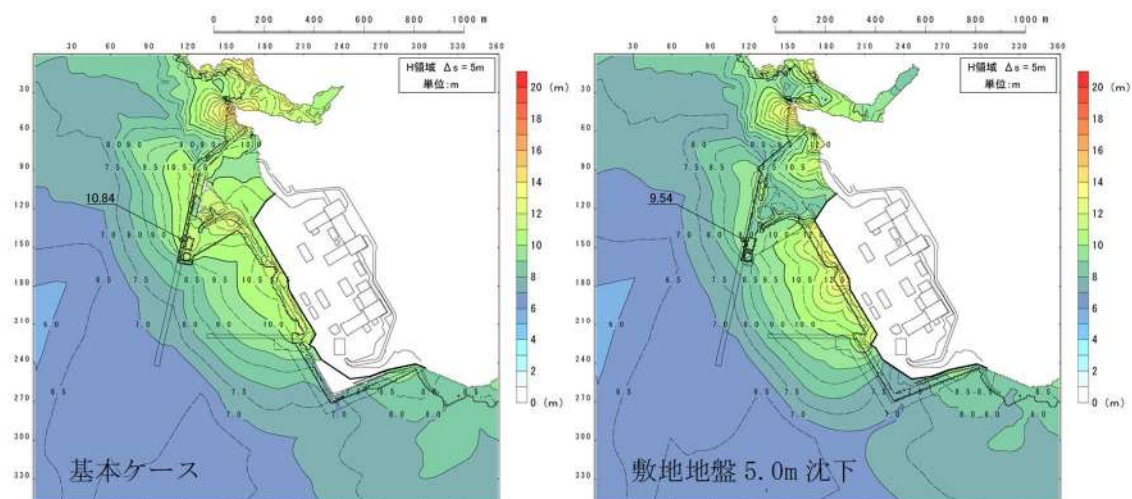


図 2.1.c.b-24 (11) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

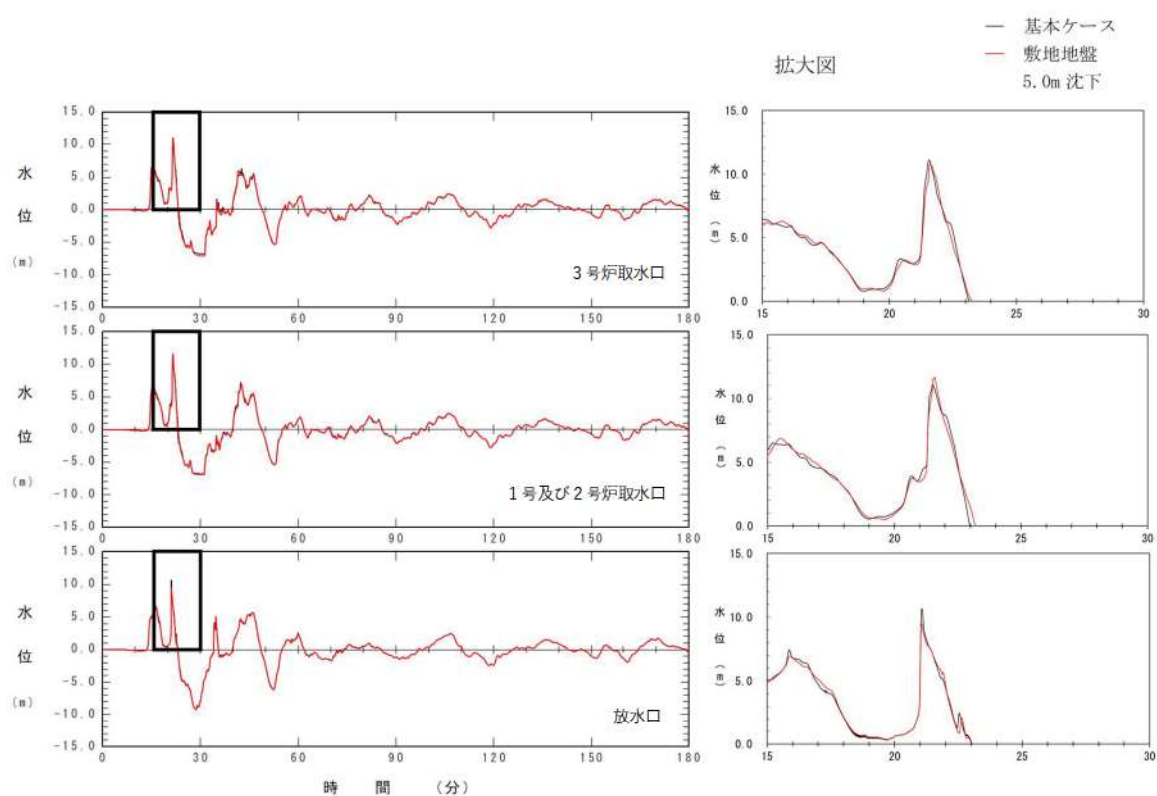


図 2.1.c.b-24 (12) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

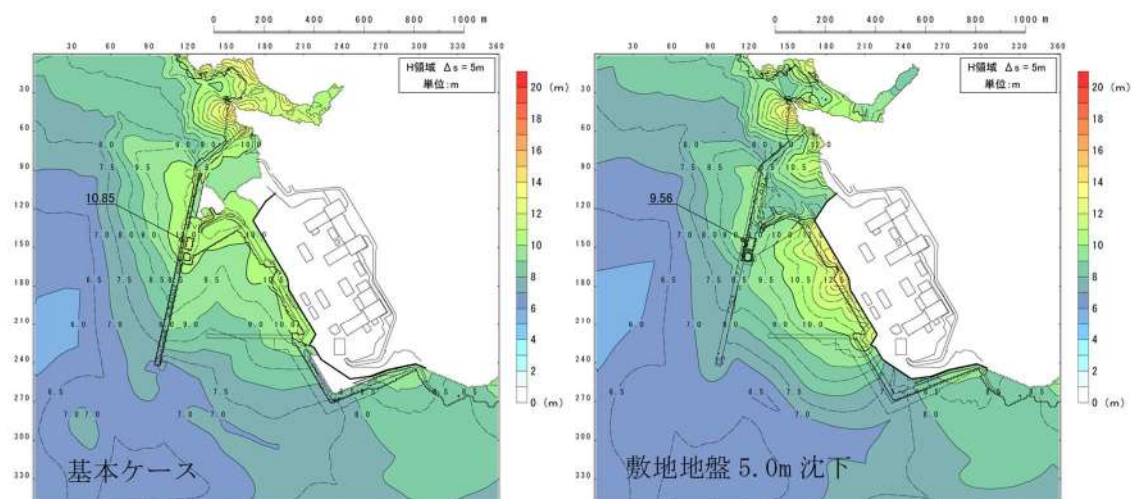


図 2.1.c.b-24 (13) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

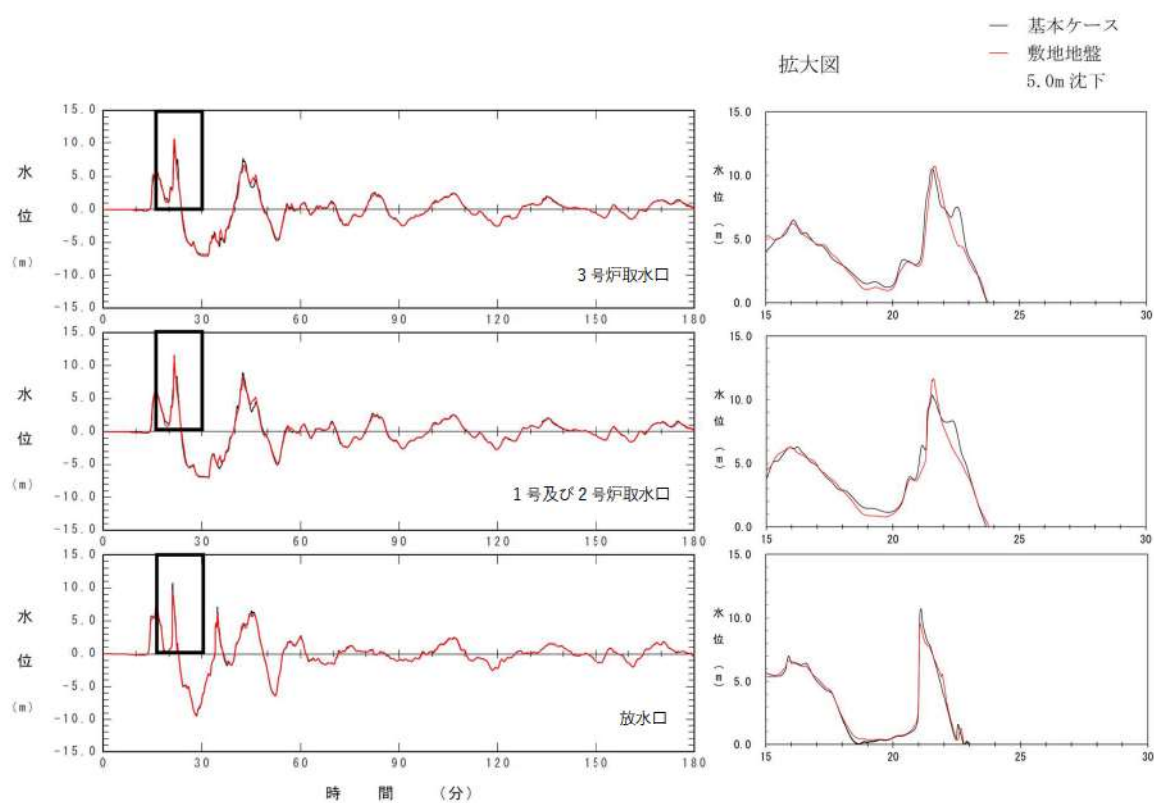


図 2.1.c.b-24 (14) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

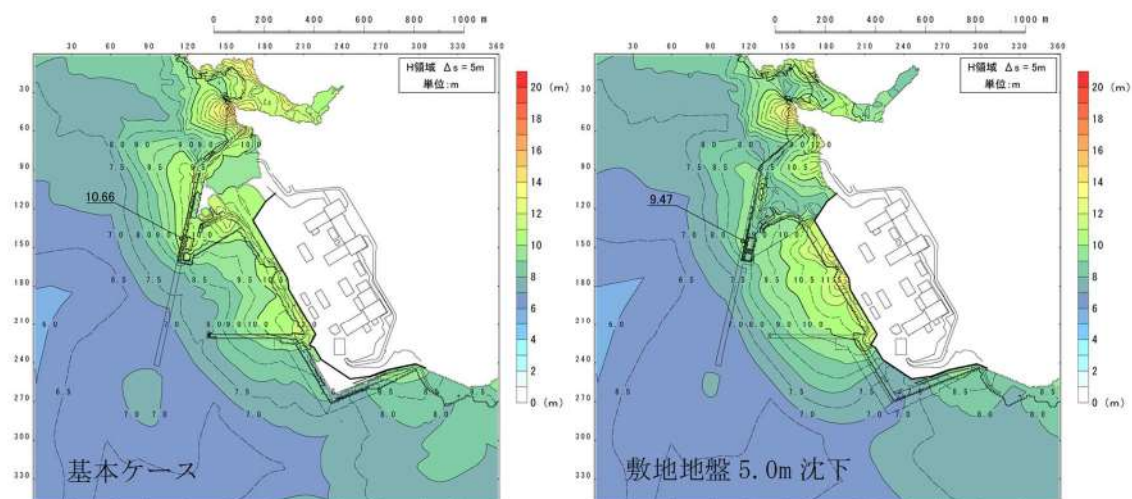


図 2.1.c.b-24 (15) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

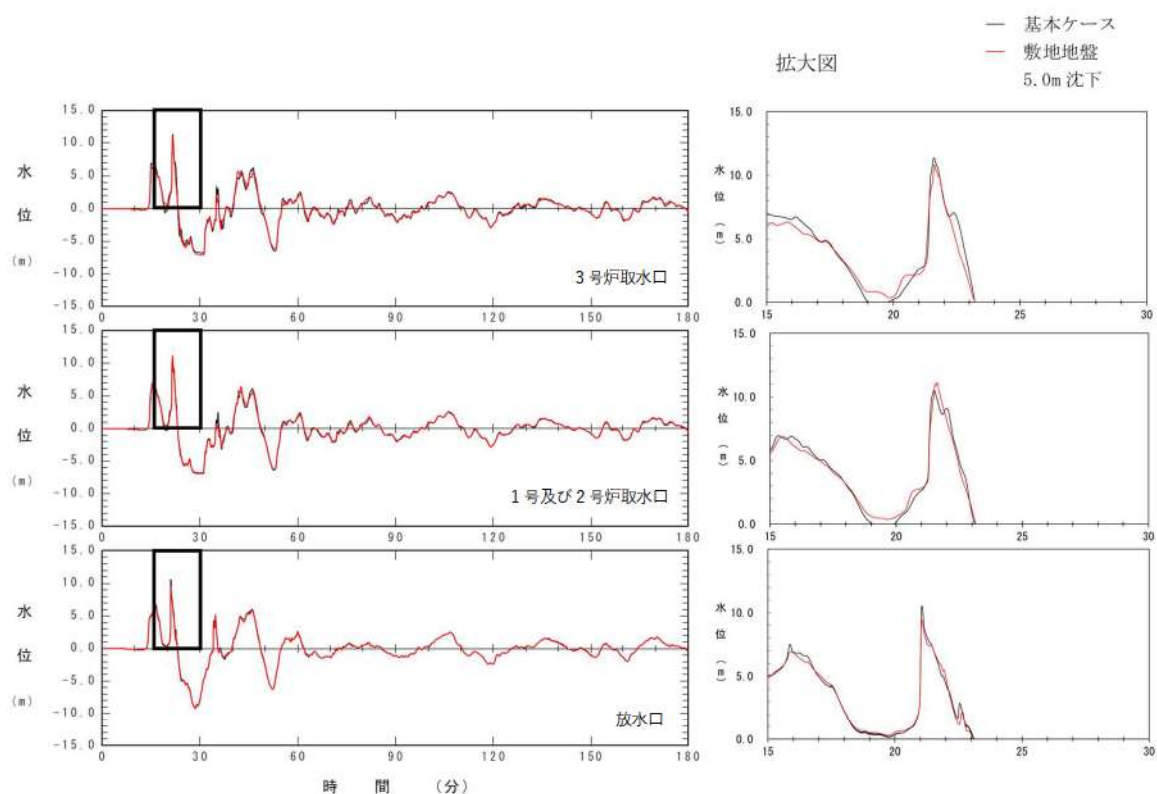


図 2.1.c.b-24 (16) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

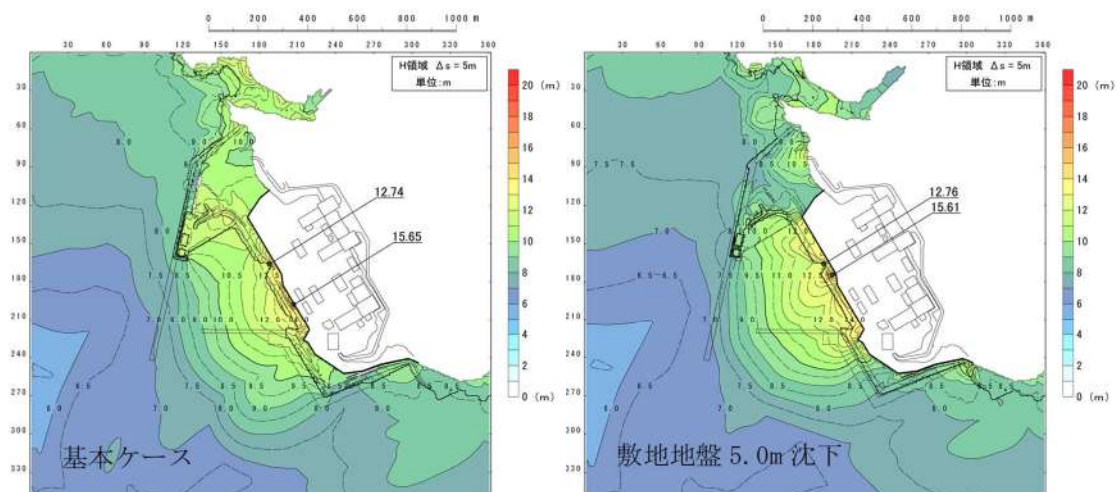


図 2.1.c.b-24 (17) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

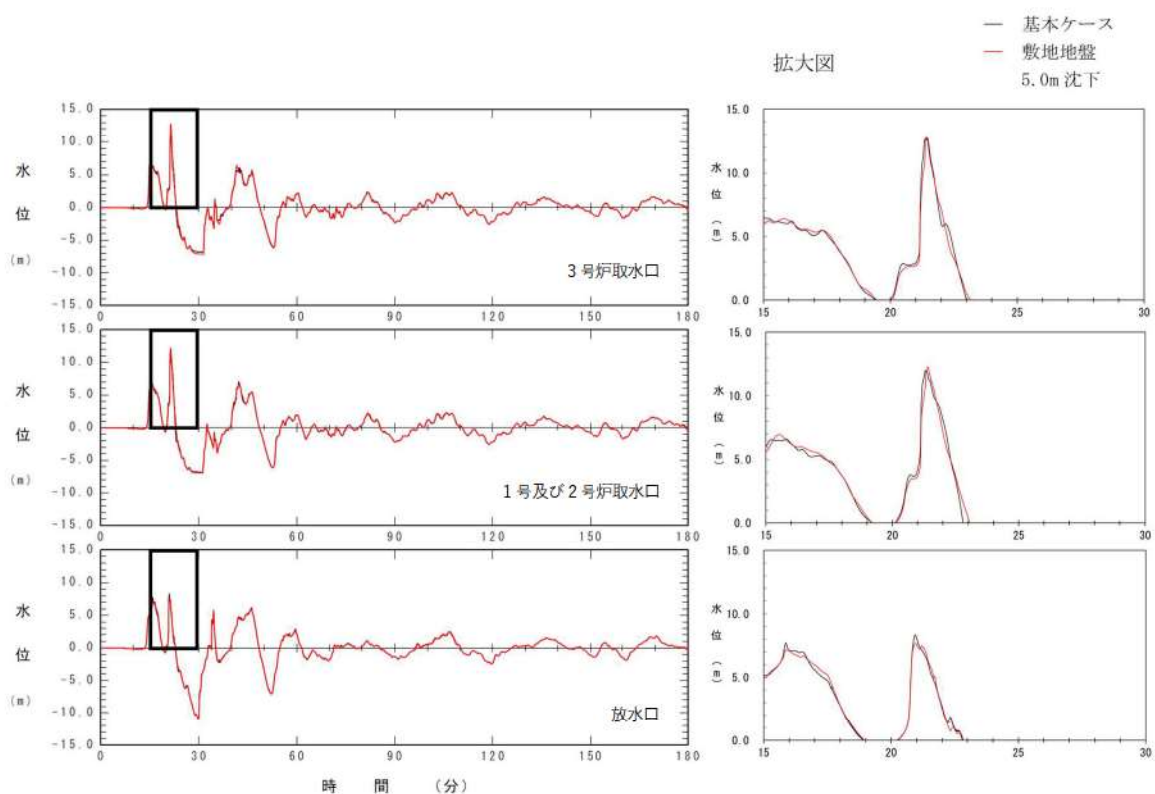


図 2.1.c.b-24 (18) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

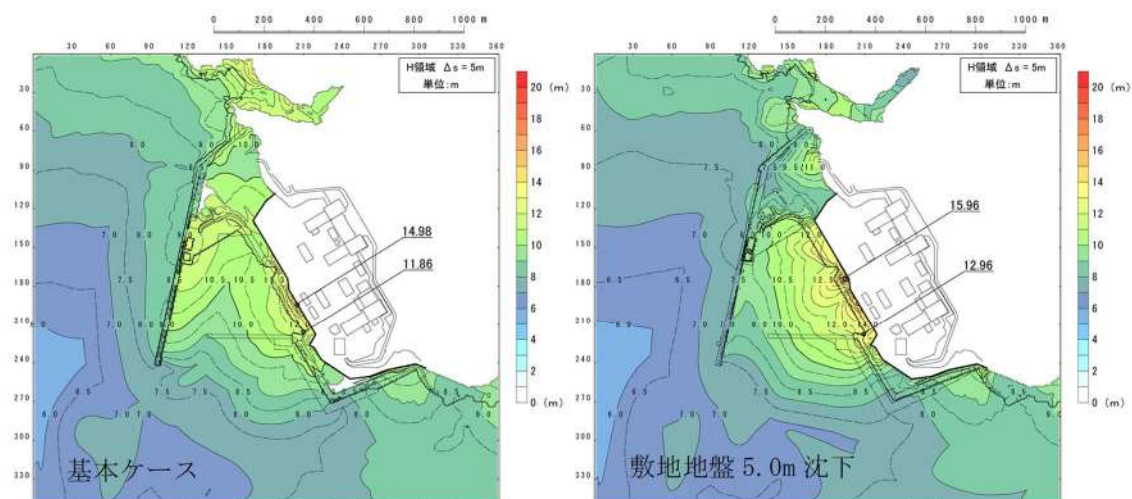


図 2.1.c.b-24 (19) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

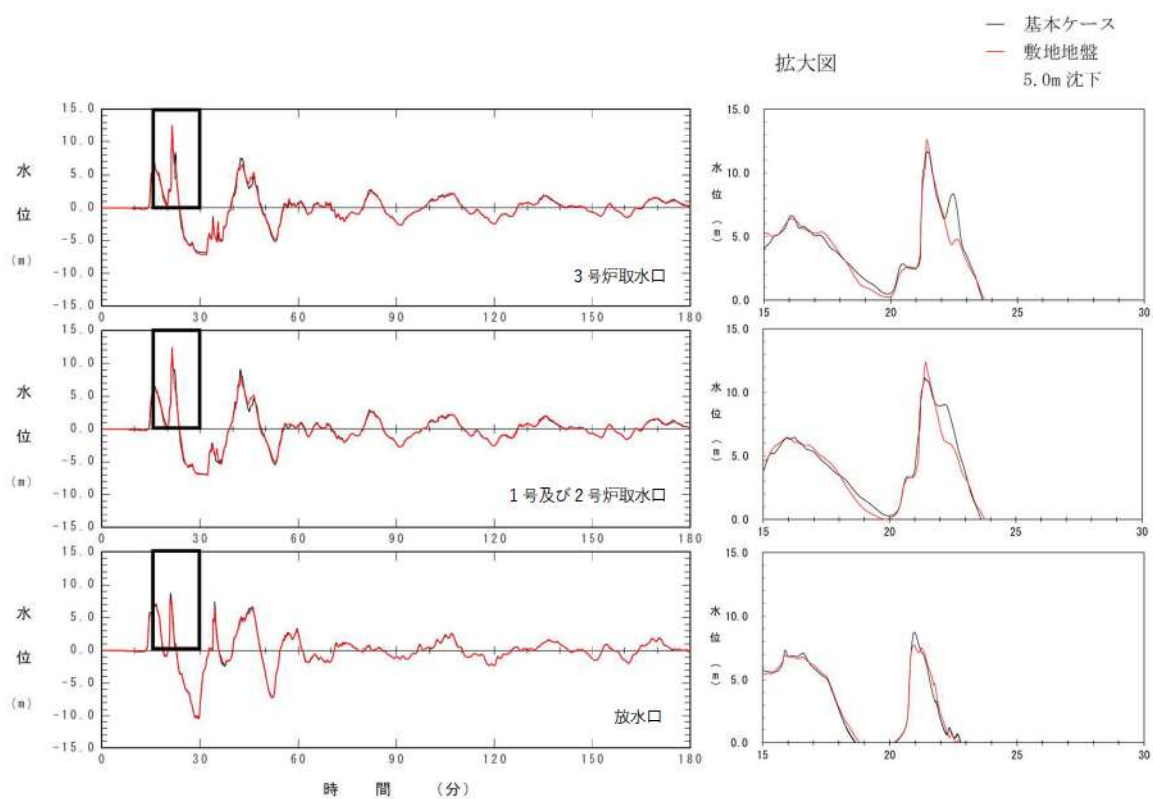


図 2.1.c.b-24 (20) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

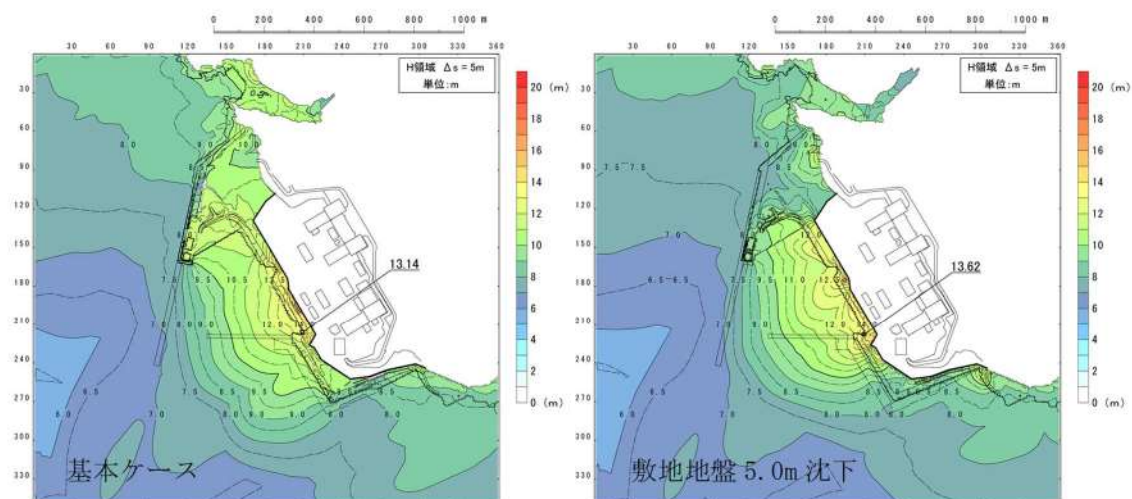


図 2.1.c.b-24 (21) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

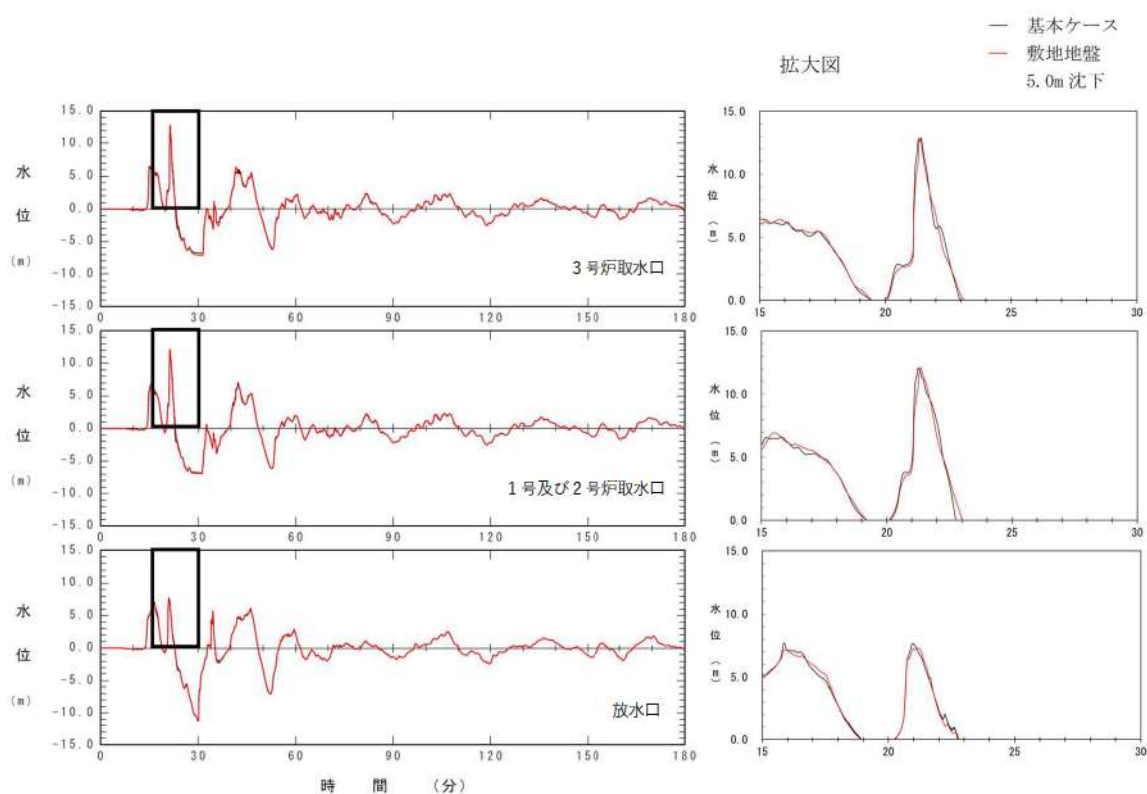


図 2.1.c.b-24 (22) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

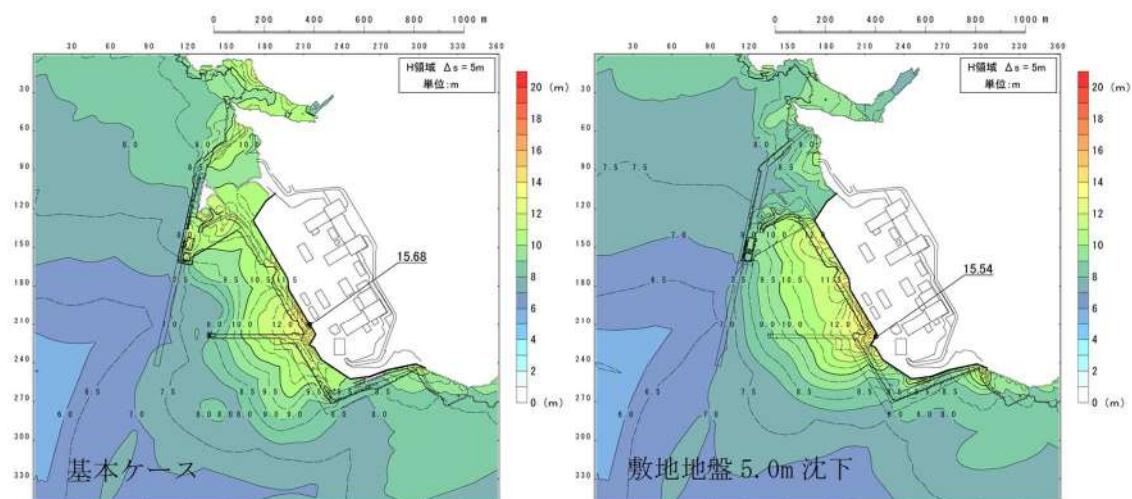


図 2.1.c.b-24 (23) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

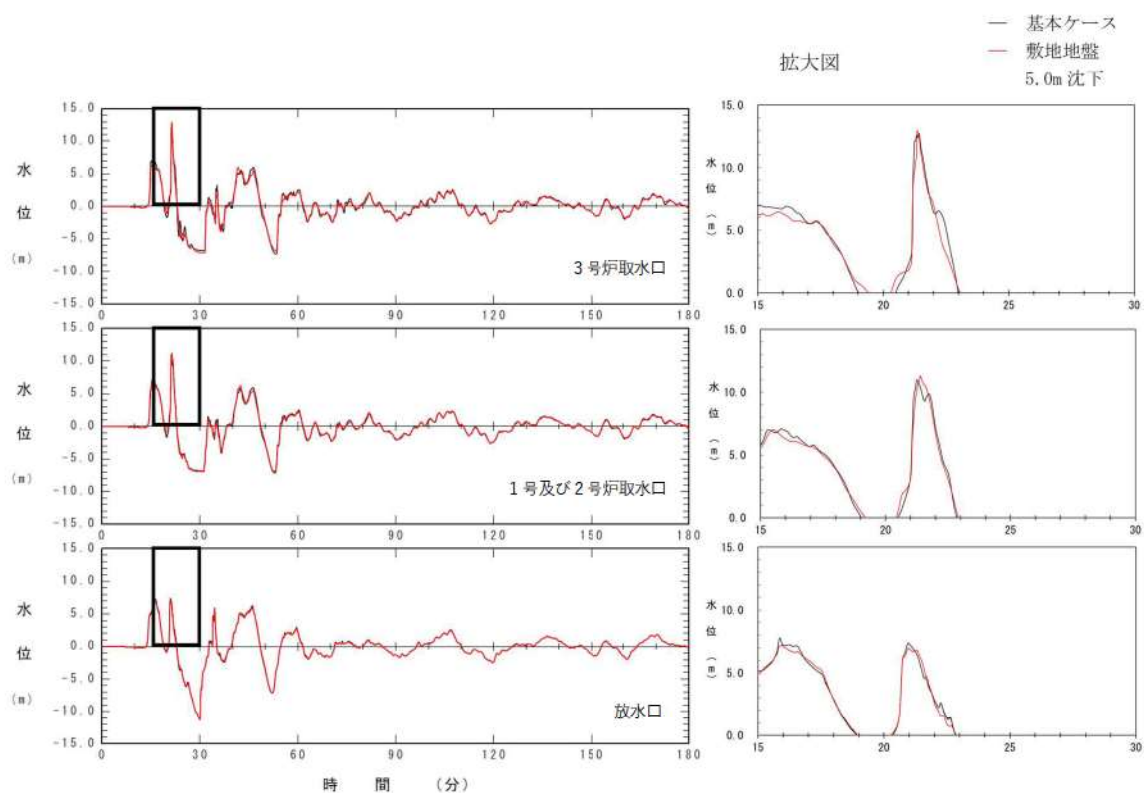


図 2.1.c.b-24 (24) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

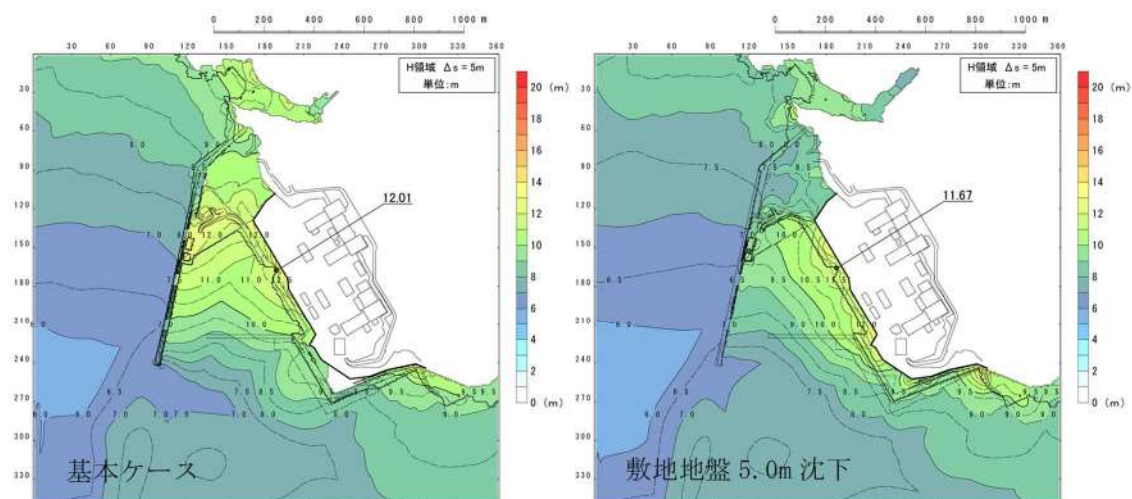


図 2.1.c.b-24 (25) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 G（南防波堤損傷））

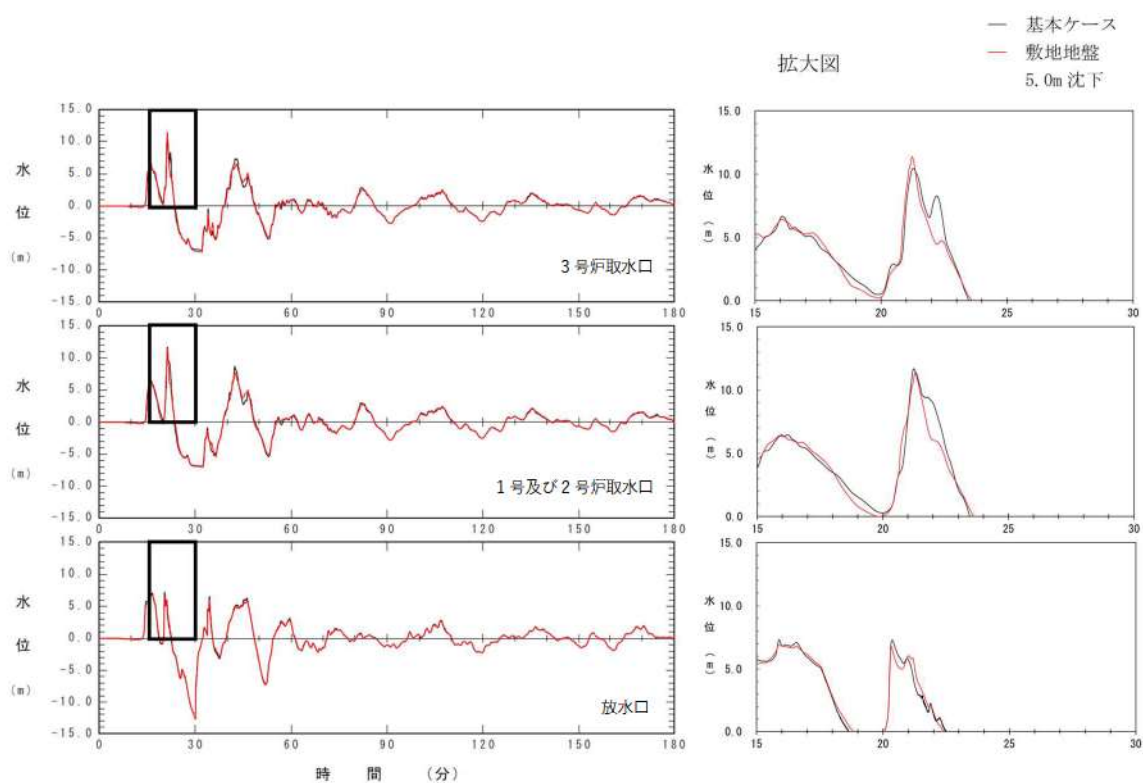


図 2.1.c.b-24 (26) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 G（南防波堤損傷））

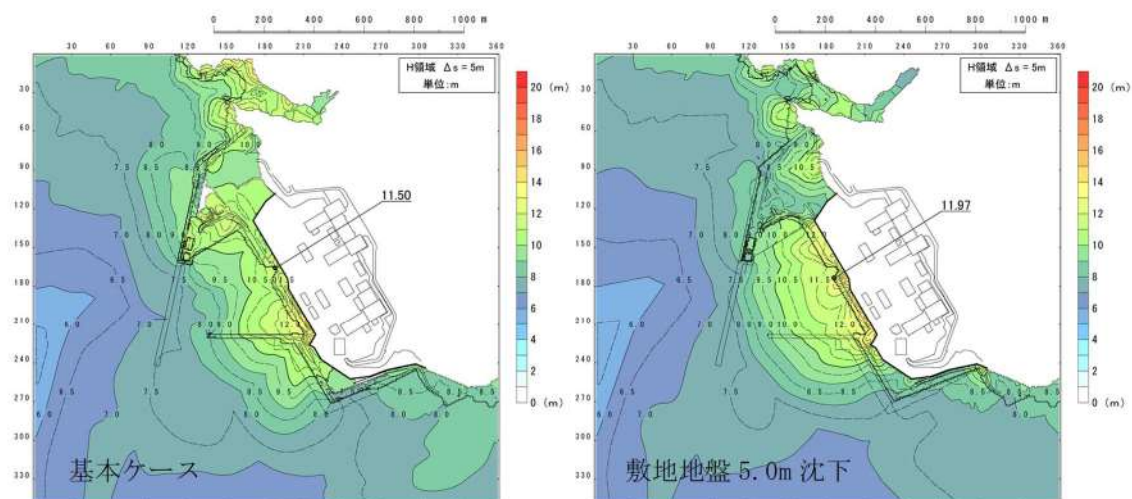


図 2.1.c.b-24 (27) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

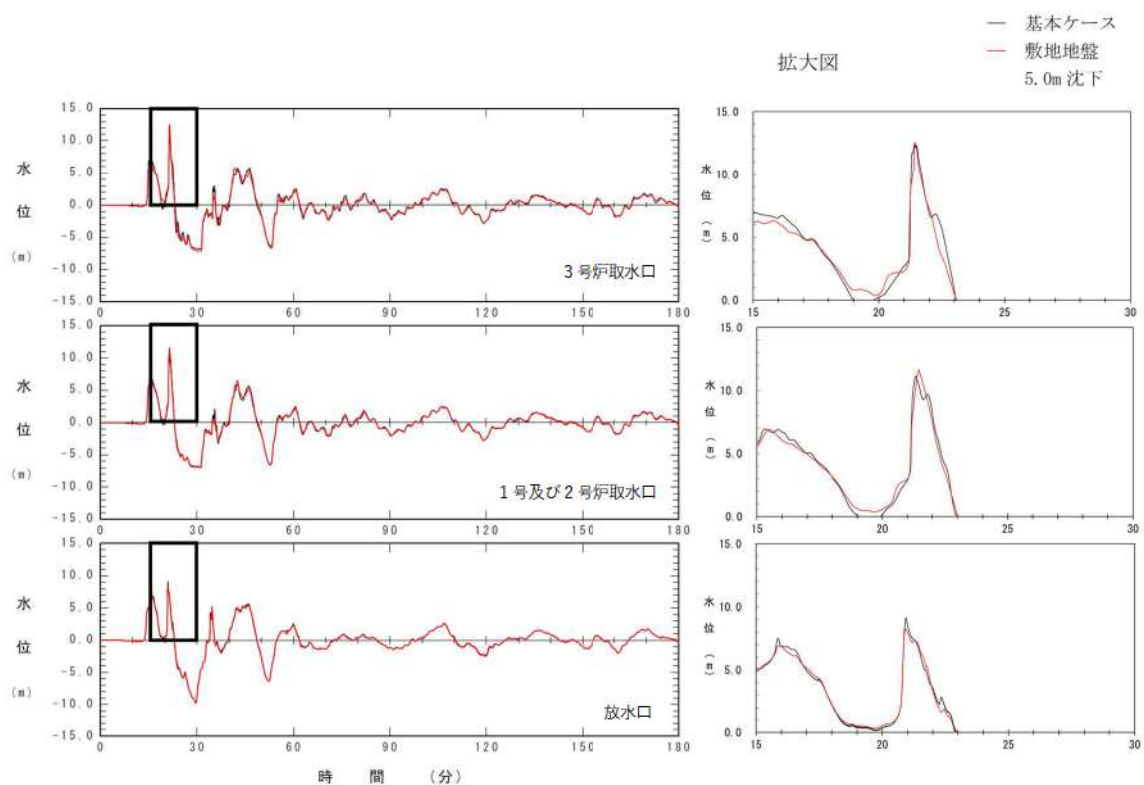


図 2.1.c.b-24 (28) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

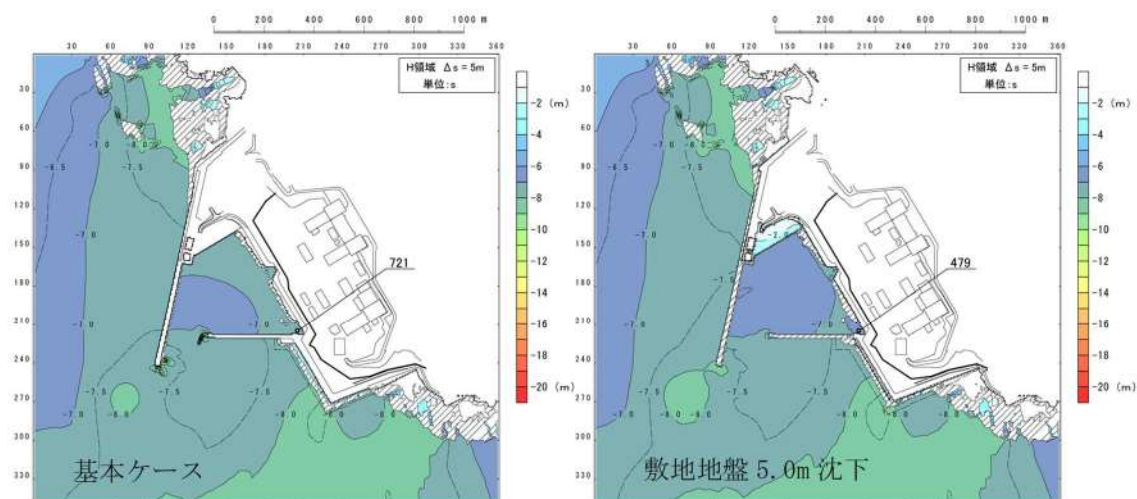


図 2.1.c.b-24 (29) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

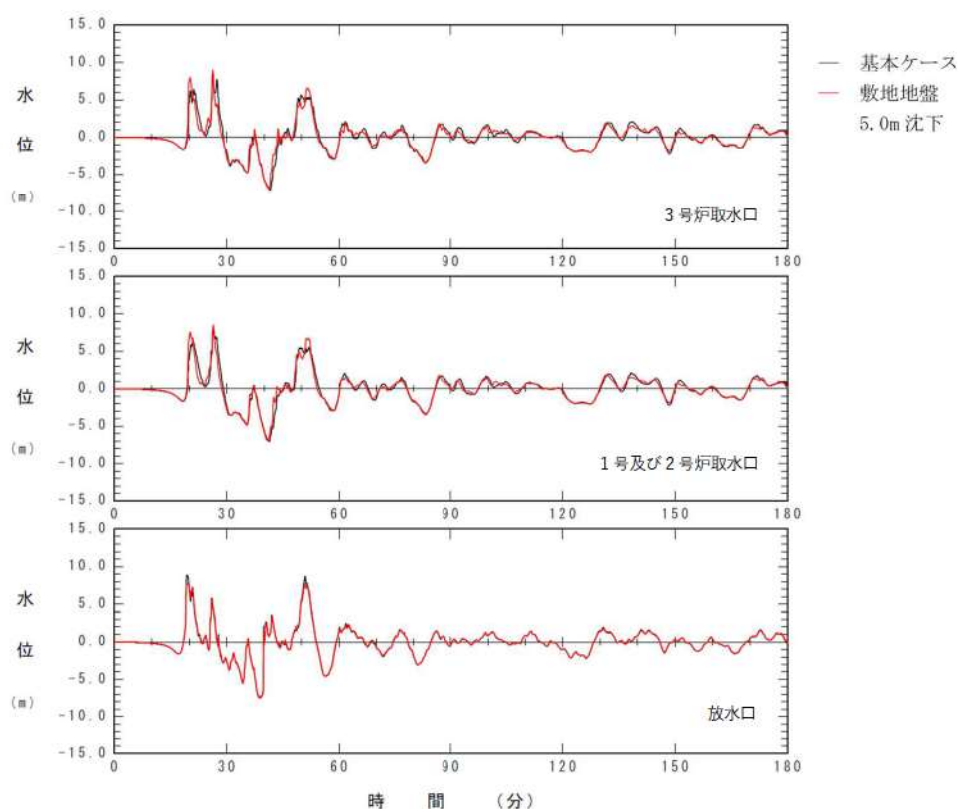


図 2.1.c.b-24 (30) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

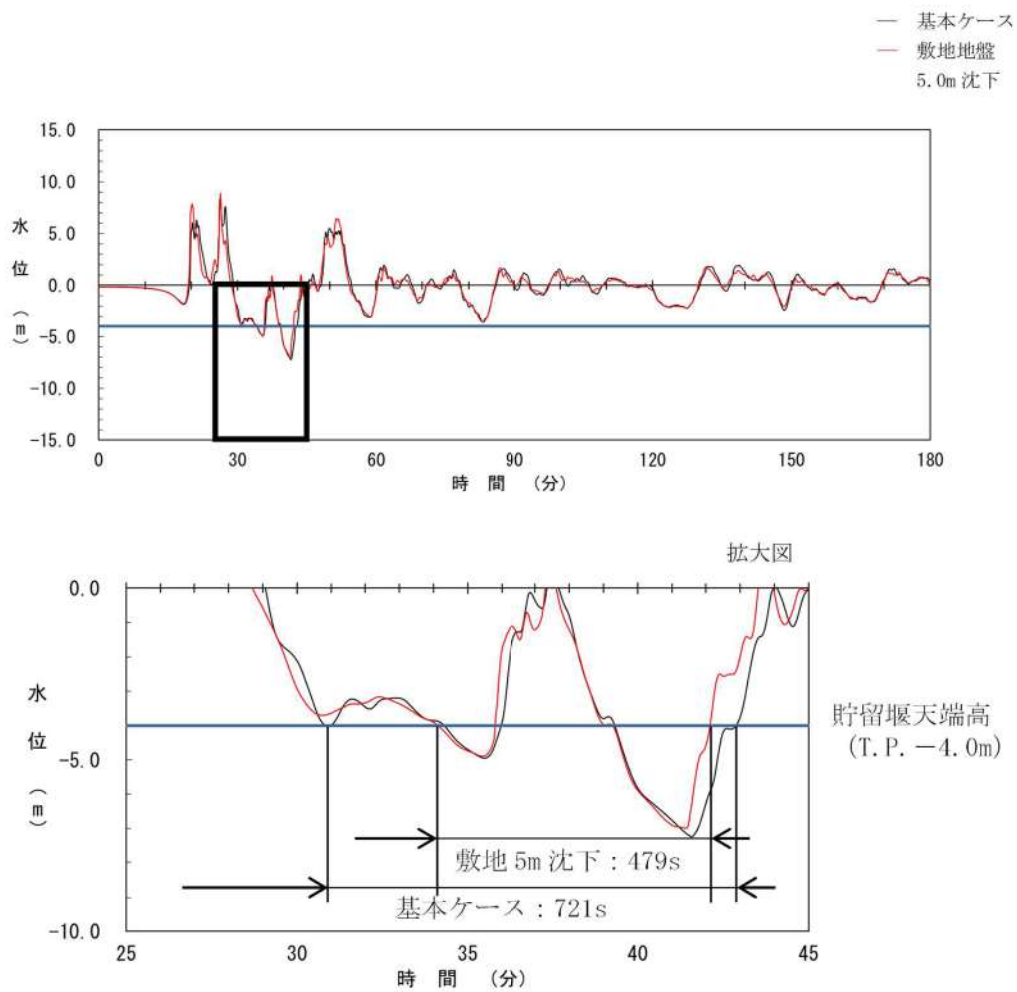


図 2. 1. c. b-24 (31) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

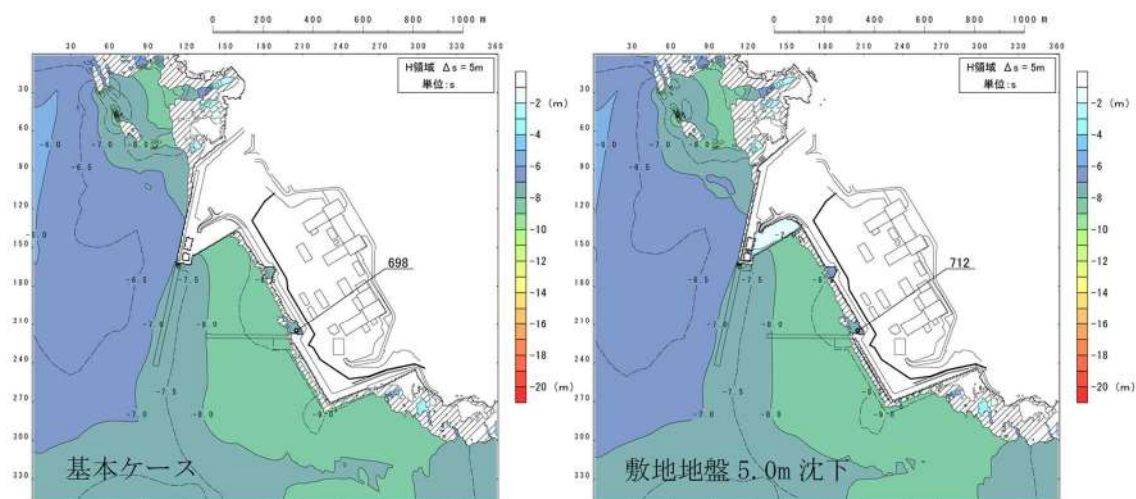


図 2.1.c.b-24 (32) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

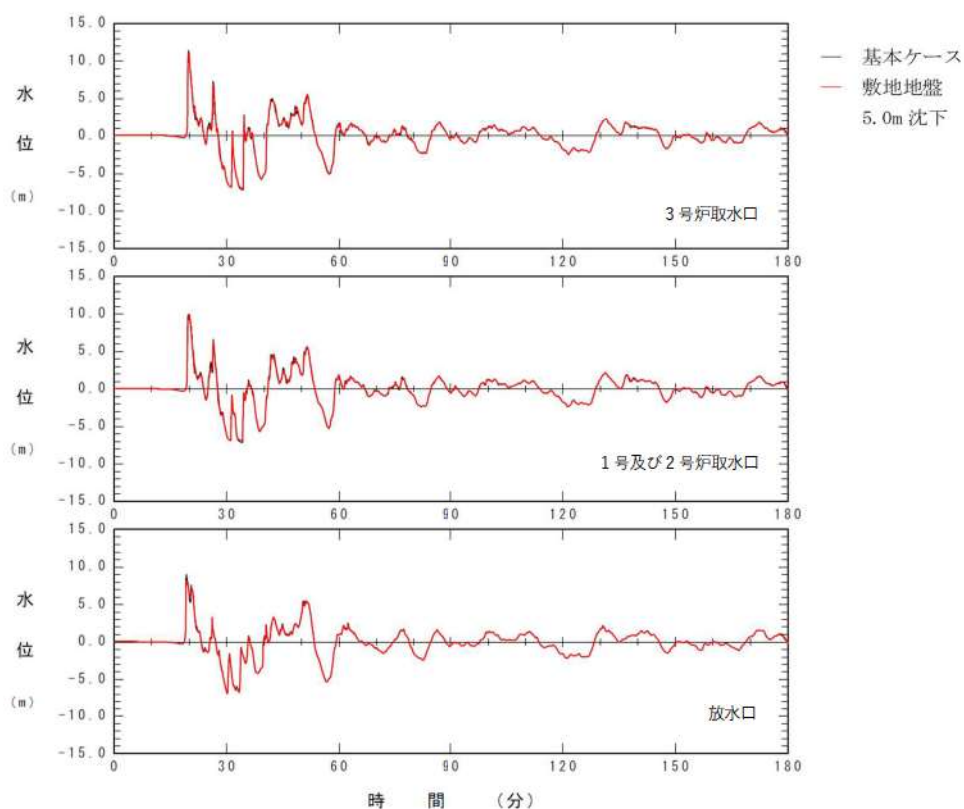


図 2.1.c.b-24 (33) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

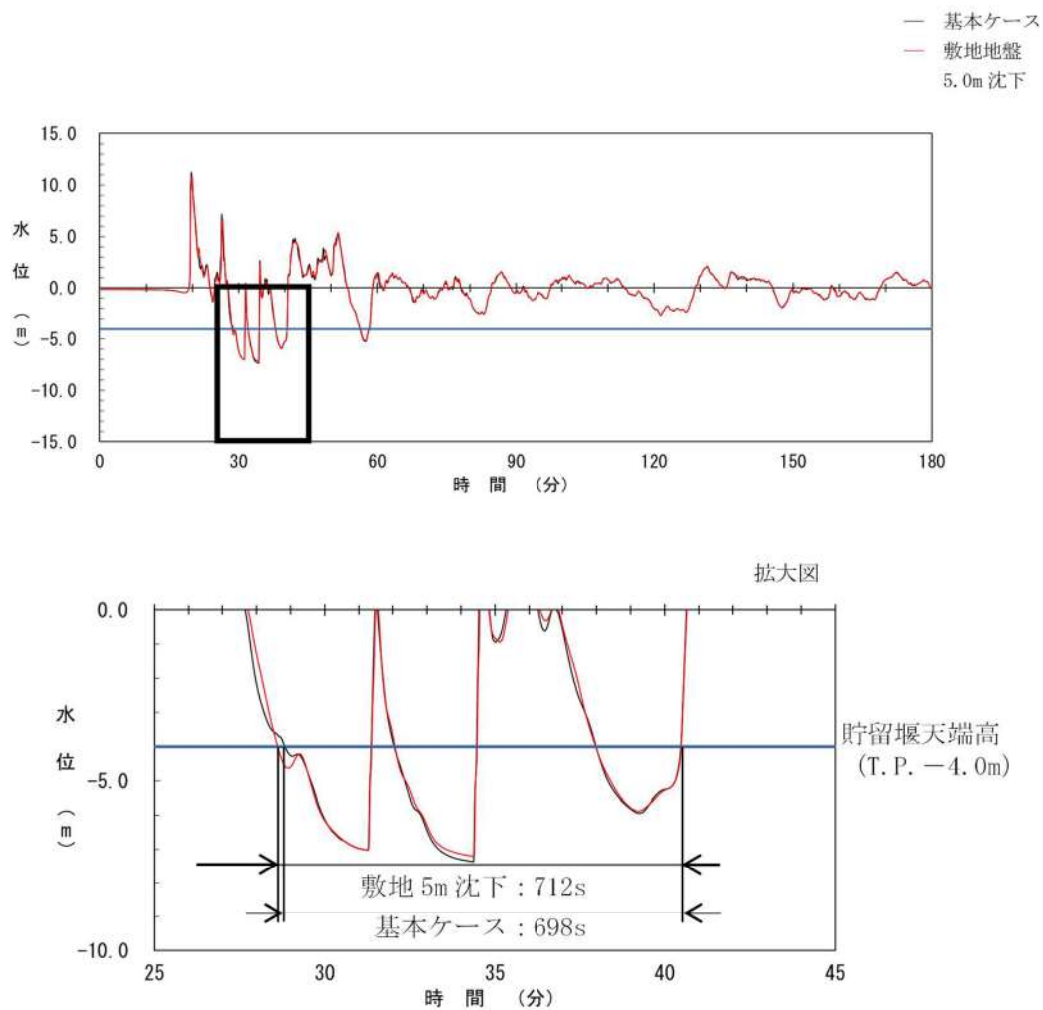


図 2.1.c.b-24 (34) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

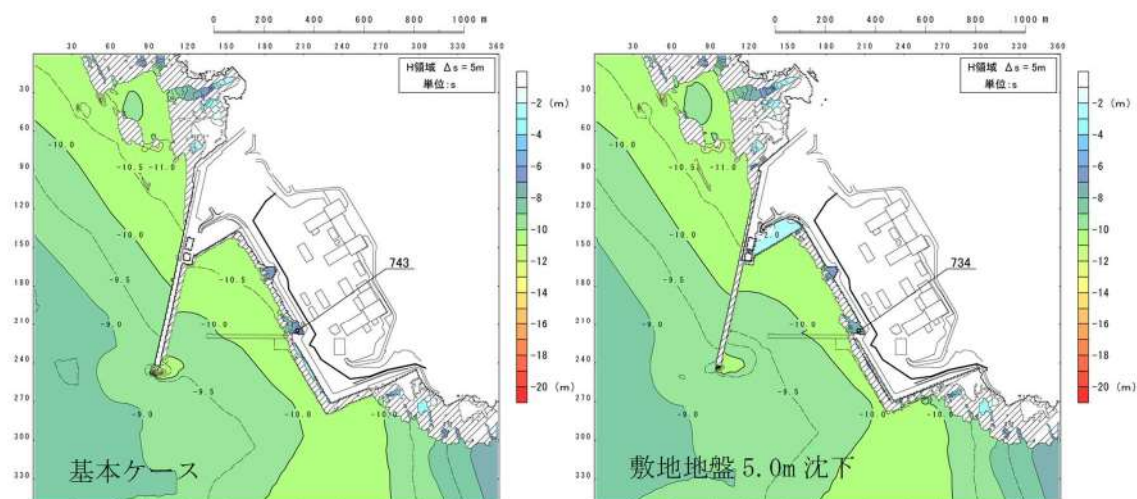


図 2.1.c.b-24 (35) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

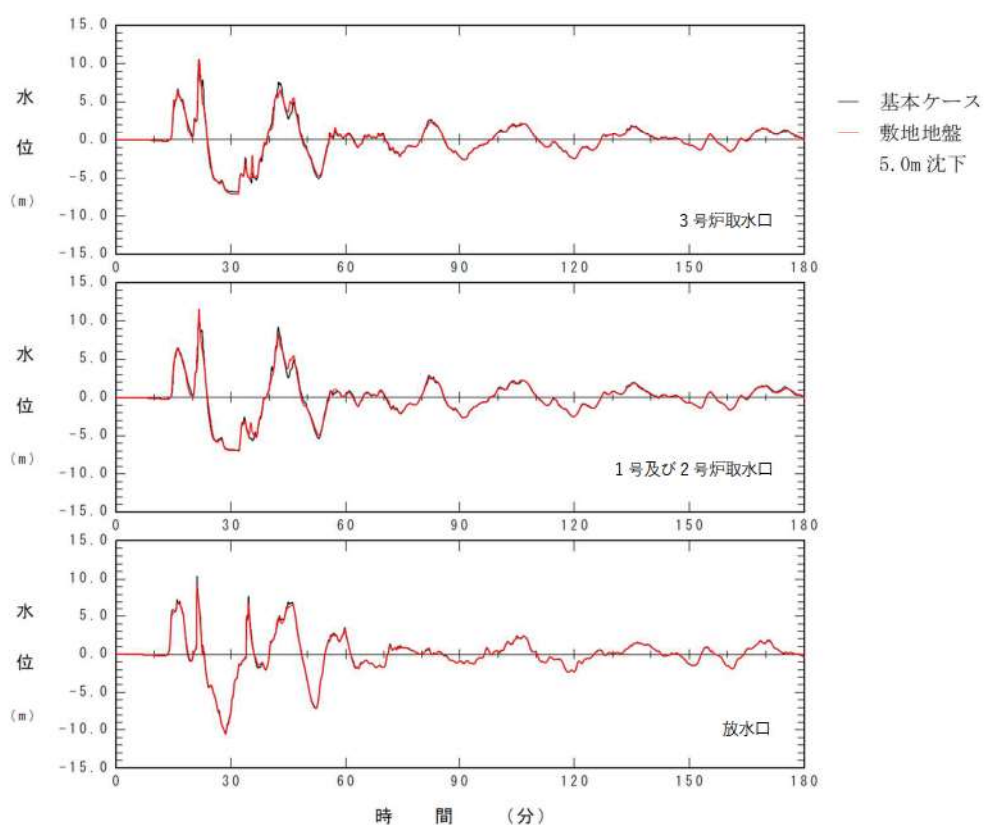


図 2.1.c.b-24 (36) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

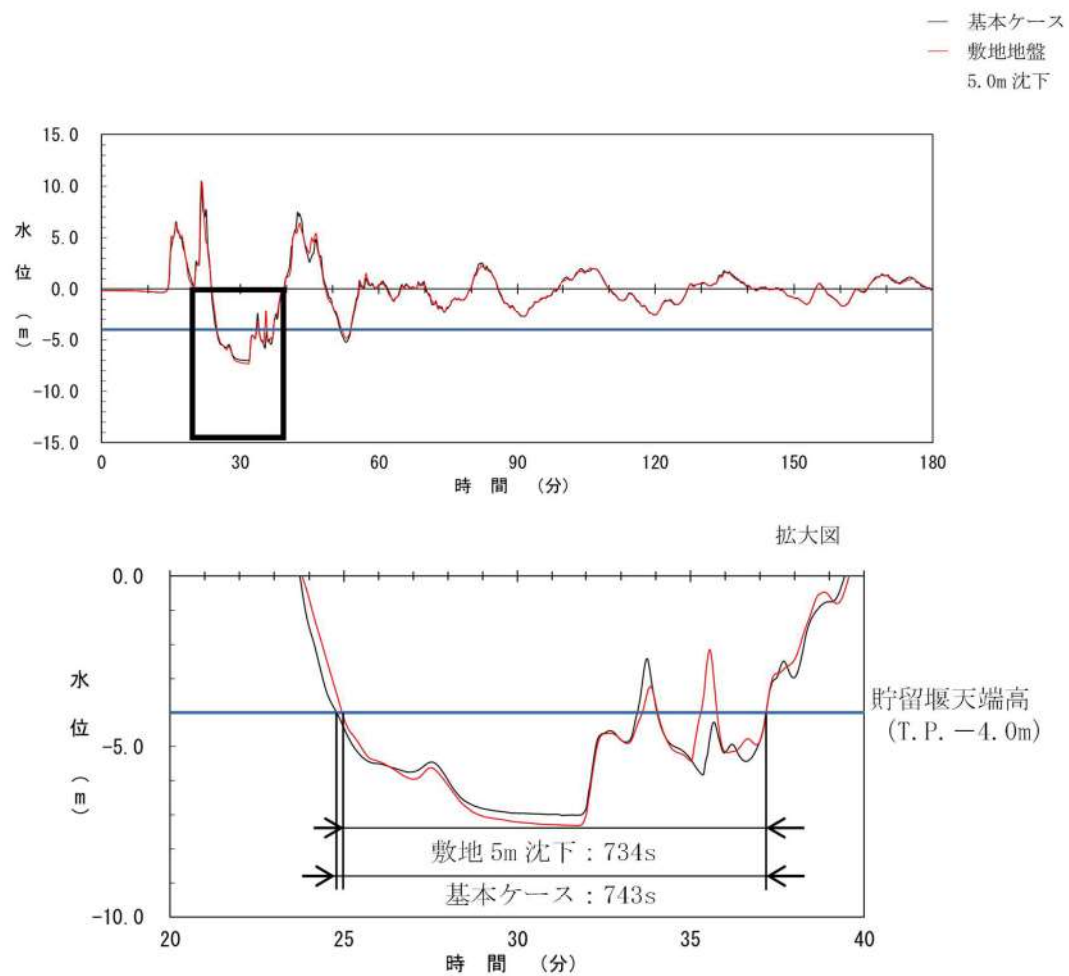


図 2.1.c.b-24 (37) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

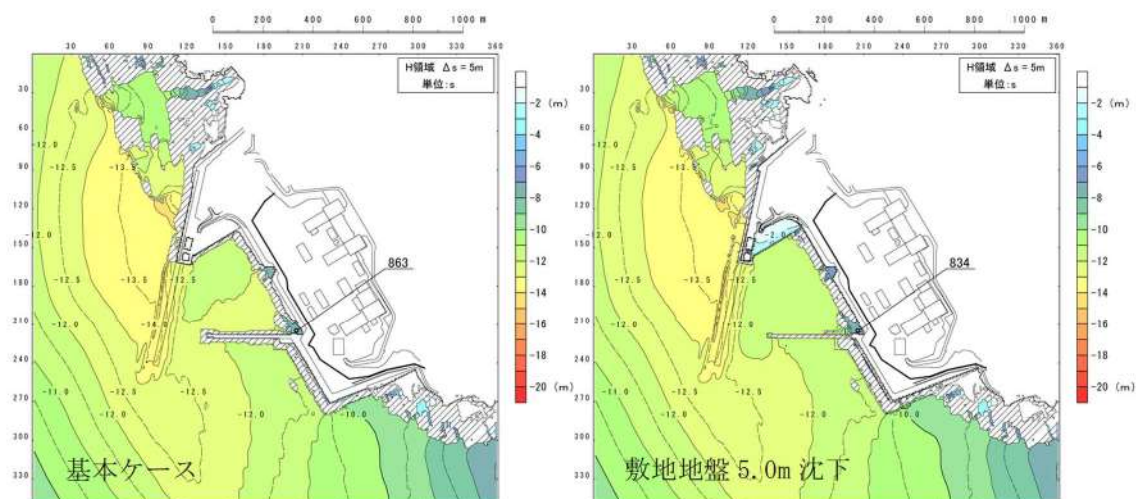


図 2.1.c.b-24 (38) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

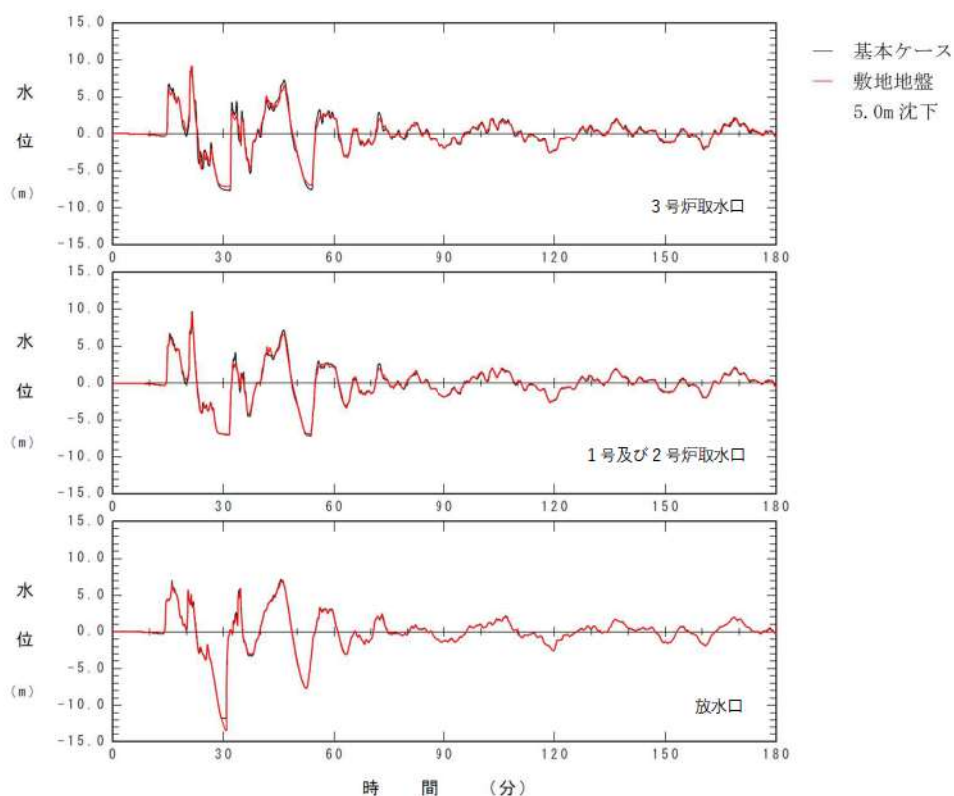


図 2.1.c.b-24 (39) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

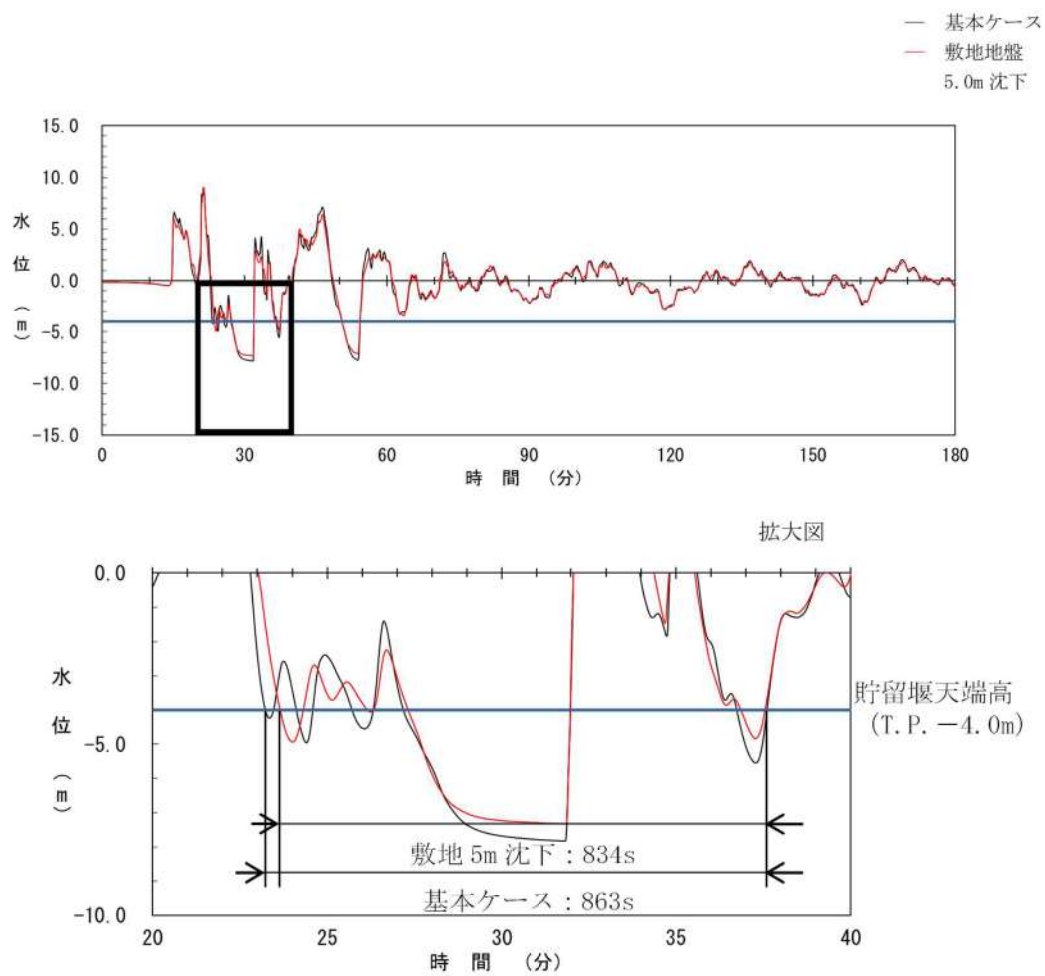


図 2.1.c.b-24 (40) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

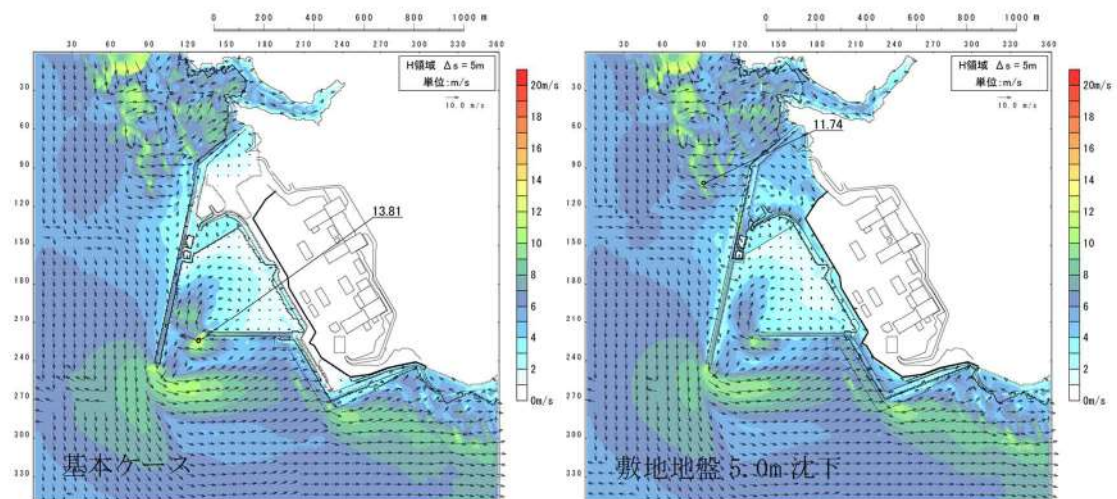


図 2.1.c.b-24 (41) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波A（防波堤損傷なし））

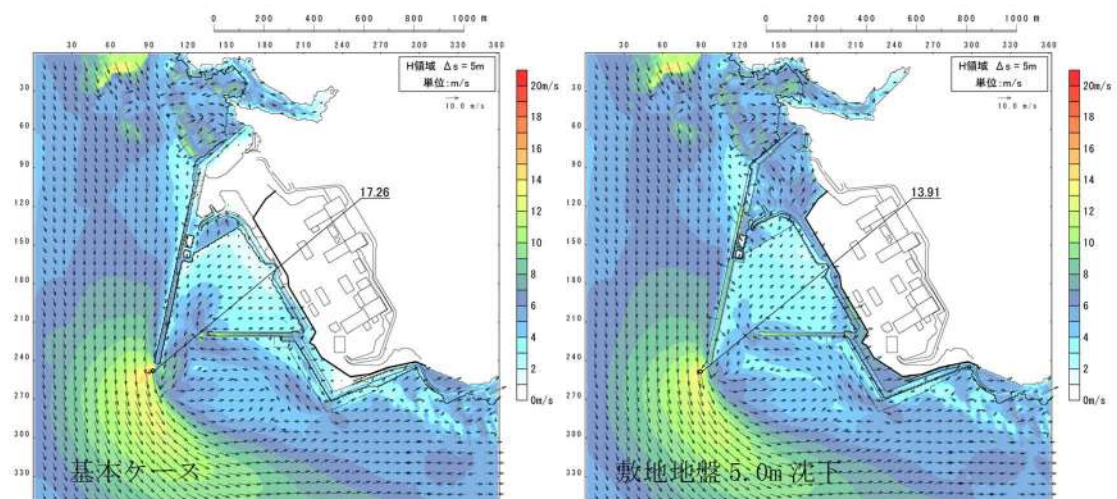


図 2.1.c.b-24 (42) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波B（防波堤損傷なし））

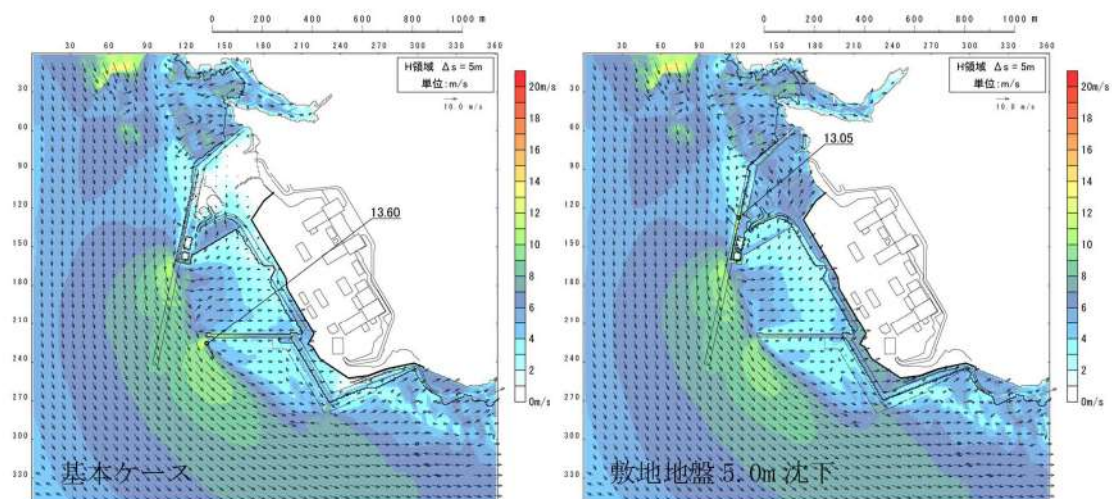


図 2.1.c.b-24 (43) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

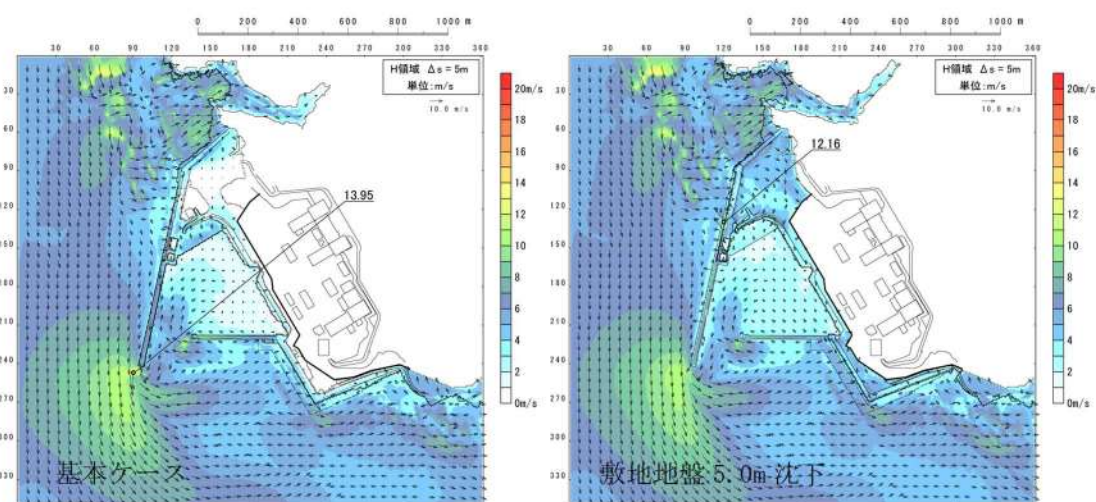


図 2.1.c.b-24 (44) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 C（防波堤損傷なし））

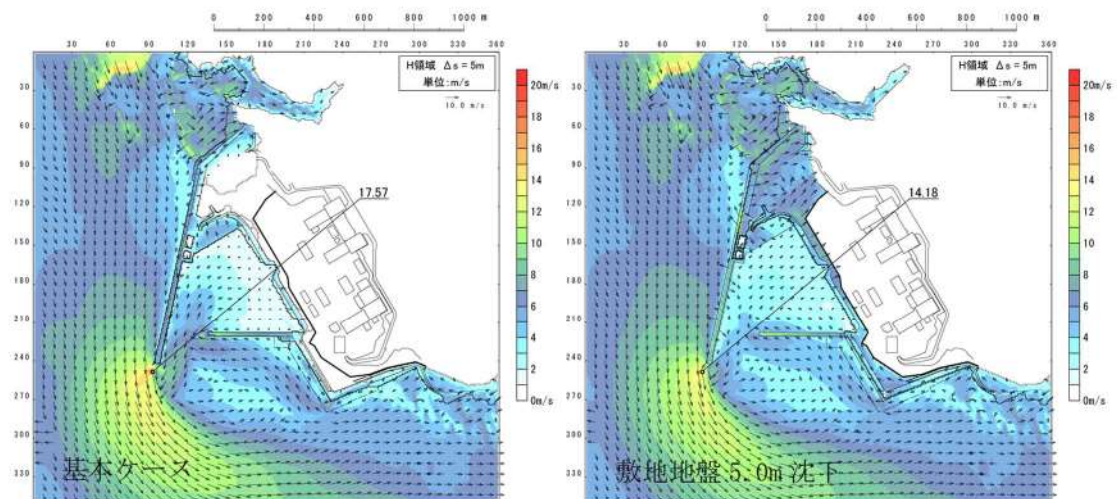


図 2.1.c.b-24 (45) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

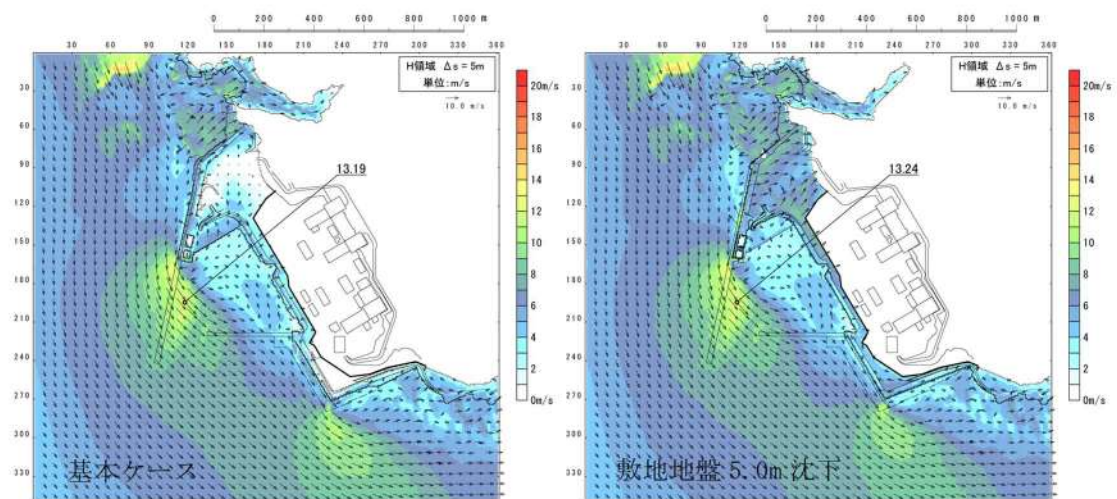


図 2.1.c.b-24 (46) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

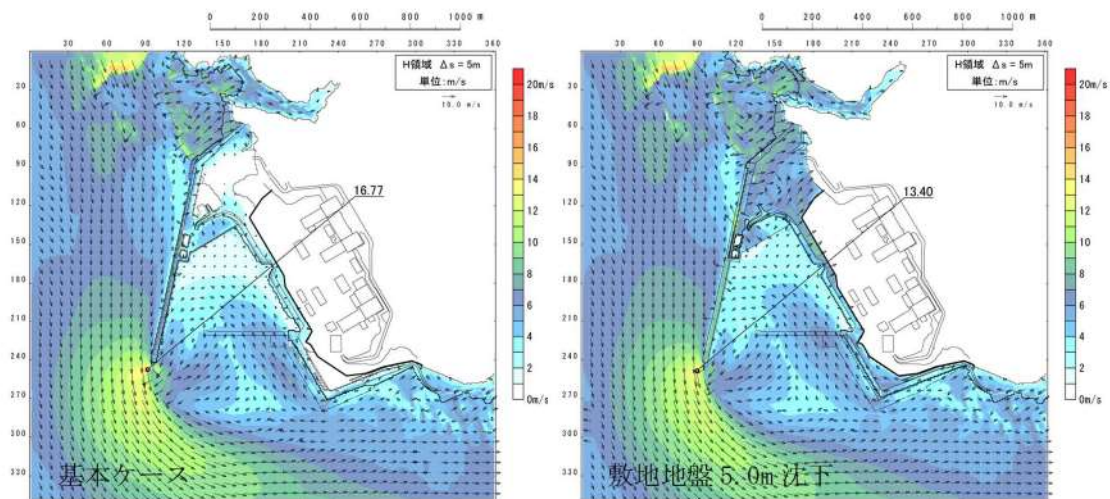


図 2.1.c.b-24 (47) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

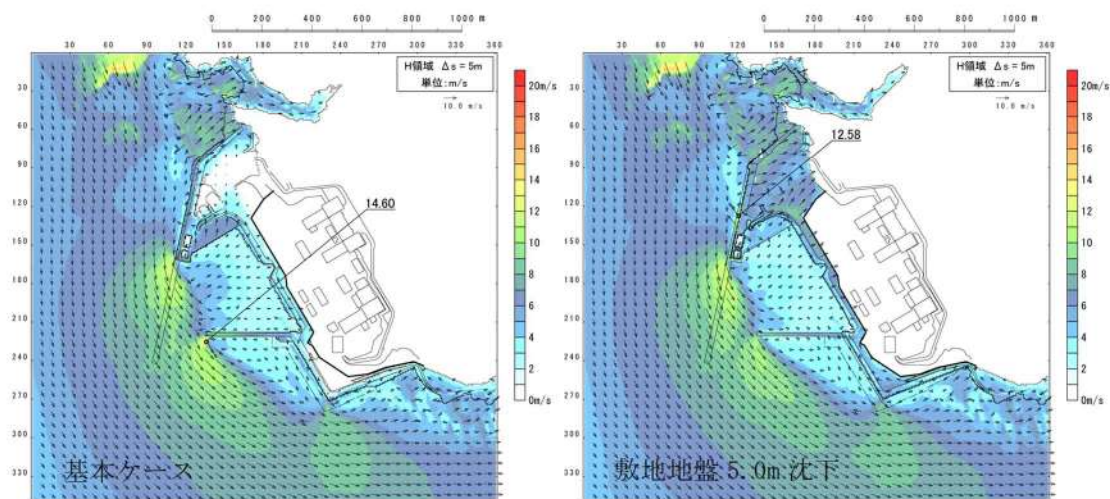


図 2.1.c.b-24 (48) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

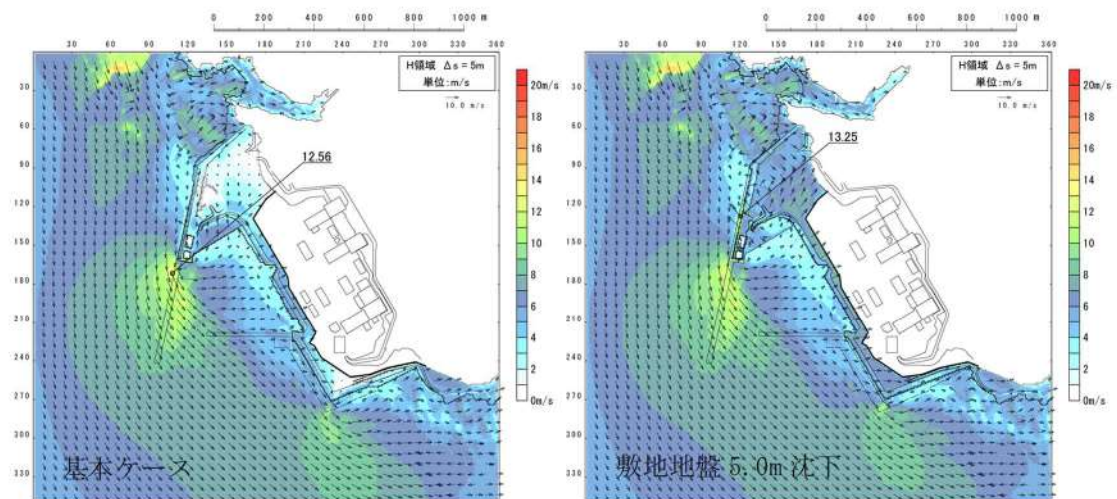


図 2.1.c.b-24 (49) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

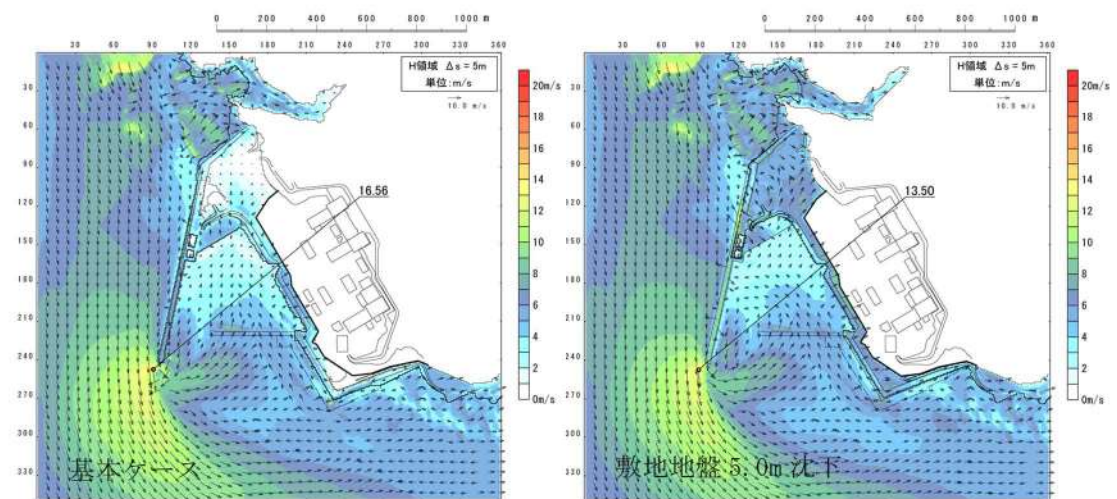


図 2.1.c.b-24 (50) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

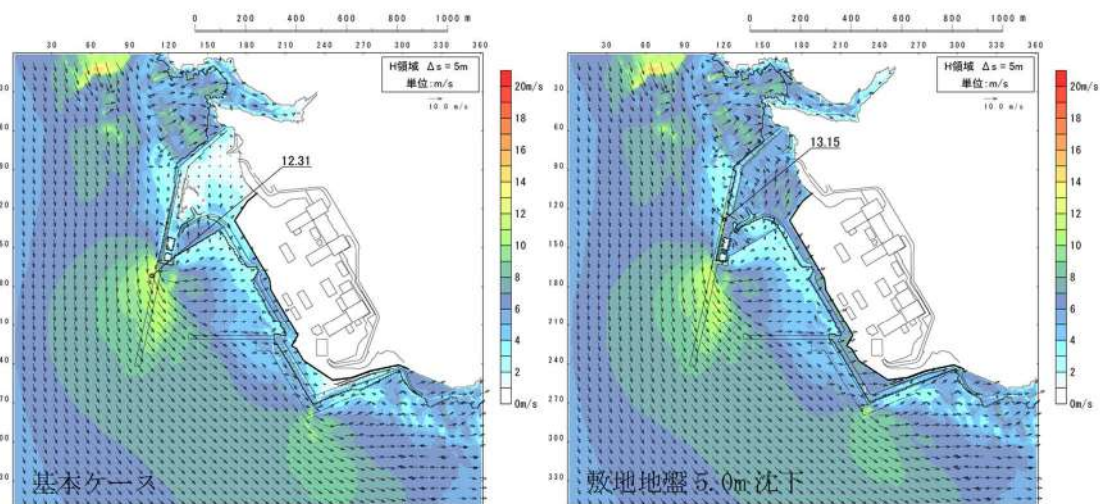


図 2.1.c.b-24 (51) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

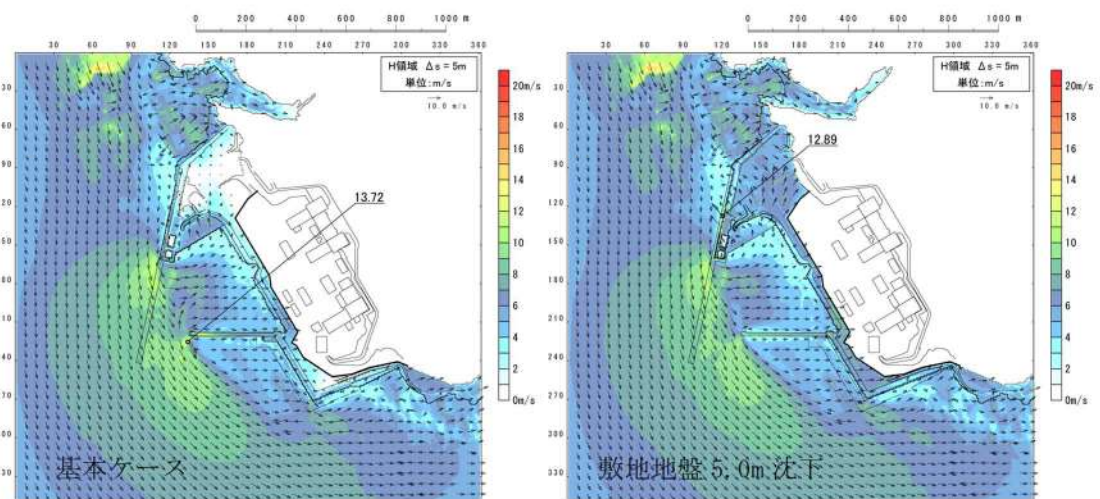


図 2.1.c.b-24 (52) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

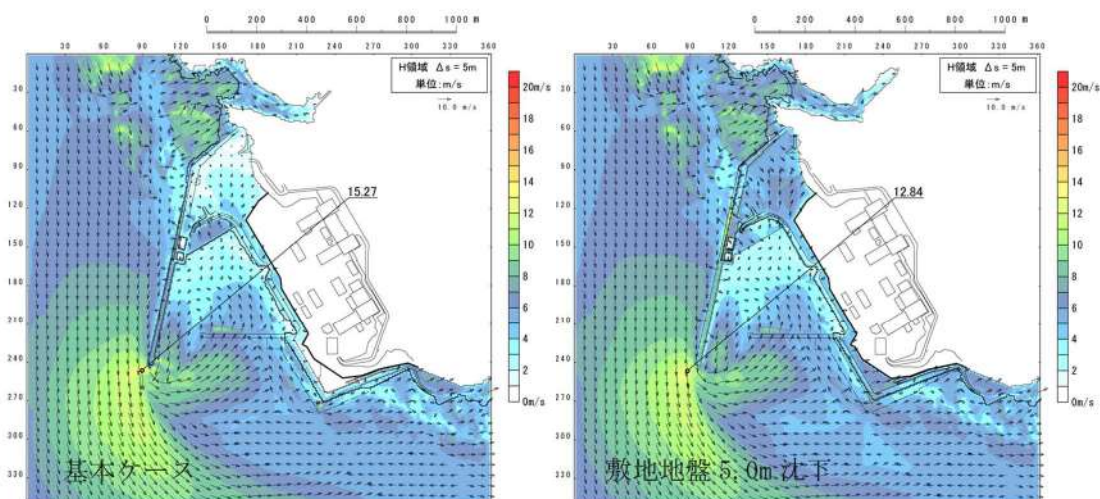


図 2.1.c.b-24 (53) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

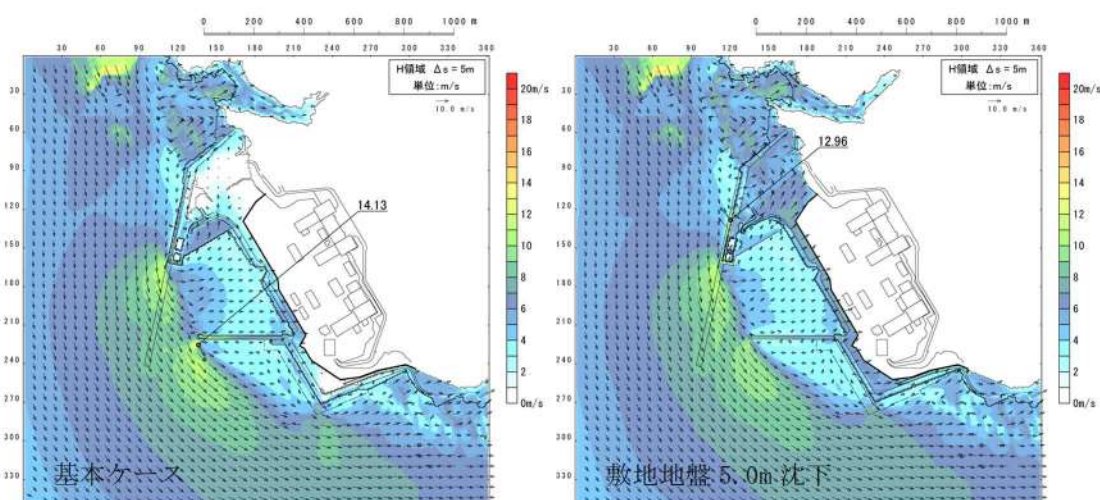


図 2.1.c.b-24 (54) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

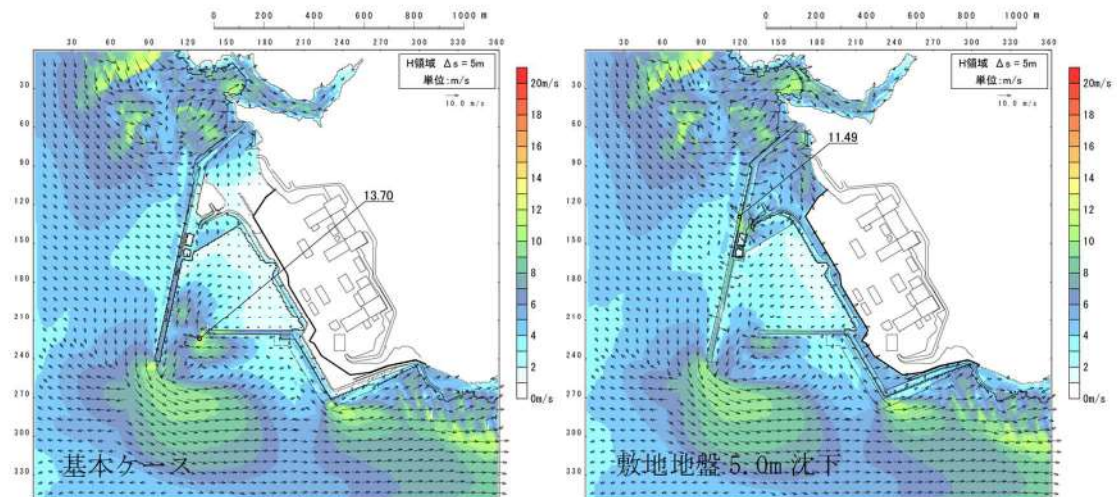


図 2.1.c.b-24 (55) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

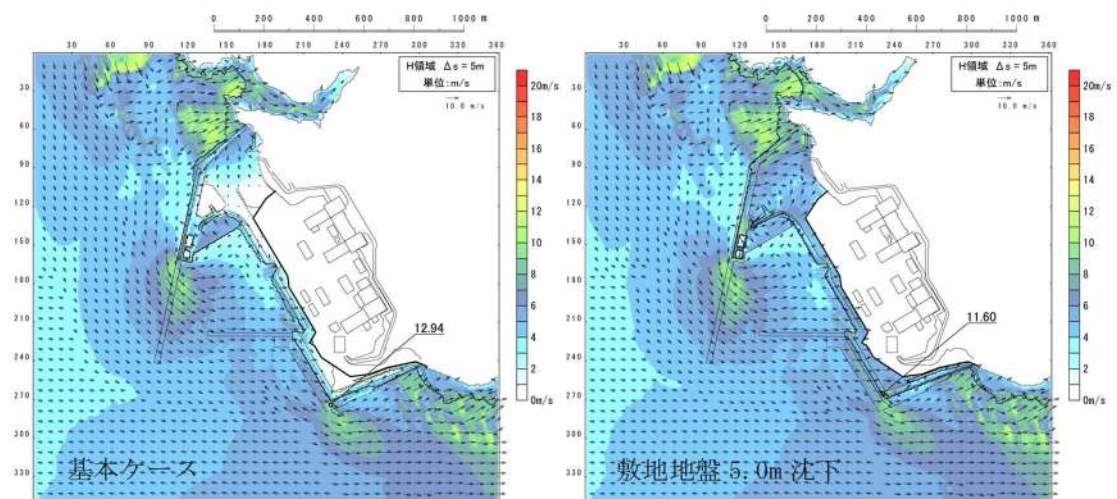


図 2.1.c.b-24 (56) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

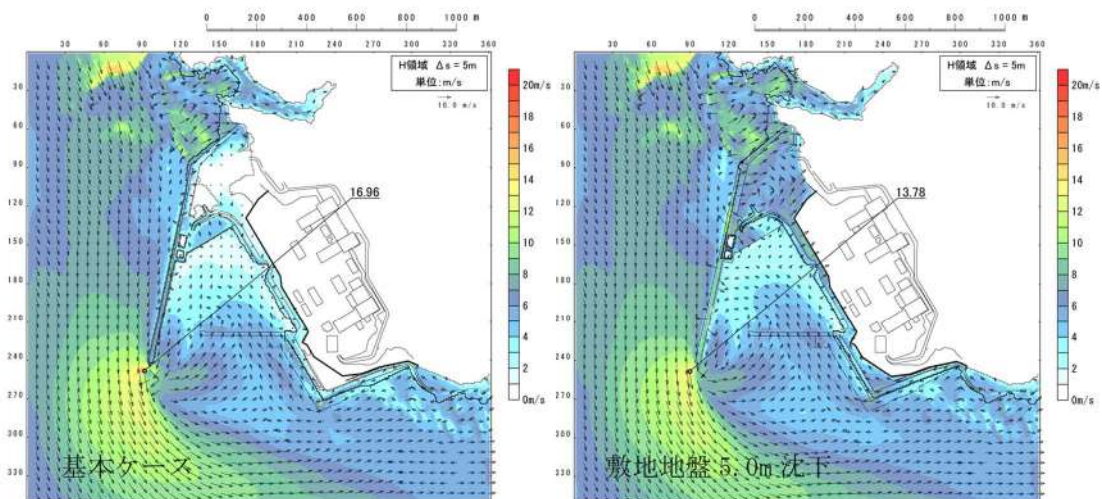


図 2.1.c.b-24 (57) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

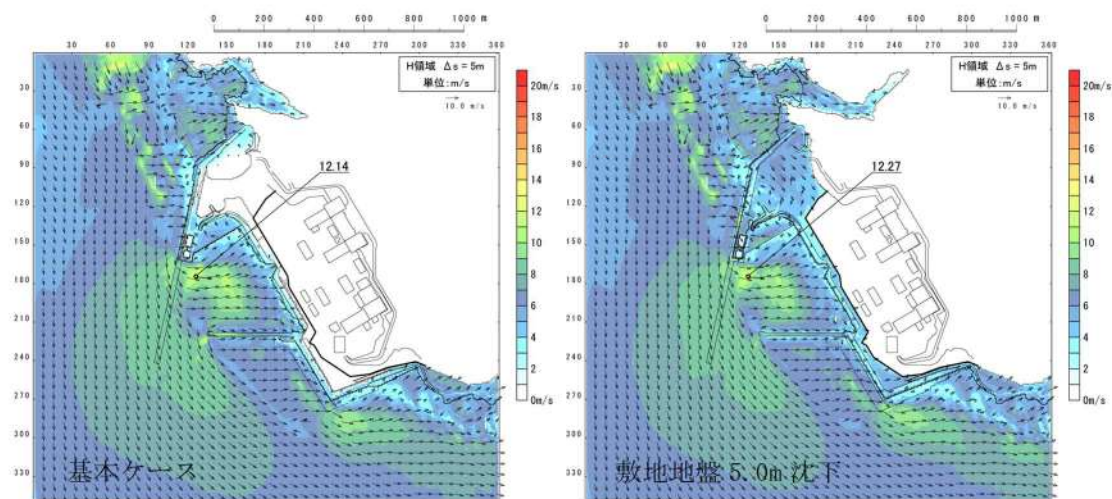


図 2.1.c.b-24 (58) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（基準津波L（北防波堤損傷））

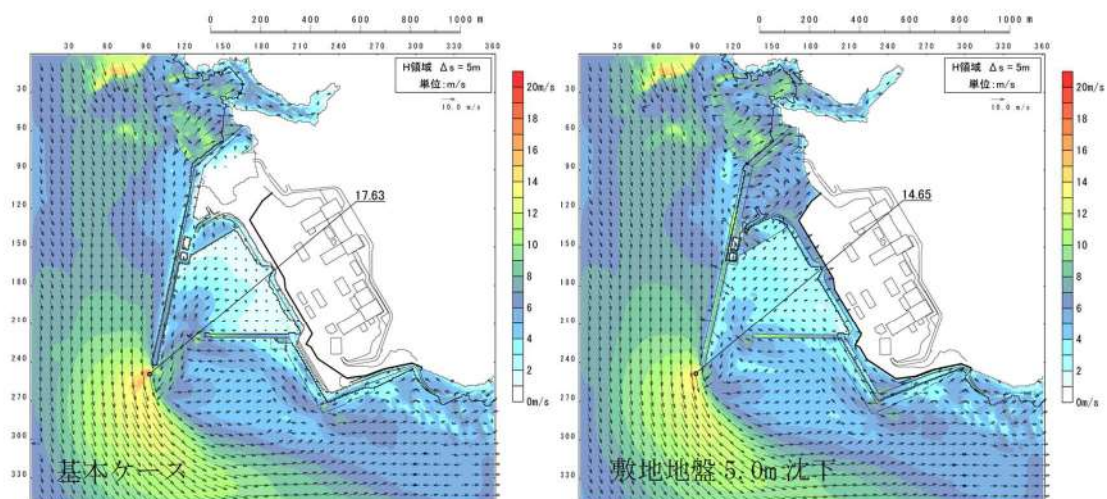


図 2.1.c.b-24 (59) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（流速最大ケース 1）

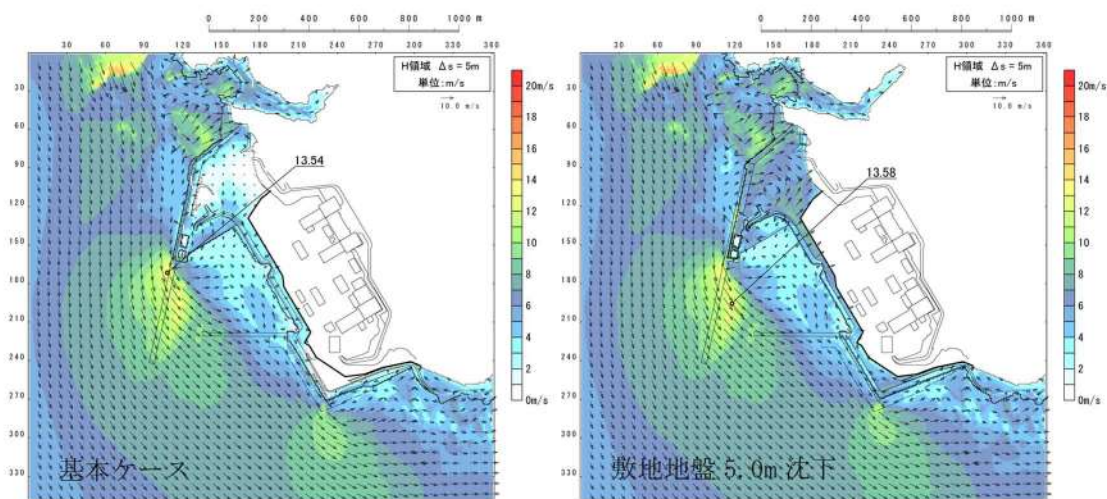


図 2.1.c.b-24 (60) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による最大流速分布の比較（流速最大ケース 2）

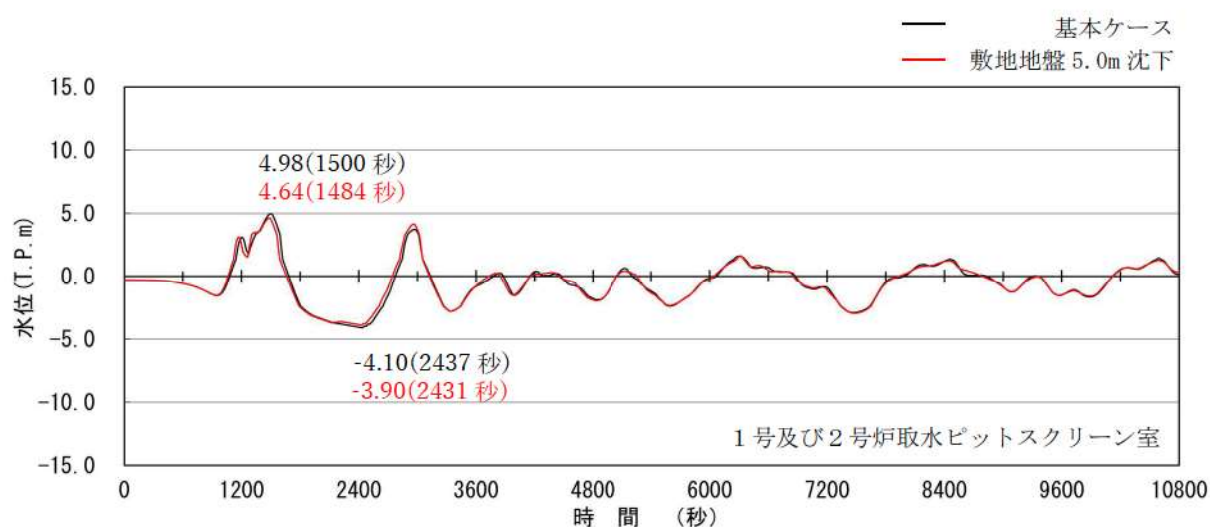


図 2.1.c.b-24 (61) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし，貝付着無し，スクリーン健全））

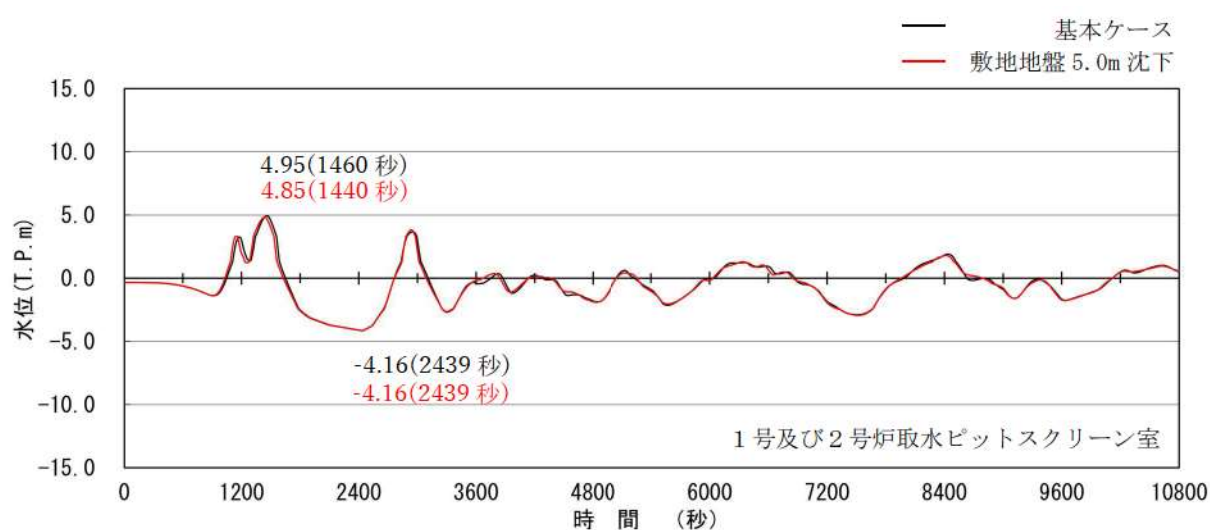


図 2.1.c.b-24 (62) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 C（防波堤損傷なし，貝付着無し，スクリーン健全））

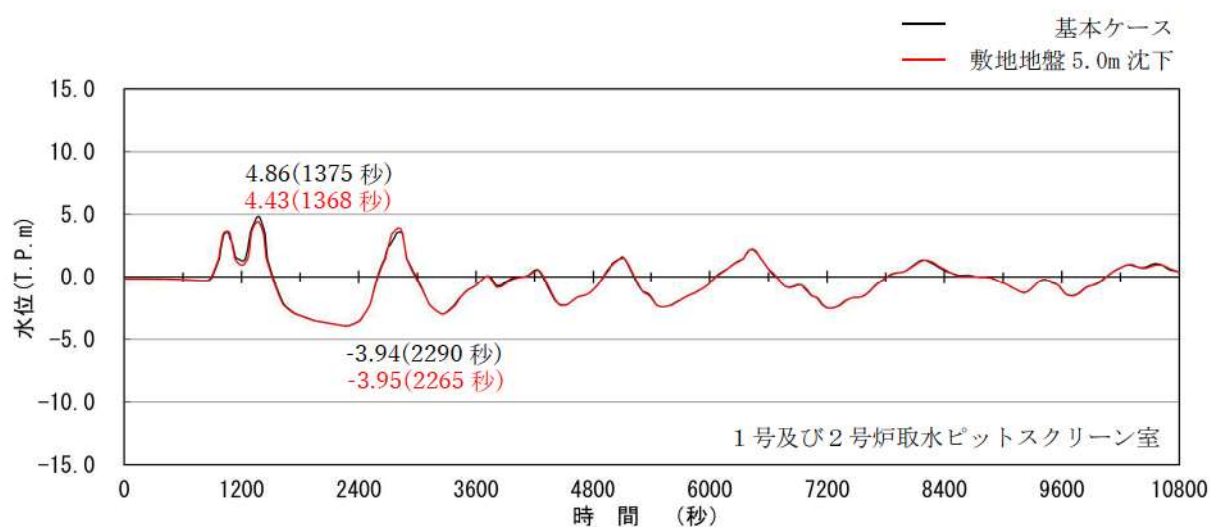


図 2. 1. c. b-24 (63) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 D（南防波堤損傷，貝付着無し，スクリーン健全））

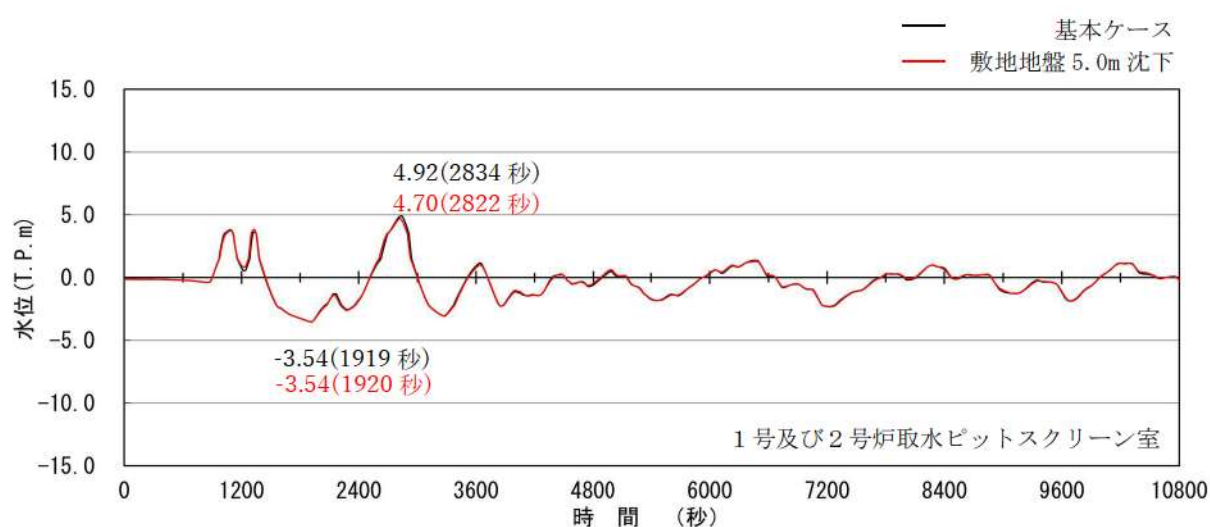


図 2. 1. c. b-24 (64) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 L（北防波堤損傷，貝付着無し，スクリーン健全））

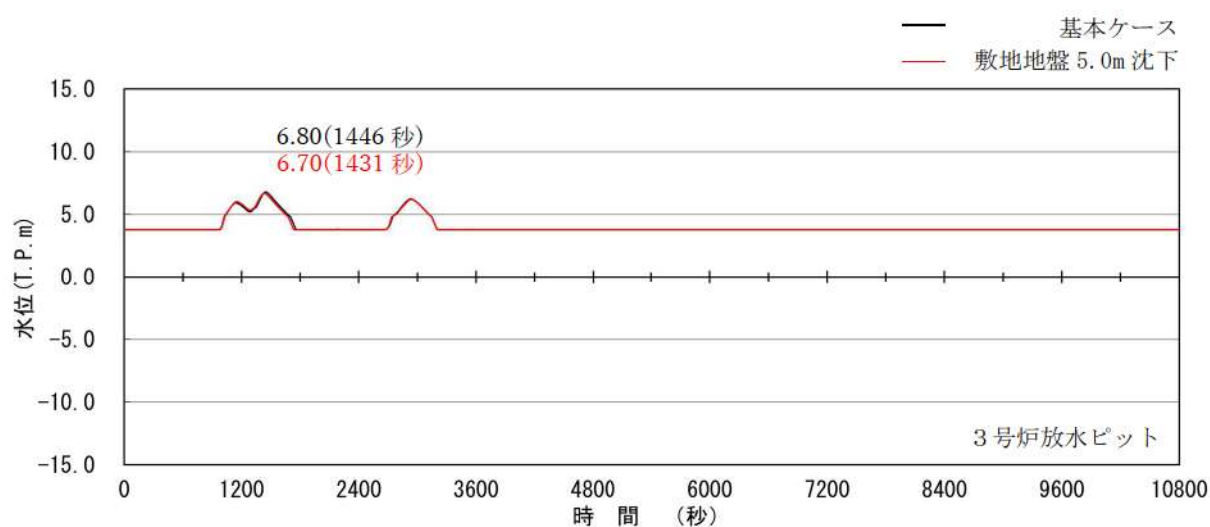


図 2.1.c.b-24 (65) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 C（防波堤損傷なし，貝付着無し，管路損傷なし））

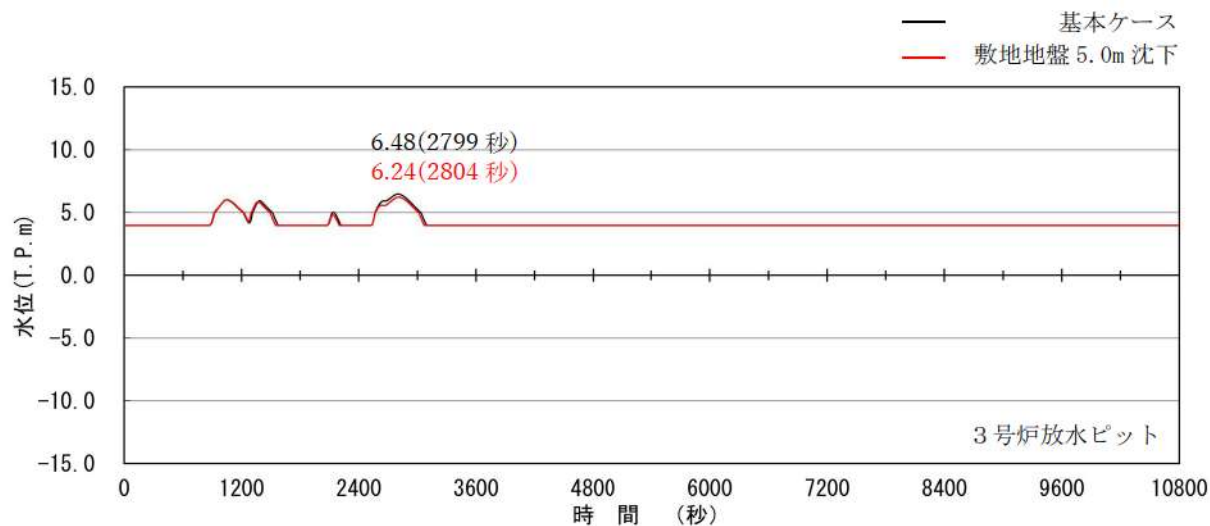


図 2.1.c.b-24 (66) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 D（防波堤損傷なし，貝付着無し，管路損傷なし））

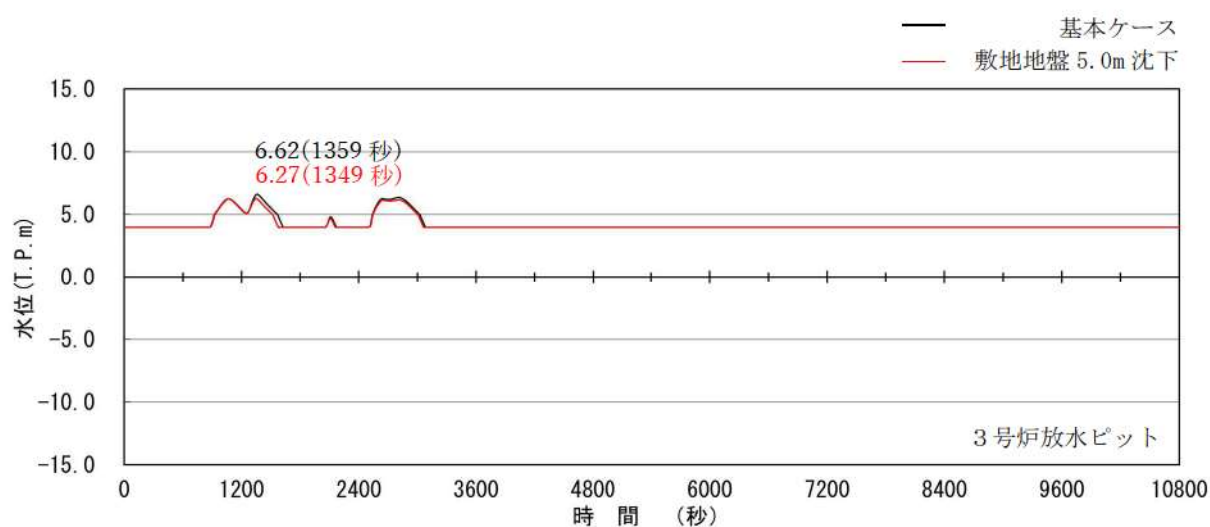


図 2.1.c.b-24 (67) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 G（南防波堤損傷，貝付着無し，管路損傷なし））

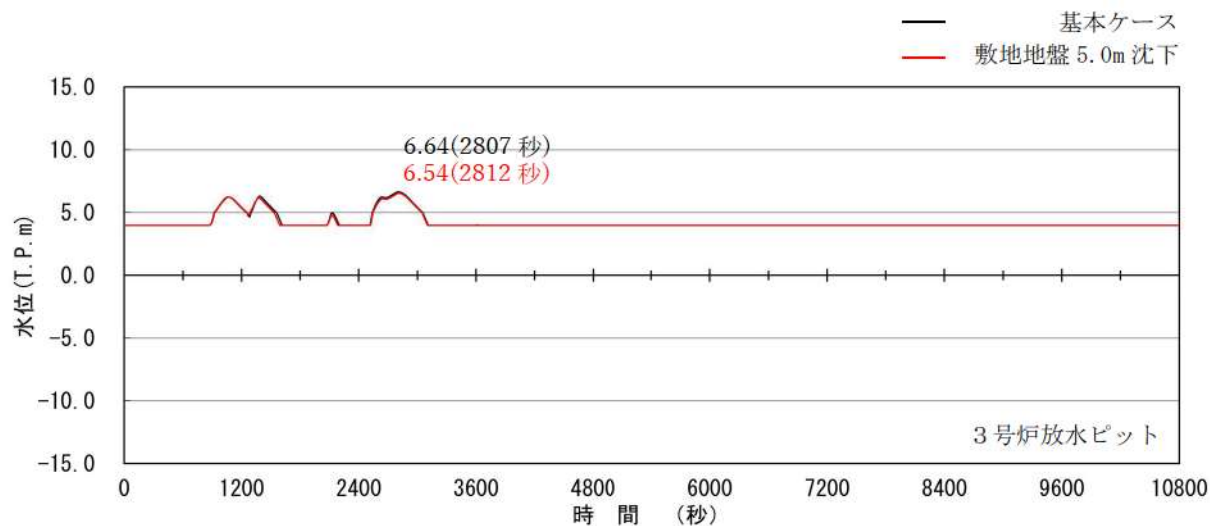


図 2.1.c.b-24 (68) 敷地（陸域）の地盤変状（5.0m 沈下）の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 K（南防波堤損傷，貝付着無し，管路損傷なし））

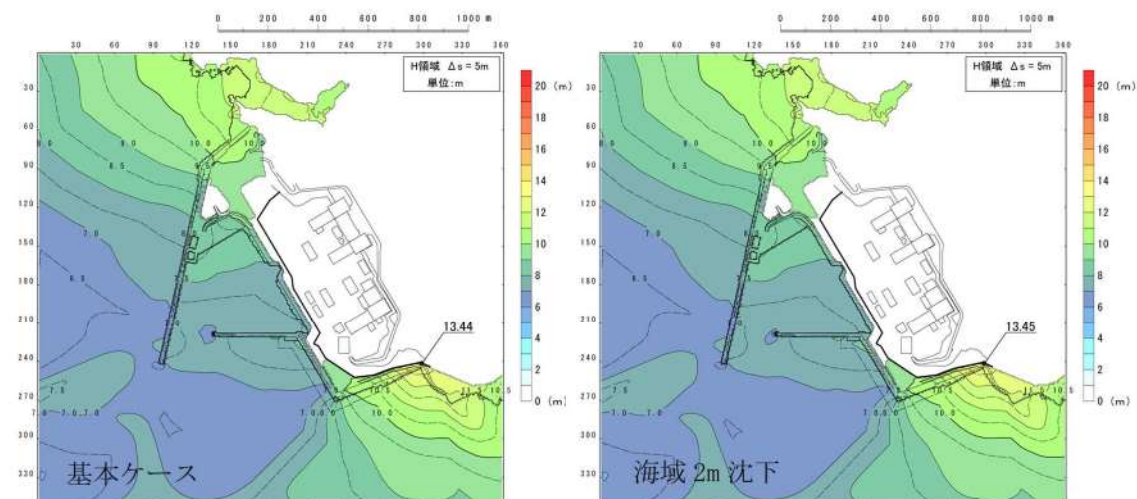


図 2.1.c.c-6 (1) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波A（防波堤損傷なし））

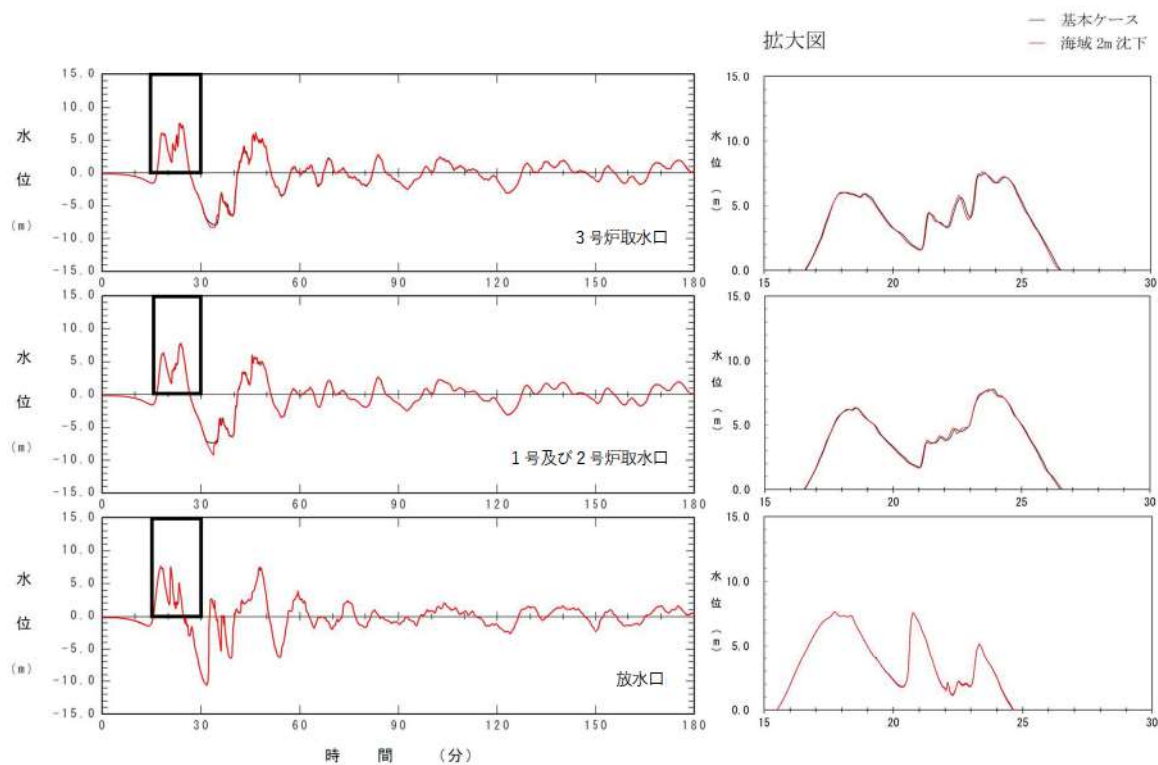


図 2.1.c.c-6 (2) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波A（防波堤損傷なし））

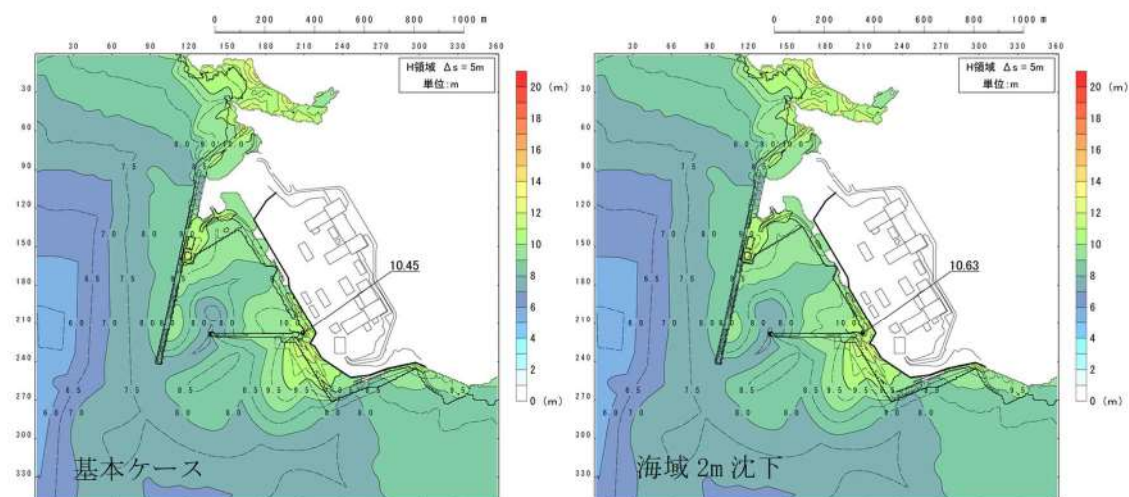


図 2.1.c.c-6 (3) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

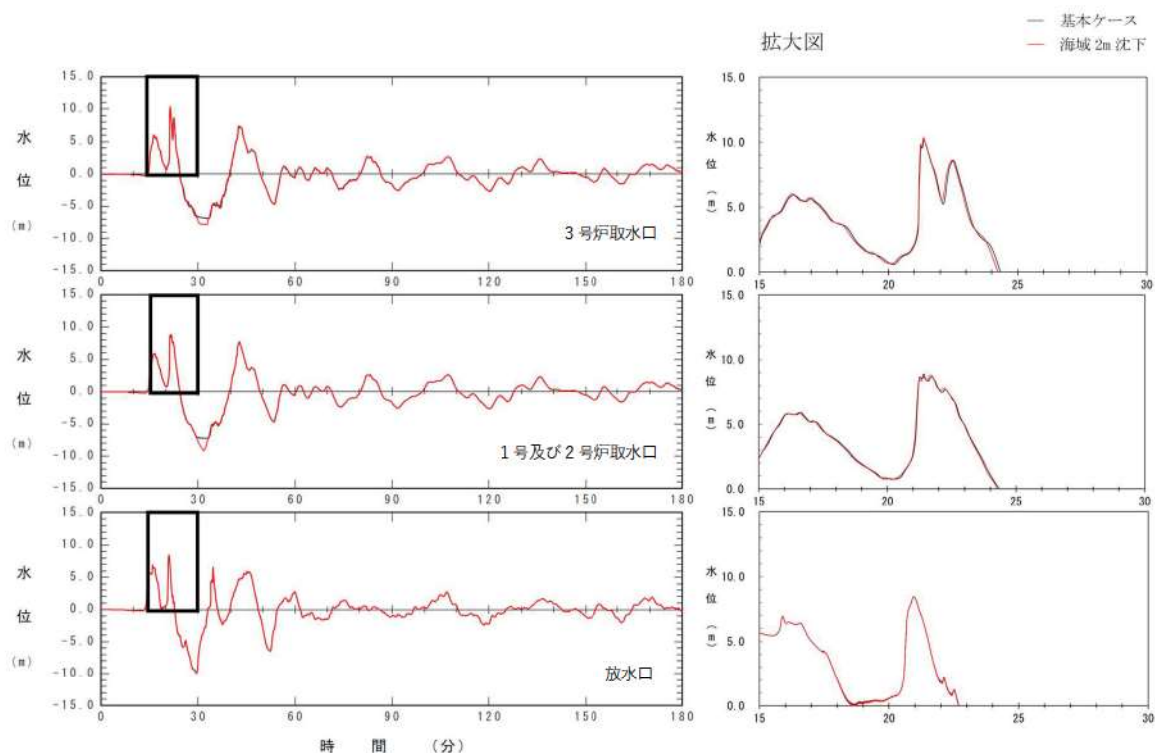


図 2.1.c.c-6 (4) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

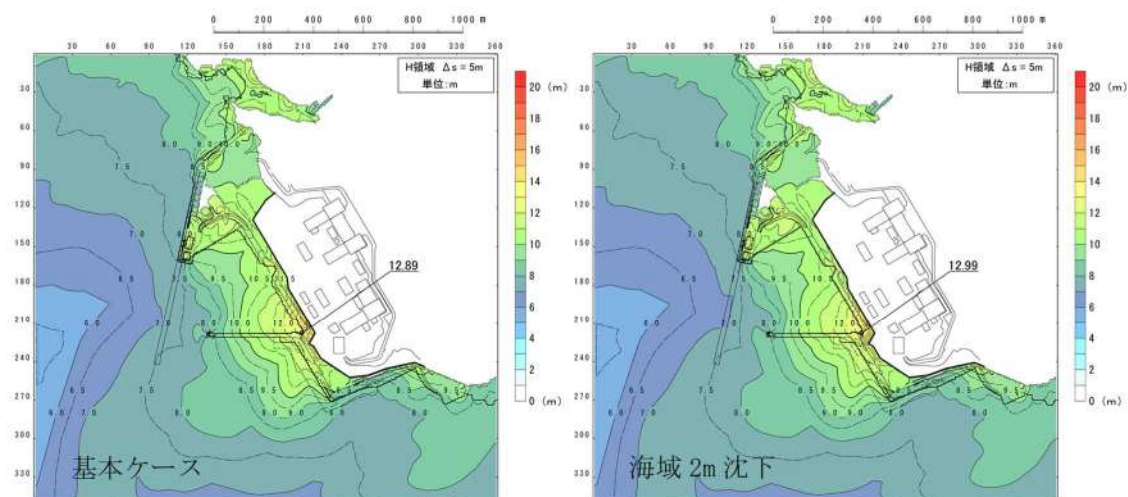


図 2.1.c.c-6 (5) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

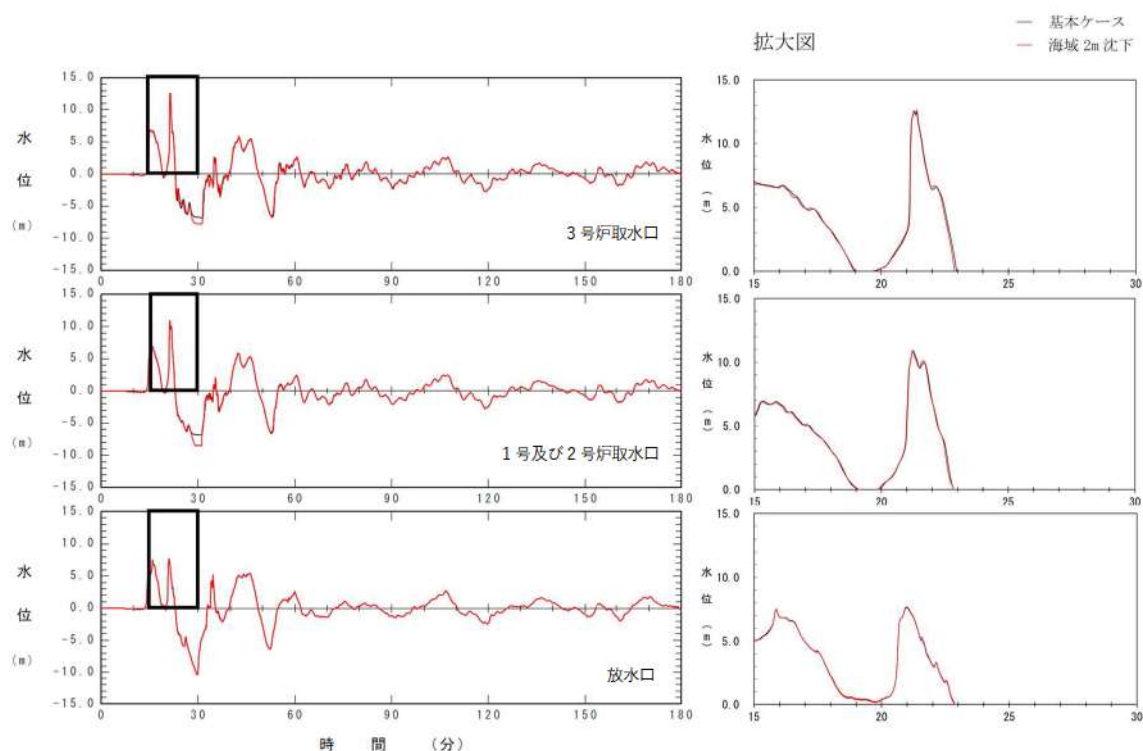


図 2.1.c.c-6 (6) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

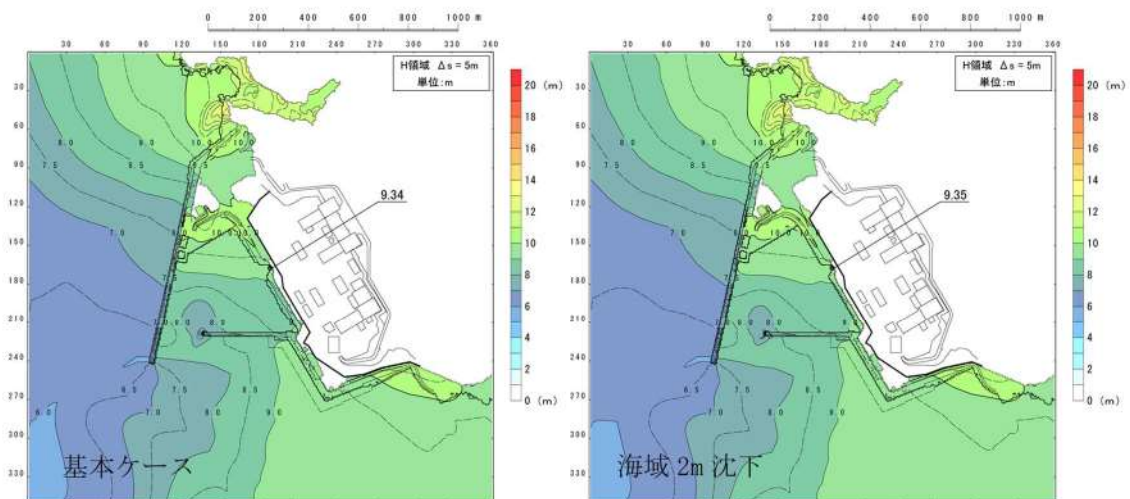


図 2.1. c. c-6 (7) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

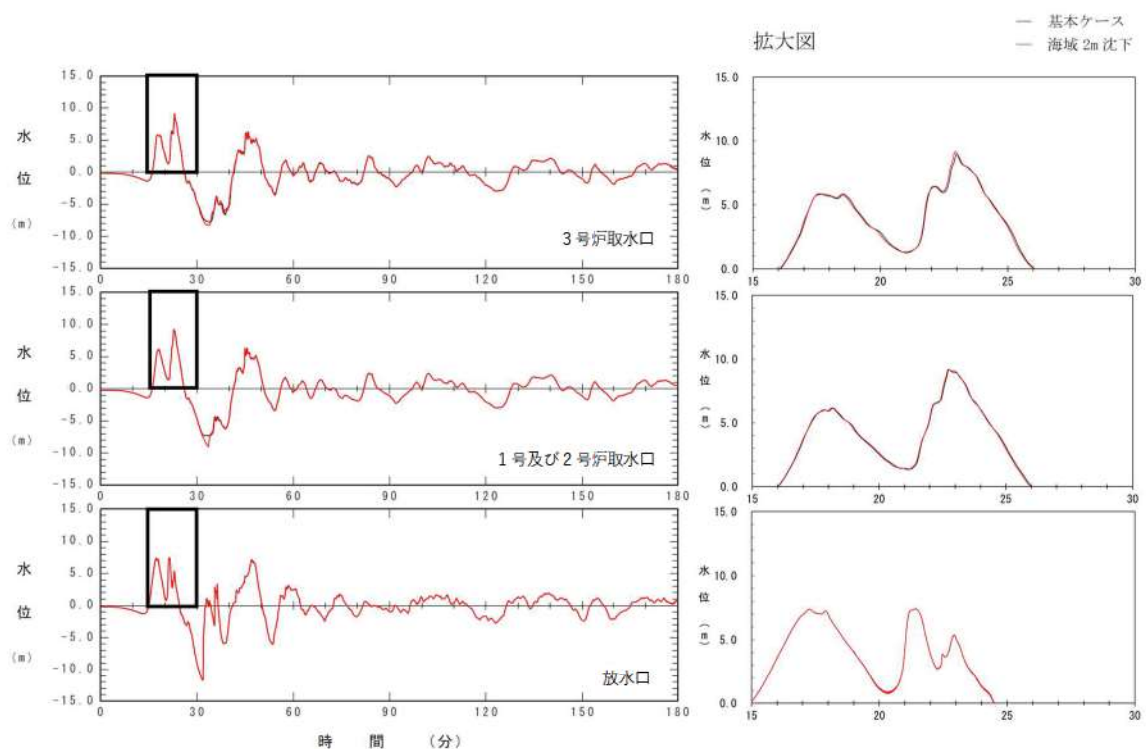


図 2.1. c. c-6 (8) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

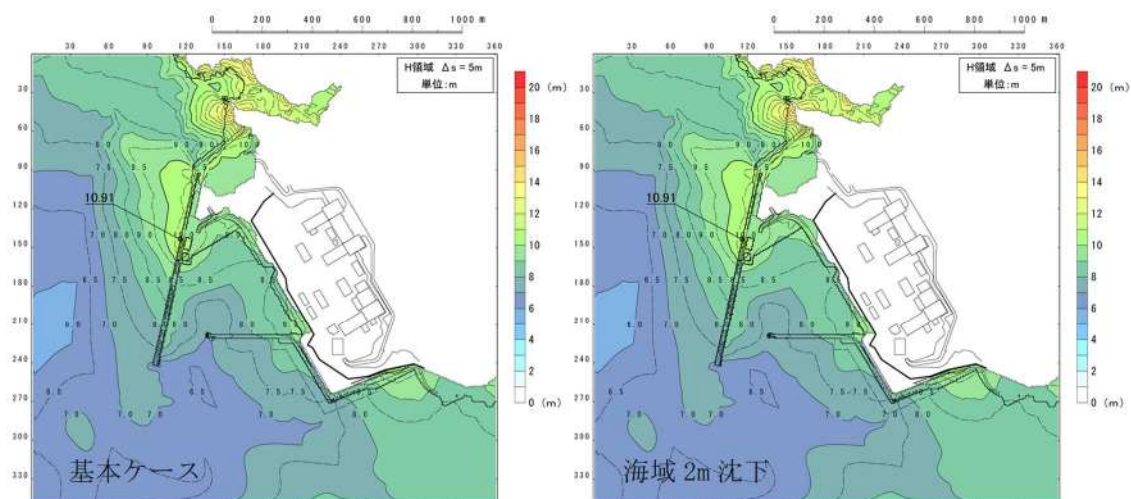


図 2.1. c. c-6 (9) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

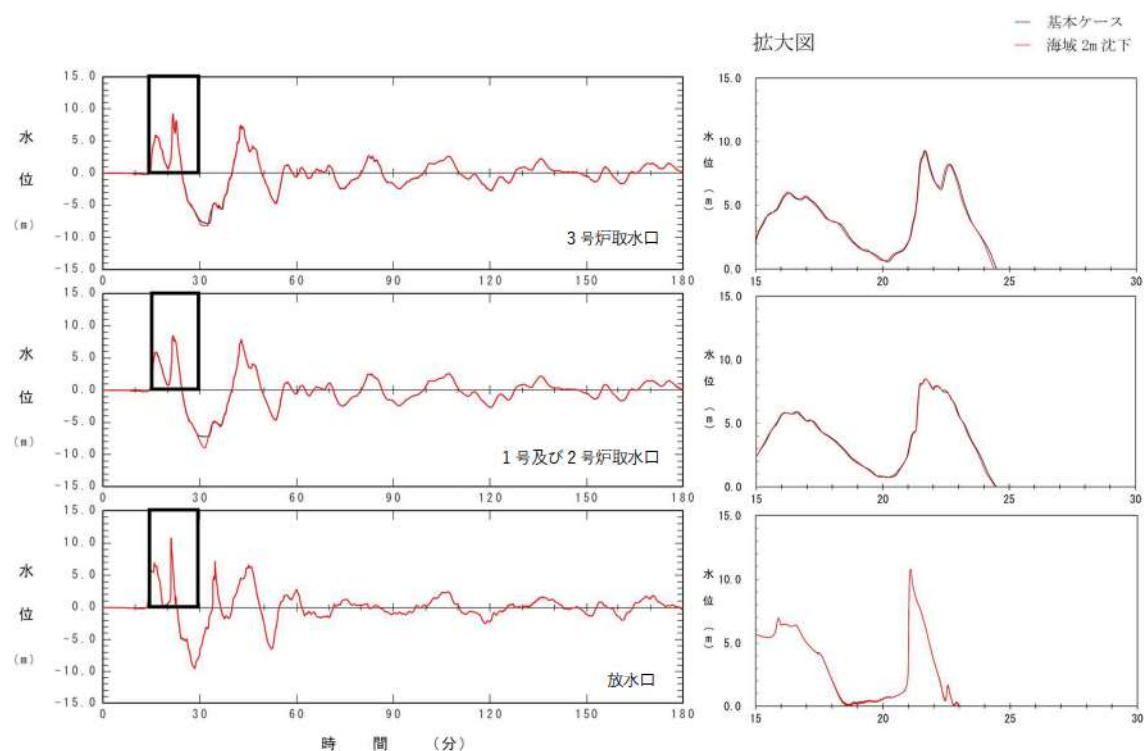


図 2.1. c. c-6 (10) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

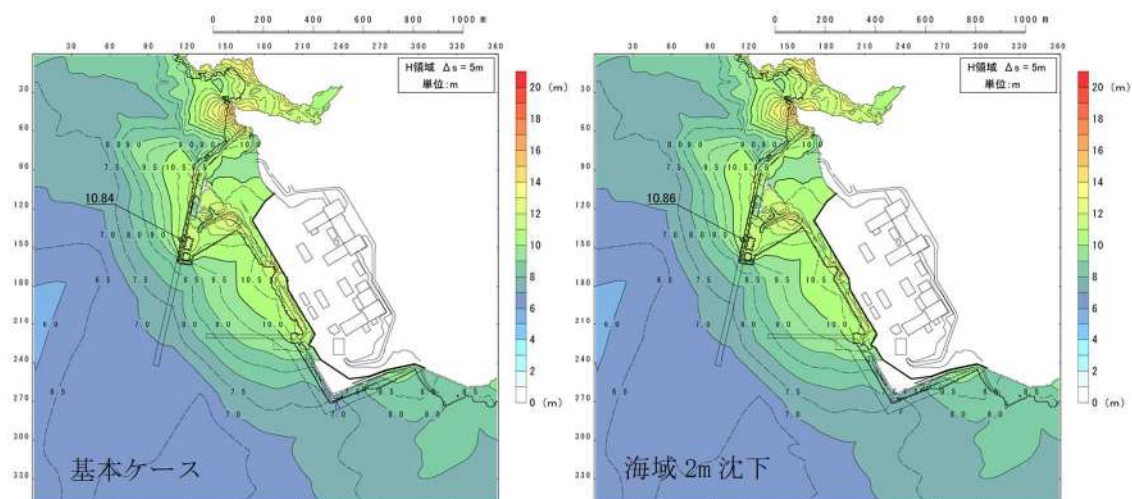


図 2.1.c.c-6 (11) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

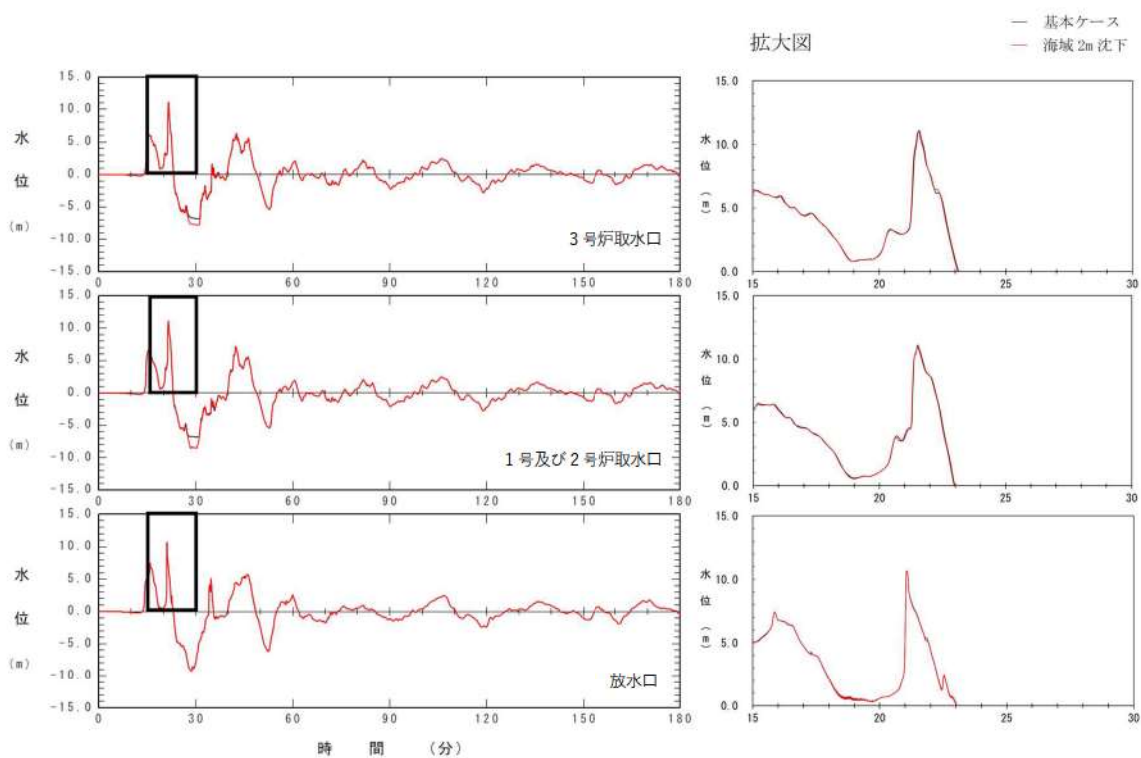


図 2.1.c.c-6 (12) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

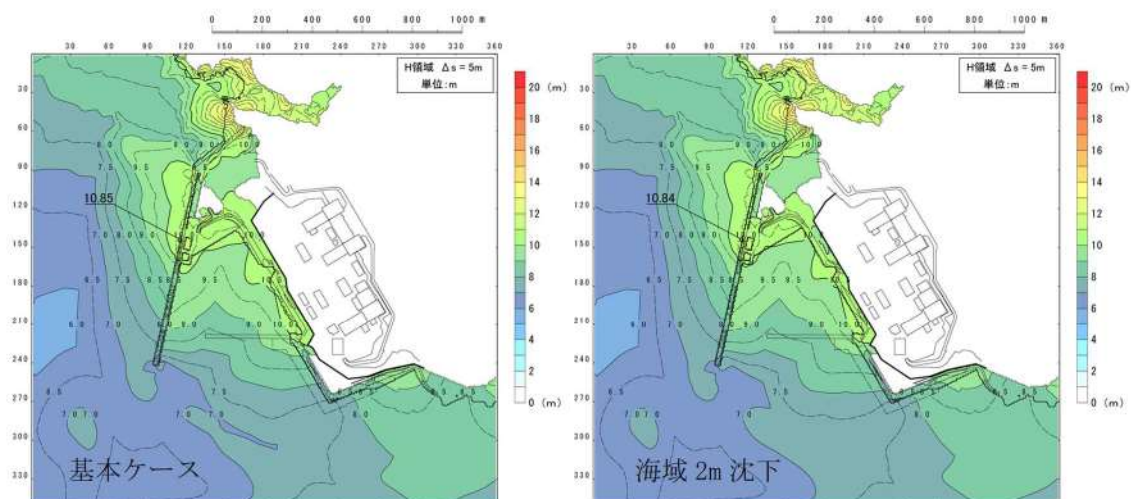


図 2.1.c.c-6 (13) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

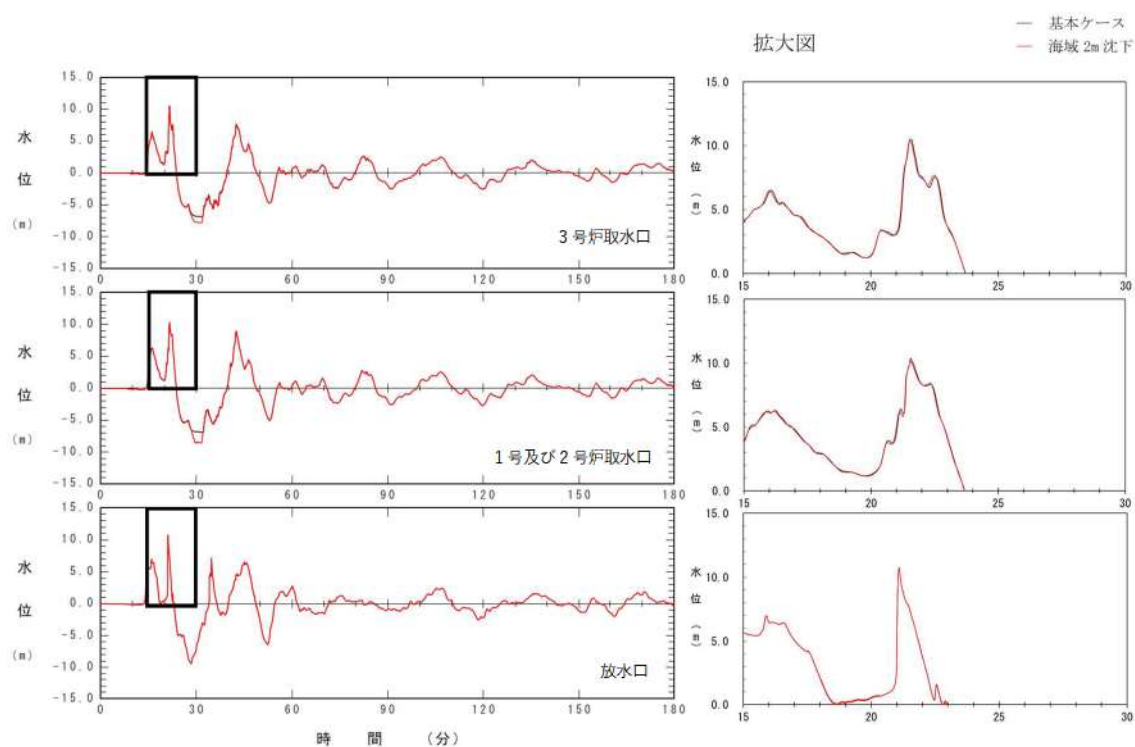


図 2.1.c.c-6 (14) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

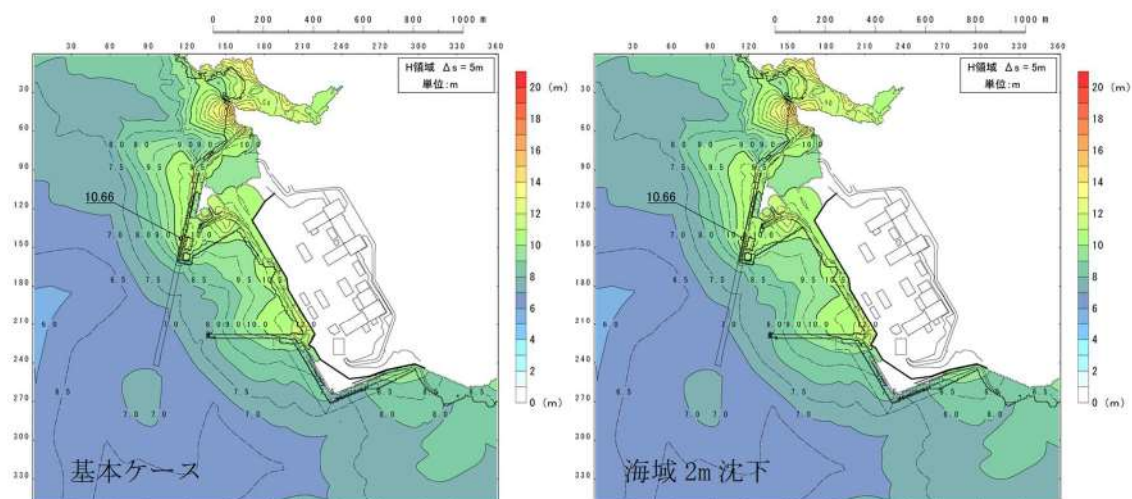


図 2.1.c.c-6 (15) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

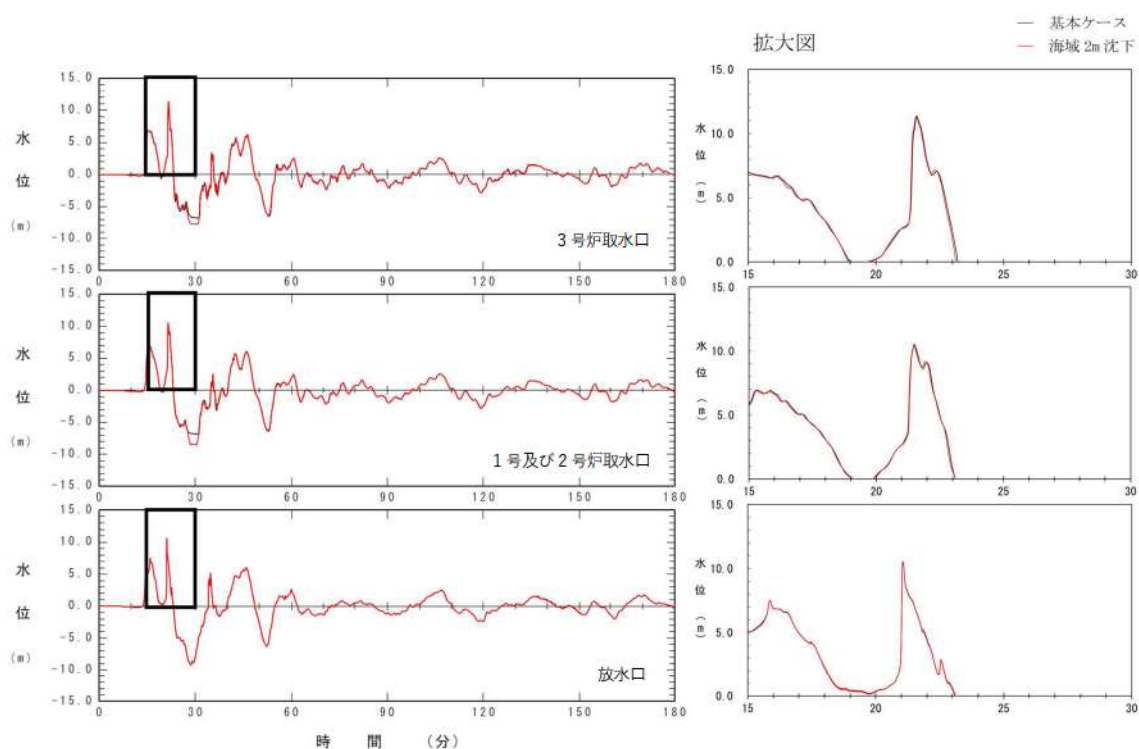


図 2.1.c.c-6 (16) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

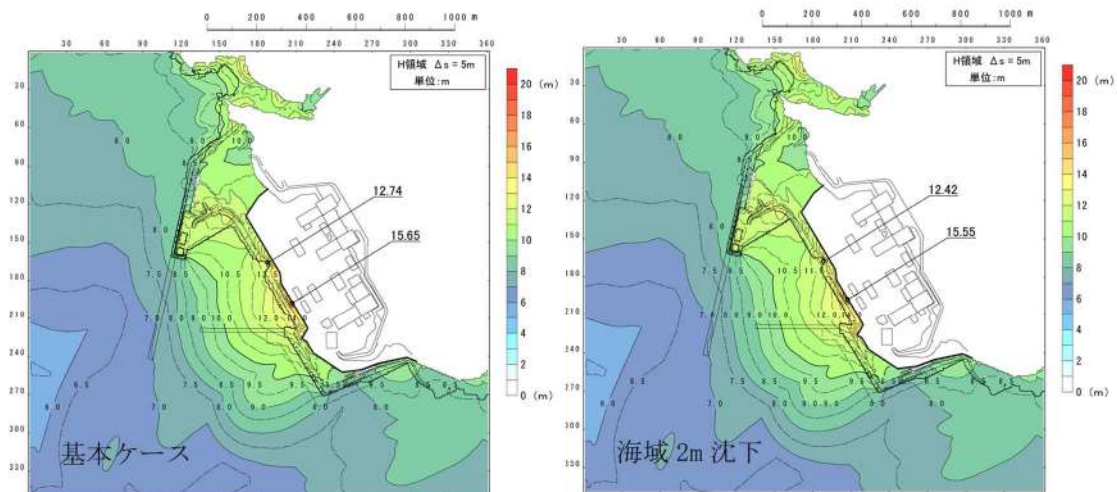


図 2.1.c.c-6 (17) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

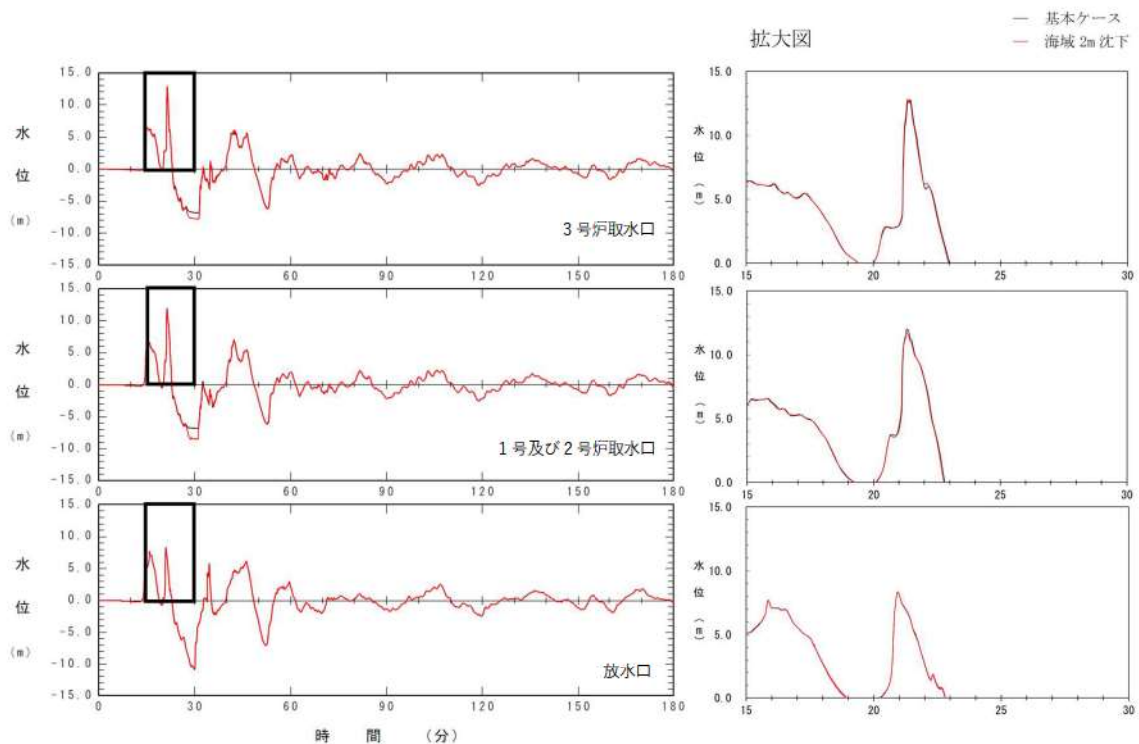


図 2.1.c.c-6 (18) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

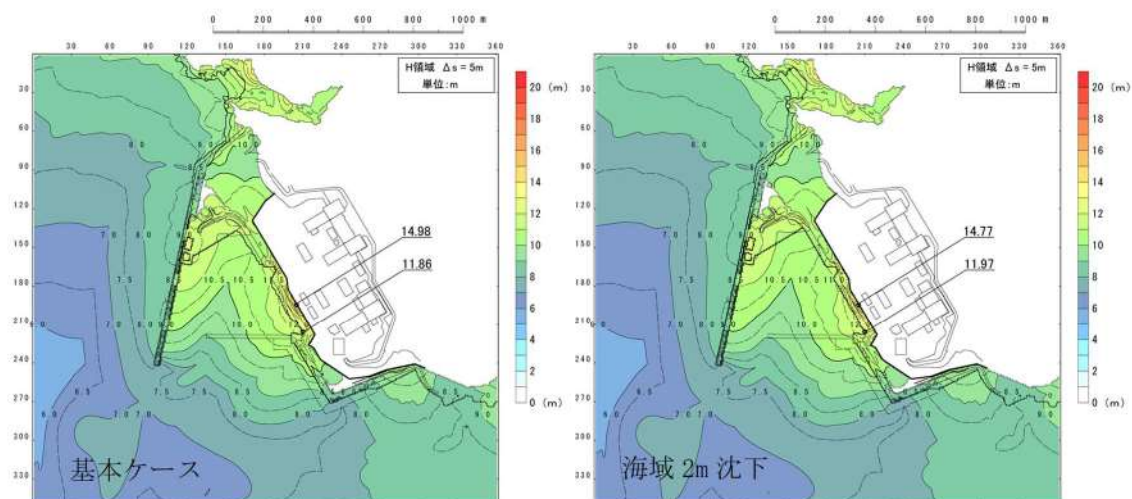


図 2.1.c.c-6 (19) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

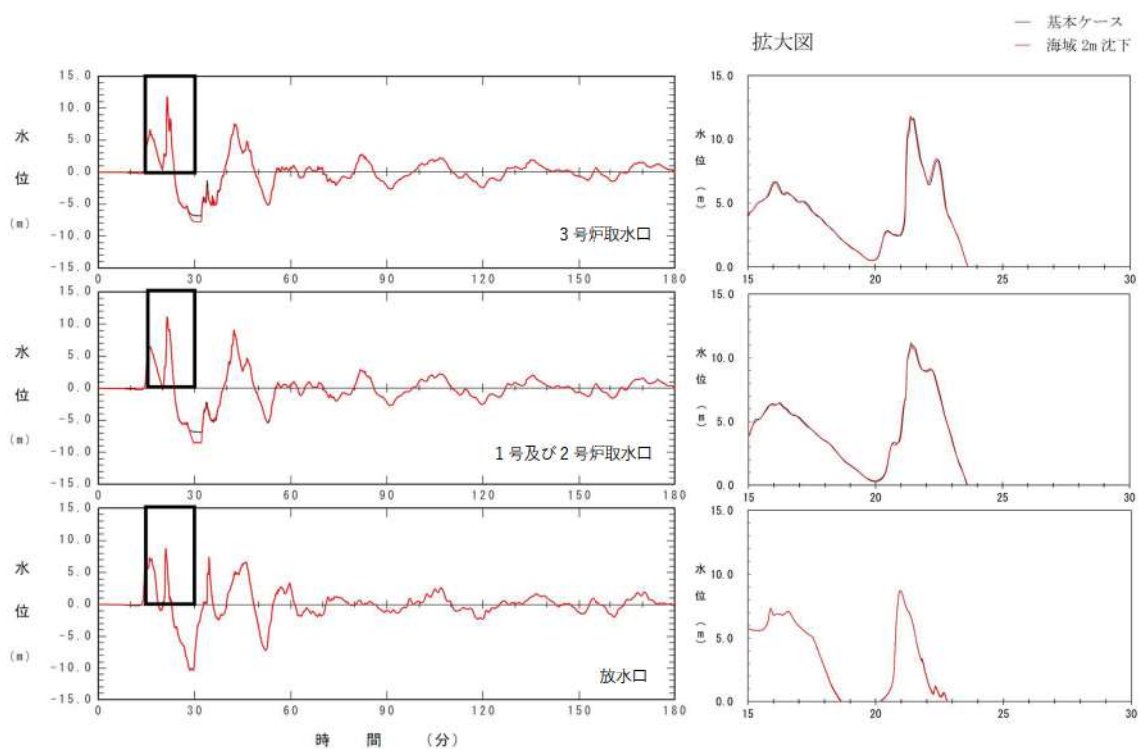


図 2.1.c.c-6 (20) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

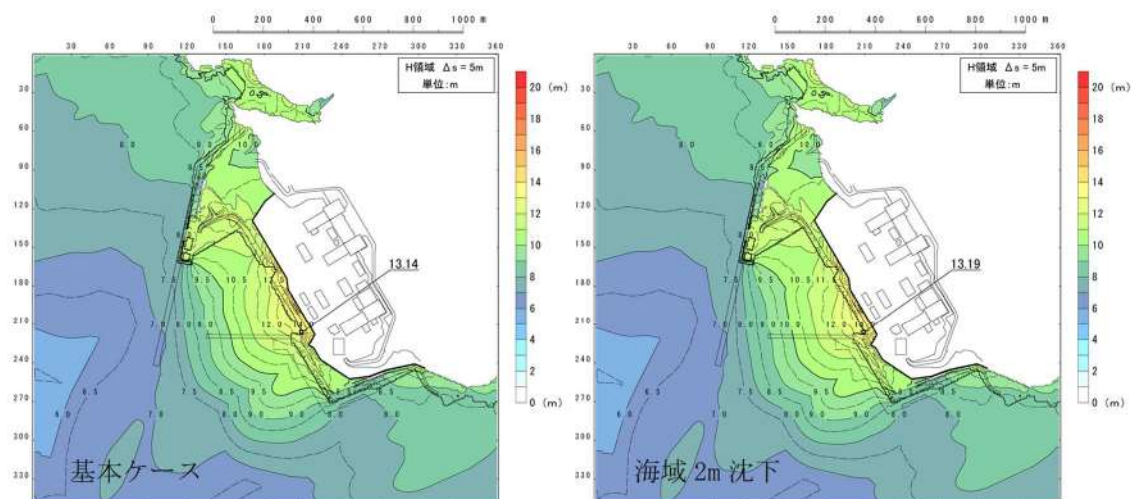


図 2.1.c.c-6 (21) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損））

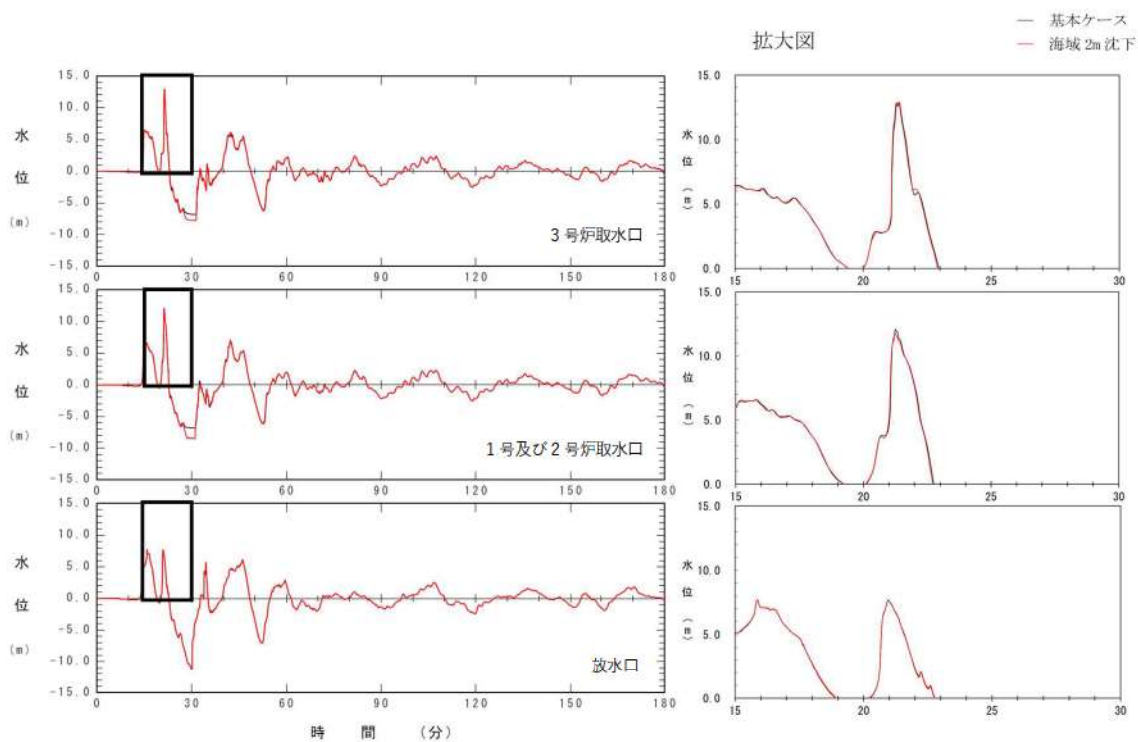


図 2.1.c.c-6 (22) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

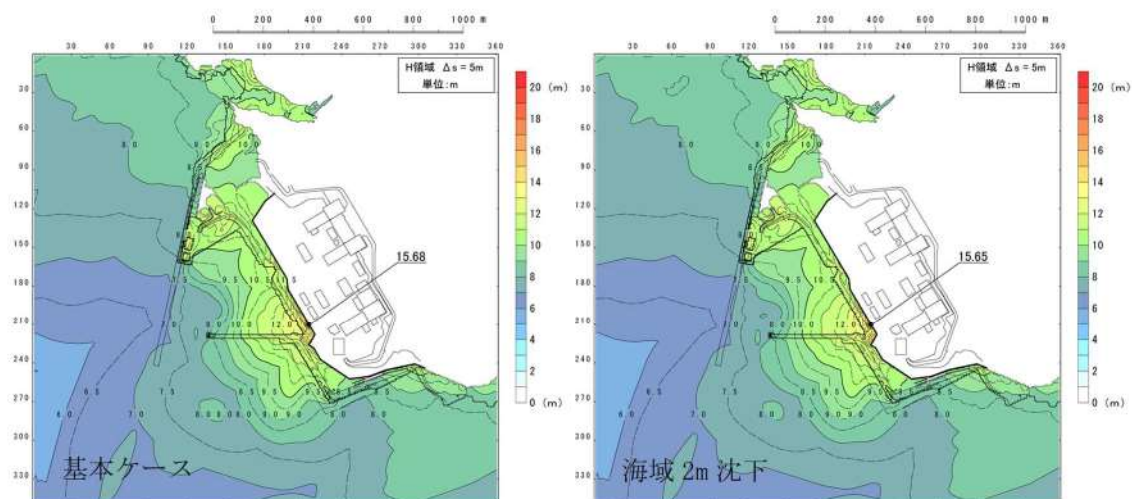


図 2.1.c.c-6 (23) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

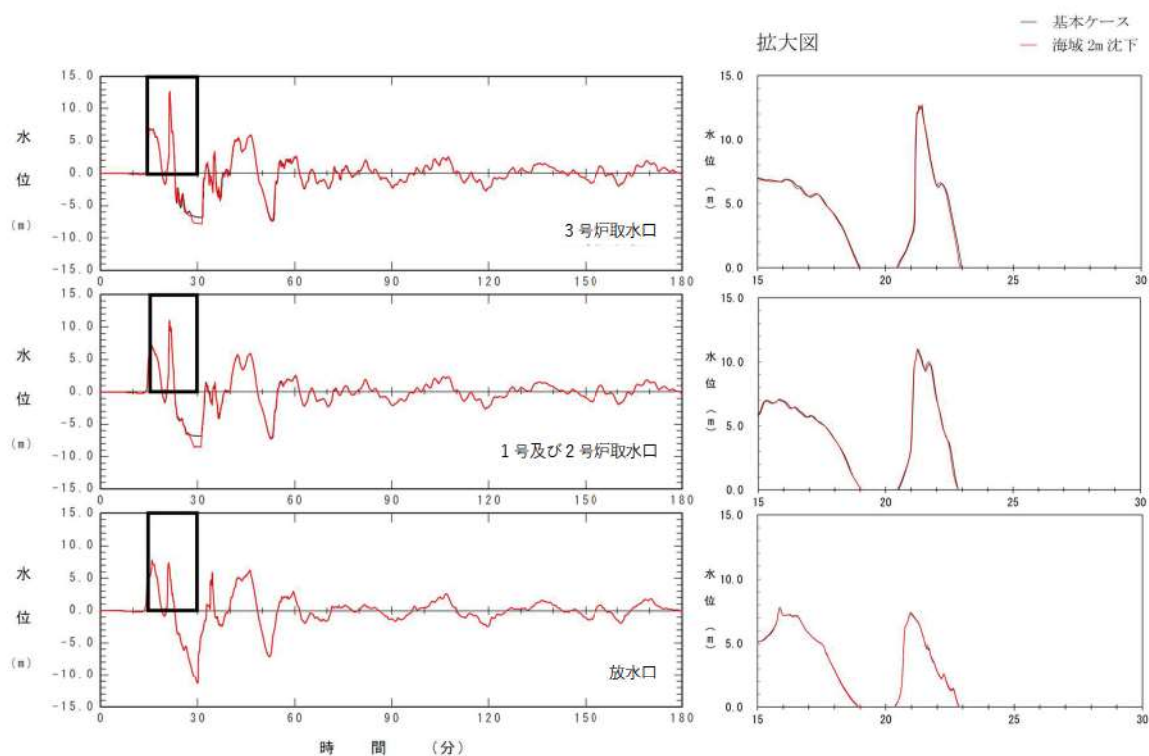


図 2.1.c.c-6 (24) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

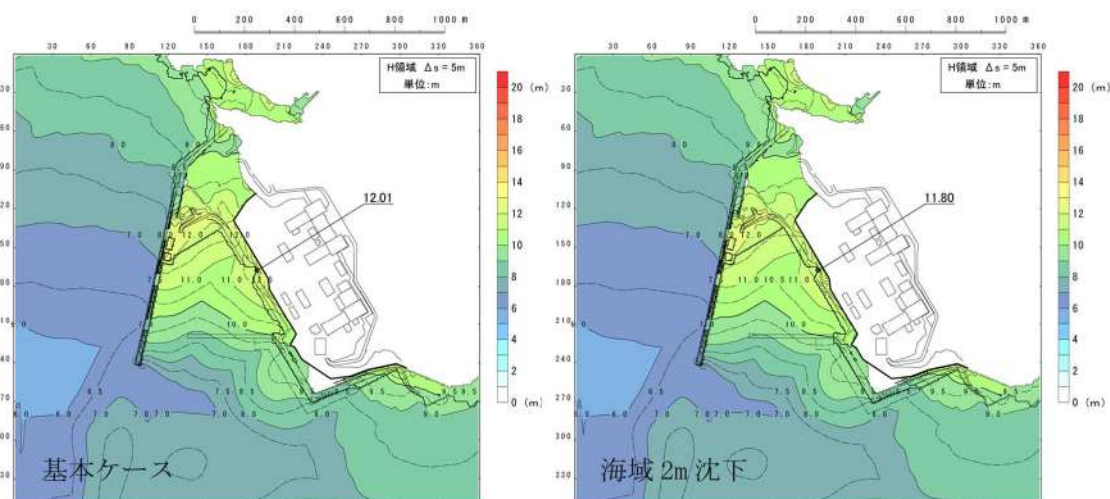


図 2.1.c.c-6 (25) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

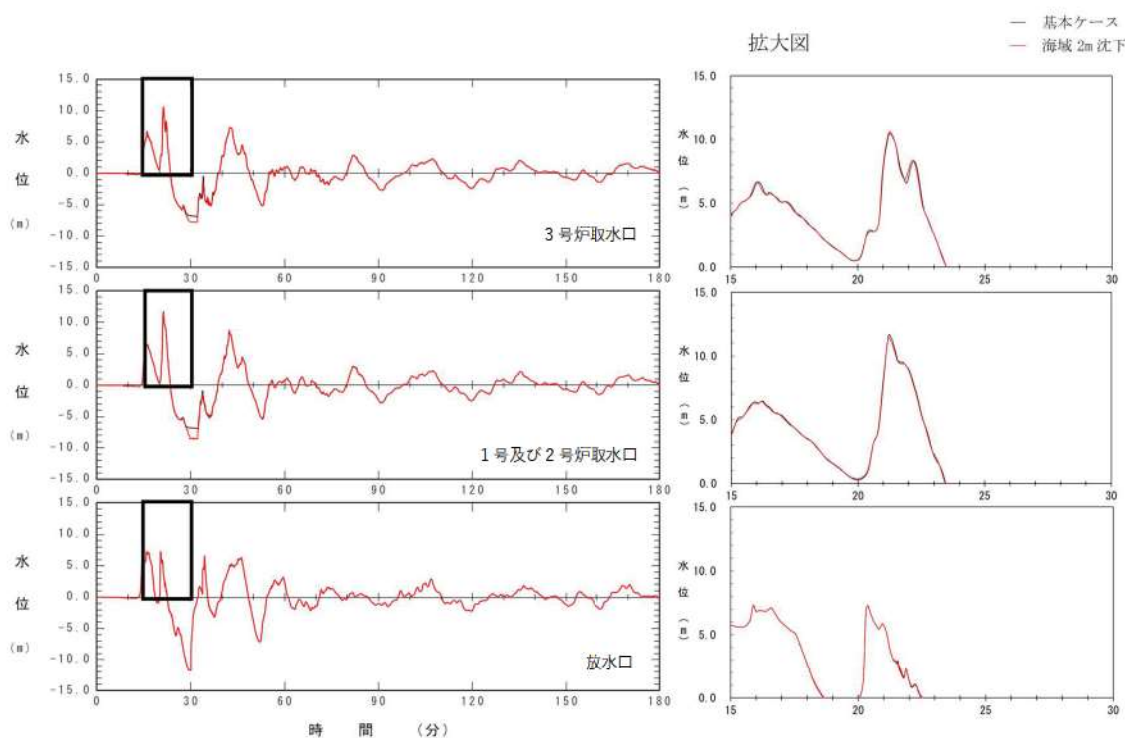


図 2.1.c.c-6 (26) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波G（南防波堤損傷））

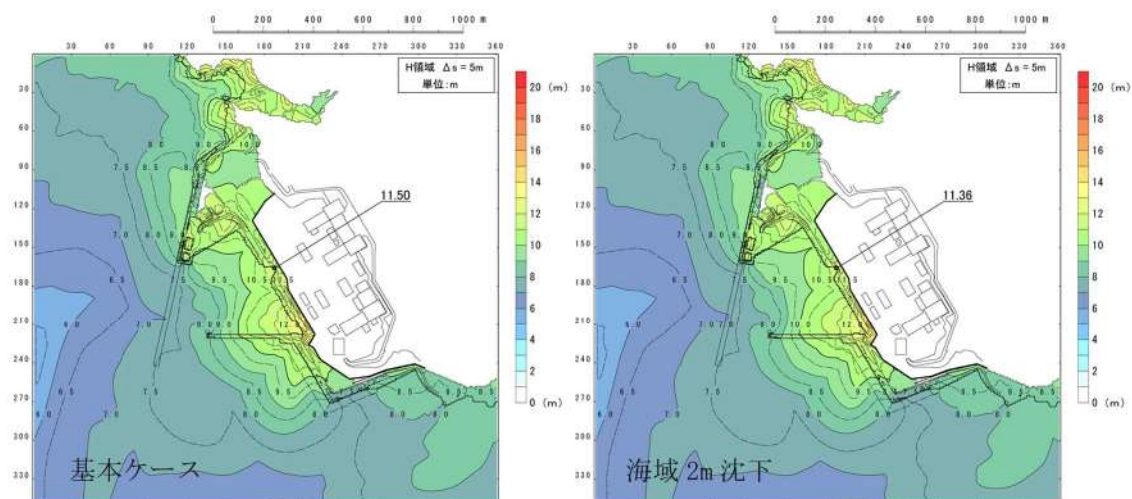


図 2.1.c.c-6 (27) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位上昇量分布の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

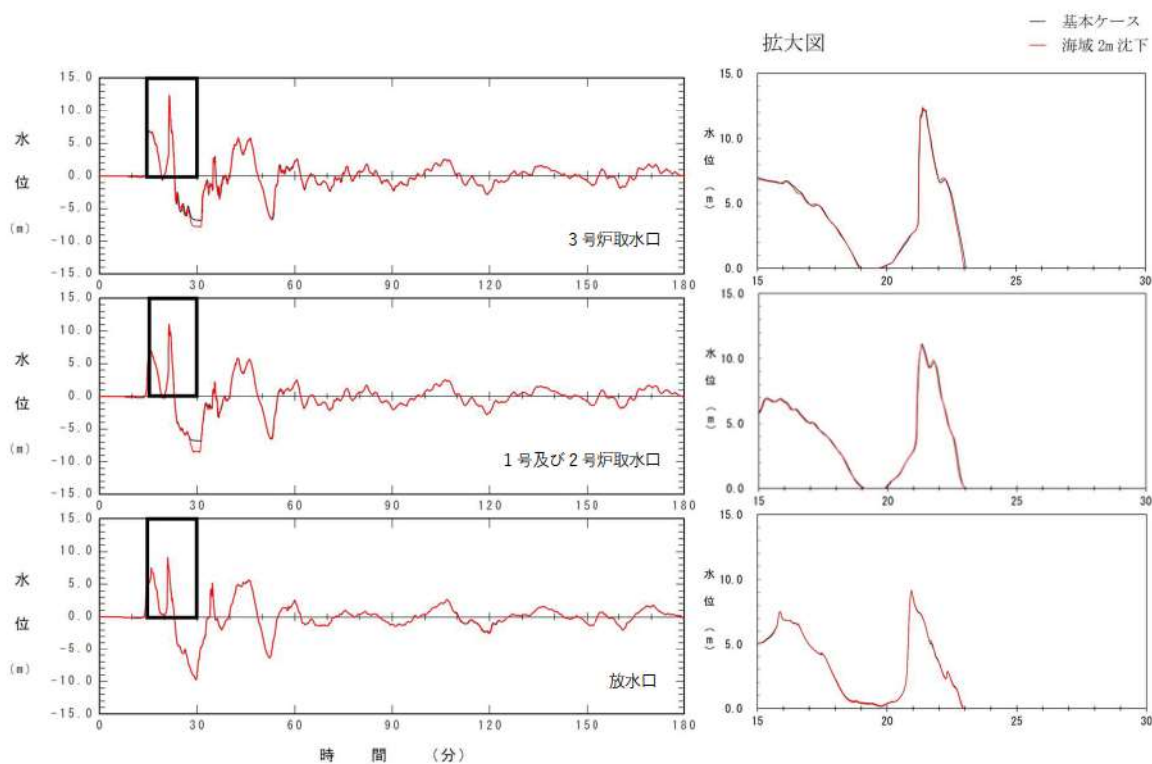


図 2.1.c.c-6 (28) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

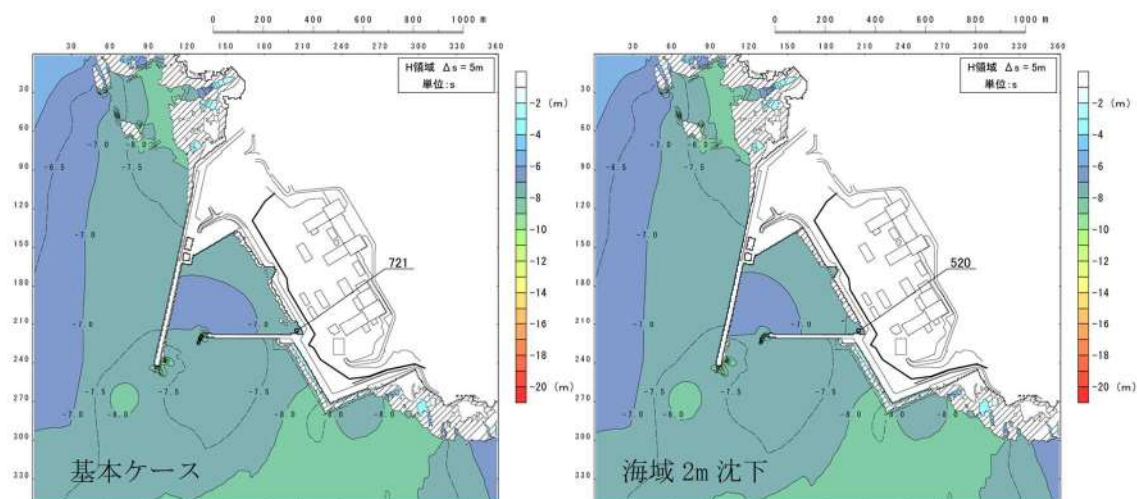


図 2.1. c. c-6 (29) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

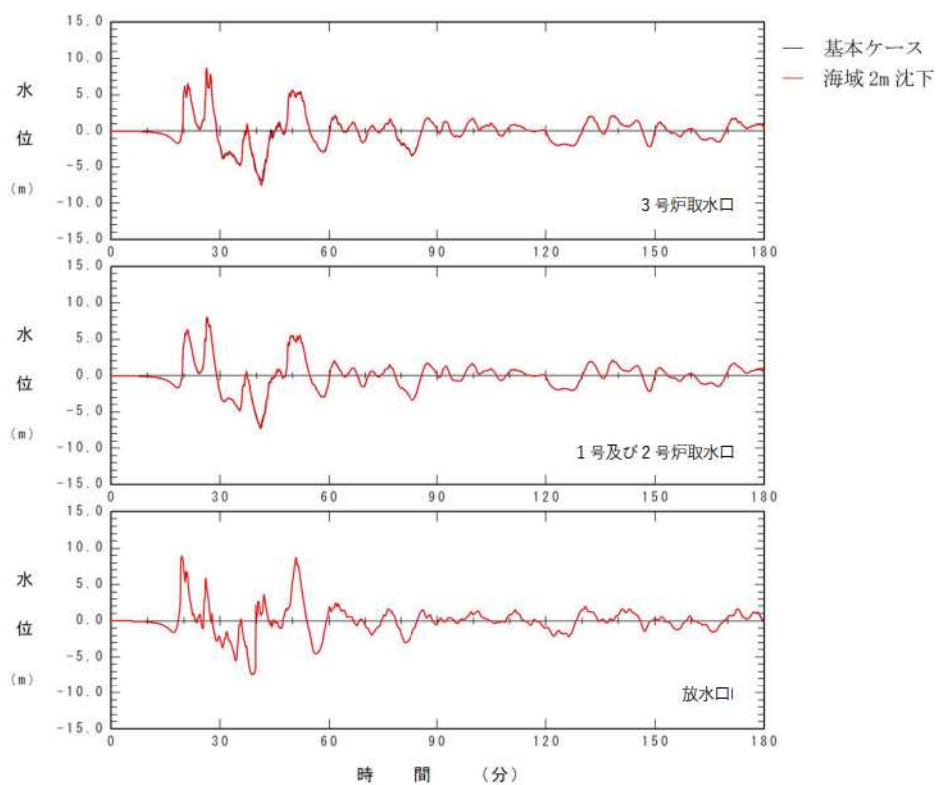


図 2.1. c. c-6 (30) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

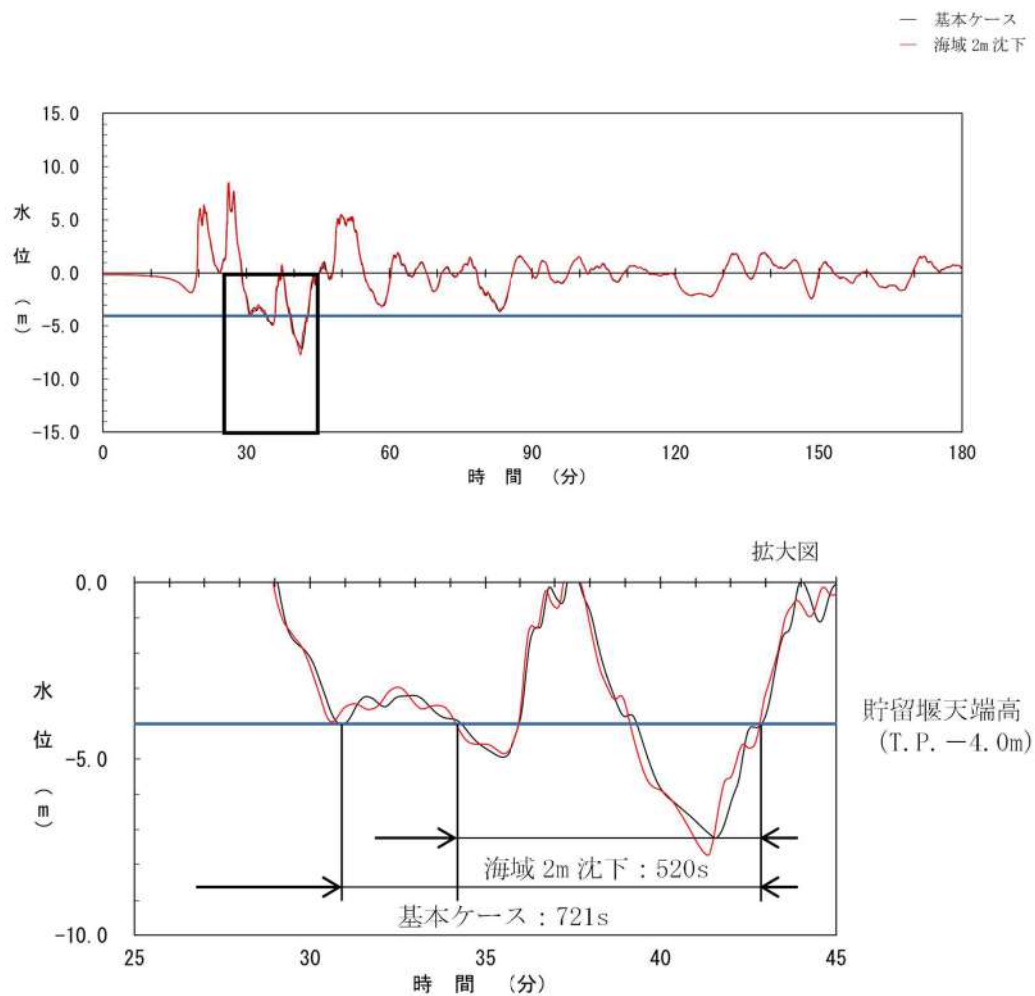


図 2. 1. c. c-6 (31) 敷地（海域）の地盤変状の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

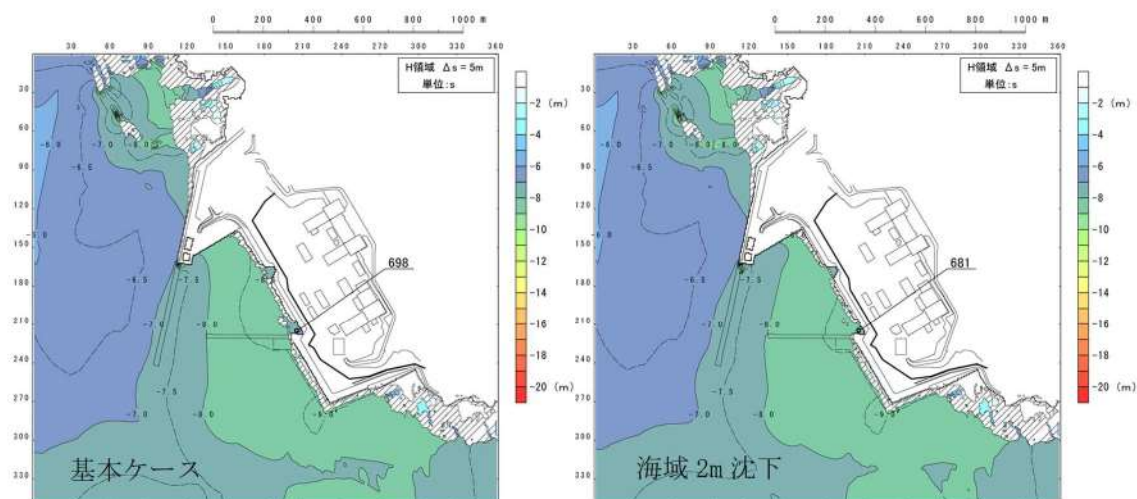


図 2.1. c. c-6 (32) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

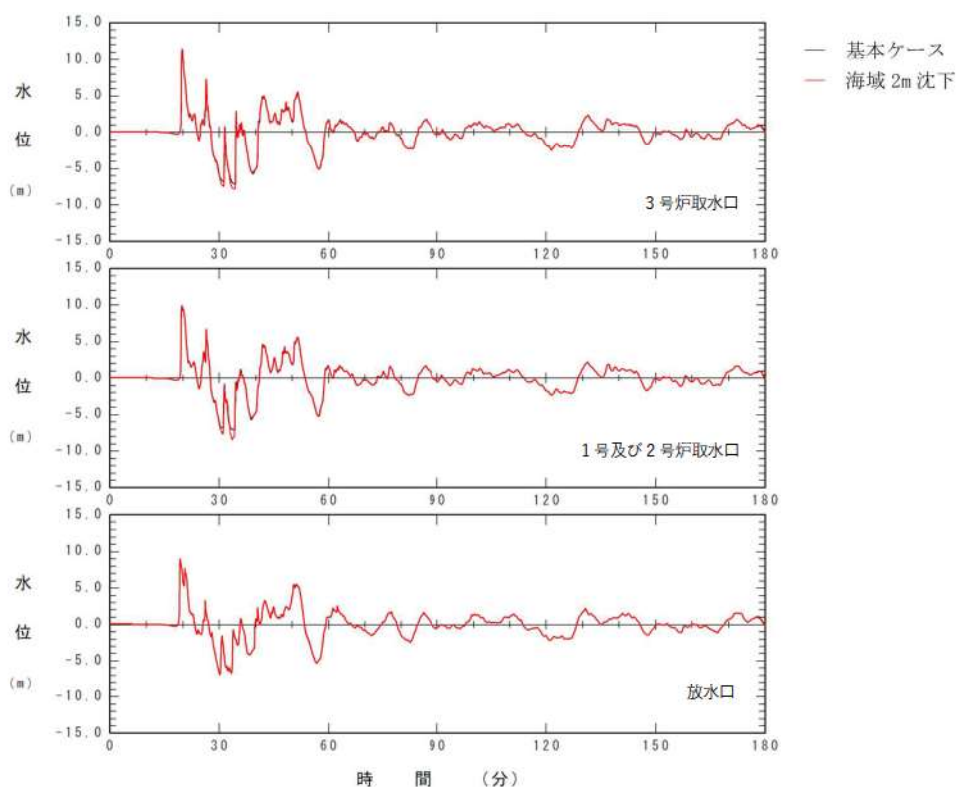


図 2.1. c. c-6 (33) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

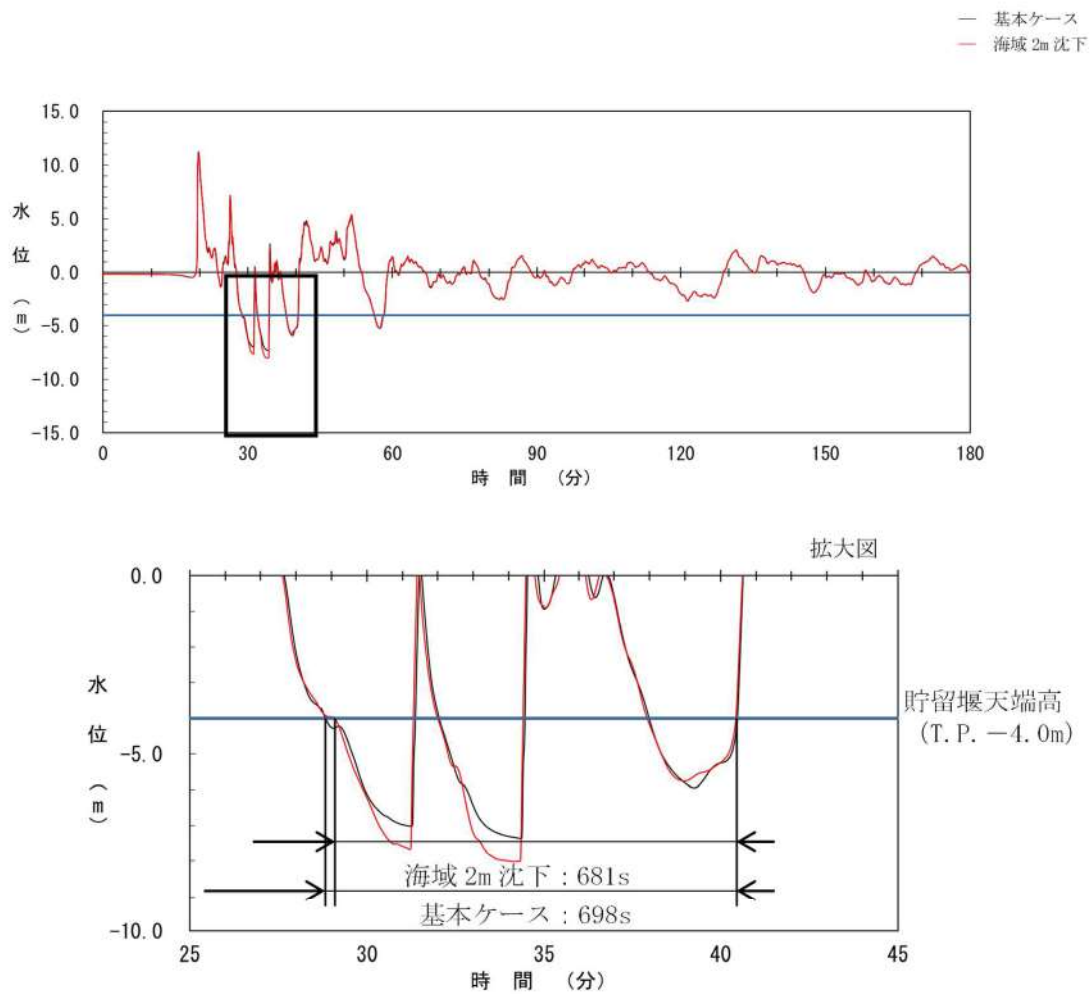


図 2. 1. c. c-6 (34) 敷地（海域）の地盤変状の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

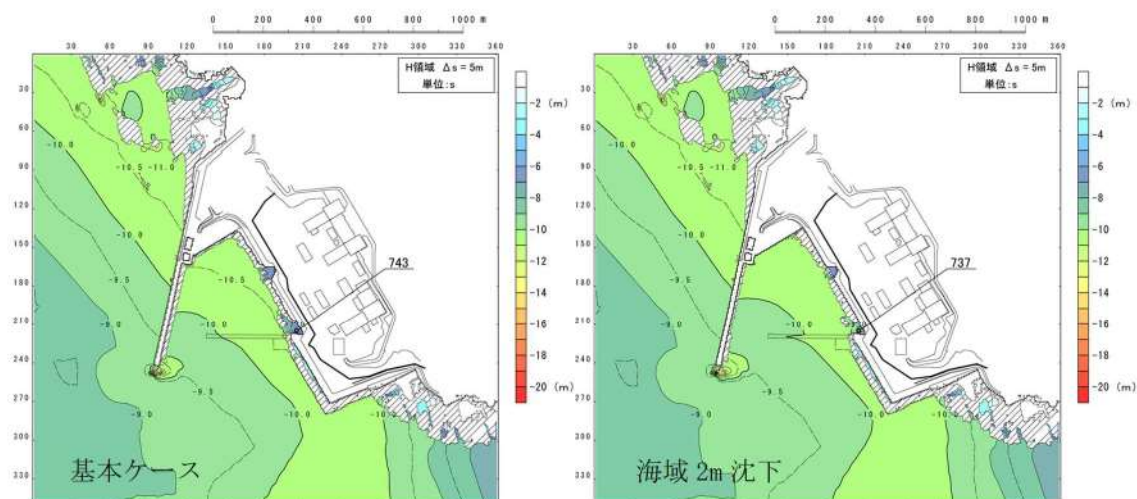


図 2.1. c. c-6 (35) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

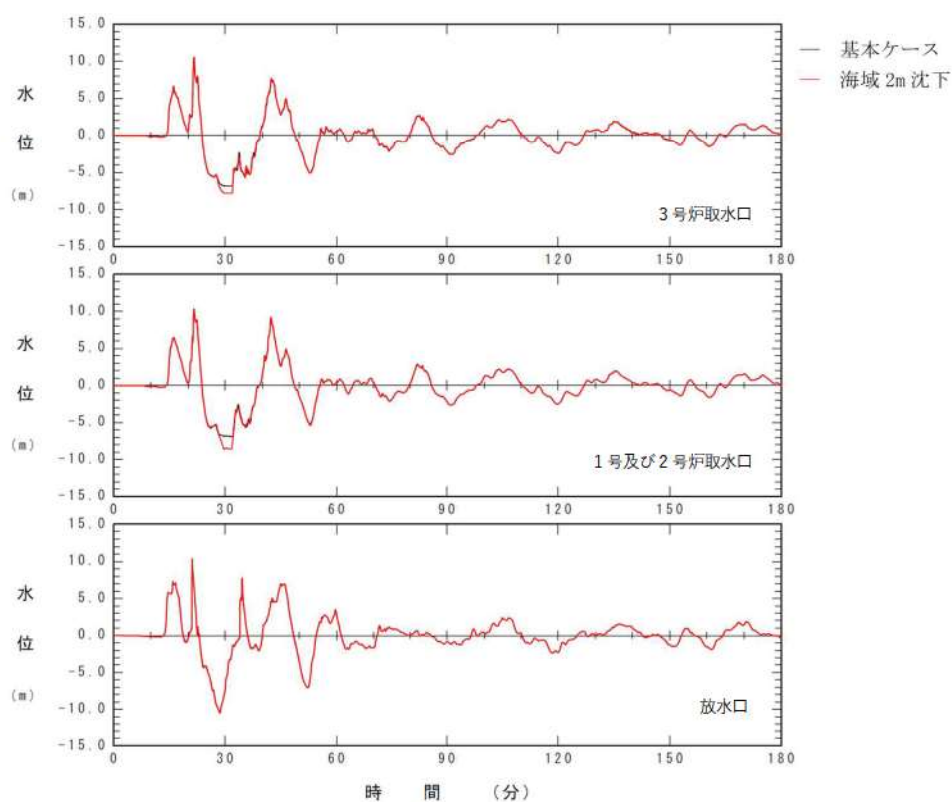


図 2.1. c. c-6 (36) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

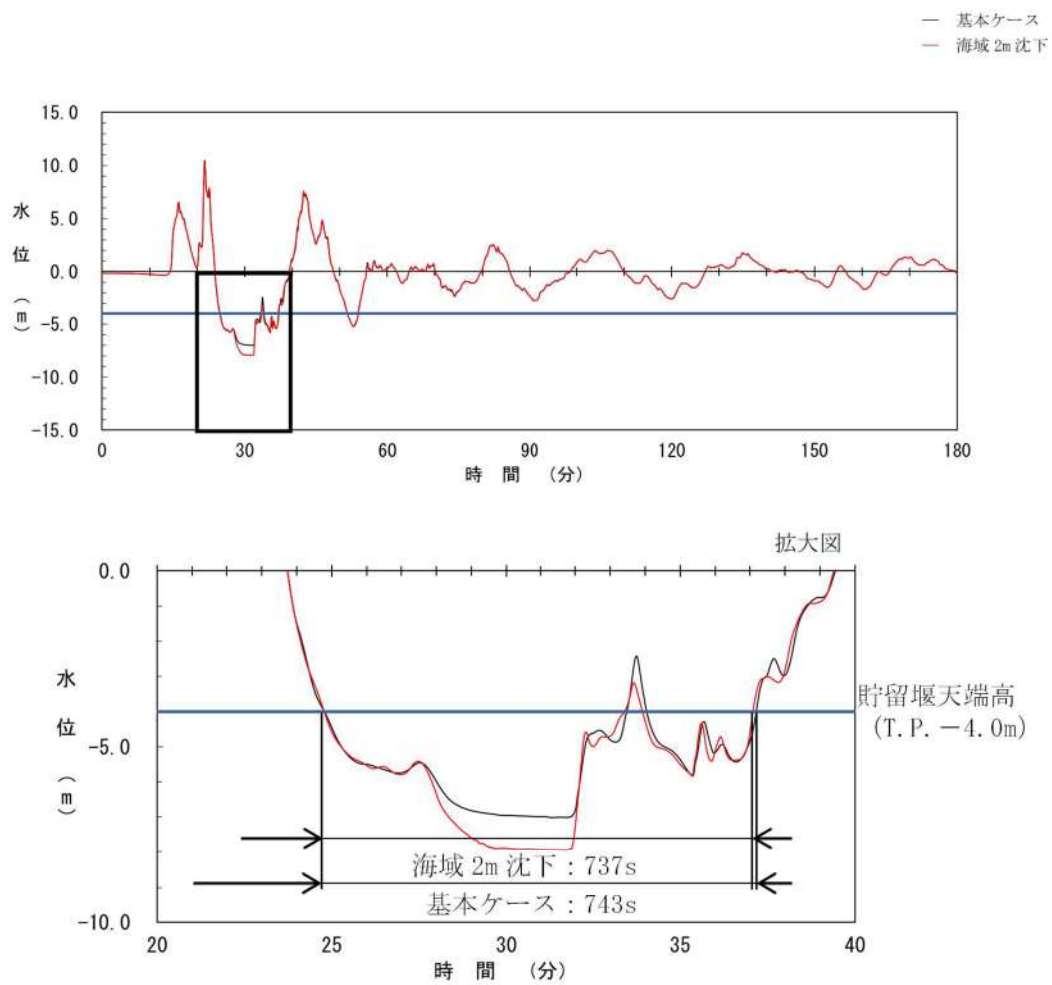


図 2. 1. c. c-6 (37) 敷地（海域）の地盤変状の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

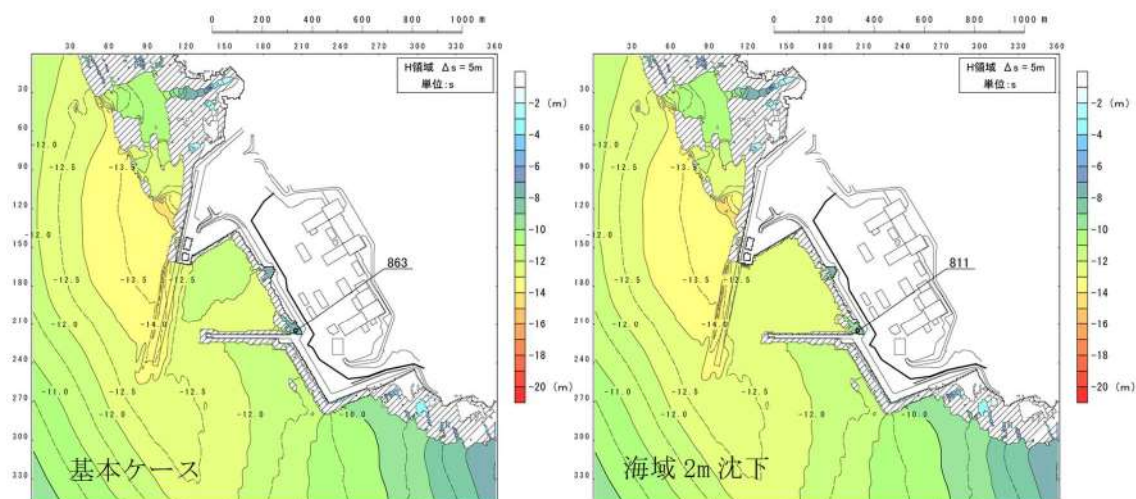


図 2.1.c.c-6 (38) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大水位下降量分布の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

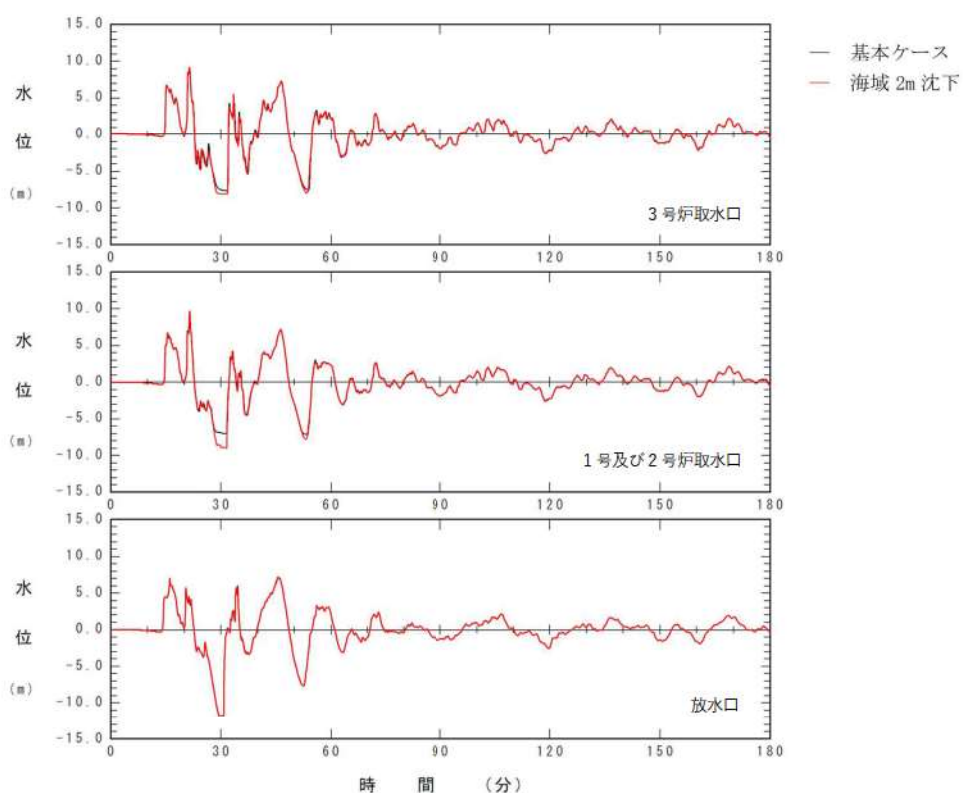


図 2.1.c.c-6 (39) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

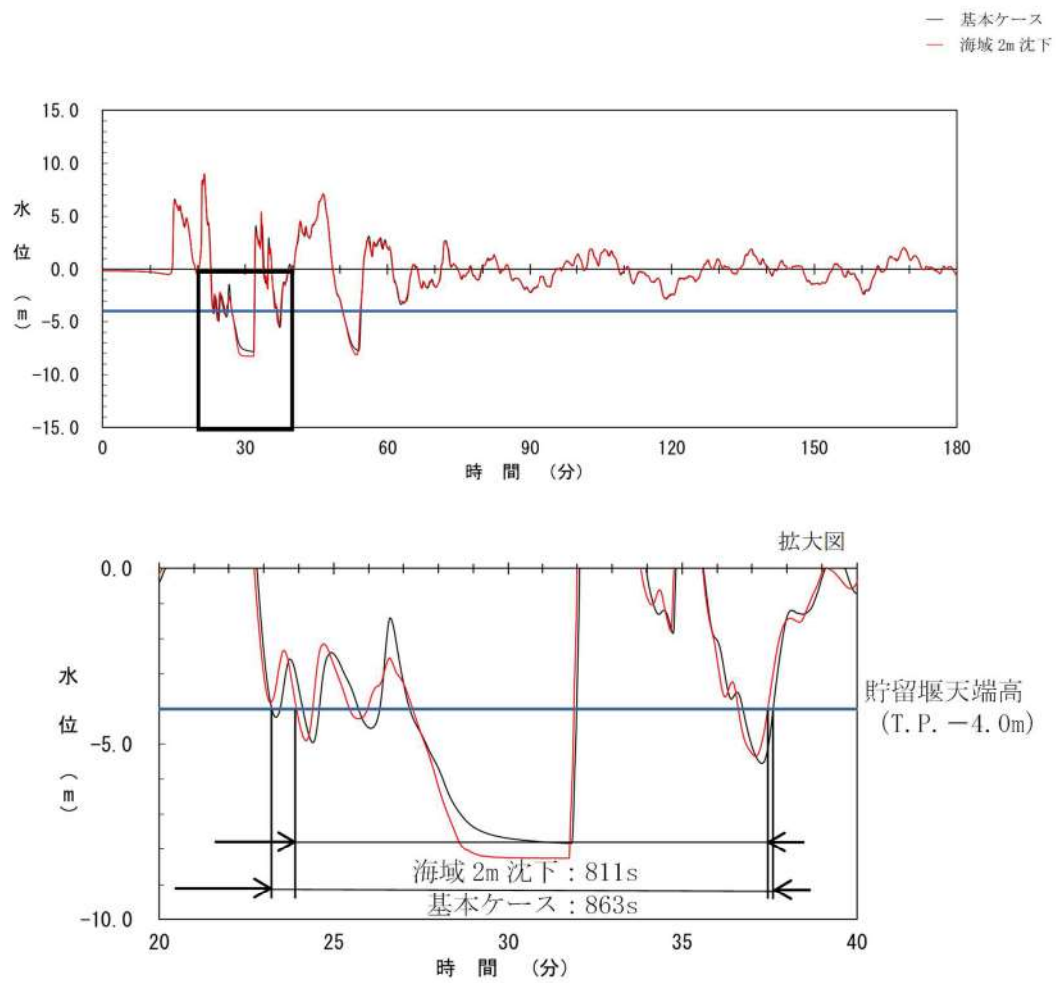


図 2. 1. c. c-6 (40) 敷地（海域）の地盤変状の有無による貯留堰を下回る時間の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

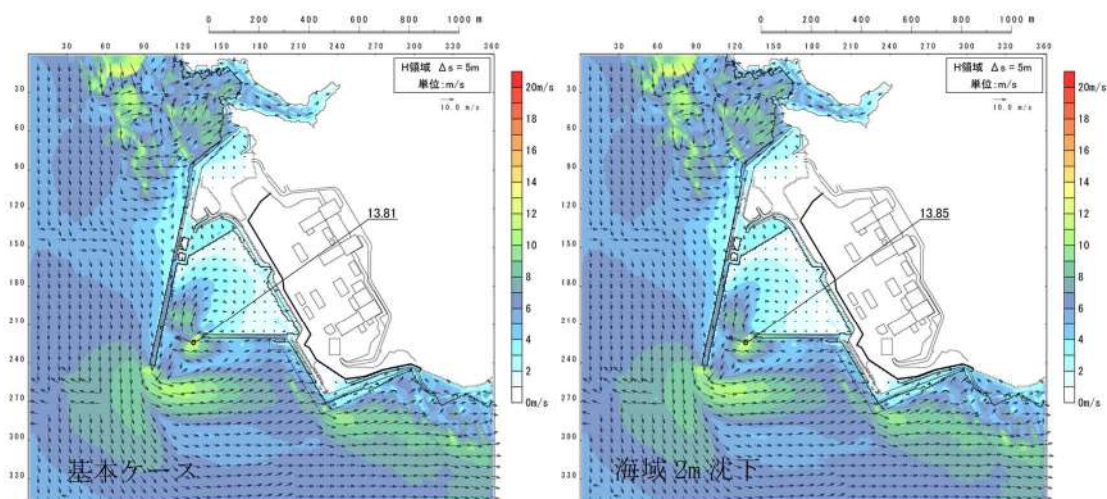


図 2.1. c. c-6 (41) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 A（防波堤損傷なし））

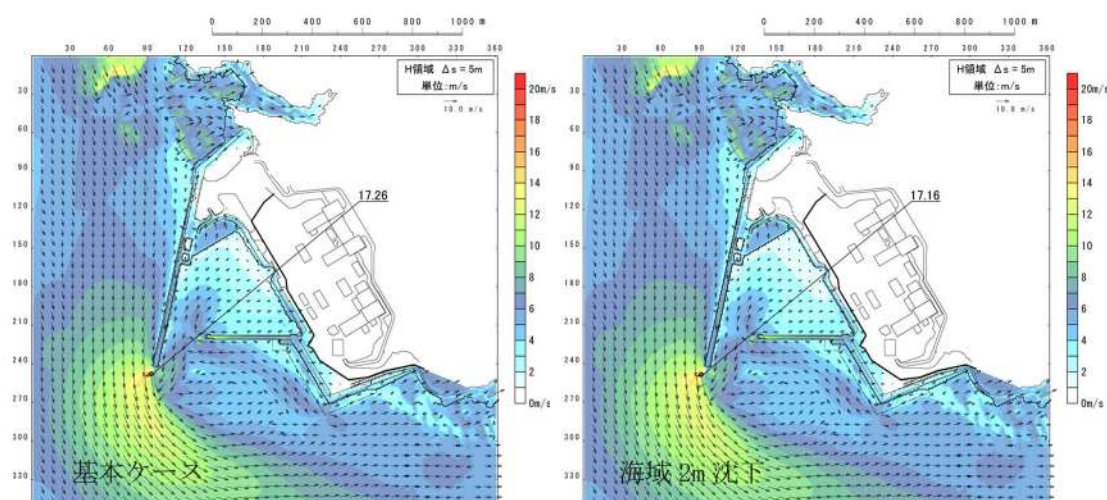


図 2.1. c. c-6 (42) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 B（防波堤損傷なし））

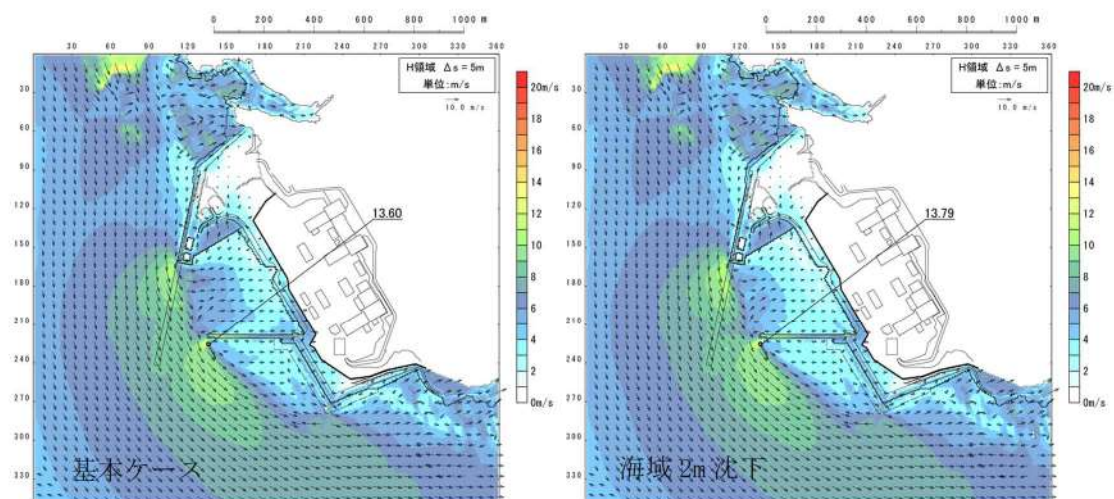


図 2. 1. c. c-6 (43) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 B（北防波堤損傷））

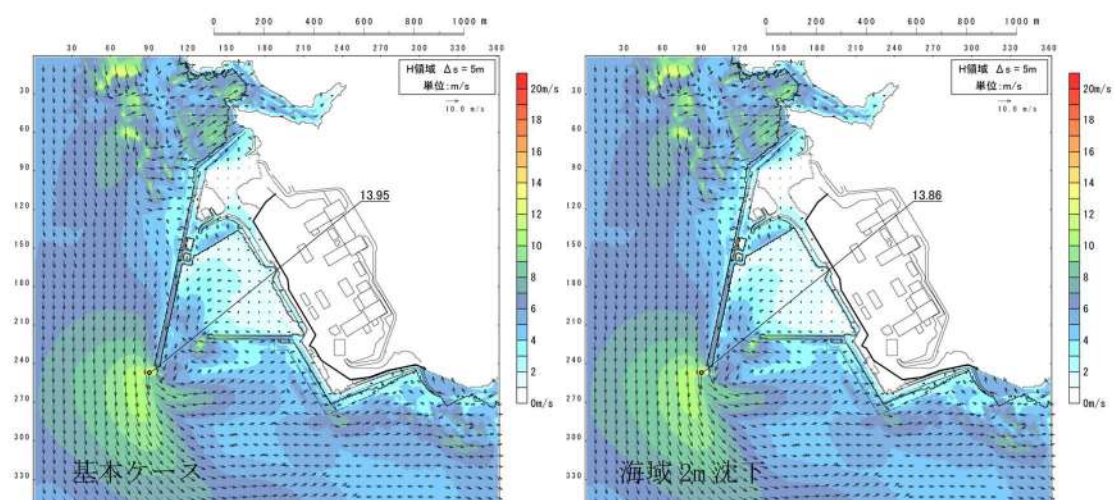


図 2. 1. c. c-6 (44) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 C（防波堤損傷なし））

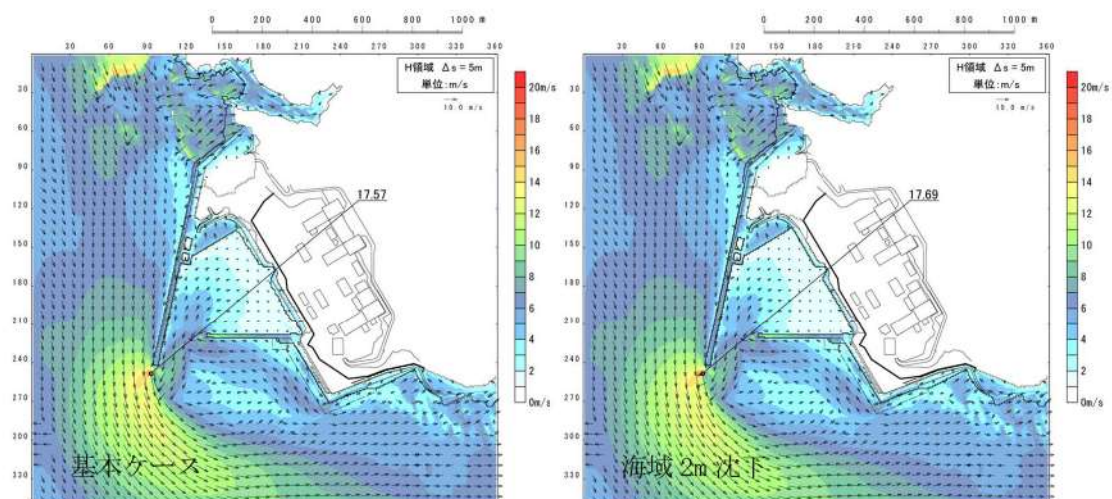


図 2. 1. c. c-6 (45) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D（防波堤損傷なし）)

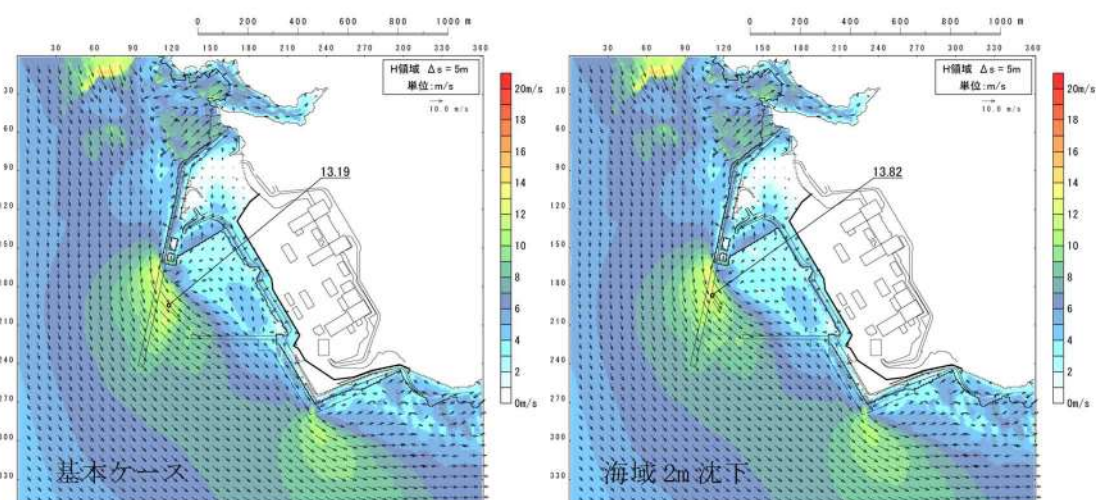


図 2. 1. c. c-6 (46) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
(基準津波D（北及び南防波堤損傷）)

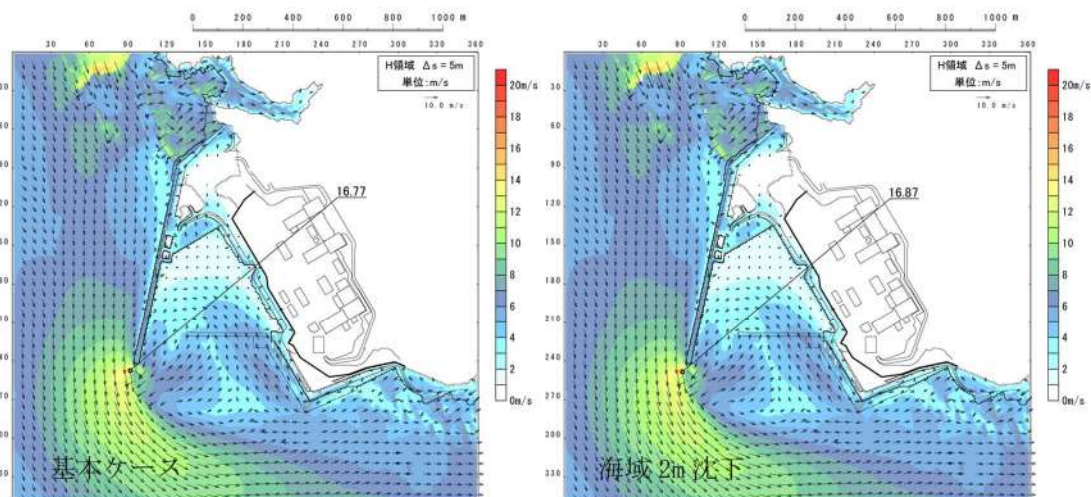


図 2. 1. c. c-6 (47) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波D（南防波堤損傷））

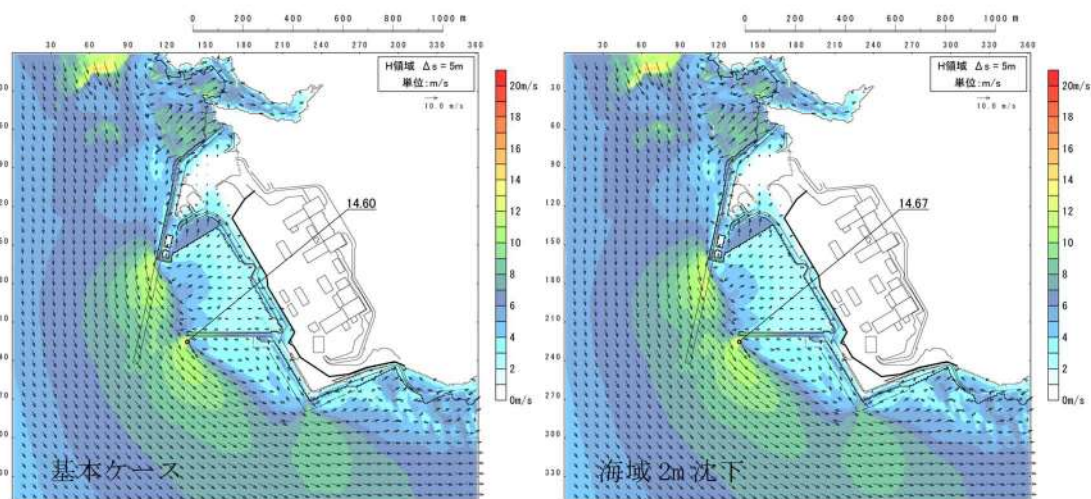


図 2. 1. c. c-6 (48) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波D（北防波堤損傷））

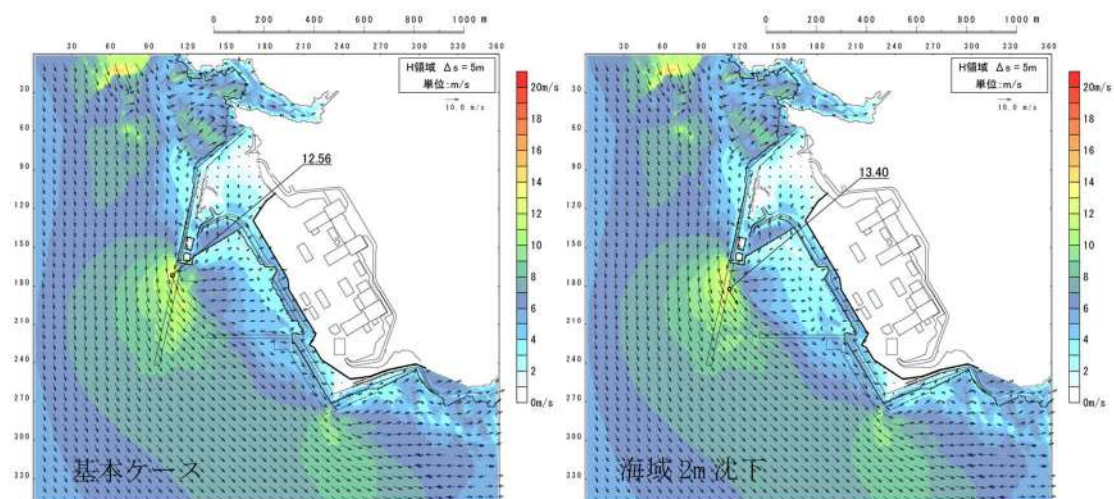


図 2. 1. c. c-6 (49) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

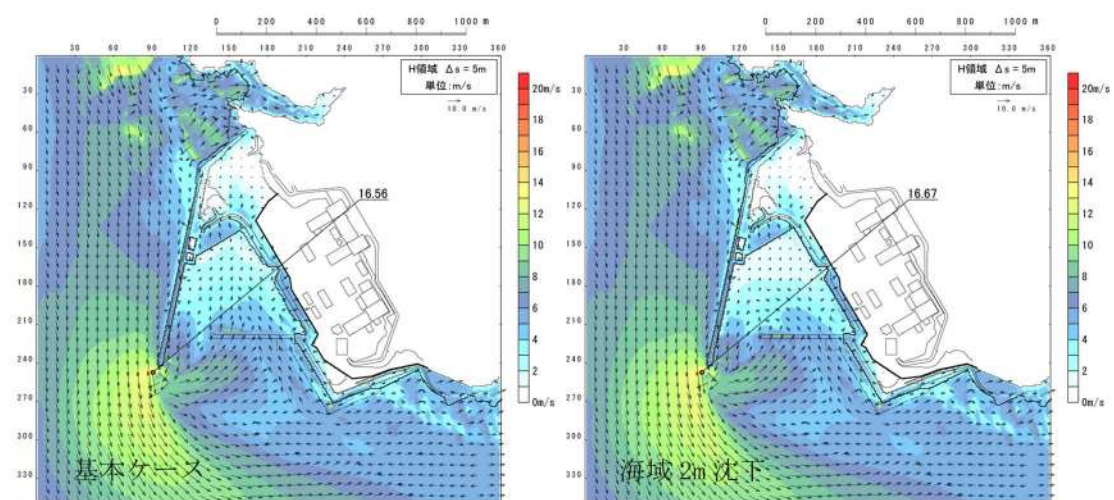


図 2. 1. c. c-6 (50) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 E（南防波堤損傷））

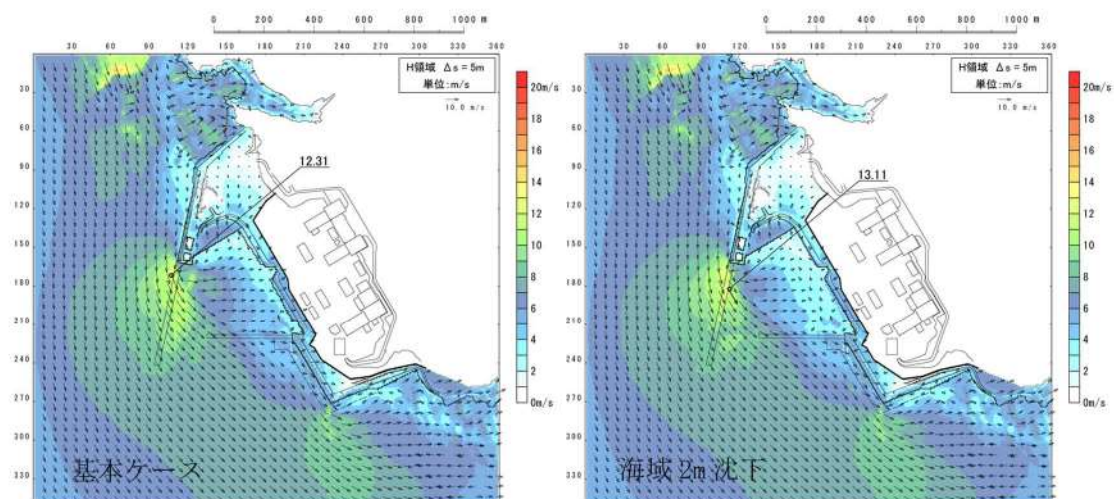


図 2. 1. c. c-6 (51) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

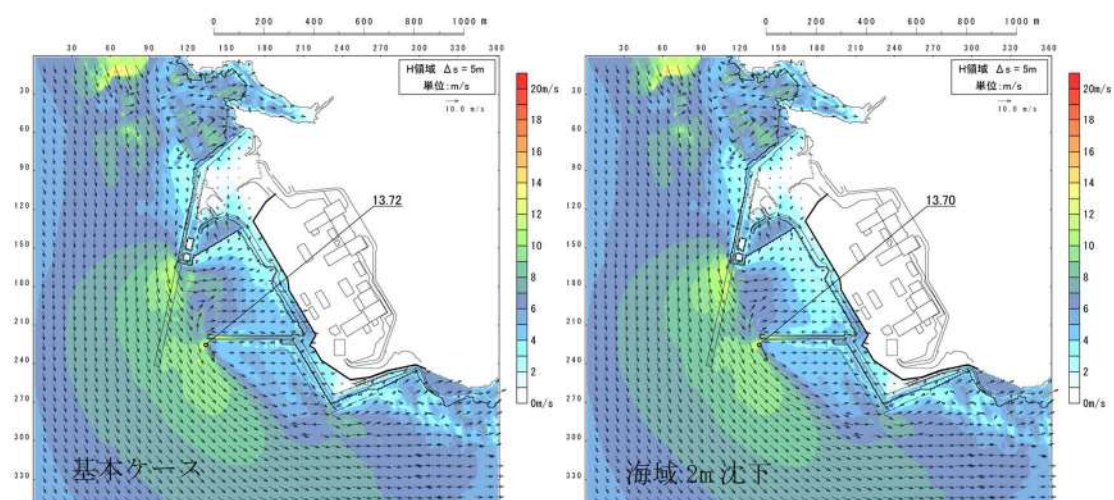


図 2. 1. c. c-6 (52) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 F（北防波堤損傷））

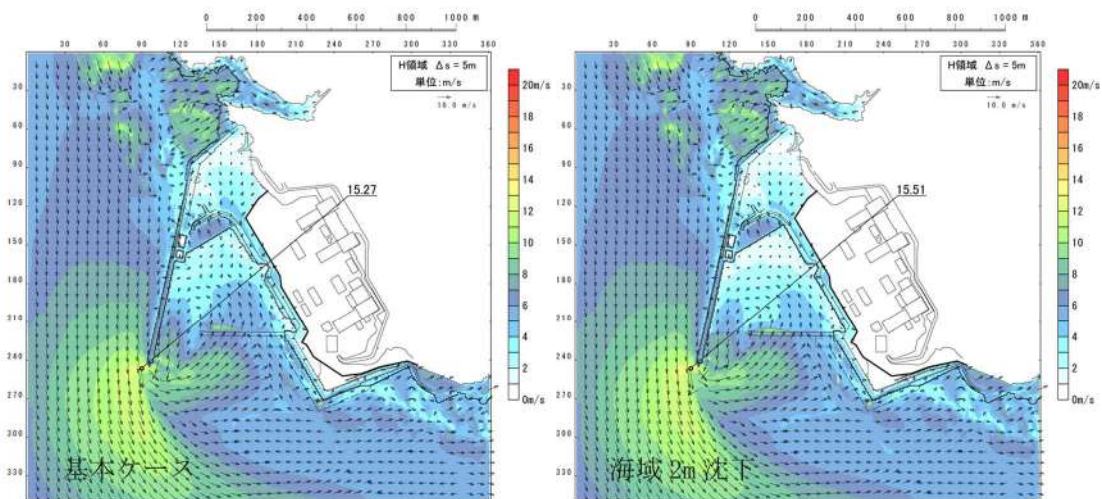


図 2. 1. c. c-6 (53) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 G（南防波堤損傷））

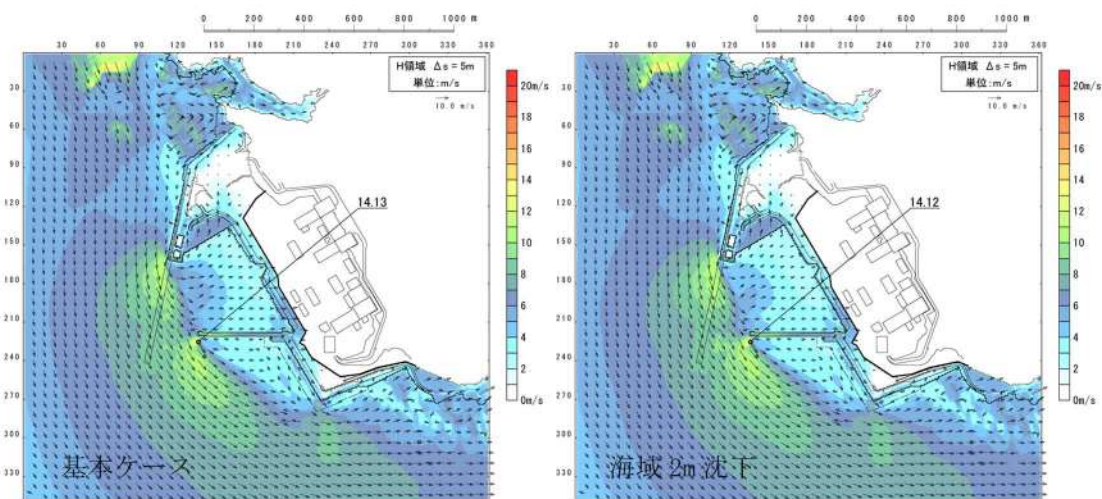


図 2. 1. c. c-6 (54) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 H（北防波堤損傷））

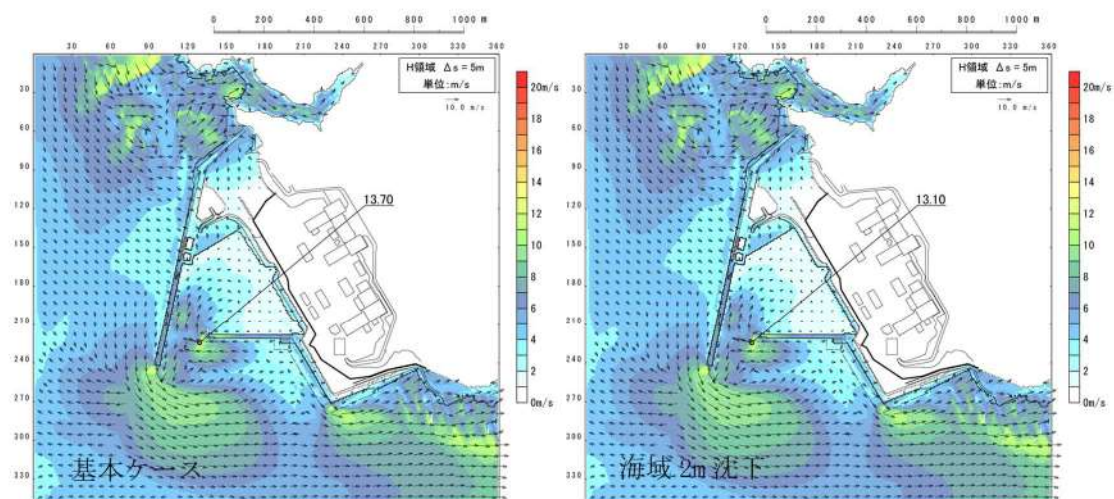


図 2. 1. c. c-6 (55) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 I（防波堤損傷なし））

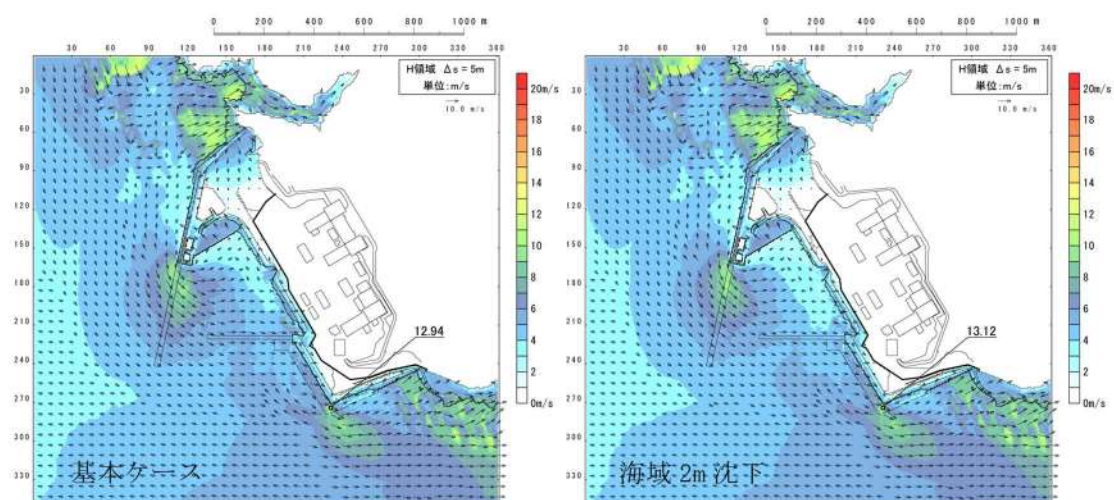


図 2. 1. c. c-6 (56) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

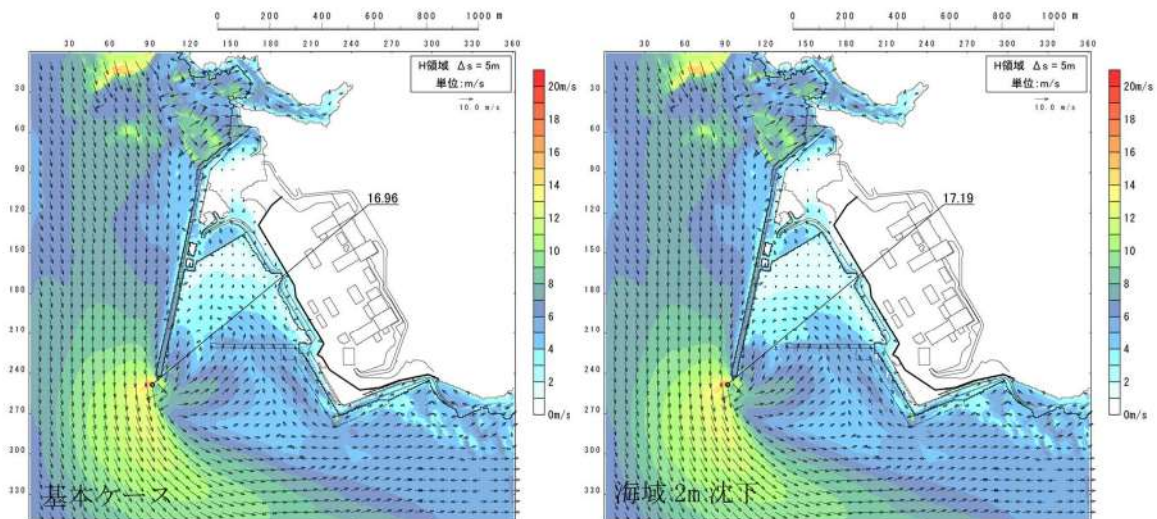


図 2. 1. c. c-6 (57) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波K（南防波堤損傷））

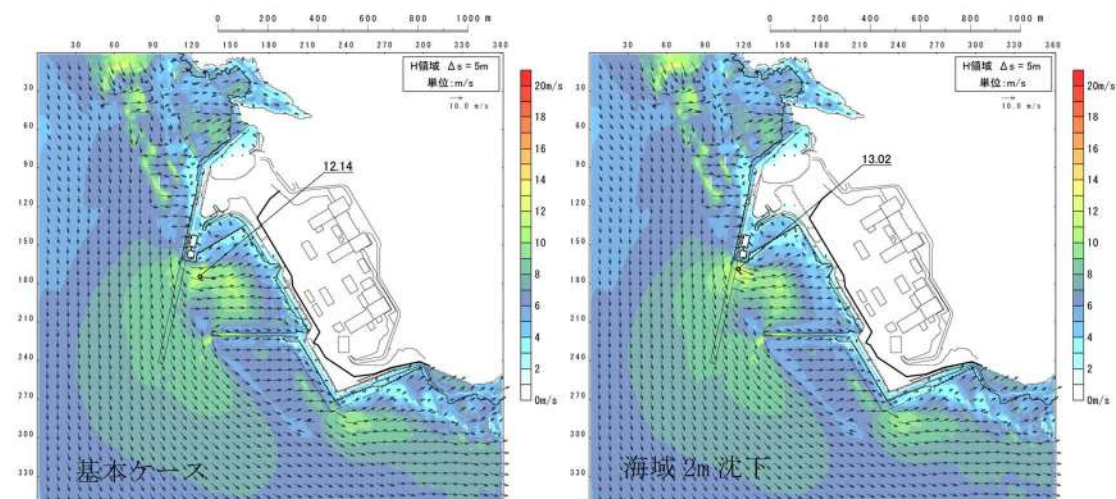


図 2. 1. c. c-6 (58) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
（基準津波L（北防波堤損傷））

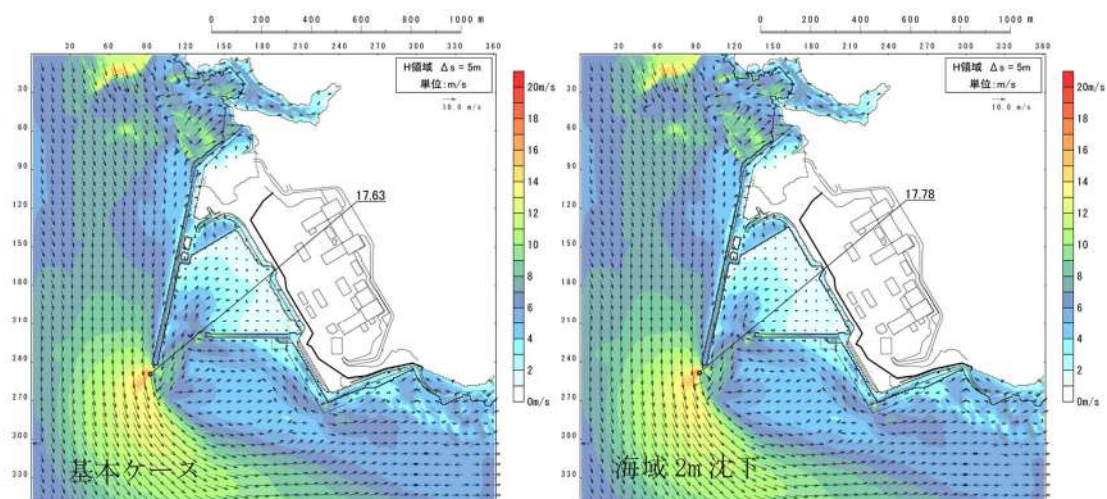


図 2. 1. c. c-6 (59) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
(流速最大ケース 1)

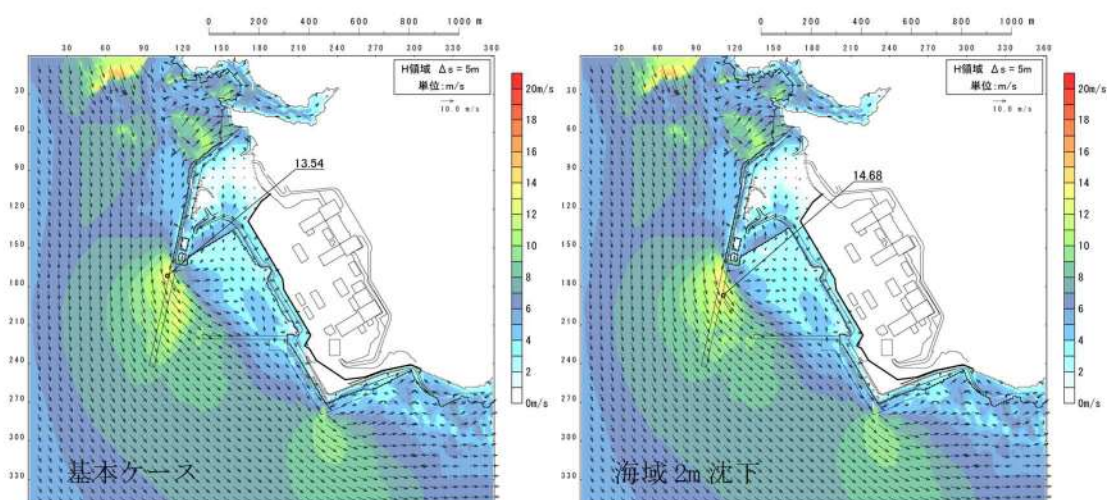


図 2. 1. c. c-6 (60) 敷地（海域）の地盤変状の有無による最大流速分布の比較
(流速最大ケース 2)

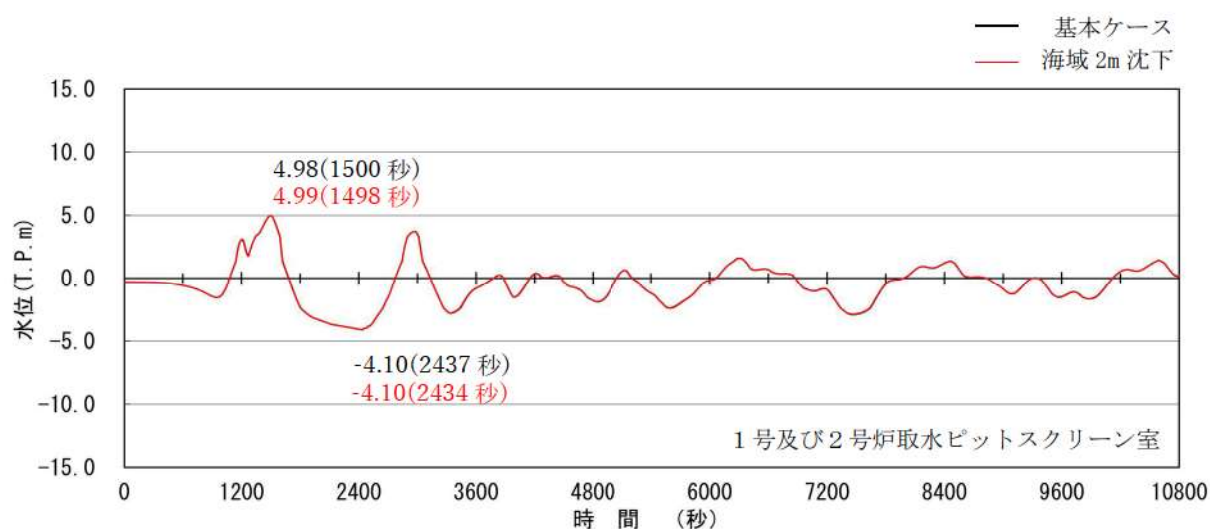


図 2.1. c. c-6 (61) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 A（防波堤損傷なし，貝付着無し，スクリーン健全））

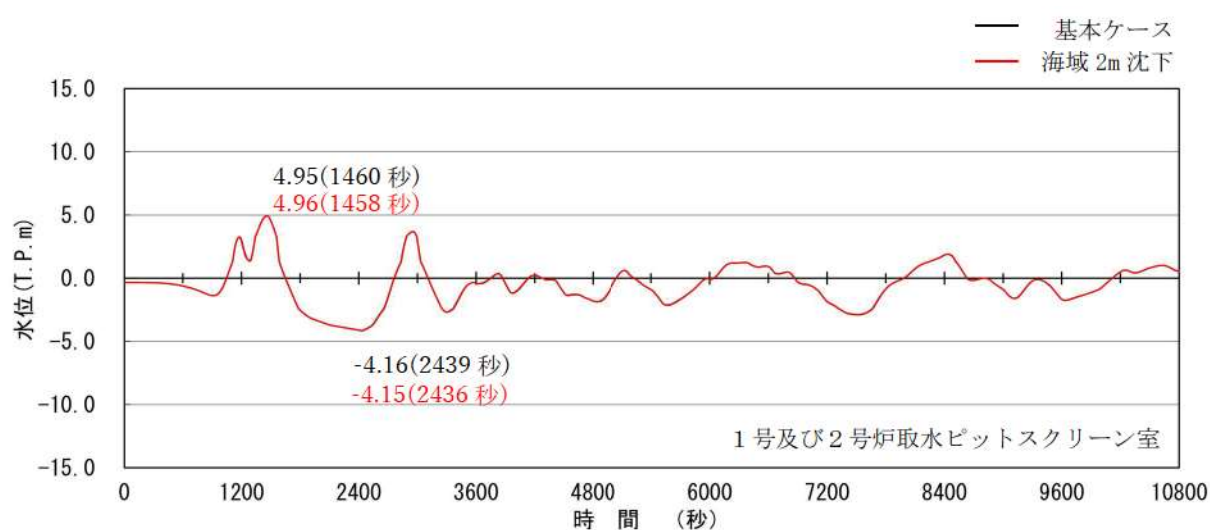


図 2.1. c. c-6 (62) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 C（防波堤損傷なし，貝付着無し，スクリーン健全））

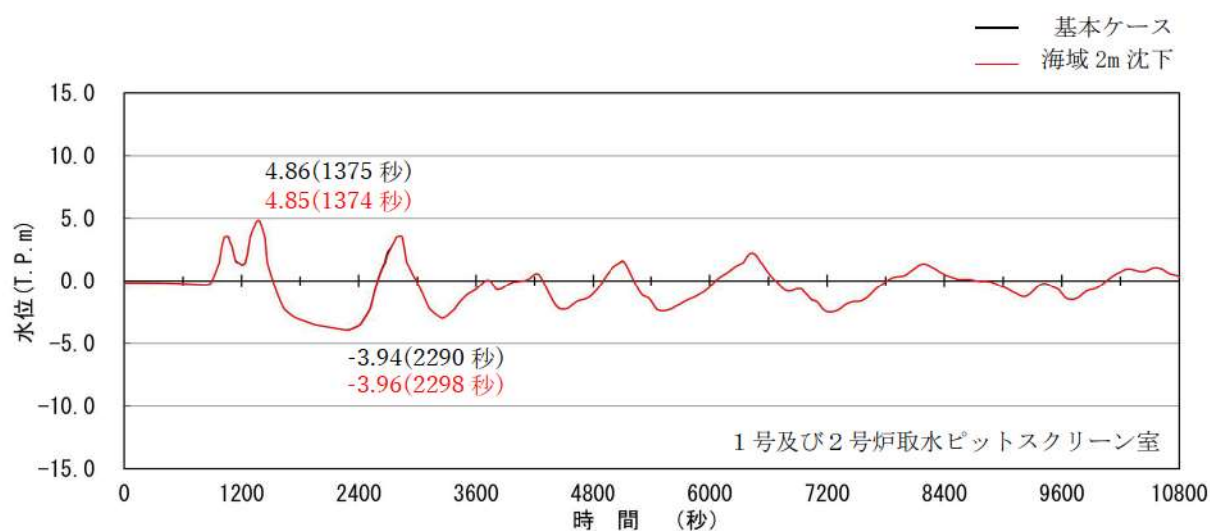


図 2.1. c. c-6 (63) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 D（南防波堤損傷，貝付着無し，スクリーン健全））

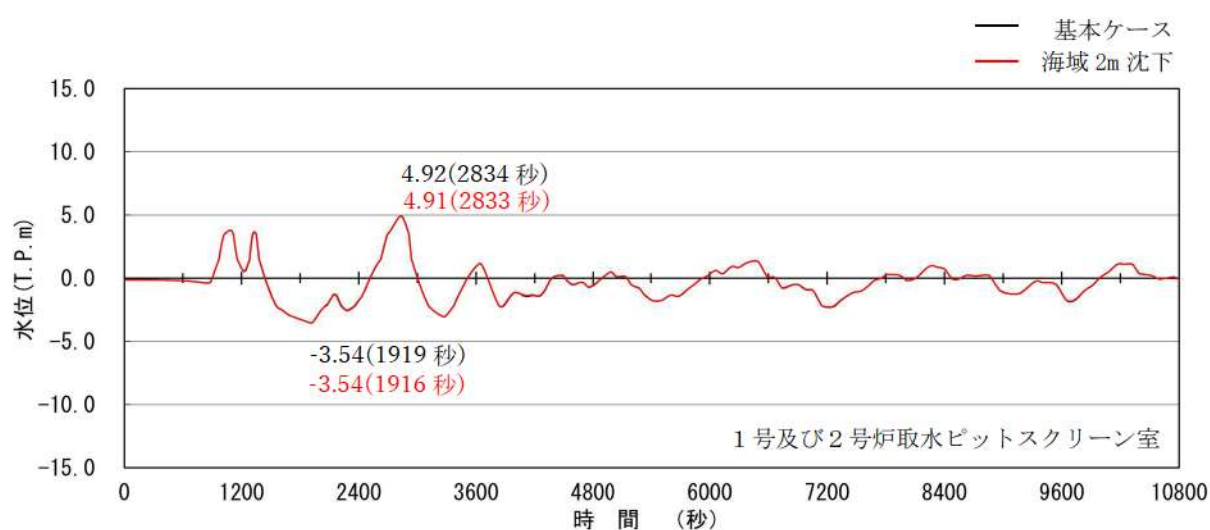


図 2.1. c. c-6 (64) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 L（北防波堤損傷，貝付着無し，スクリーン健全））

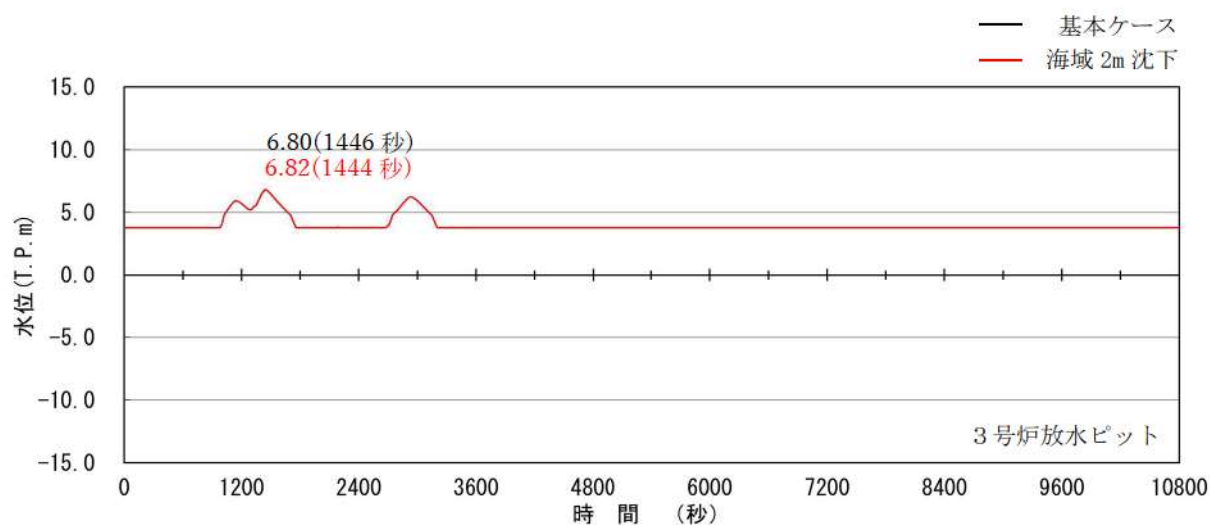


図 2.1. c. c-6 (65) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 C（防波堤損傷なし，貝付着無し，管路損傷なし））

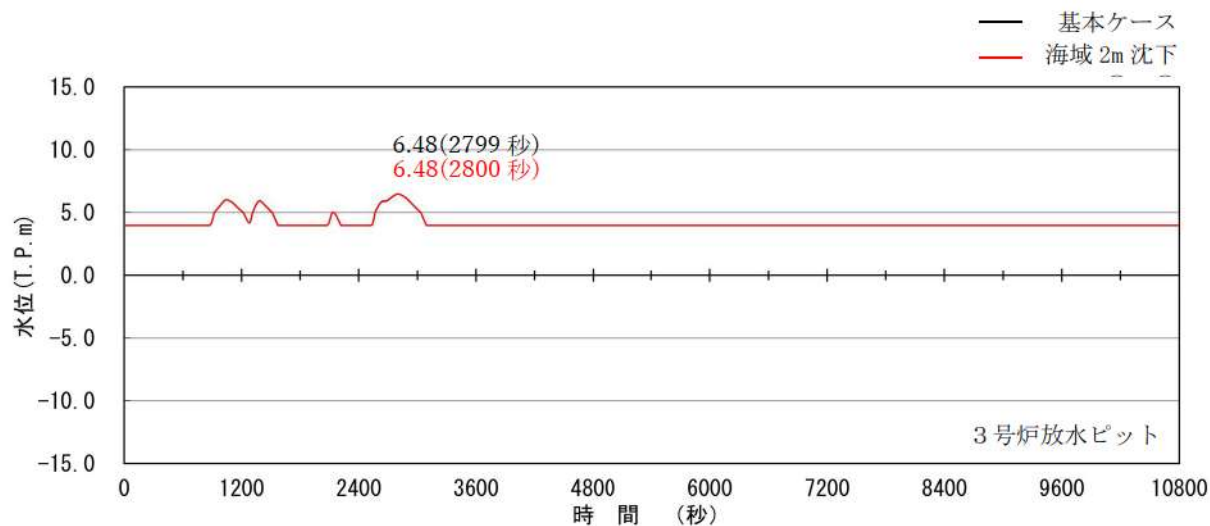


図 2.1. c. c-6 (66) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 D（防波堤損傷なし，貝付着無し，管路損傷なし））

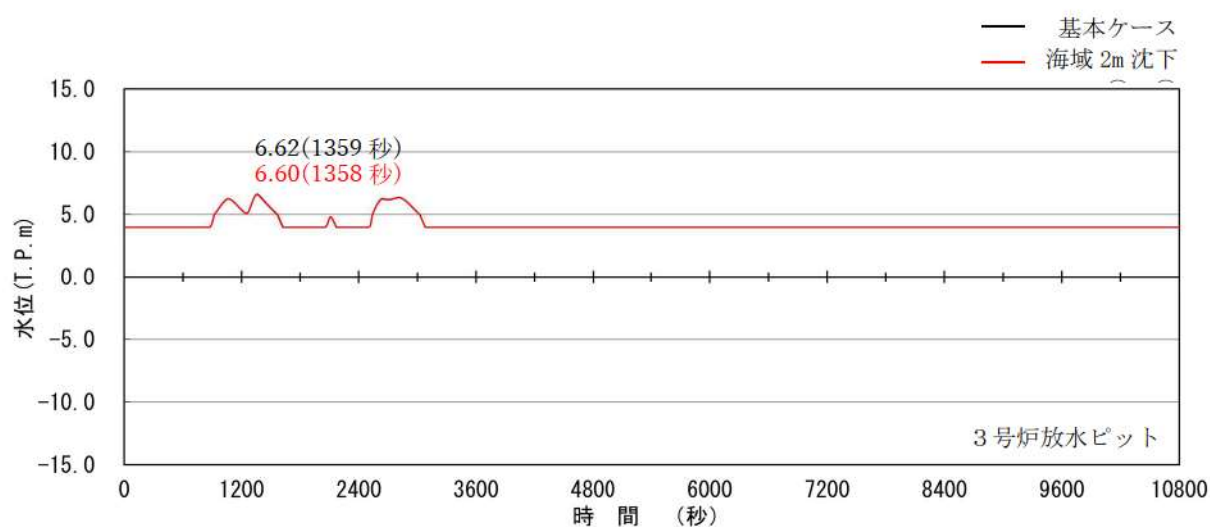


図 2.1. c. c-6 (67) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 G（南防波堤損傷，貝付着無し，管路損傷なし））

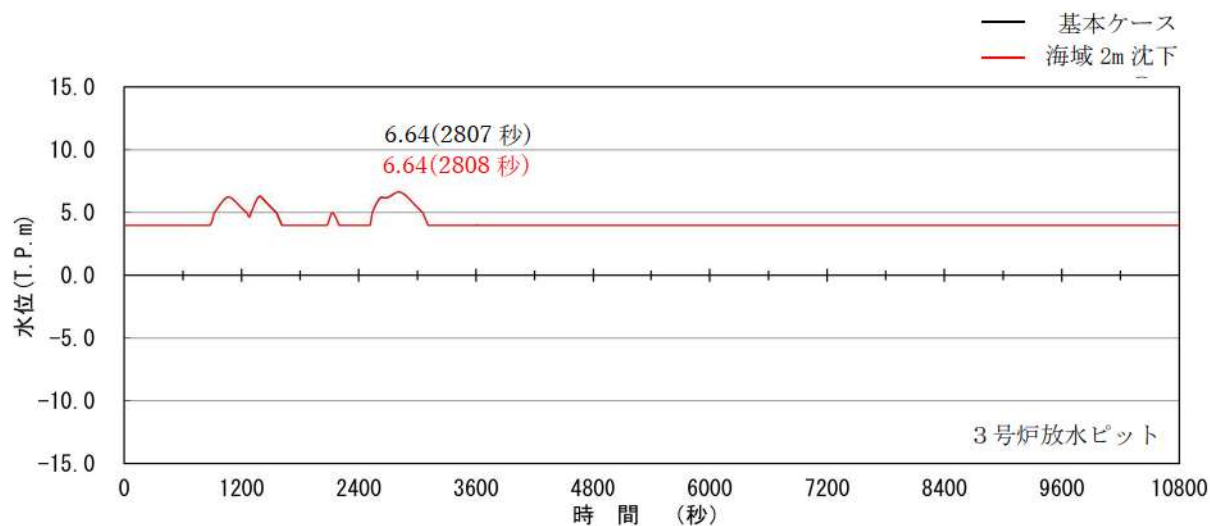


図 2.1. c. c-6 (68) 敷地（海域）の地盤変状の有無による水位時刻歴波形の比較
（基準津波 K（南防波堤損傷，貝付着無し，管路損傷なし））

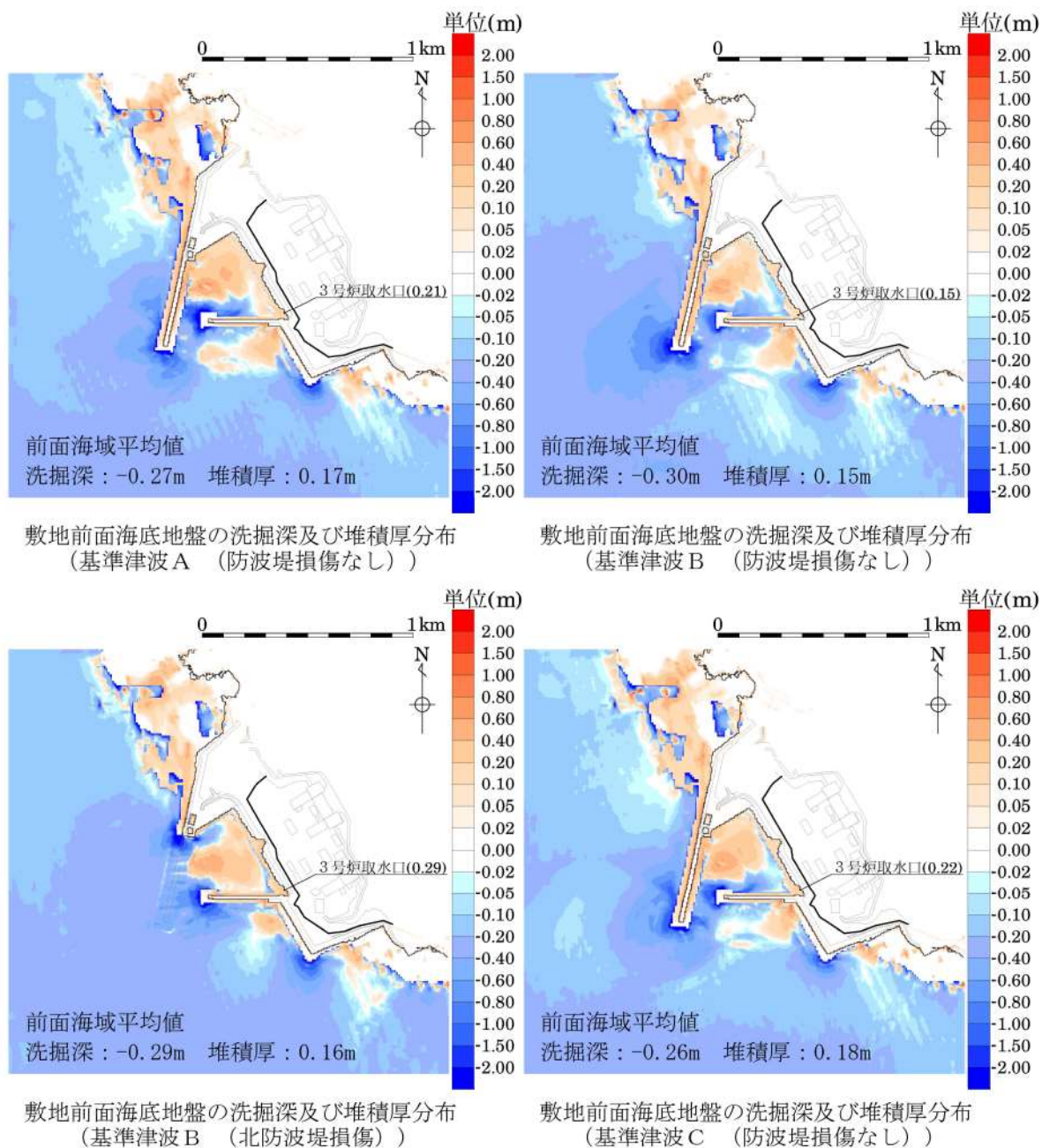
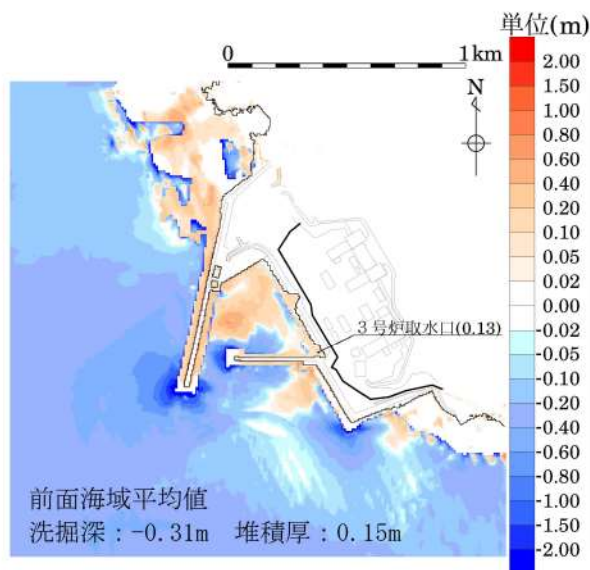
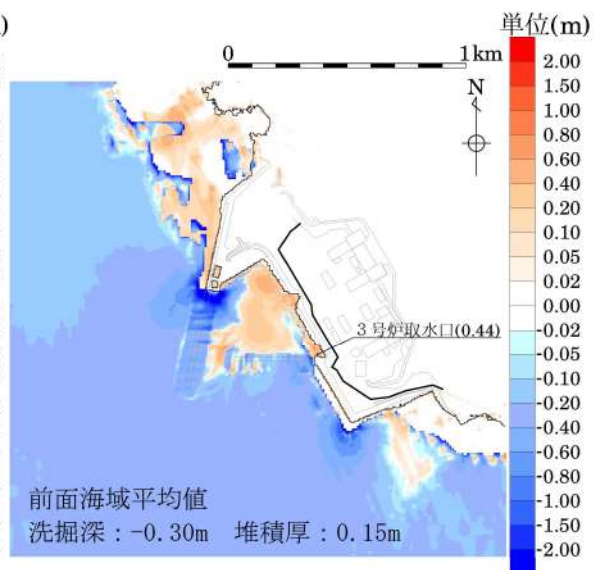


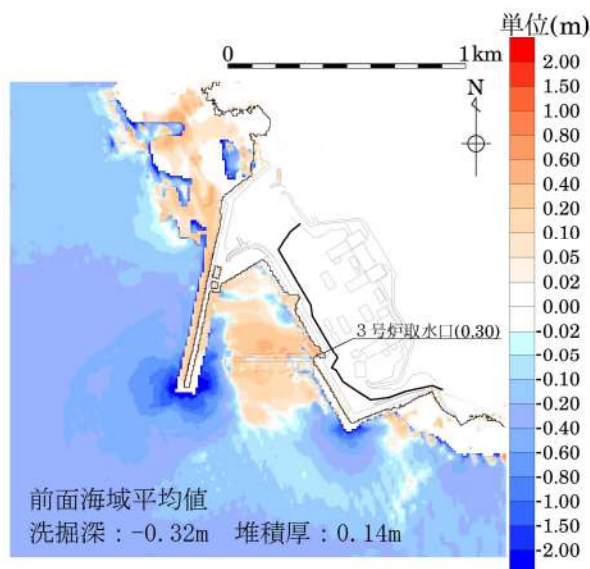
図 2. 1. c. d-3 (1) 敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波A～C)



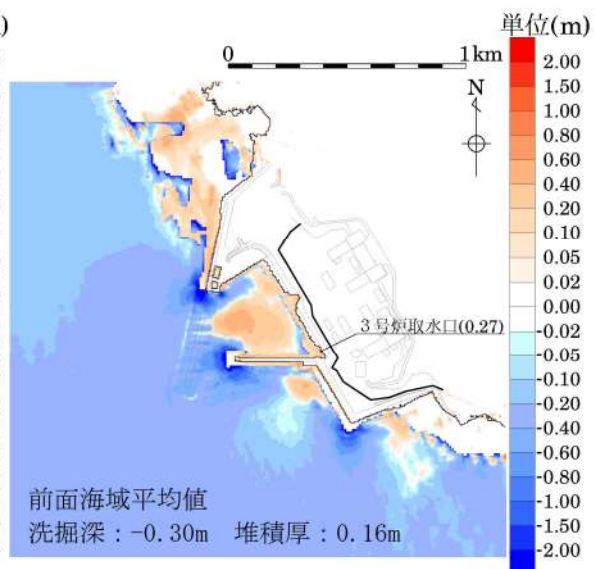
敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波D (防波堤損傷なし))



敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波D (北及び南防波堤損傷))



敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波D (南防波堤損傷))



敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波D (北防波堤損傷))

図 2. 1. c. d-3 (2) 敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波D)

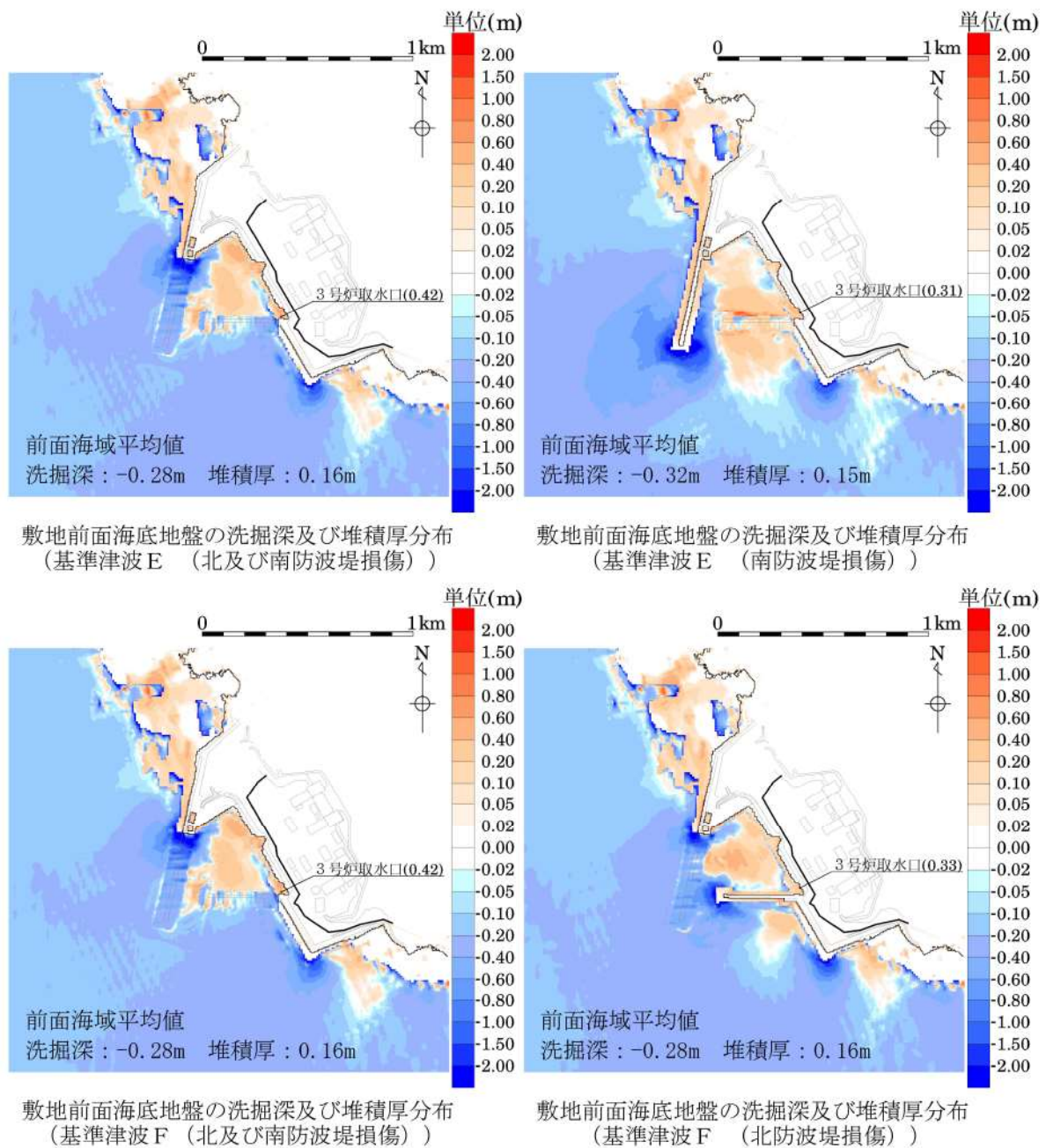


図 2. 1. c. d-3 (3) 敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波 E 及び F)

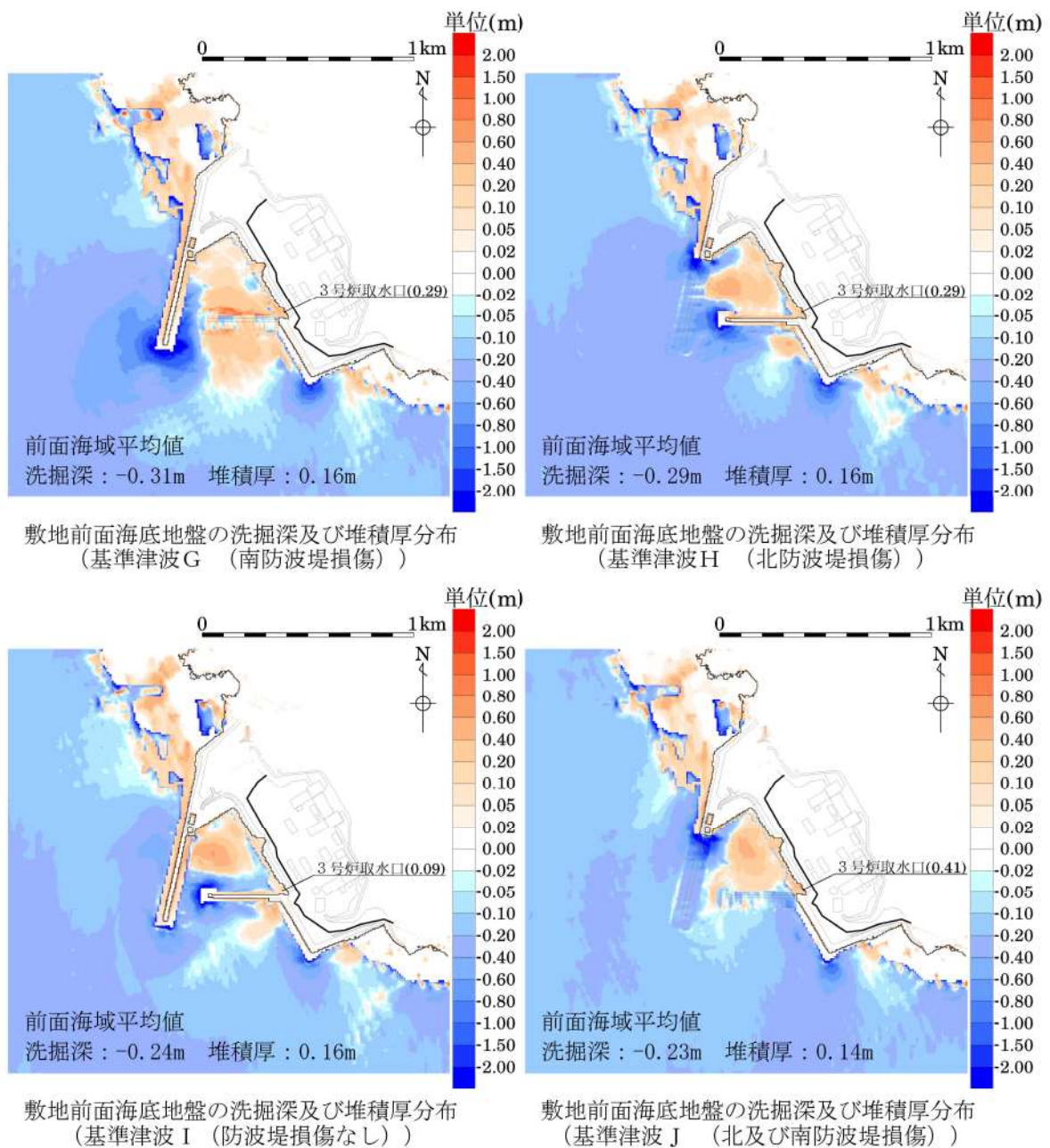


図 2.1. c. d-3 (4) 敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波G～J)

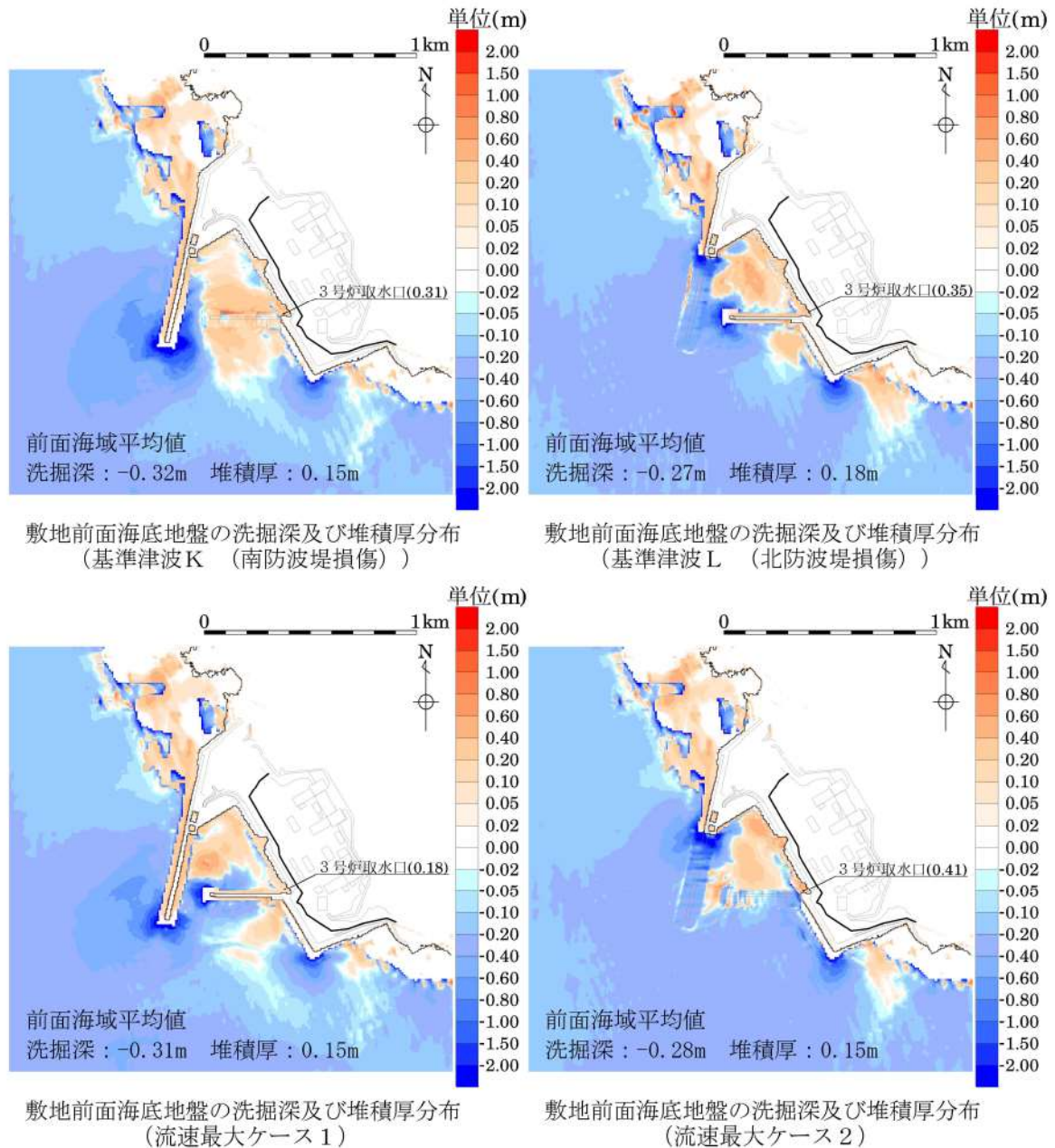


図 2.1. c. d-3 (5) 敷地前面海底地盤の洗掘深及び堆積厚分布
(基準津波K, L, 流速最大ケース1及び流速最大ケース2)

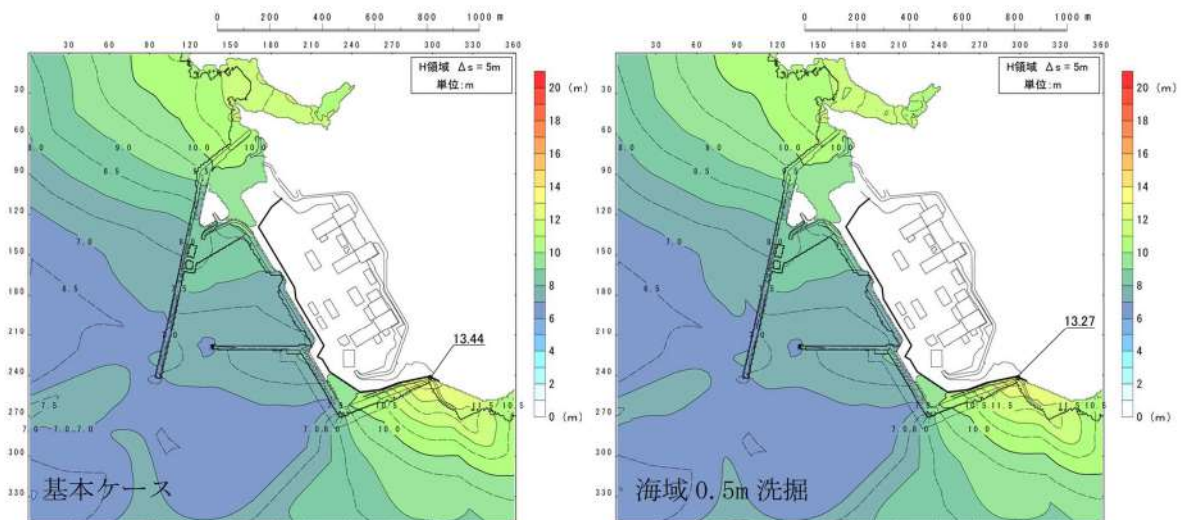


図 2.1.c.d-4 (1) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

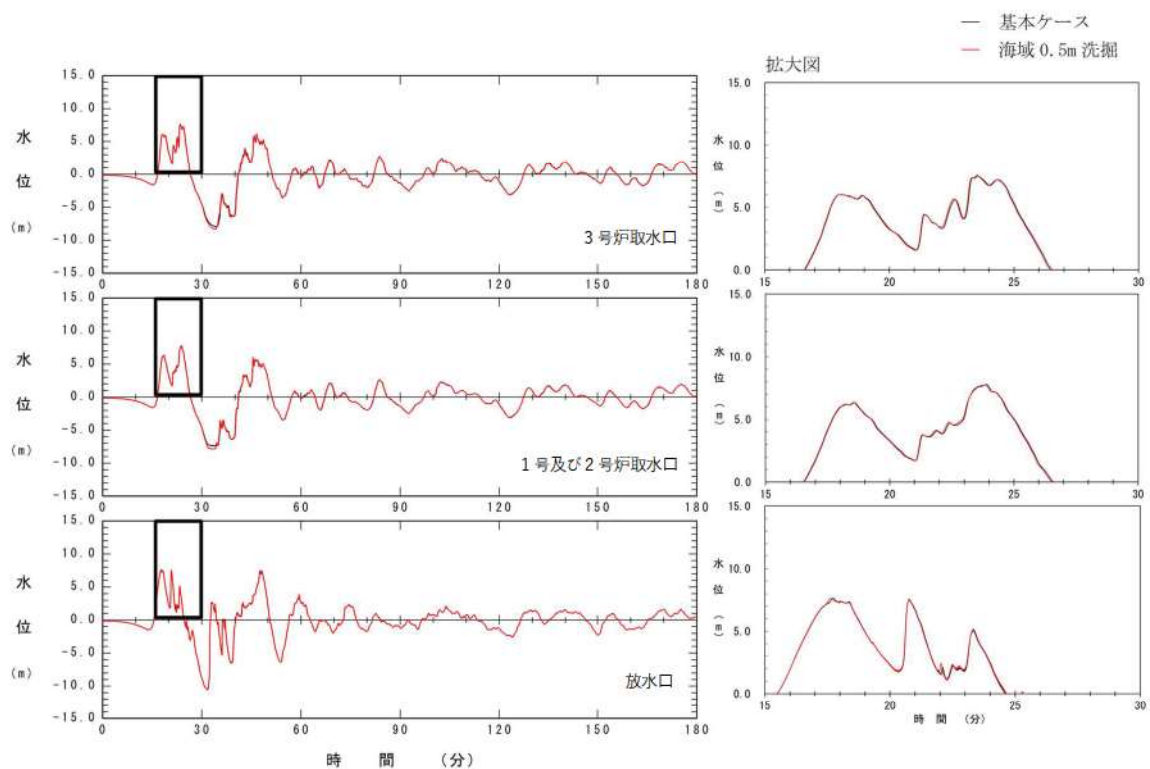


図 2.1.c.d-4 (2) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

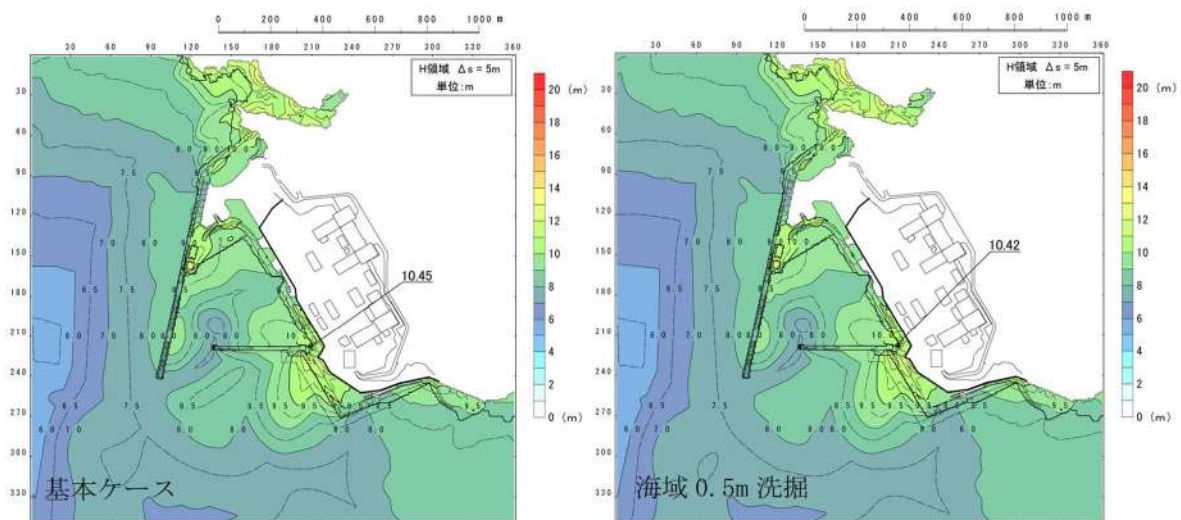


図 2.1.c.d-4 (3) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

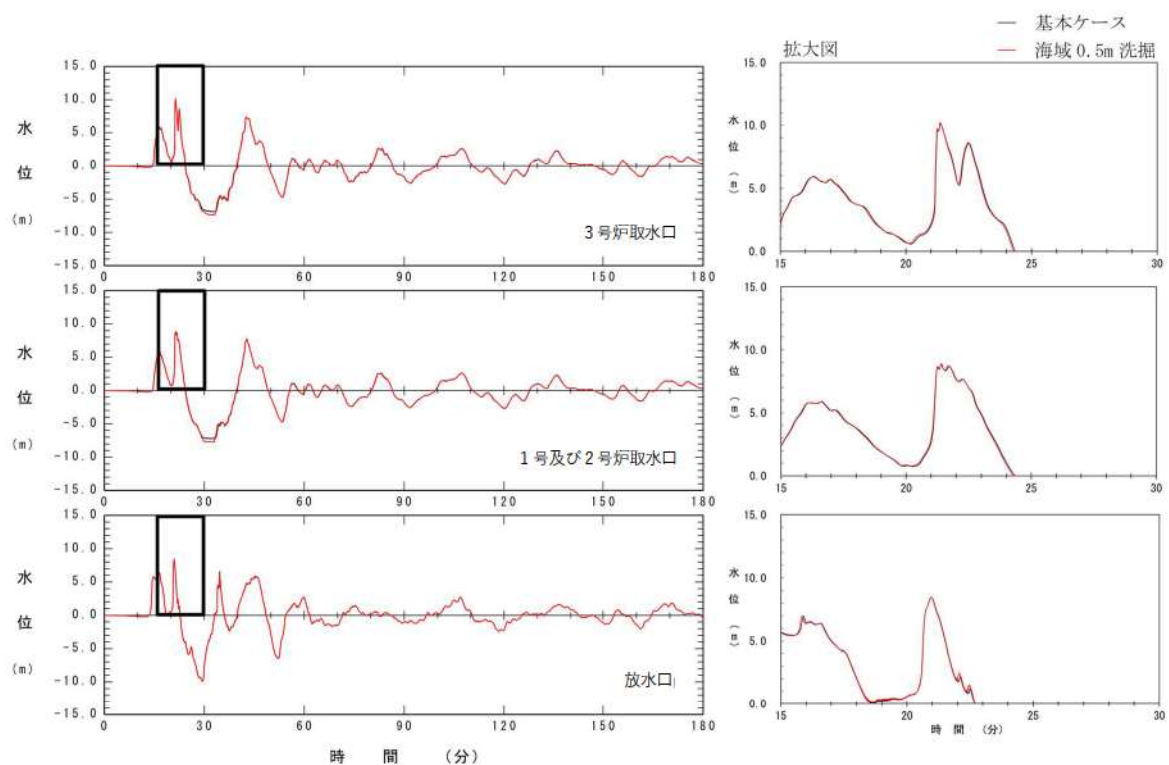


図 2.1.c.d-4 (4) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

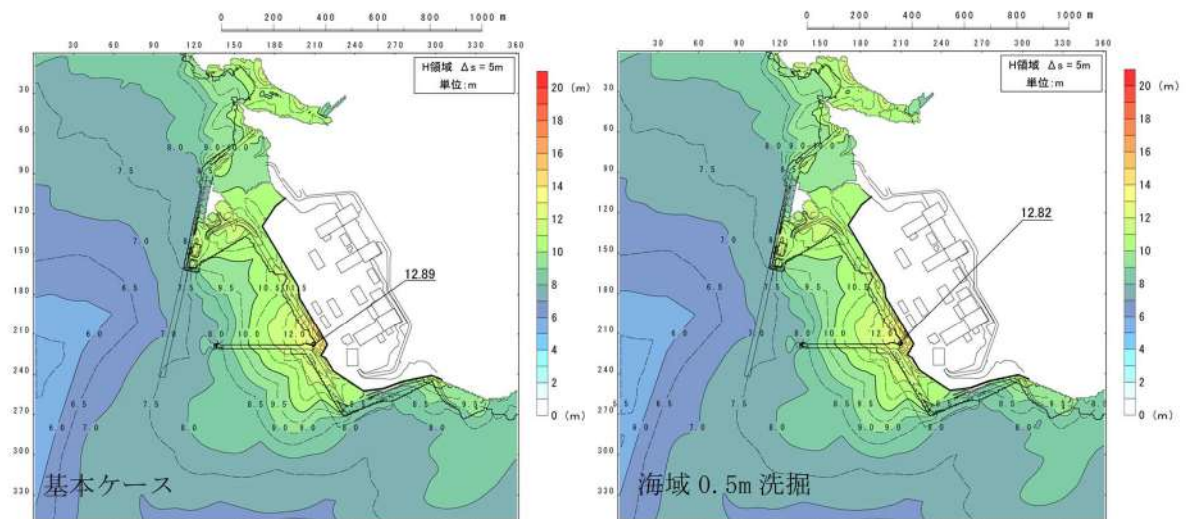


図 2.1.c.d-4 (5) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

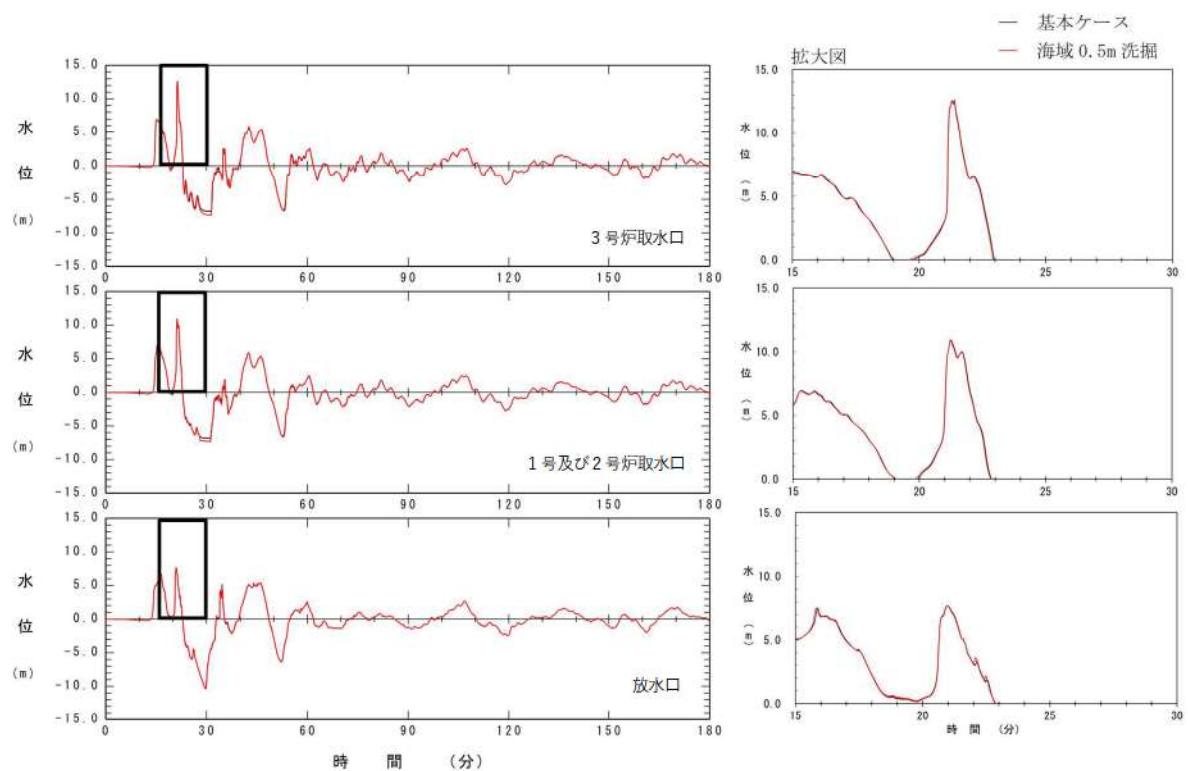


図 2.1.c.d-4 (6) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

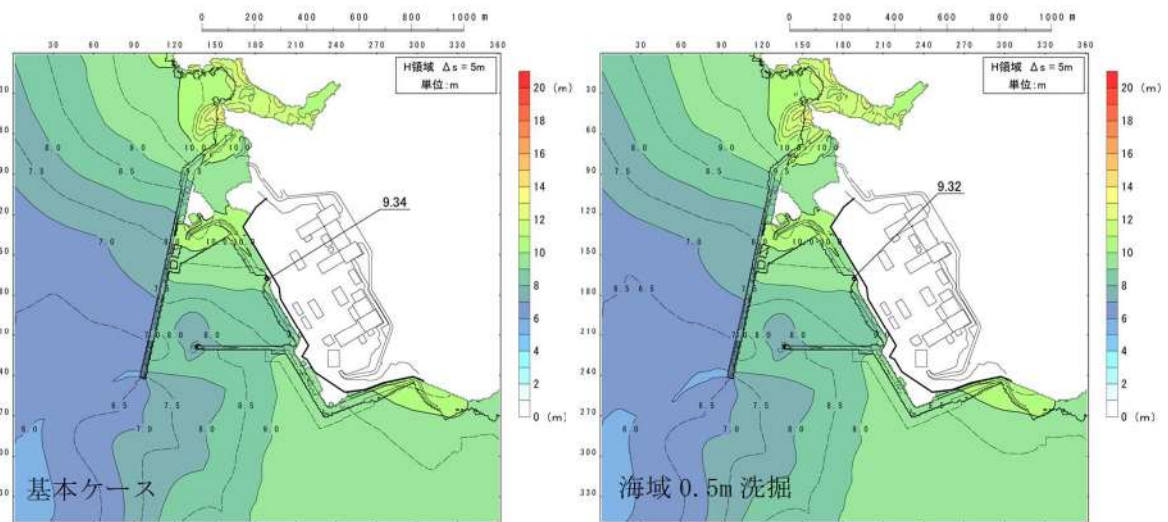


図 2.1.c.d-4 (7) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

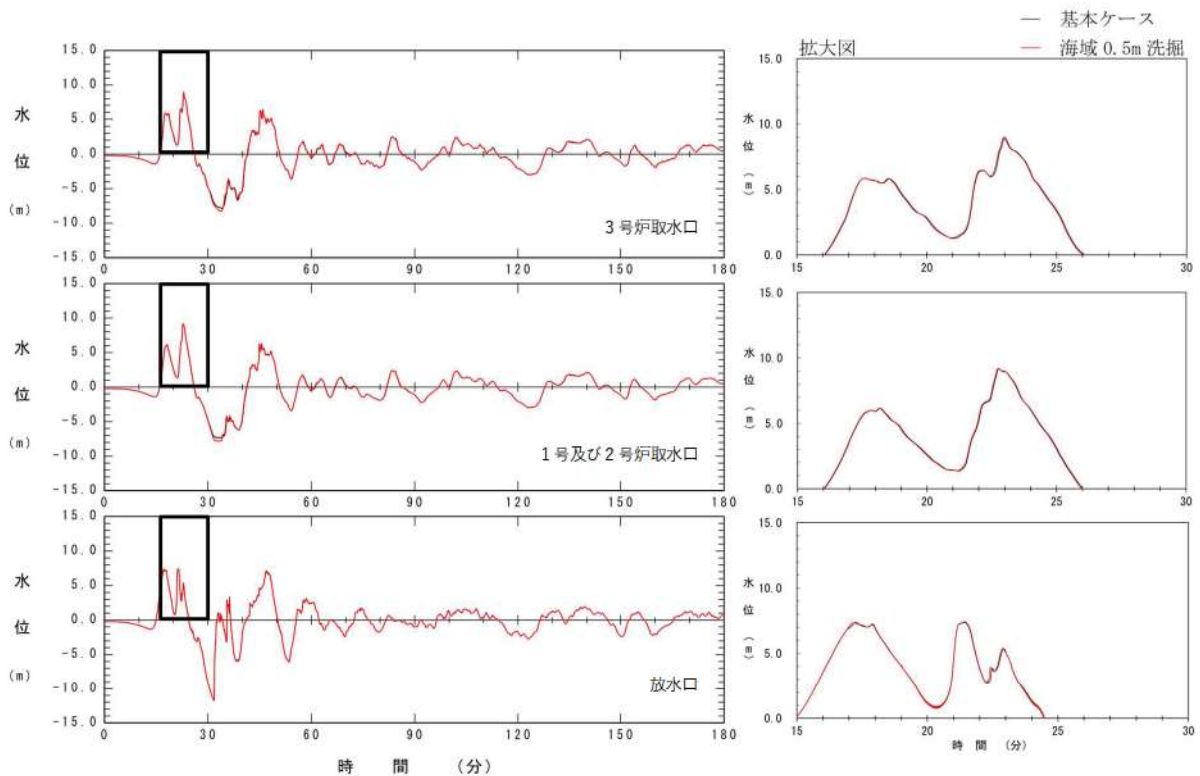


図 2.1.c.d-4 (8) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波C（防波堤損傷なし））

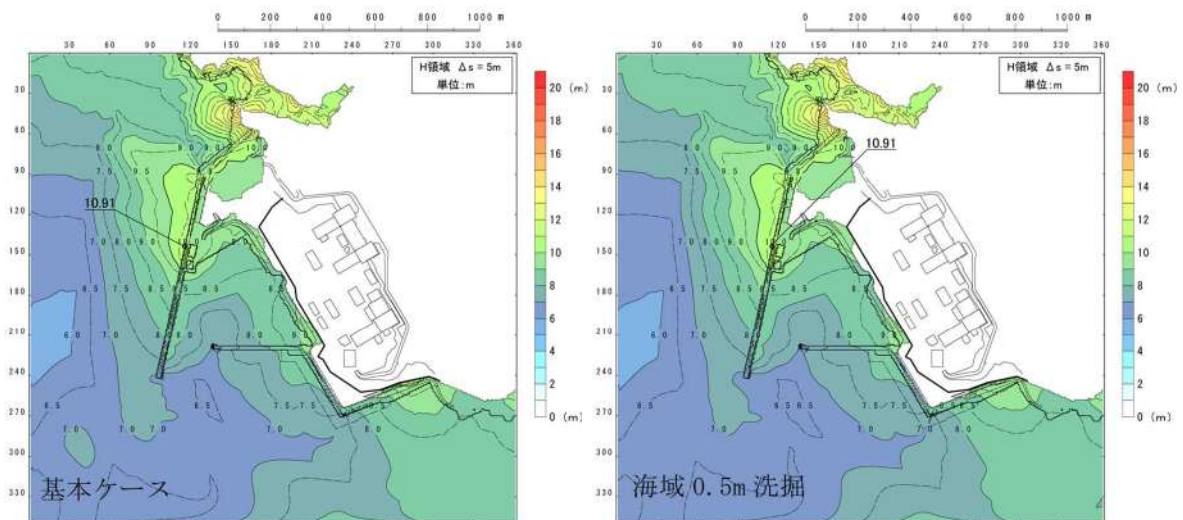


図 2.1.c.d-4 (9) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

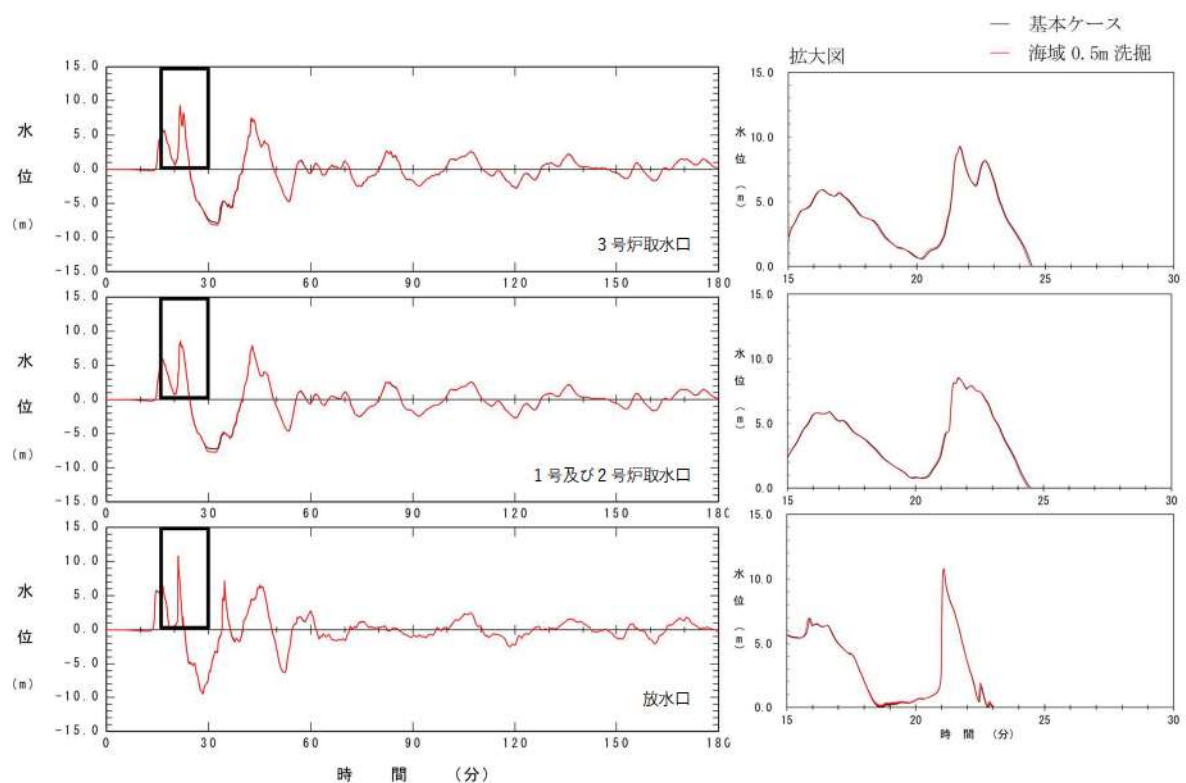


図 2.1.c.d-4 (10) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

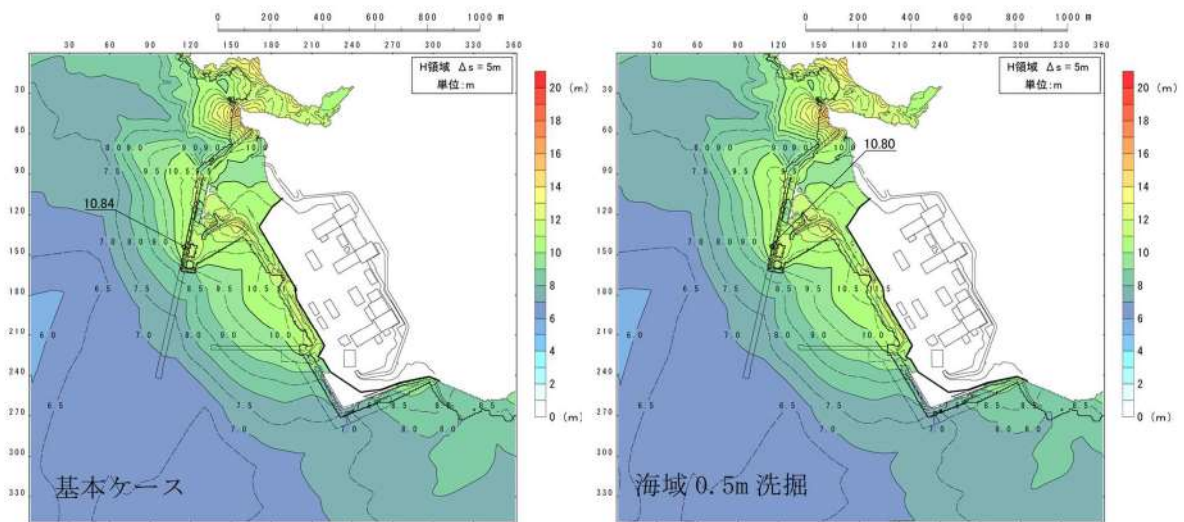


図 2.1.c.d-4 (11) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

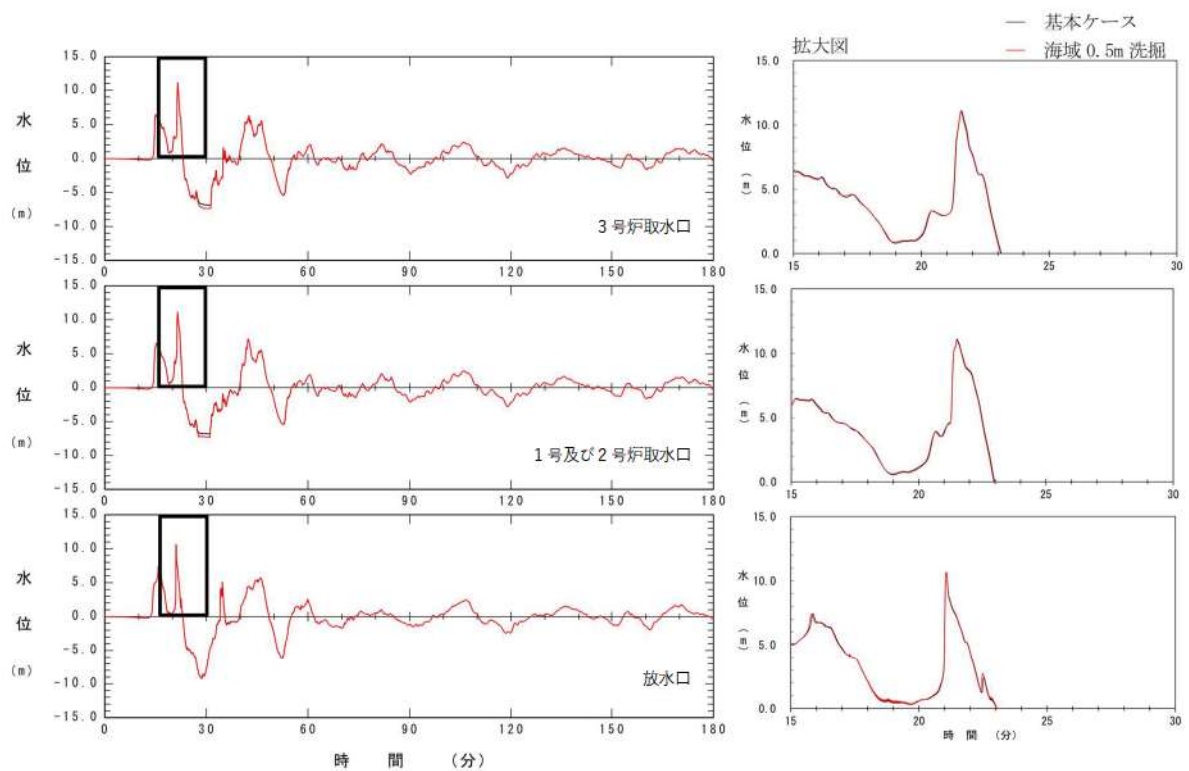


図 2.1.c.d-4 (12) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

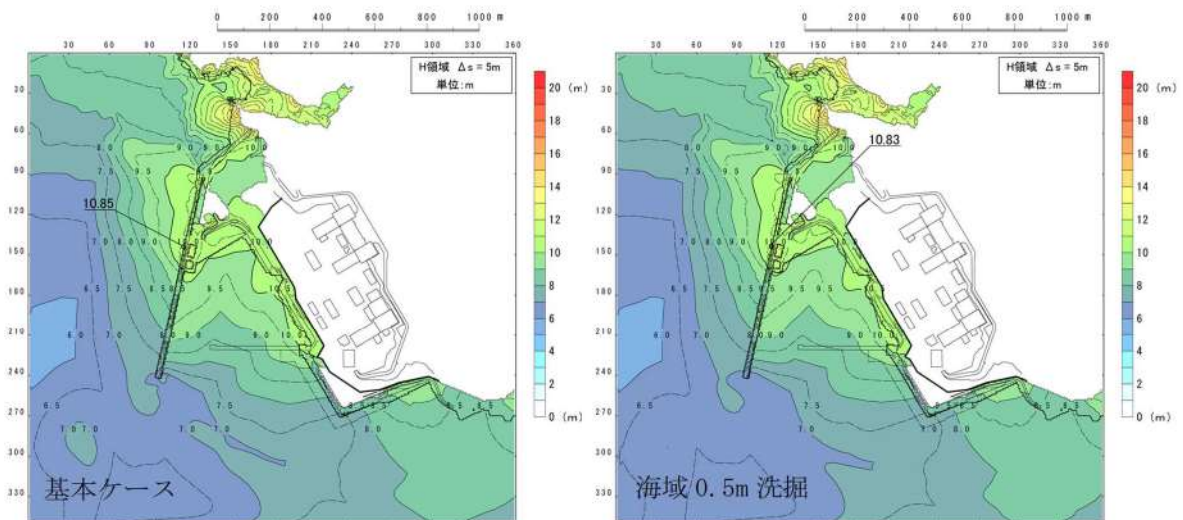


図 2.1.c.d-4 (13) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

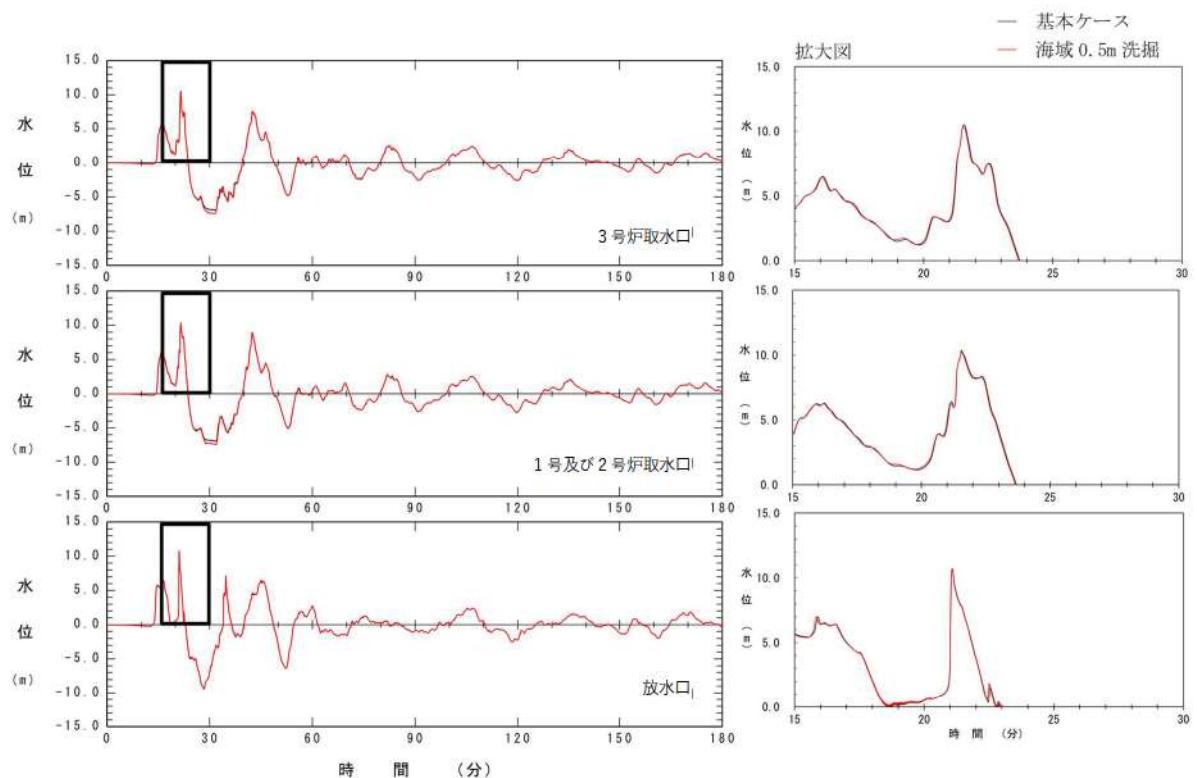


図 2.1.c.d-4 (14) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波D（南防波堤損傷））

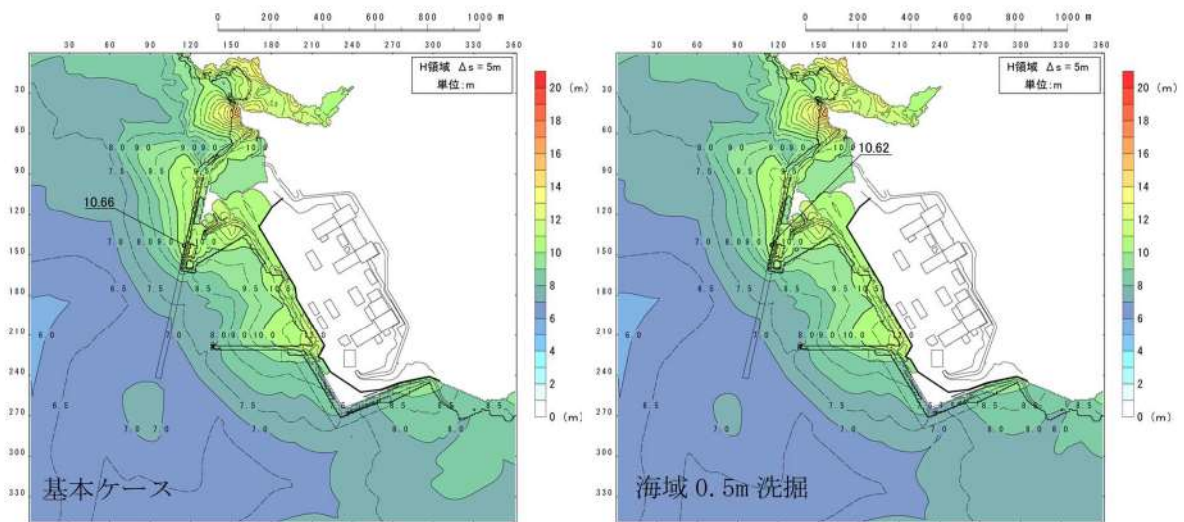


図 2.1.c.d-4 (15) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

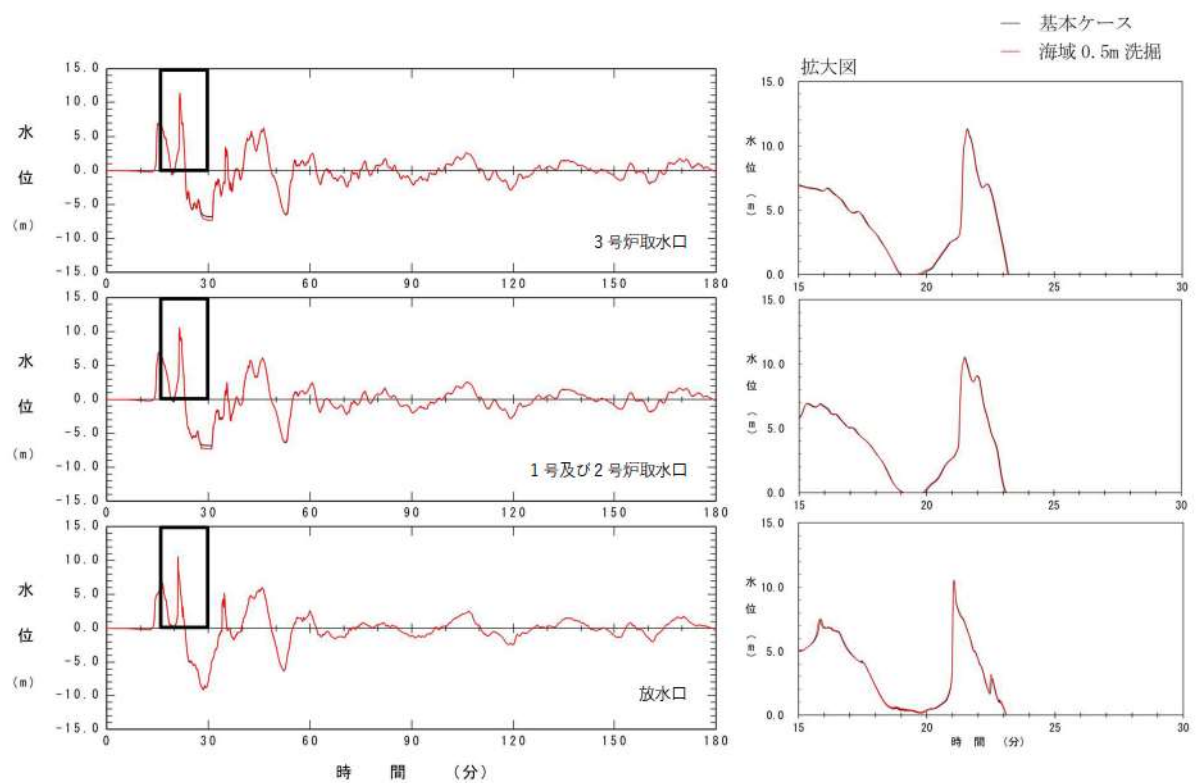


図 2.1.c.d-4 (16) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波D（北防波堤損傷））

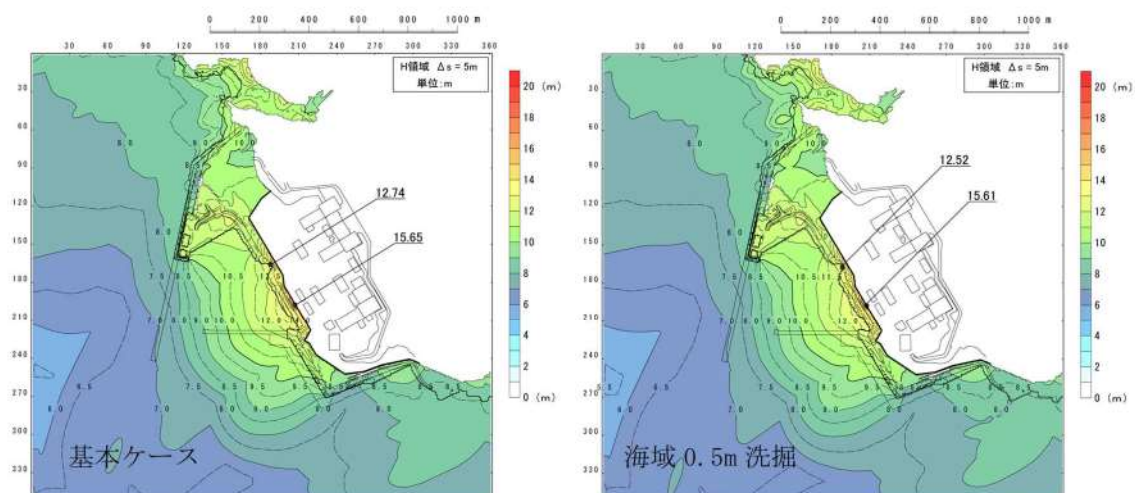


図 2.1.c.d-4 (17) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

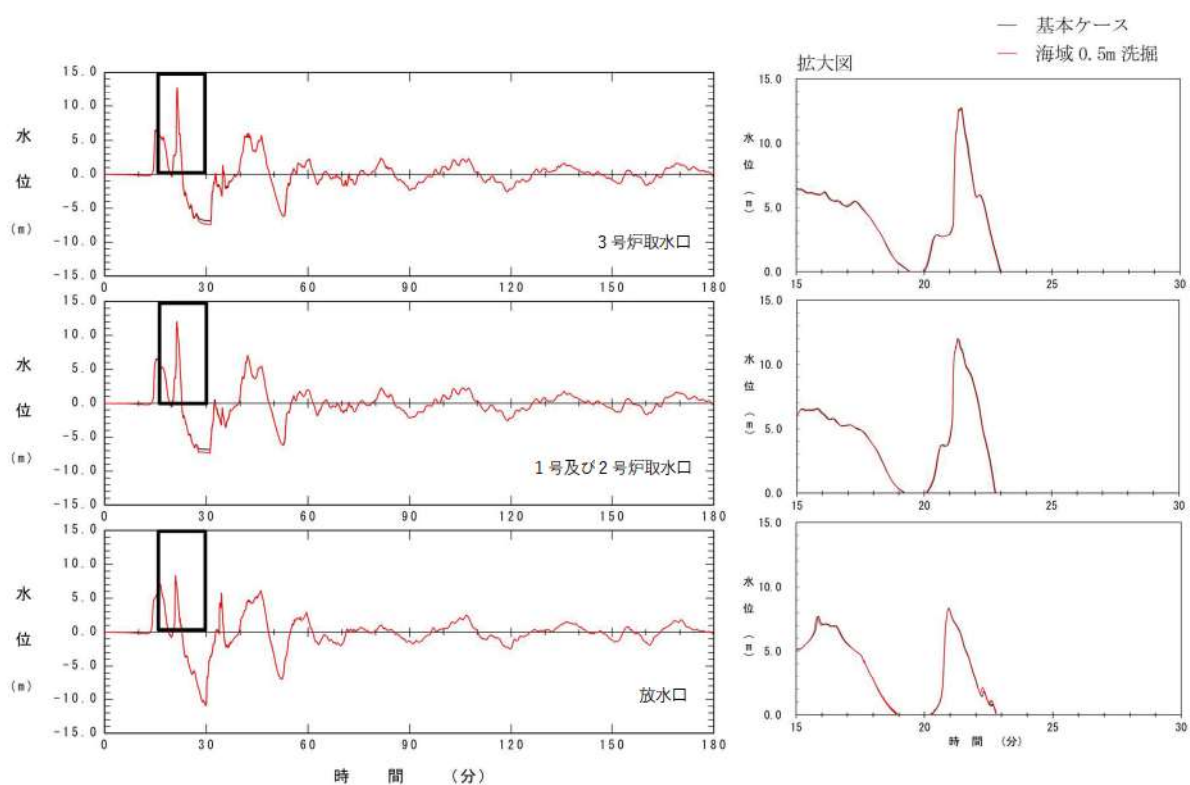


図 2.1.c.d-4 (18) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

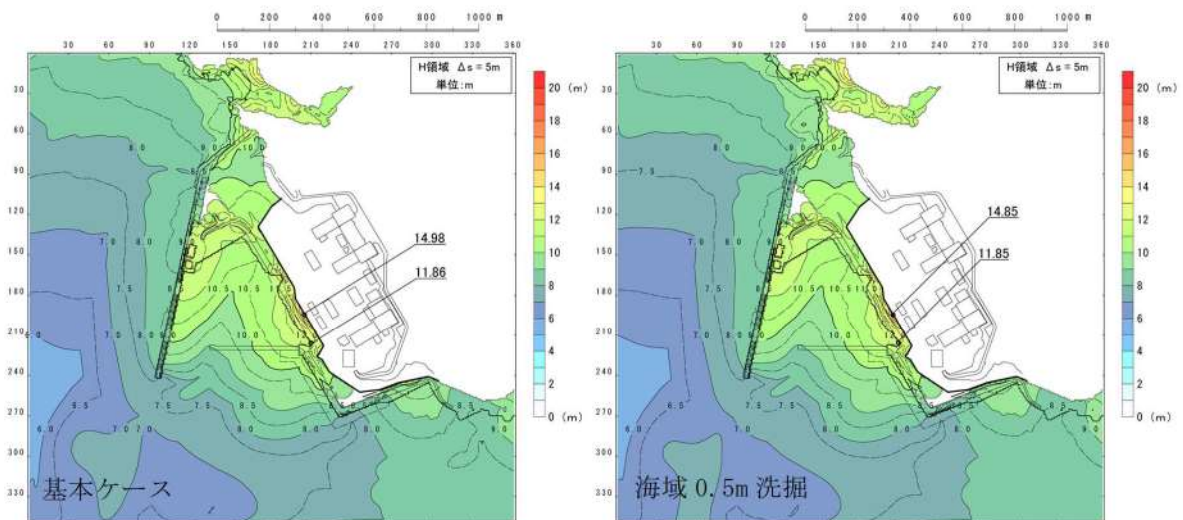


図 2.1.c.d-4 (19) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

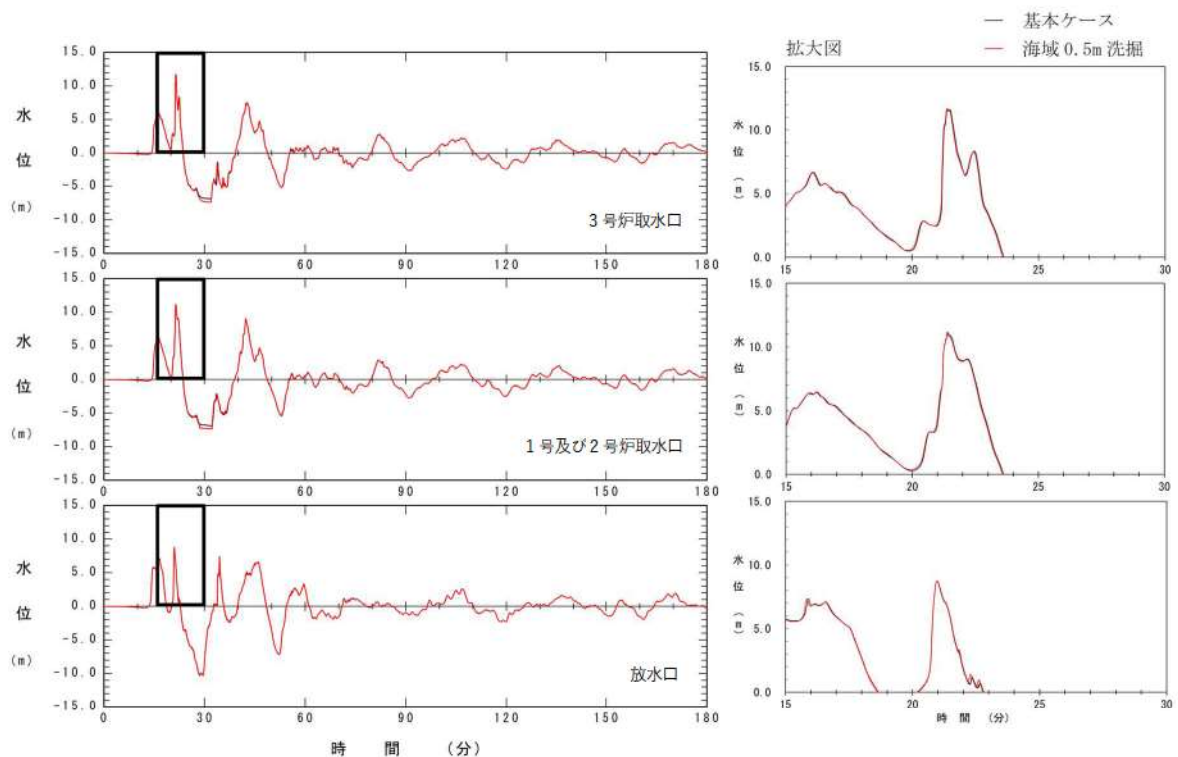


図 2.1.c.d-4 (20) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

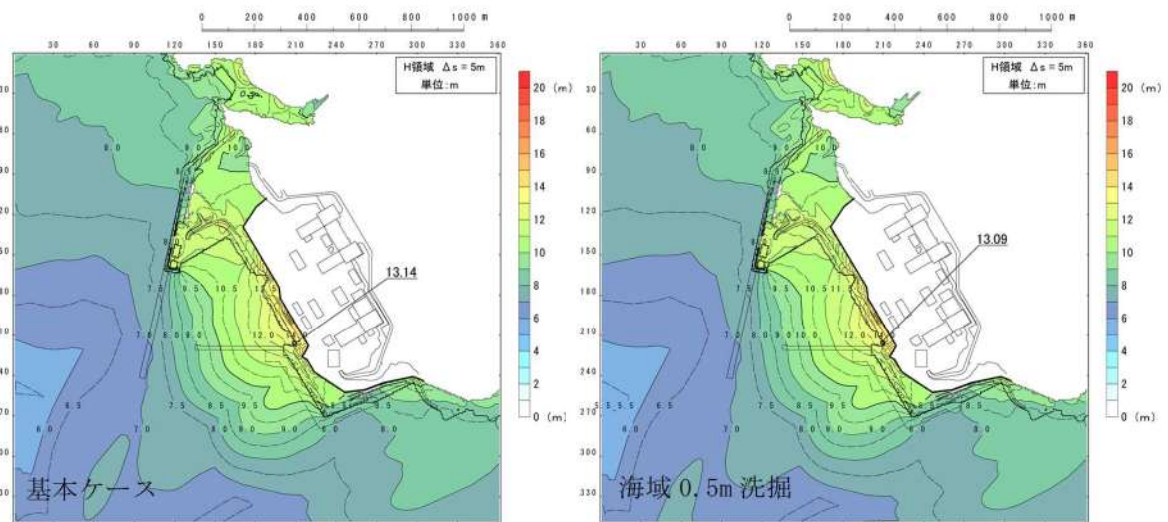


図 2.1.c.d-4 (21) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

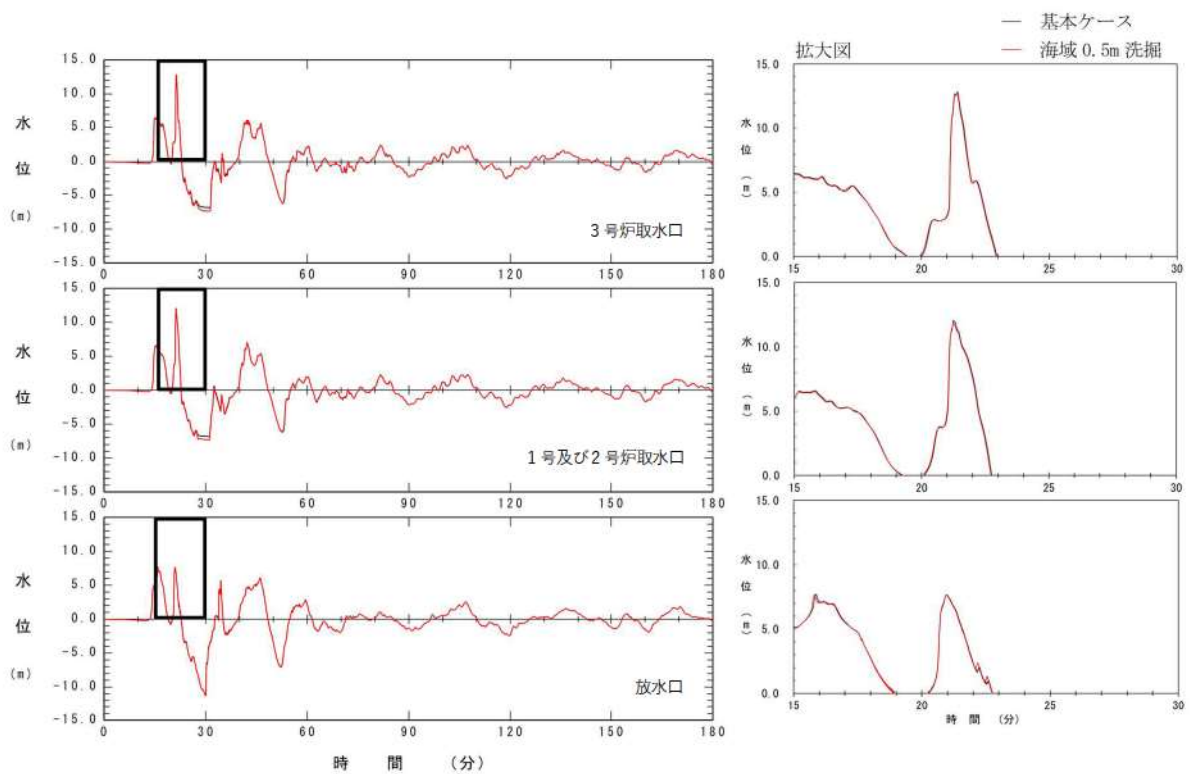


図 2.1.c.d-4 (22) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

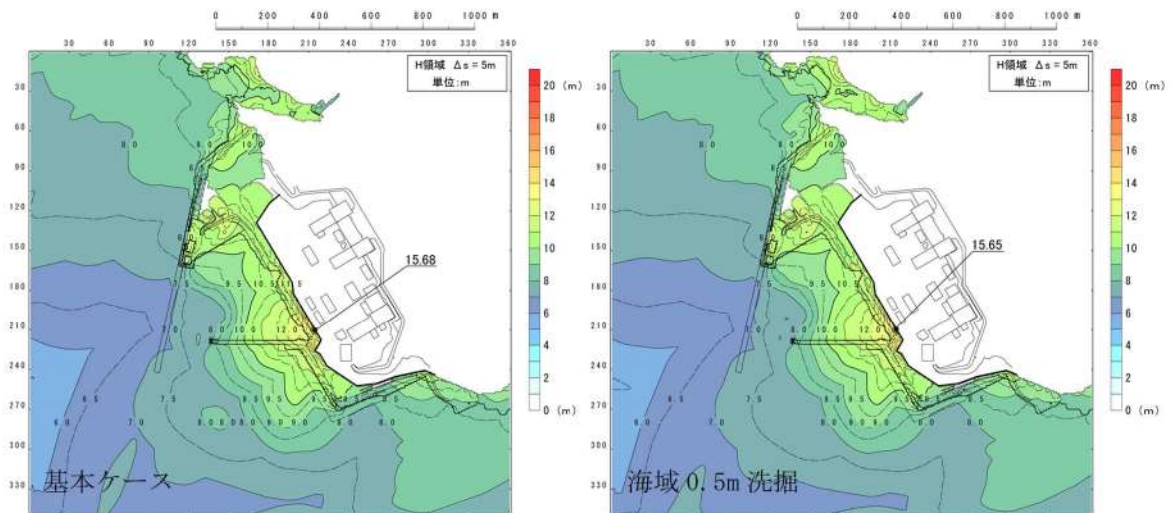


図 2.1.c.d-4 (23) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

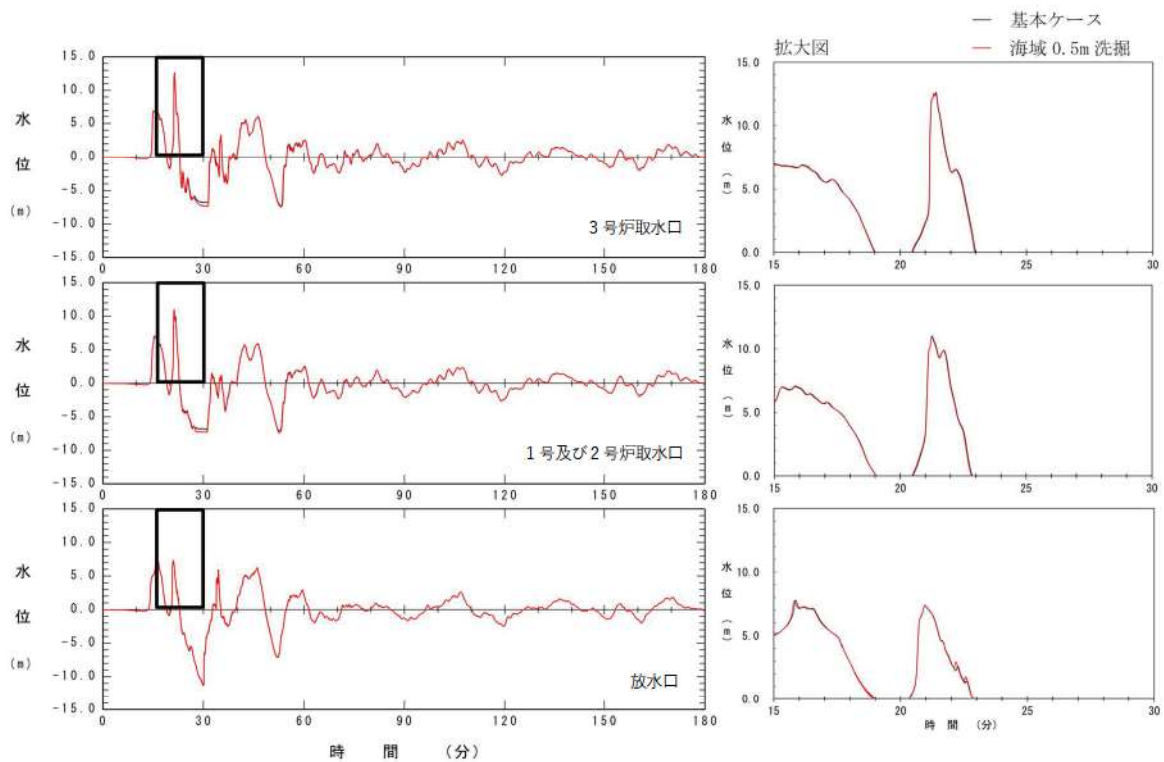


図 2.1.c.d-4 (24) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））

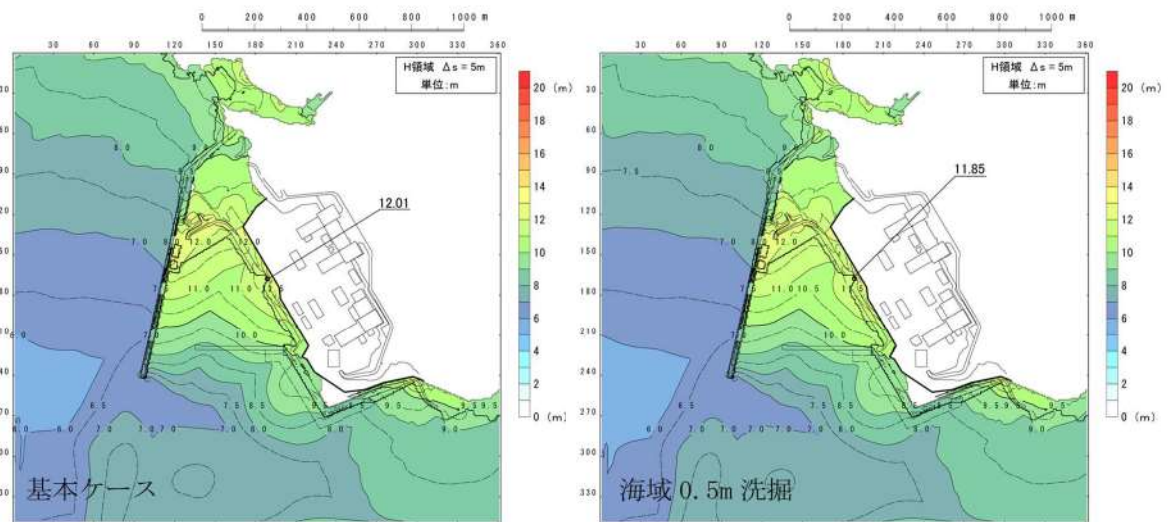


図 2.1.c.d-4 (25) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波 G（南防波堤損傷））

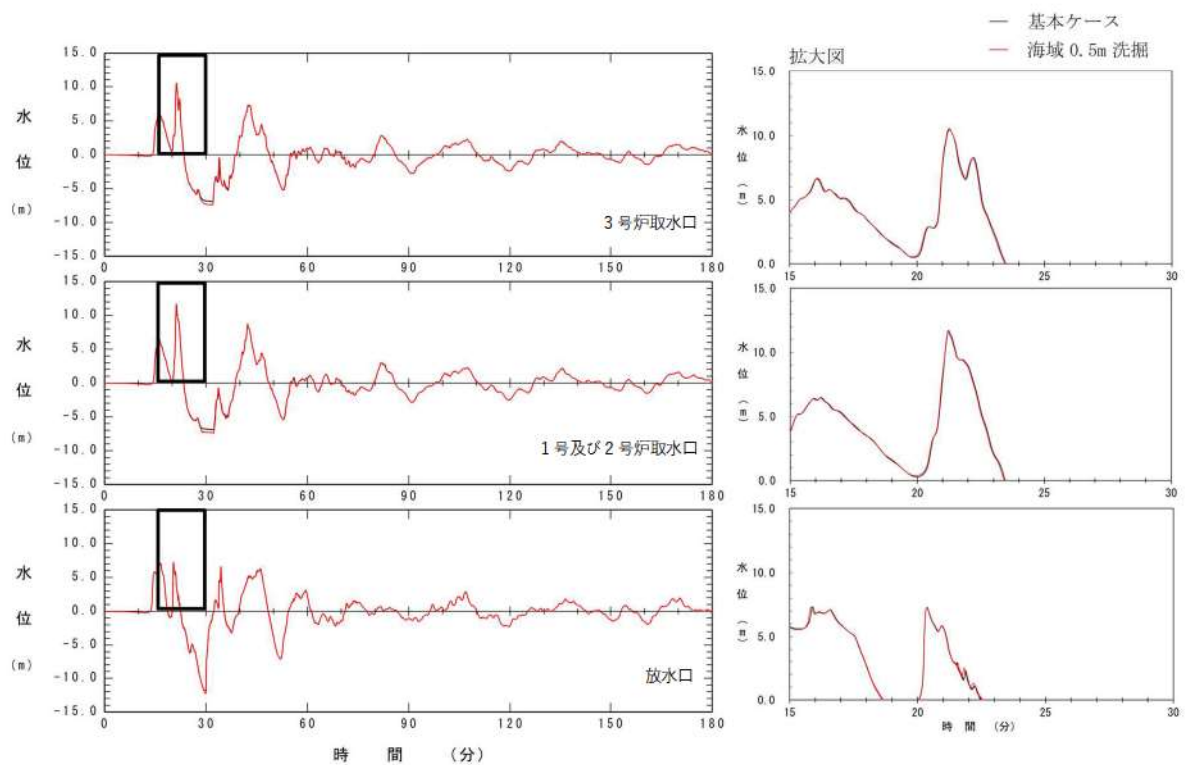


図 2.1.c.d-4 (26) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 G（南防波堤損傷））

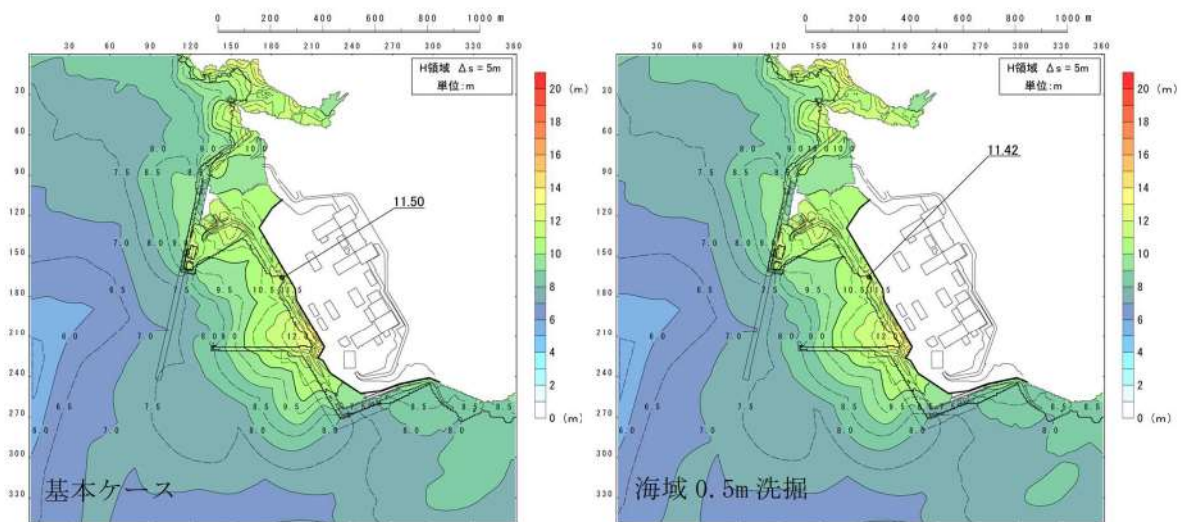


図 2.1.c.d-4 (27) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位上昇量分布の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

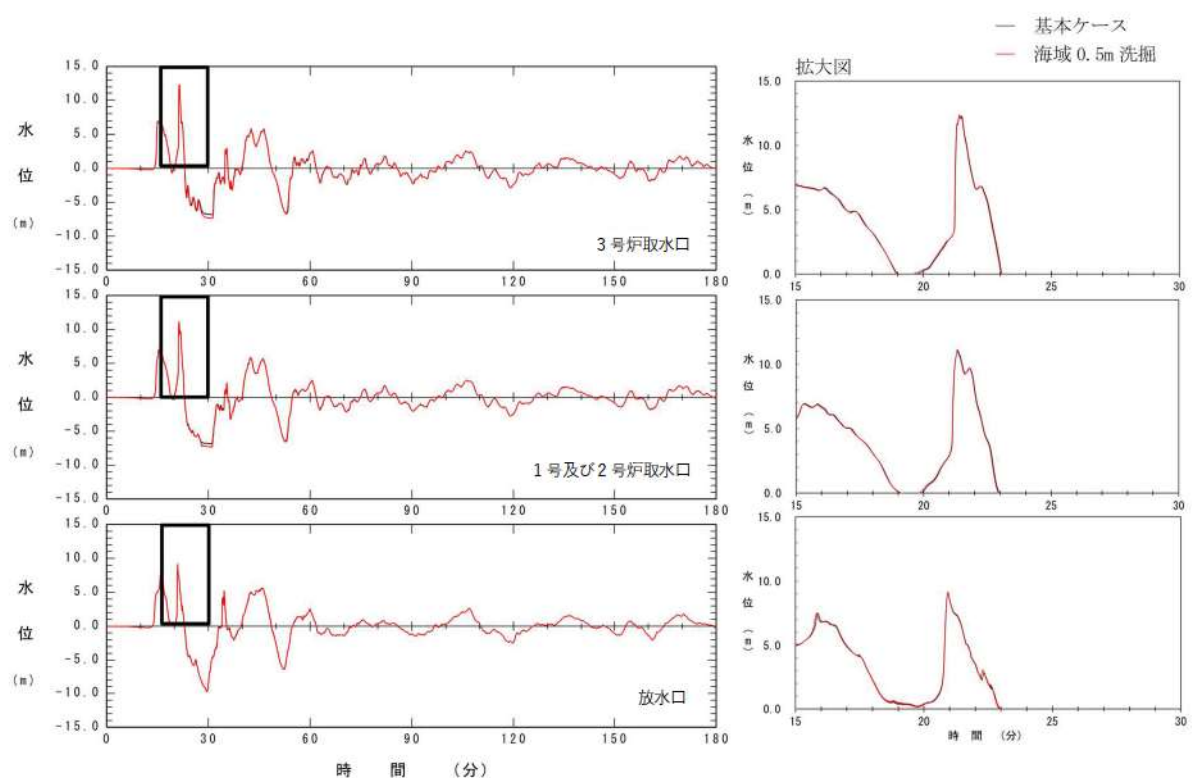


図 2.1.c.d-4 (28) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波H（北防波堤損傷））

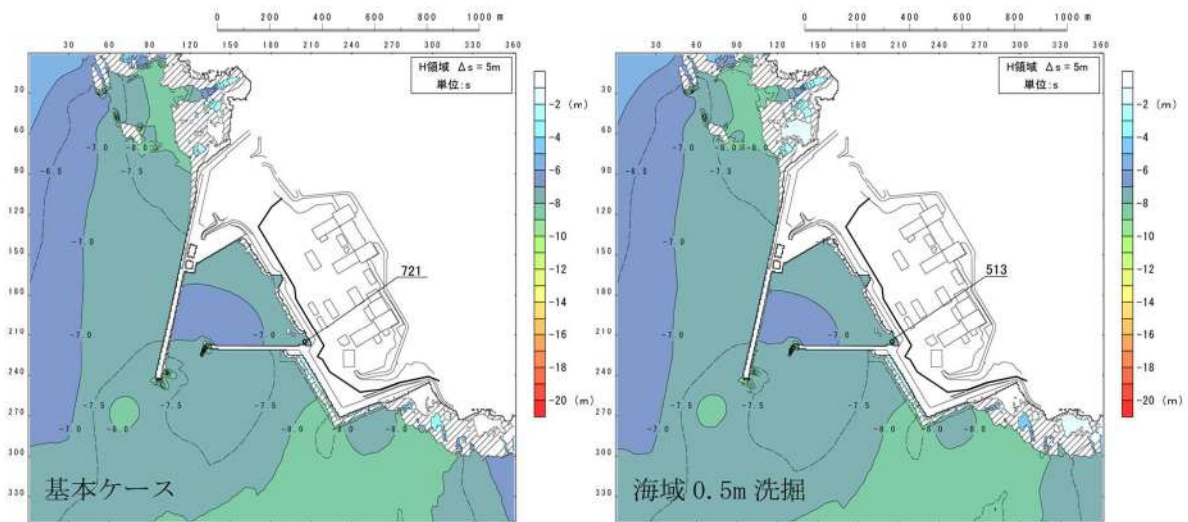


図 2.1.c.d-4 (29) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位下降量分布の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

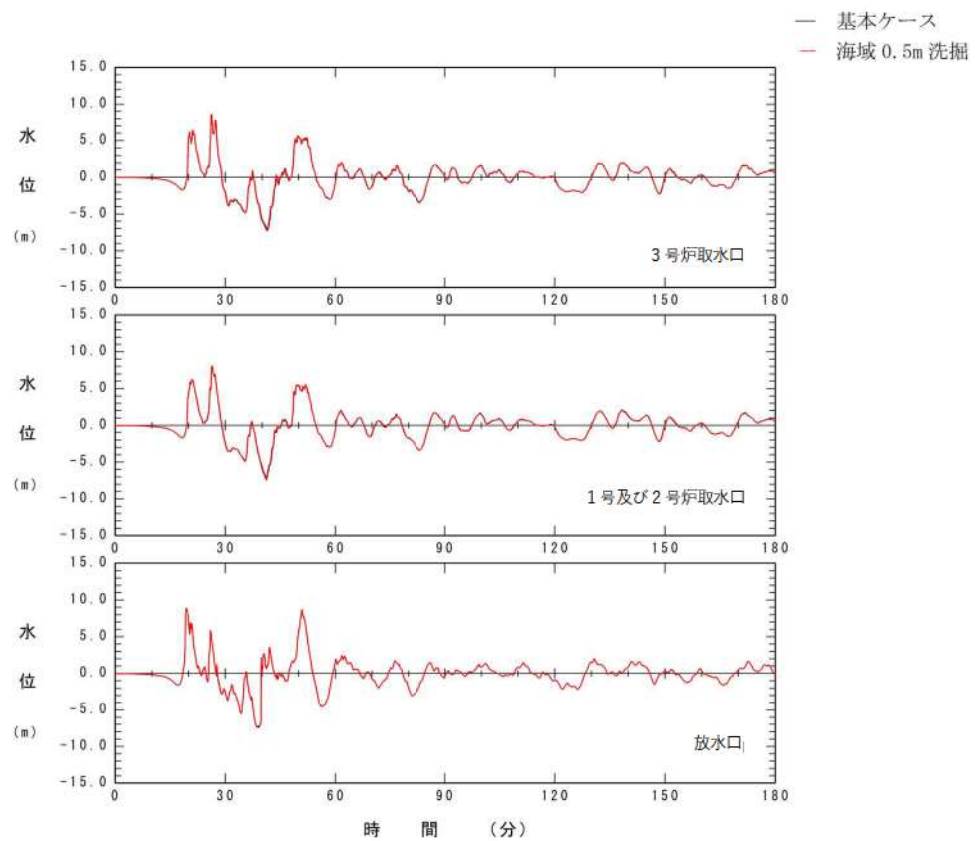


図 2.1.c.d-4 (30) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 I（防波堤損傷なし））

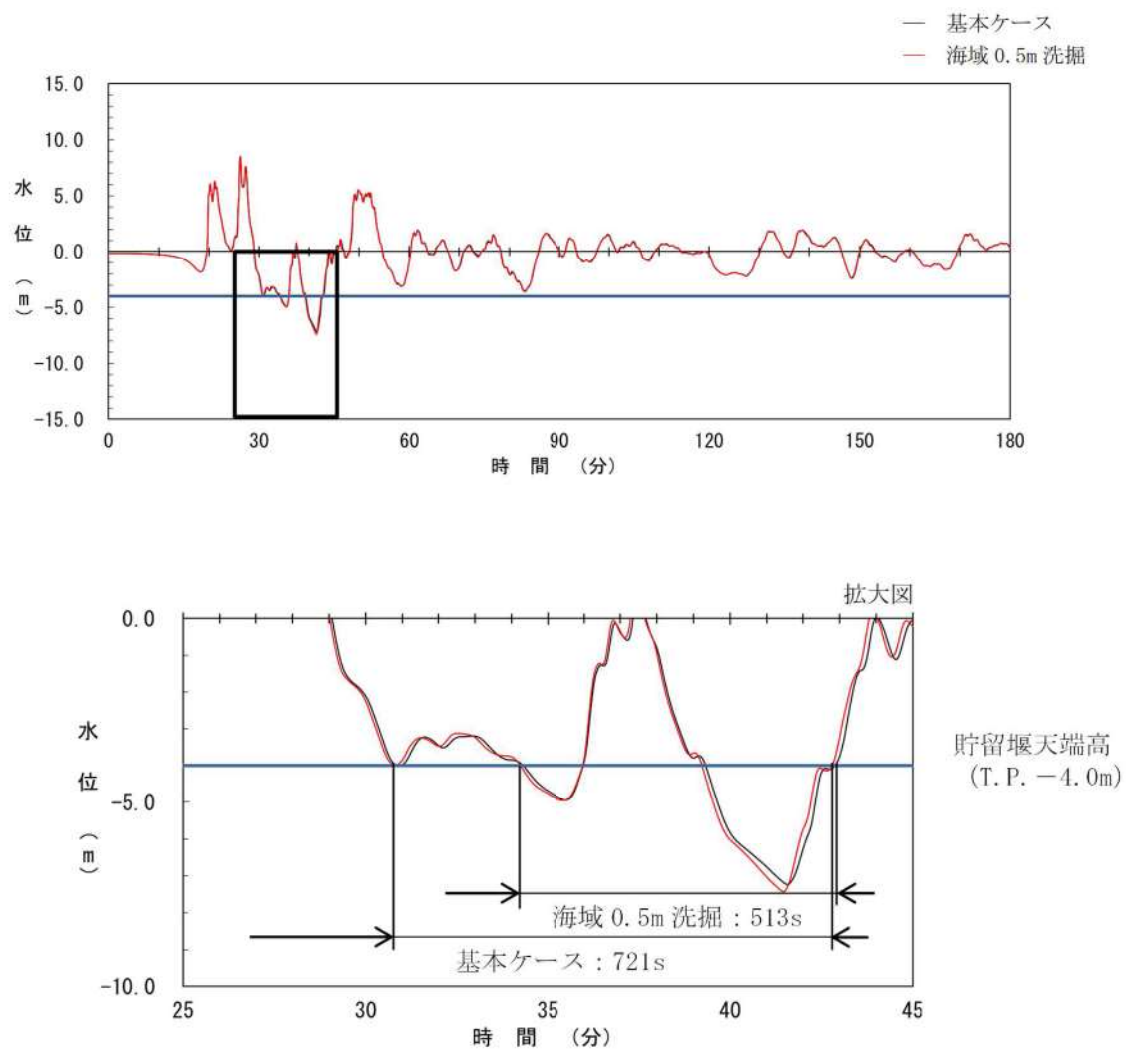


図 2.1. c. d-4 (31) 敷地 (海域) の洗掘 (0.5m 洗掘) の有無による
貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 I (防波堤損傷なし))

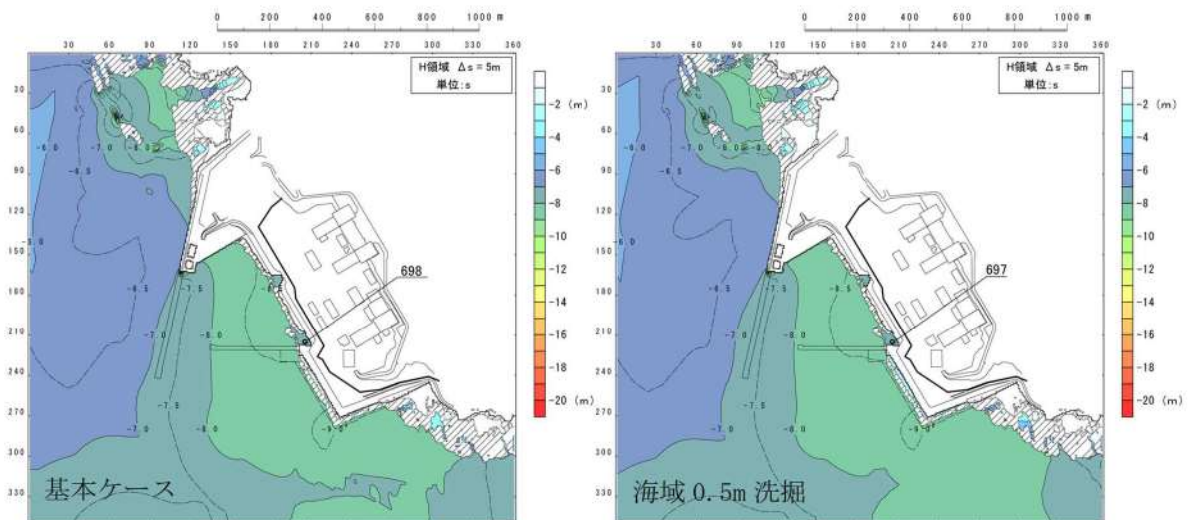


図 2.1.c.d-4 (32) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位下降量分布の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

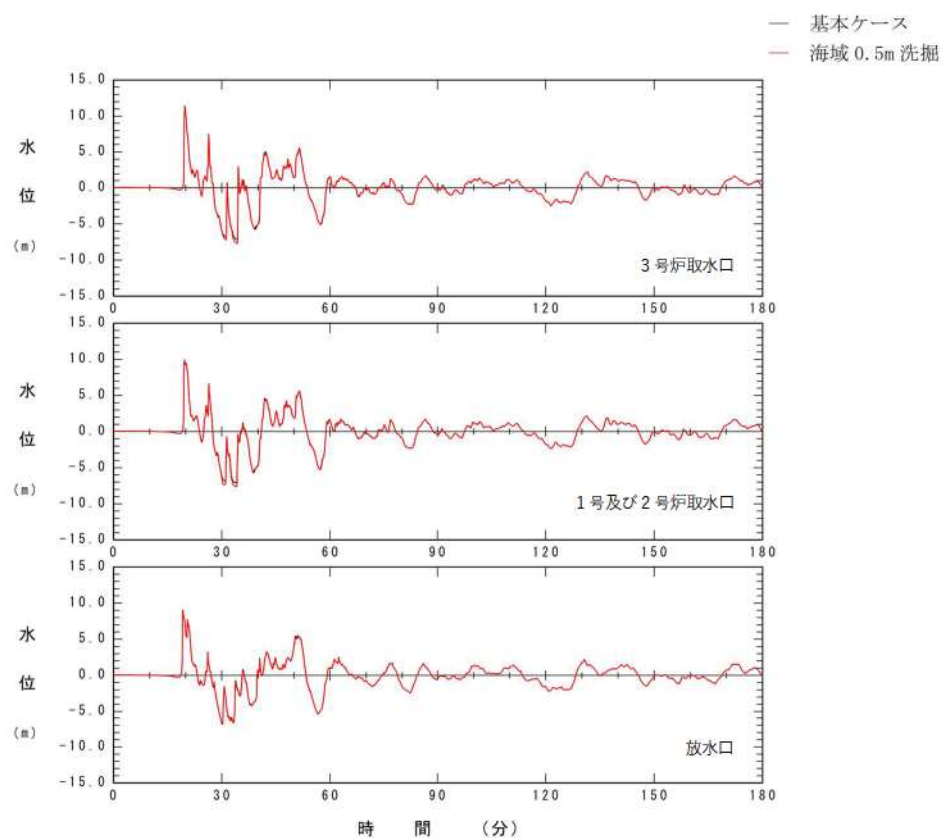


図 2.1.c.d-4 (33) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 J（北及び南防波堤損傷））

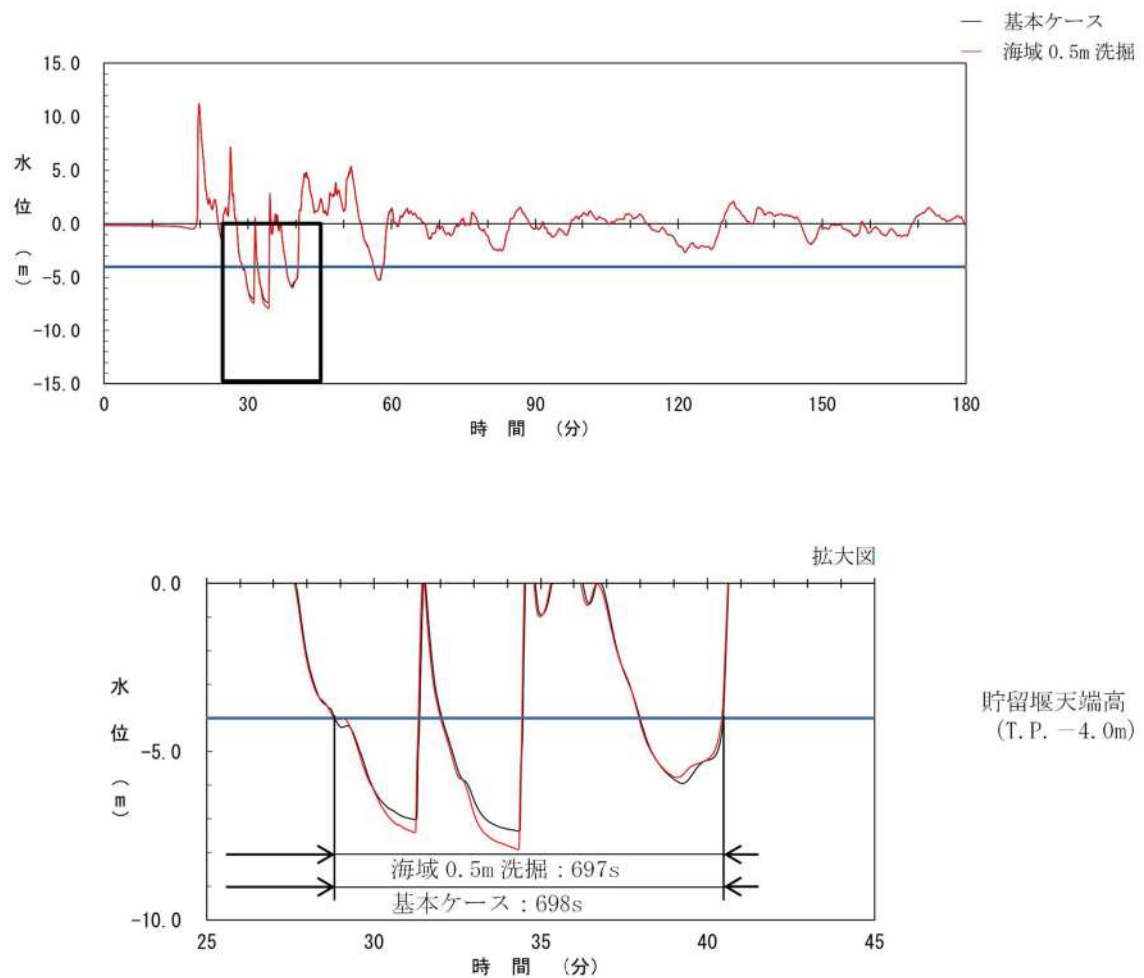


図 2.1. c. d-4 (34) 敷地 (海域) の洗掘 (0.5m 洗掘) の有無による
貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 J (北及び南防波堤損傷))

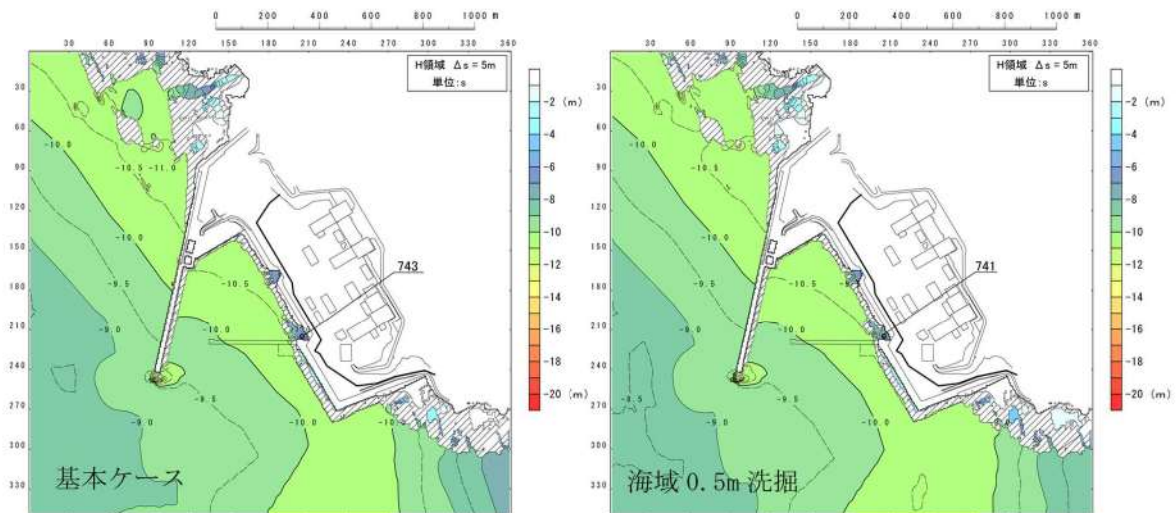


図 2.1.c.d-4 (35) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位下降量分布の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

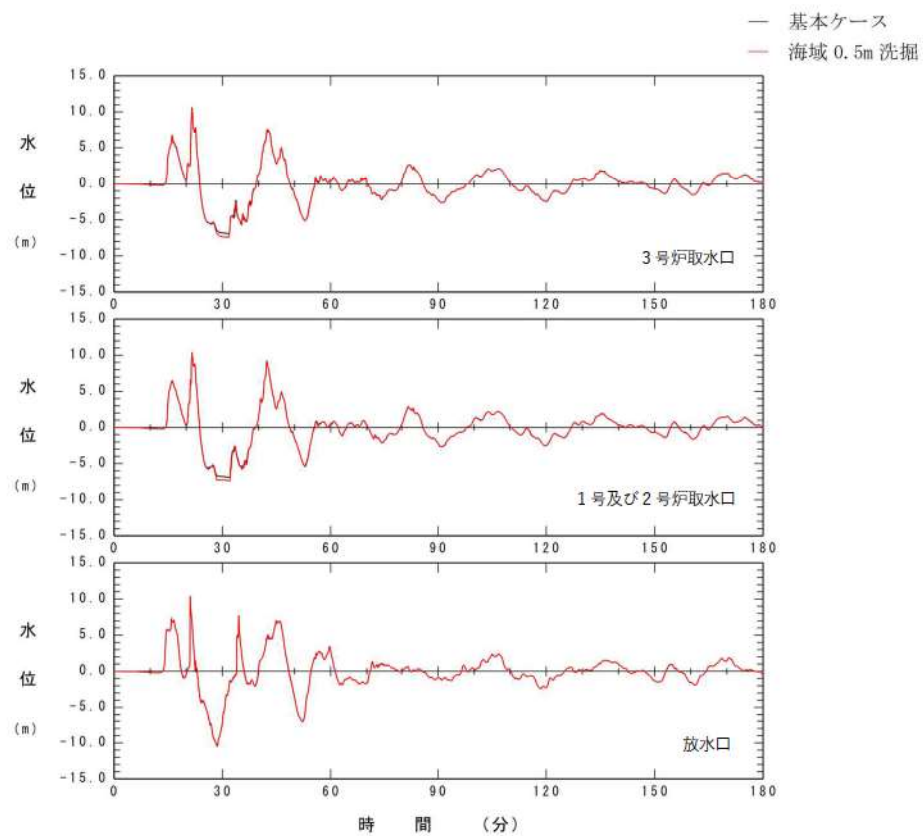


図 2.1.c.d-4 (36) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波K（南防波堤損傷））

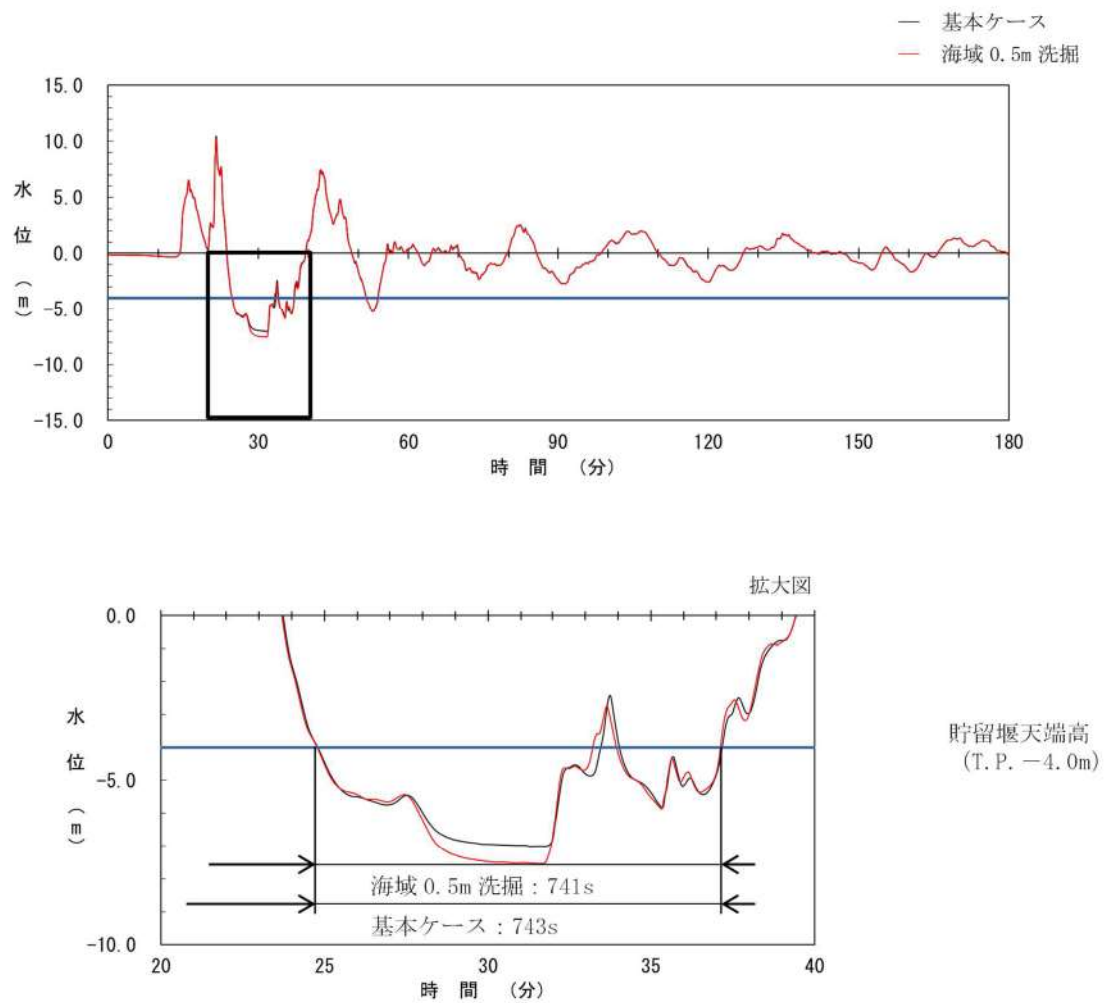


図 2.1. c. d-4 (37) 敷地 (海域) の洗掘 (0.5m 洗掘) の有無による
貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 K (南防波堤損傷))

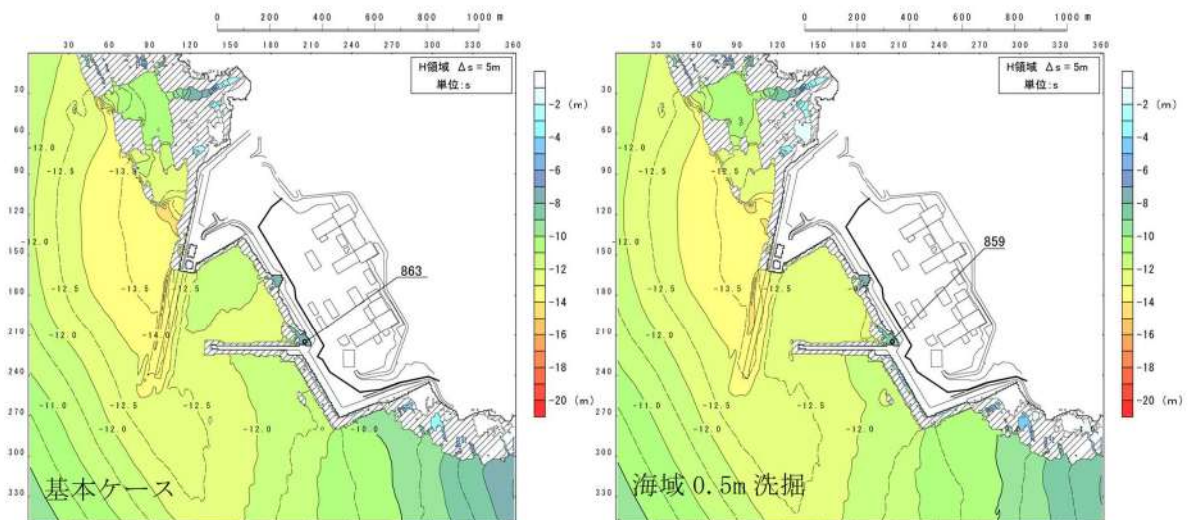


図 2.1.c.d-4 (38) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大水位下降量分布の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

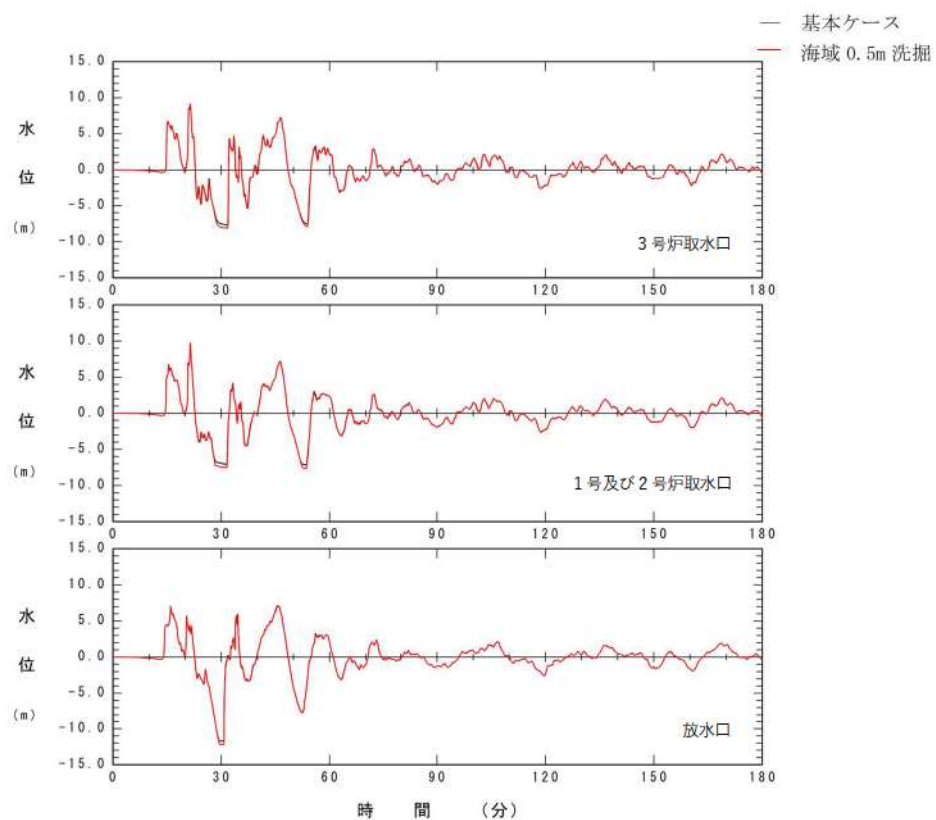


図 2.1.c.d-4 (39) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
水位時刻歴波形の比較（基準津波 L（北防波堤損傷））

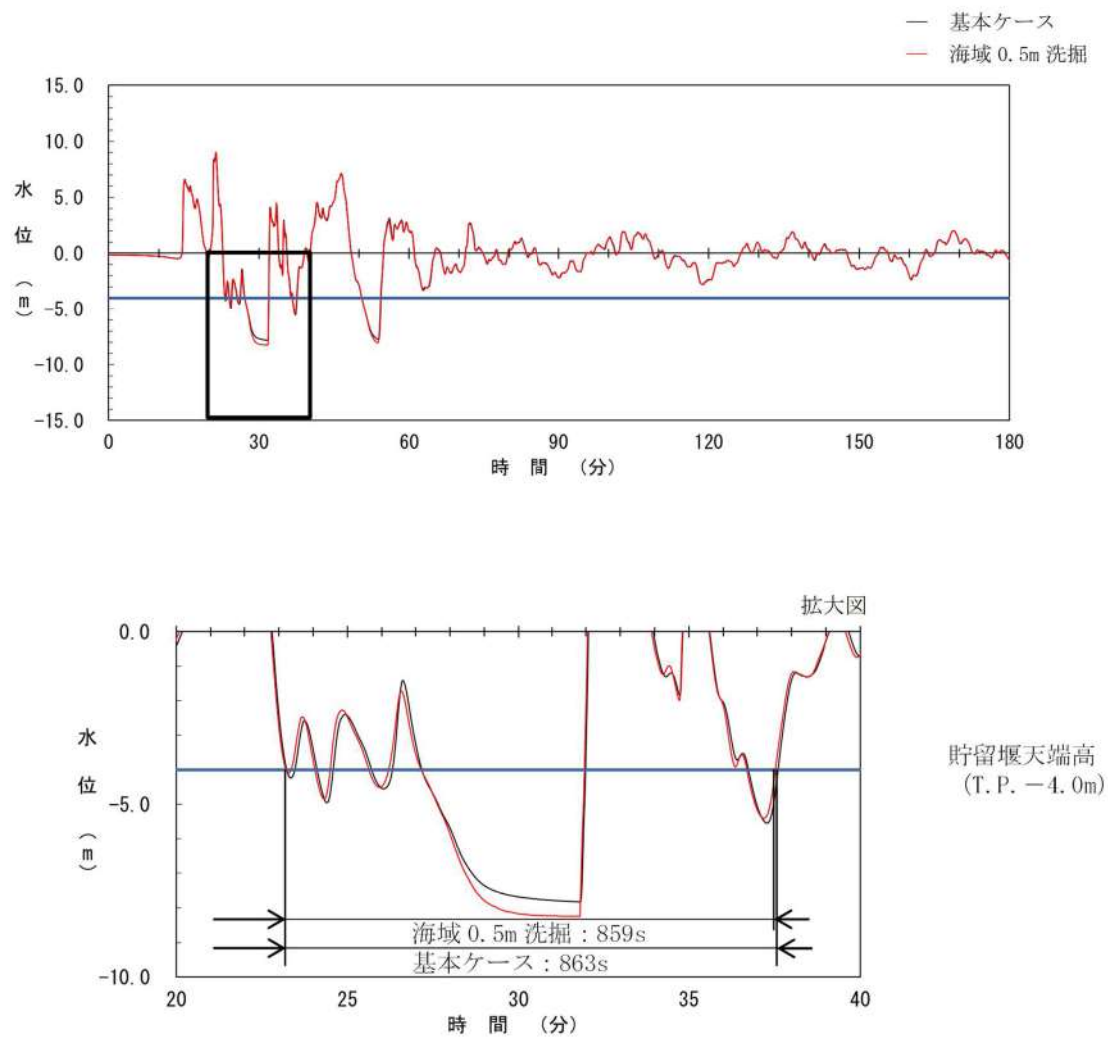


図 2.1. c. d-4 (40) 敷地 (海域) の洗掘 (0.5m 洗掘) の有無による
貯留堰を下回る時間の比較 (基準津波 L (北防波堤損傷))

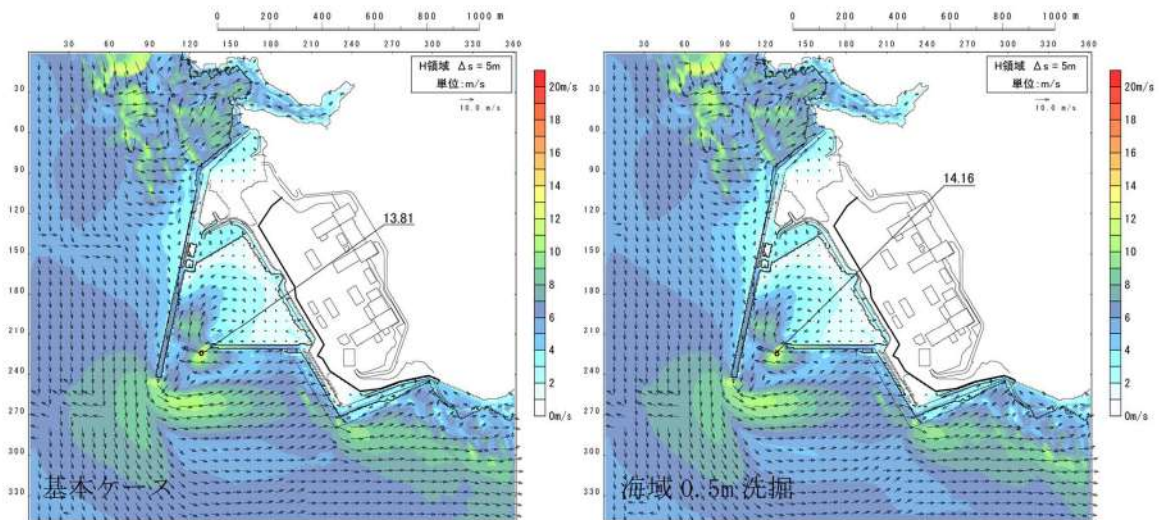


図 2.1.c.d-4 (41) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 A（防波堤損傷なし））

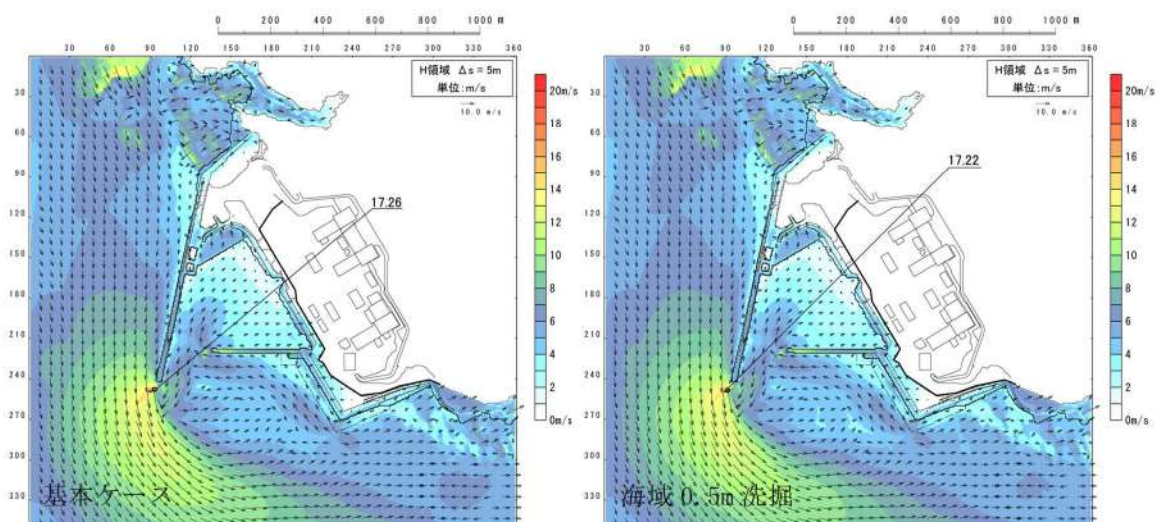


図 2.1.c.d-4 (42) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 B（防波堤損傷なし））

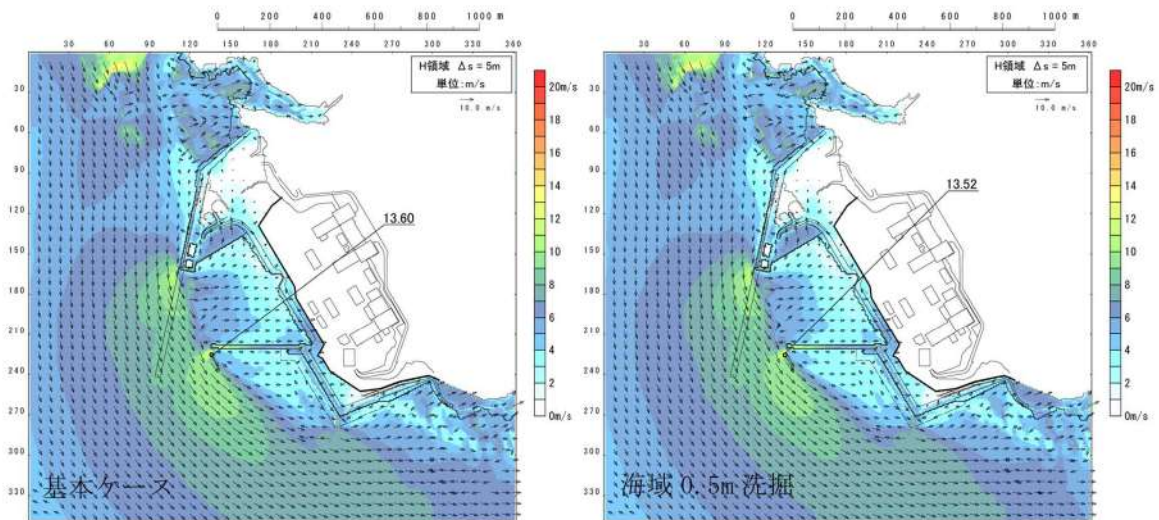


図 2.1.c.d-4 (43) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 B（北防波堤損傷））

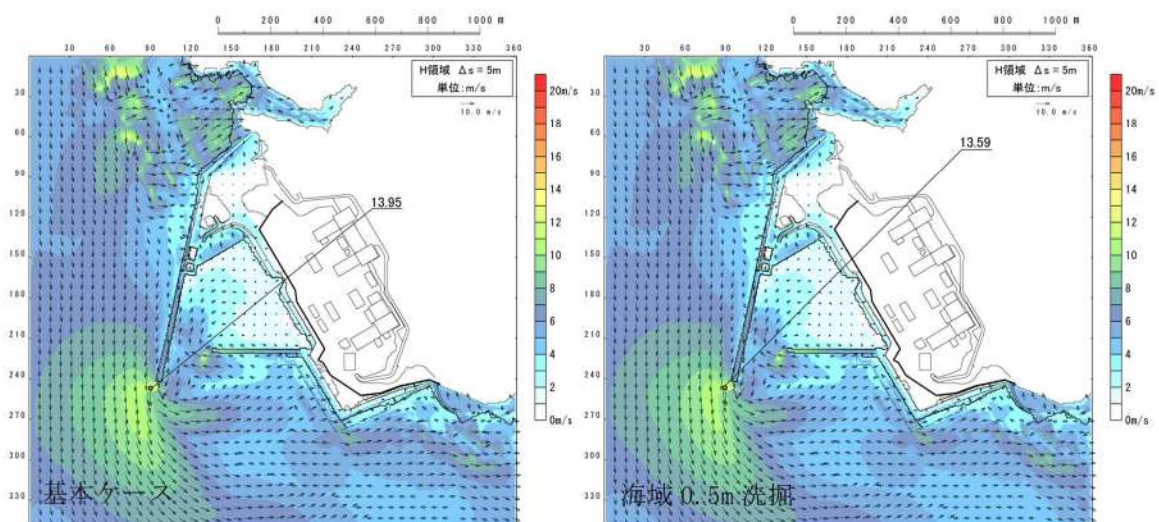


図 2.1.c.d-4 (44) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 C（防波堤損傷なし））

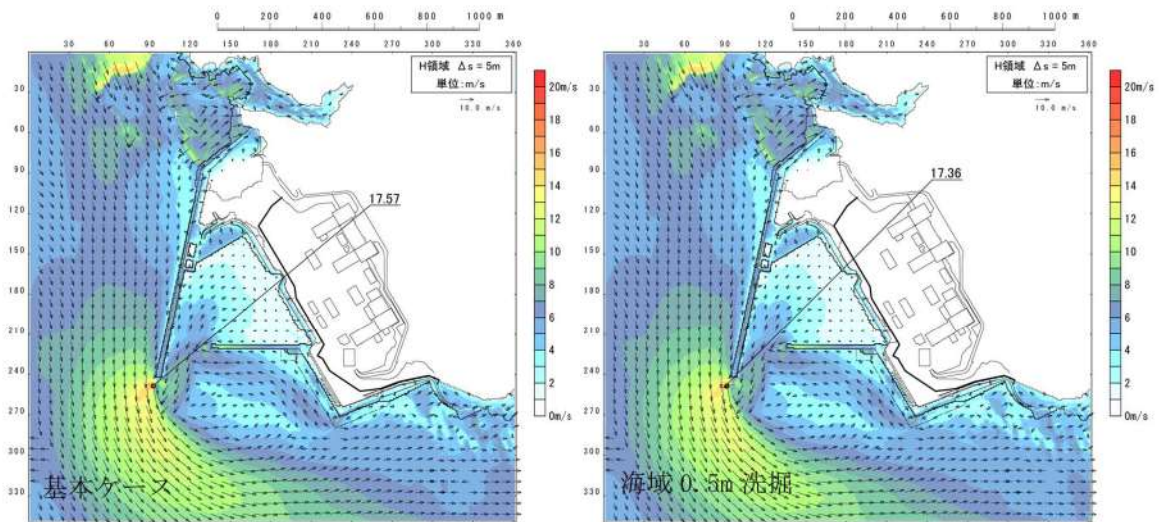


図 2.1.c.d-4 (45) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波D（防波堤損傷なし））

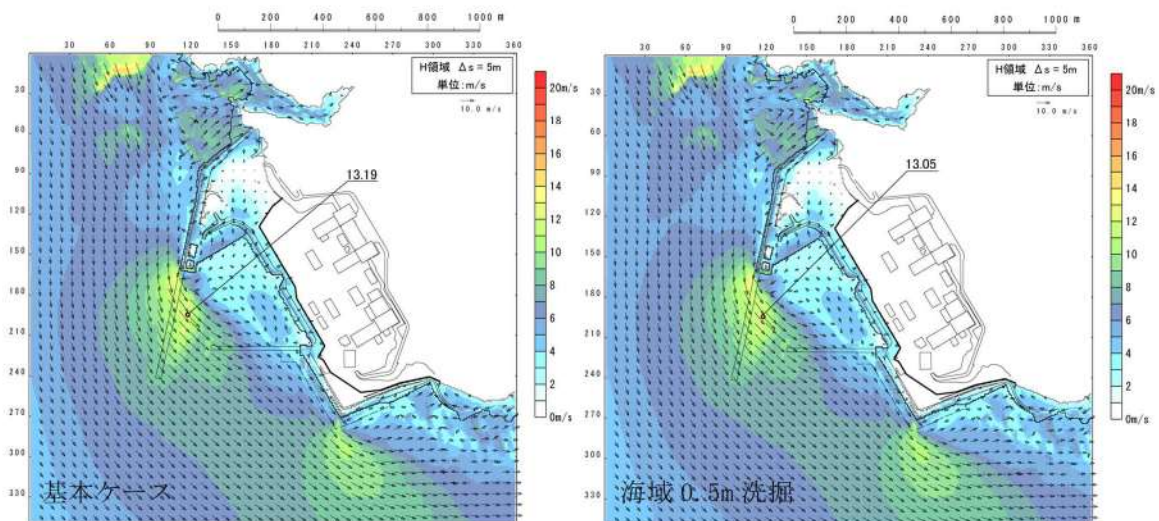


図 2.1.c.d-4 (46) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波D（北及び南防波堤損傷））

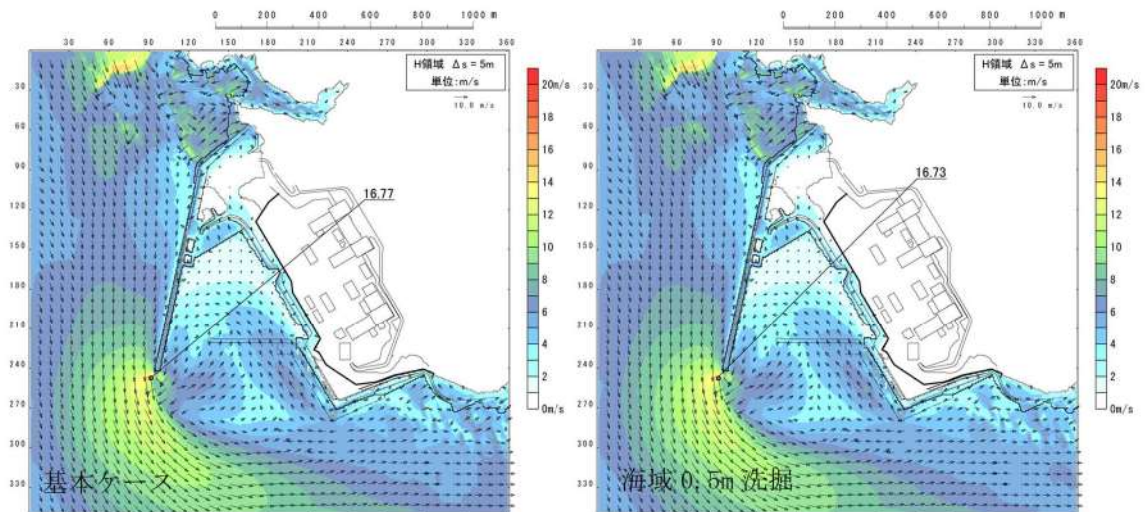


図 2.1.c.d-4 (47) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 D（南防波堤損傷））

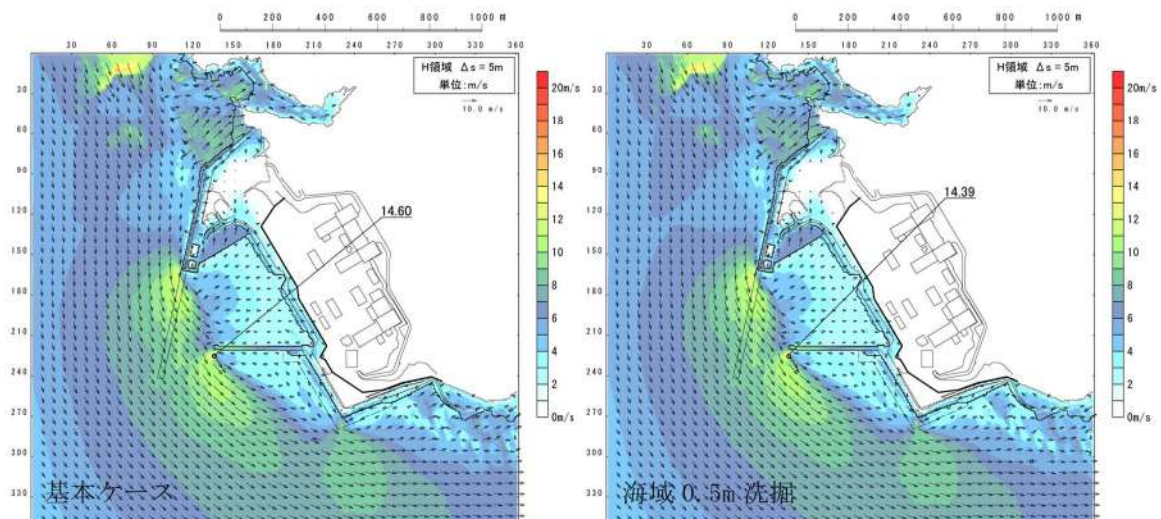


図 2.1.c.d-4 (48) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 D（北防波堤損傷））

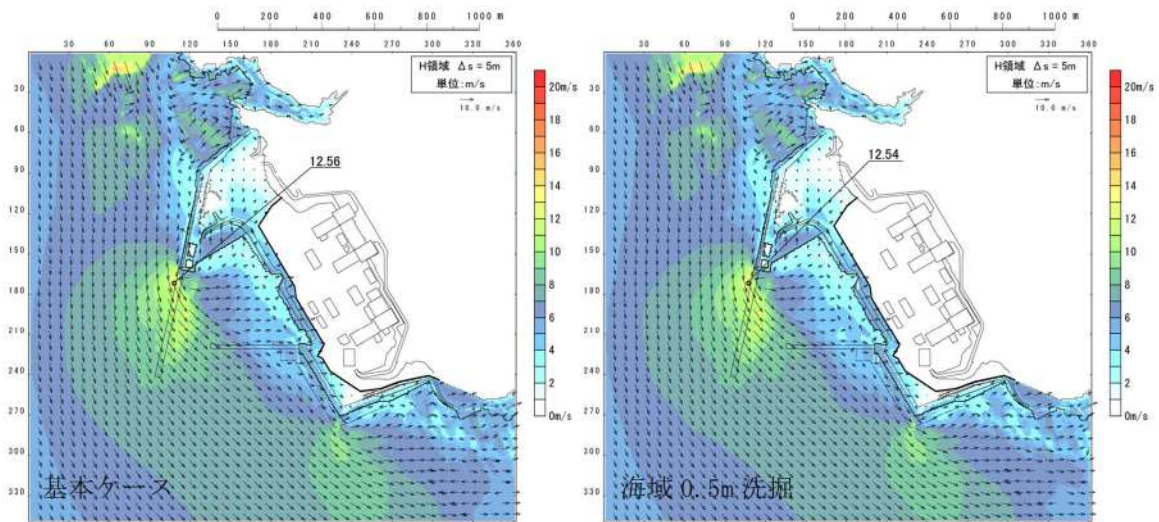


図 2.1.c.d-4 (49) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 E（北及び南防波堤損傷））

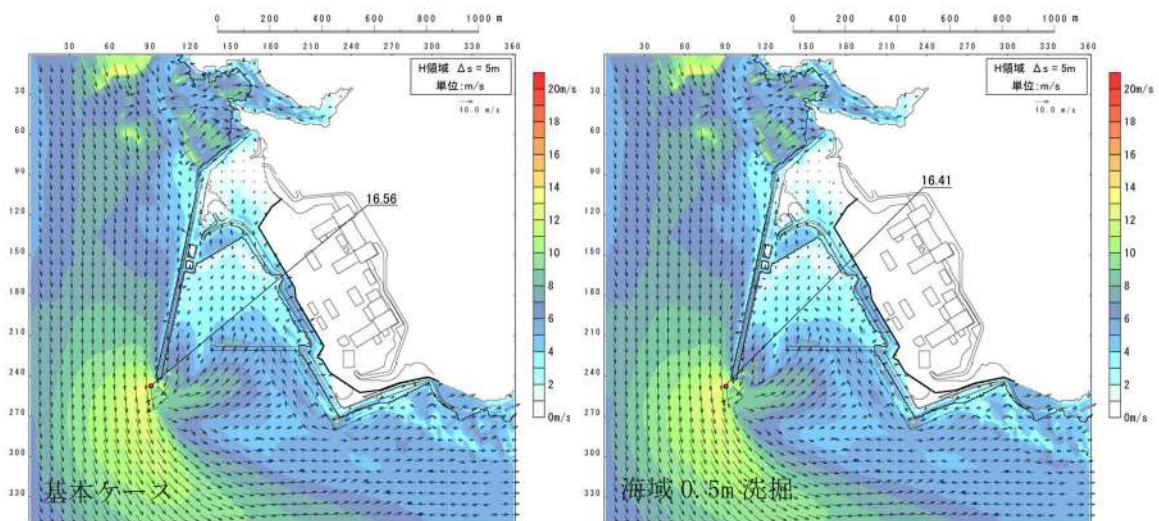


図 2.1.c.d-4 (50) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 E（南防波堤損傷））

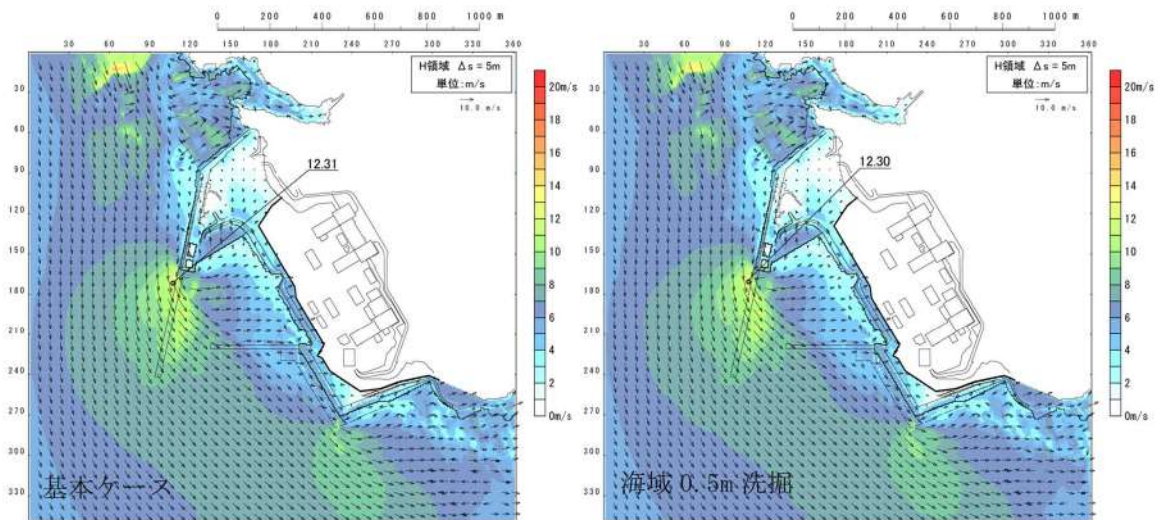


図 2.1.c.d-4 (51) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 F（北及び南防波堤損傷））

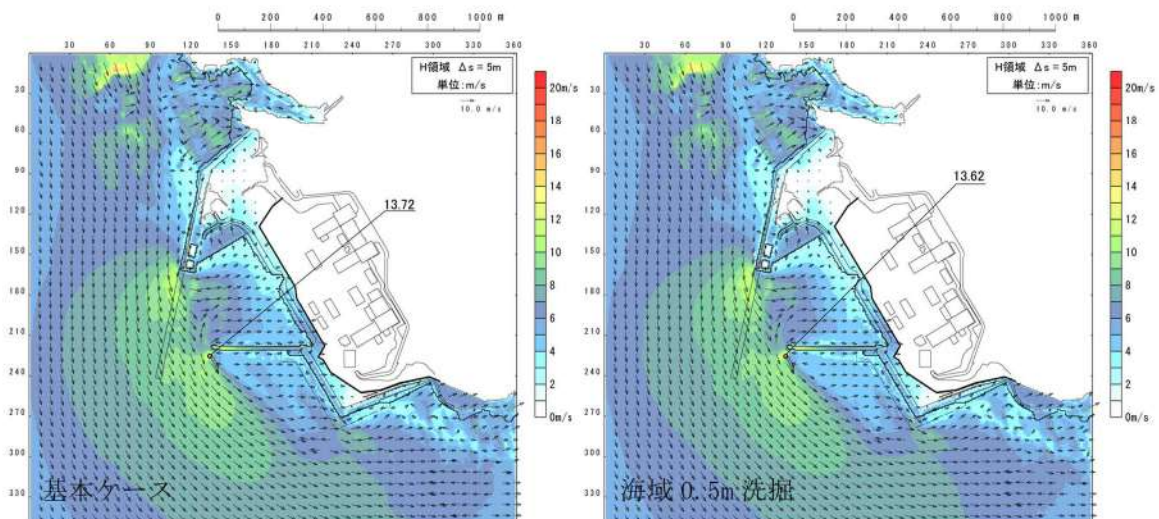


図 2.1.c.d-4 (52) 敷地（海域）の洗掘（0.5m 洗掘）の有無による
最大流速分布の比較（基準津波 F（北防波堤損傷））